Printia LASER

B5WY-1531-01 Z0

Printia LASER XLシリーズ

ソフトウェアガイド

Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/
Windows Server 2008/Windows Server 2003 編

サポート OS について

このマニュアルは、Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2008/Windows Server 2003 用です。Windows NT4.0/Windows Me/Windows 98 環境でお使いの場合は Windows NT4.0/Windows Me/Windows 98 編をご覧ください。

このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

表：安全にお使いいただくための絵記号

記号	内容
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

表：危害や損害の内容を示す絵記号

記号	内容
⚠	△ で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
⃠	⃠ で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
❗	● で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例、イラストについて

- このマニュアルに掲載されている画面例の IP アドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- 画面例でプリンタ名を「XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名で読み替えてください。
- 機種、ソフトウェアのバージョン、OS によっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- このマニュアルに掲載されているイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

クリック操作について

このマニュアルは、マウスのクリック操作をダブルクリックで記述しています。お使いのパソコンの設定によっては、シングルクリックに読み替えてください。

IP アドレスの表記について

次の機種は、IPv4 アドレスと IPv6 アドレスに対応しています。

・XL-4360
・XL-9320

このマニュアルでは、必要に応じて、「IP アドレス」を、「IPv4 アドレス」と「IPv6 アドレス」に書き分けています。IPv6 アドレスは、IPv6 対応プリンタでのみ使用できます。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

表：本文中で使用する記号

記号	内容
重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照先を記述しています。
	印刷されたマニュアル（紙のマニュアル）を表しています。
	CD-ROM を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

表：製品名称の表記

製品名称	このマニュアルでの表記		
Windows® 7 Ultimate（64 ビット版／ 32 ビット版）	7		Windows
Windows® 7 Enterprise（64 ビット版／ 32 ビット版）			
Windows® 7 Professional（64 ビット版／ 32 ビット版）			
Windows® 7 Home Premium（64 ビット版／ 32 ビット版）			
Windows® 7 Starter			
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard	2008 R2	2008	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise			
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard（64-bit/32-bit）	2008（R2 以外）		
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™（64-bit/32-bit）			
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise（64-bit/32-bit）			
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™（64-bit/32-bit）			
Windows Vista® Ultimate（64 ビット版／ 32 ビット版）	Vista		
Windows Vista® Enterprise（64 ビット版／ 32 ビット版）			
Windows Vista® Business（64 ビット版／ 32 ビット版）			
Windows Vista® Home Premium（64 ビット版／ 32 ビット版）			
Windows Vista® Home Basic（64 ビット版／ 32 ビット版）			
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	2003		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition			
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition			
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition			
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition			
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition			
Windows® XP Professional x64 Edition	XP		
Windows® XP Professional			
Windows® XP Home Edition			
Microsoft® Windows® 2000 Professional	2000		
Microsoft® Windows® 2000 Server	2000 または 2000 Server		
Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0	NT		
Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0			
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Me		
Microsoft® Windows® 98	98		
Windows® Internet Explorer® 7 以降	Internet Explorer		
Microsoft® Internet Explorer 6 以前			

添付マニュアル名称の読み替えについて

このマニュアルは、「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM に格納されているソフトウェア、およびプリンタに搭載されている Web サーバ機能（「Printia LASER Internet Service」）について説明した、機種共通のマニュアルです。

プリンタ本体の取り扱い方法については、添付の『ハードウェアガイド』、または『取扱説明書』をご覧ください（お使いの機種により、マニュアル名称が異なります）。

このマニュアル中では、プリンタ本体の取り扱い方法を案内している箇所で「『ハードウェアガイド』をご覧ください。」と記載していますが、お使いの機種によっては、『取扱説明書』に読み替えてください。

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Windows NT、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation および / またはその関連会社の商標です。

Citrix、MetaFrame、MetaFrame XP、Citrix Presentation Server、Citrix XenDesktop、Citrix XenApp は、Citrix Systems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

目次

第 4 章　プリンタ共有の設定

運用編

第 5 章　プリンタドライバの機能と利用方法

第 6 章　印刷ログの確認

第 7 章　プリンタの管理（Printianavi ネットワークマネージャ）

第 8 章　Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）

第 9 章　こんなときには

第 10 章 用語解説

第 1 章

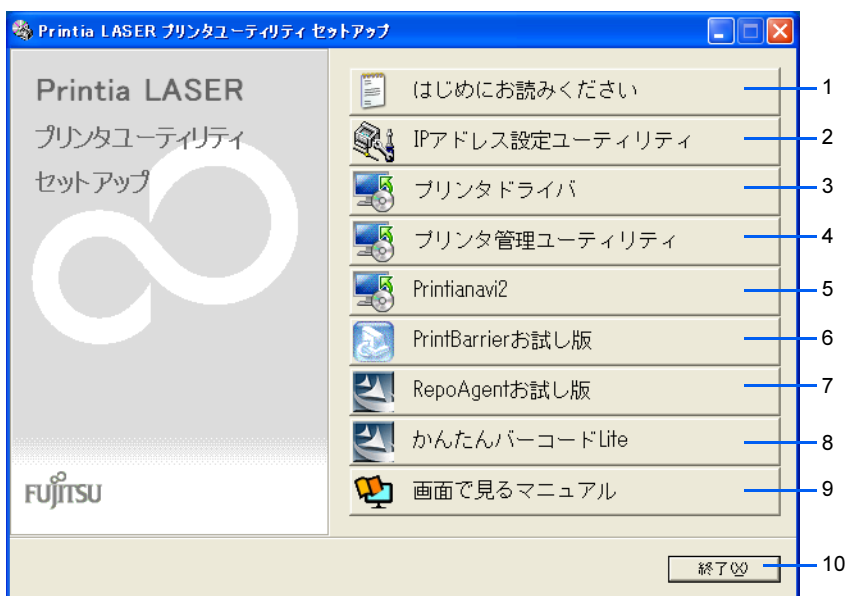
お使いになる前に

この章では、添付 CD-ROM に格納されているソフトウェアの概要について説明します。

1 添付 CD-ROM のご紹介

本製品には「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM が添付されています。この CD-ROM には、プリンタドライバ、ネットワークに接続して使用するために必要なソフトウェア、プリンタをより快適に使用するためのソフトウェアが格納されています。

「Printia LASER プリンタユーティリティ」のメニュー

「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットすると、次の「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。ウィンドウのメニューから、ソフトウェアのインストールなどが行えます。

OS により、表示されるメニューが一部異なります。

1 はじめにお読みください

CD-ROM に格納されているソフトウェアの留意事項が表示されます。

2 IP アドレス設定ユーティリティ

「Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2」を起動します。

本製品の IPv4 アドレスを設定／変更するときに起動してください。「Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2」を使用して本製品に IPv4 アドレスを設定する方法については、「IPv4 アドレスを設定する」（→ P.24）をご覧ください。

IP アドレス設定ユーティリティは、IPv6 アドレスには対応していません。

3 プリンタドライバ

本製品を使い始めるための設定を、このメニューから行います（USB インターフェースでパソコンと直接接続し、プラグアンドプレイで設定を行う場合は除きます）。次の設定を行うことができます。

・Printia XL ドライバ（プリンタドライバ／双方向プリンティングシステム「Printianavi2」）、および「Printianavi ネットワークポートモニタ」のインストール、更新

ネットワークプリンタとして使用する場合の設定やインストール方法については、「ネットワークを利用したプリンタの接続」（→ P.21）をご覧ください。

ローカルプリンタとして使用する場合の設定やインストール方法については、「ネットワークを利用しないプリンタの接続」（→ P.73）をご覧ください。

更新方法については、「プリンタドライバを更新／削除するには」（→ P.186）をご覧ください。

・共有プリンタの設定

設定方法やインストール方法については、「プリンタ共有の設定」（→ P.97）をご覧ください。

4 プリンタ管理ユーティリティ

ネットワーク上の XL シリーズプリンタを管理する「Printianavi ネットワークマネージャ」、および「Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2」をインストールします。

5 Printianavi2

双方向プリンティングシステム「Printianavi2」を手動でインストールします（通常は「プリンタドライバ」メニューでセットアップを行えば同時にインストールされますが、プラグアンドプレイでプリンタドライバのみをインストールした場合に、後から個別にインストールします）。

「Printianavi2」の概要については、「Printianavi 機能とは」（→ P.13）をご覧ください。

6 PrintBarrier お試し版（7/Vista/XP 専用）

「PrintBarrier お試し版」をインストールします。詳細については、「Printia LASER プリンタユーティリティ」の「PBARRIER」フォルダの「README.TXT」をご覧ください。

7 RepoAgent お試し版

「RepoAgent お試し版」をインストールします。詳細については、「Printia LASER プリンタユーティリティ」の「REPOAGNT」フォルダの「README.TXT」をご覧ください。

8 かんたんバーコード Lite

「かんたんバーコード Lite」をインストールします。詳細については、「Printia LASER プリンタユーティリティ」の「BARCODE」フォルダの「README.TXT」をご覧ください。

9 画面で見るマニュアル

「画面で見るマニュアル」を選択するウィンドウが表示されます。

10 終了

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウを閉じます。

POINT

- 「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 7/2008/Vista の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、次の「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。

2 ソフトウェアの機能概要

「Printia LASER プリンタユーティリティ」には、Printia XL ドライバとネットワーク関連のソフトウェアが格納されています。
ここでは、Printia XL ドライバとネットワーク関連のソフトウェアの機能概要を説明します。

Printianavi 機能とは

Printia XL ドライバ、およびネットワーク関連のソフトウェアの機能を総称して「Printianavi」と呼びます。Printianavi 機能を利用することにより、ネットワーク接続、ローカル接続のいずれの環境でも、本製品を適切に設定し、最適な印刷環境を保つことができます。

・Printia XL ドライバ
  パソコンからプリンタに印刷データを送信するためのプリンタドライバの機能に加えて、プリンタからパソコンに状態通知を行うための双方向通信機能「Printianavi2」（双方向プリンティングシステム）をサポートしたドライバです。
  双方向プリンティングシステムを使用することで、プリンタの用紙残量や取り付けられているオプションに関する情報を、リアルタイムで確認できます。また、印刷時の処理進行状況やエラー発生時の詳細状況についても確認できます。
  Printia XL ドライバの動作環境および機能概要は、「Printia XL ドライバ」（→ P.14）をご覧ください。

・ネットワーク関連のソフトウェア
  本製品をネットワークプリンタとして使用するときに、設定を行ったり、プリンタを管理したりするためのソフトウェアが 3 つ用意されています。
  -「Printianavi ネットワークポートモニタ」
  -「Printianavi ネットワークマネージャ」
  -「Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2」
  各ソフトウェアの動作環境および機能概要は、「ネットワーク関連のソフトウェア」（→ P.15）をご覧ください。

Printia XL ドライバおよびネットワーク関連のソフトウェアを入手するには

最新版の Printia XL ドライバおよびネットワーク関連のソフトウェアは、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/printer/）からダウンロードできます。
また、富士通製品情報ページではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供していますので、必要に応じてご覧ください。

POINT

・上記 URL は、このマニュアル発行時現在のものです。
・「Printia LASER プリンタユーティリティ」には、製品出荷時での最新版が格納されており、富士通製品情報ページからダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いの Printia XL ドライバおよびネットワーク関連のソフトウェアのバージョンを確認してから、ダウンロードを行ってください。

Printia XL ドライバ

動作環境

表：Printia XL ドライバの動作環境

項目	内容
OS	7/2008/Vista/2003/XP
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機
サポートポート	・パラレルポート（LPT*：） ・USB ポート ・Printianavi ネットワークポート ・LPR Port［注］ ・Standard TCP/IP Port［注］ ［注］プリンタドライバのみのサポートとなります。双方向プリンティングシステム「Printianavi2」やネットワーク関連のソフトウェアには対応していません。

機能

機能について詳しくは、ヘルプまたは「プリンタドライバの機能と利用方法」（→ P.109）をご覧ください。

POINT

・「Printianavi2」は、プリンタドライバのアドインプログラムとして動作します。「プリンタドライバ」メニューでセットアップを行ったときにプリンタドライバと同時にインストールされますが、プラグアンドプレイでプリンタドライバのみをインストールした場合は、後から個別にインストールできます。

表：Printia XL ドライバの機能：「Printianavi2」

機能	概要
ステータス表示	印刷前のプリンタの状態や、印刷中の状態をパソコンから確認することができます。
印刷中止操作	印刷を途中で中止することができます。
印刷自動再開	紙詰まりなどのエラー解除後に、エラーが発生したページから自動的に印刷を再開します（再開不可能なエラーの場合は、印刷を打ち切ります）。
印刷ログの採取	印刷結果をログに記録します（ログの参照や詳細設定は、同時にインストールされる「印刷ログビューア」から行えます）。
オプション情報の自動設定	プリンタメモリや両面ユニットなど、プリンタに取り付けられているオプションの情報を取得し、プリンタドライバの設定に反映します。

ネットワーク関連のソフトウェア

Printianavi ネットワークポートモニタ（Printianavi ネットワークポート）

LAN（TCP/IP）や IPP（インターネット経由）で接続した XL シリーズプリンタに対して、印刷先のポートの作成・削除や、印刷を行うためのソフトウェアです。

■動作環境

表：「Printianavi ネットワークポートモニタ」の動作環境

項目	内容
OS	7/2008/Vista/2003/XP/2000
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機

■機能

表：「Printianavi ネットワークポートモニタ」の機能

機能	概要
LAN 直結印刷	Printia XL ドライバのもつ Printianavi 機能をサポートしたまま、LAN ケーブルで接続したプリンタに直接印刷できるようになります。LAN（TCP/IP）環境およびインターネット接続（IPP（対応プリンタのみ））での印刷をサポートしています。
ポートの管理	「Printianavi ネットワークポートモニタ」のポートの設定／追加／削除を専用ツールから行うことができます。

■セットアップ

「プリンタドライバ」メニューでセットアップを行うと、同時にインストールされます（→P.36）。

Printianavi ネットワークマネージャ

ネットワーク上にある XL シリーズプリンタを一括して管理するソフトウェアです。プリンタのステータス表示やネットワークに関する各種設定を行うことができます。

対応プリンタについては、◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」の「PNS3」フォルダ内の「MANAGER.TXT」をご覧ください。

■動作環境

表：「Printianavi ネットワークマネージャ」の動作環境

項目	内容
OS	7/2008/Vista/2003/XP/2000
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機

■機能

表：「Printianavi ネットワークマネージャ」の機能

機能	概要
ステータス表示	プリンタの状態を参照できます。
プリンタのネットワーク設定	プリンタのネットワーク設定を行うことができます。
IP アドレス未設定プリンタの IP アドレス設定	IP アドレスを設定していないプリンタに、IP アドレスを設定できます（対応プリンタ、プリンタの設定が DHCP 自動取得設定（IPv4 アドレス）になっている場合のみ）。
複数プリンタの IP アドレス一括設定	複数台のプリンタの IP アドレスを一括して設定できます（対応プリンタのみ）。

「Printianavi ネットワークマネージャ」について詳しくは、「プリンタの管理（Printianavi ネットワークマネージャ）」（→ P.217）をご覧ください。

Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2

プリンタに IPv4 アドレスを設定したり、設定した IPv4 アドレスを変更したりするためのソフトウェアです。対応プリンタについては、「Printia LASER プリンタユーティリティ」の「IPSET」フォルダ内の「IPSETUTY.TXT」をご覧ください。

■動作環境

表：「Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2」の動作環境

項目	内容
OS	7/2008/Vista/2003/XP/2000
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機
メモリ	OS が動作可能なメモリ

■機能

表：「Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2」の機能

機能	概要
IP アドレス未設定プリンタの IP アドレス設定	IP アドレスを設定していないプリンタに、IP アドレスを設定できます（対応プリンタのみ）。
複数プリンタの IP アドレス一括設定	複数台のプリンタの IP アドレスを一括して設定できます（対応プリンタのみ）。

IPv4 アドレスを設定する方法については、「IPv4 アドレスを設定する」（→ P.24）をご覧ください。

■セットアップ

「プリンタ管理ユーティリティ」メニューを選択すると、インストールされます（→ P.221）。
IP アドレス設定ユーティリティ 2 は、IPv6 アドレスには対応していません。IPv6 を設定する方法については、「IPv6 アドレスを設定する」（→ P.34）をご覧ください。

3 Printianavi 機能の便利な使い方

Printia XL ドライバやネットワーク関連のソフトウェアの機能を利用すると､より便利な印刷や運用管理が行えます。目的に合わせ、各機能の設定を行ってください。
なお、機種によっては、一部の機能に対応していない場合がありますので、ご了承ください。

印刷に関して

■部単位で印刷したい

「部単位印刷機能」を利用すると、複数部数を部単位（ソート）で印刷できます。
アプリケーションで部単位印刷をサポートしていない場合にご利用ください。
詳しくは、「「基本設定」タブの設定項目」（→ P.118）をご覧ください。

■拡大縮小印刷したい

作成したデータを、拡大または縮小して印刷できます。
詳しくは、「「基本設定」タブの設定項目」（→ P.118）をご覧ください。

■用紙やトナーを節約したい

Printia XL ドライバで次の設定を行うと、用紙やトナーを節約できます。

- N-up 印刷する
  2 ページから 16 ページ分の文書を、1 枚の用紙にまとめ印刷できます。
  詳しくは、「「便利な機能」タブの設定項目」（→ P.136）をご覧ください。
- 両面印刷する
  用紙の両面に印刷します。
  詳しくは、「「便利な機能」タブの設定項目」（→ P.136）をご覧ください。
- トナーを節約する
  トナーセーブ機能を使うことで、トナーの使用量を減らすことができます。
  詳しくは、「「グラフィックス」タブの設定項目」（→ P.159）をご覧ください。

■よりきれいに印刷したい

Printia XL ドライバの「グラフィックス」タブ画面で次の設定を行うと、細かい図面や写真をよりきれいに印刷できるようになります。

- 階調をなめらかに表現したいとき
  ディザを粗く設定し、「写真をきれいに印刷する」を☑にする
- 細かい線画や地図などを印刷するとき
  ディザを細かく設定し、解像度を高くする

なお､「スムージングする」は､文字や図形の線をなめらかにしますが､写真には向きません。
詳しくは、「「グラフィックス」タブの設定項目」（→ P.159）をご覧ください。

■よく使う設定を登録したい

よく使うドライバの設定を「お気に入り」として登録しておくことで、ドライバの設定を毎回変更する手間を省くことができます。

■印刷物の不正コピー、放置、持ち去りなどを抑止したい

「便利な機能」タブ画面で次の設定を行うと、印刷物の不正コピー、放置、持ち去りなどを抑止する効果があります。

・ヘッダー / フッター印刷
　用紙のヘッダー（上部）／フッター（下部）に、ユーザー名やパソコン名などを印刷できます。
　詳しくは、「ヘッダー、またはフッターに情報を印刷する」（→ P.138）をご覧ください。

・スタンプ印刷
　用紙の背景に、「社外秘」「コピー禁止」などの透かし文字を印刷できます。
　詳しくは、「スタンプを印刷する」（→ P.140）をご覧ください。

・地紋印刷（対応プリンタのみ）
　用紙の背景に、コピーを抑止するための文字列を地紋として印刷できます。
　詳しくは、「地紋を印刷する（対応プリンタのみ）」（→ P.144）をご覧ください。

■オフセット排紙、パンチ穴開けやステープル処理をしたい（対応プリンタのみ）

Printia XL ドライバの「仕上げ」タブ画面で次の設定を行うと、印刷した用紙に、オフセット排紙、パンチ穴開け、ステープル処理の各種仕上げ処理を追加できます。

・オフセット排紙
　用紙を排紙する位置を、印刷ジョブ単位ごとに交互にずらし、出力紙を区別しやすくします。

・パンチ
　印刷した用紙のとじしろ側にパンチ穴（2 穴）を開けます。

・ステープル
　印刷ジョブ単位ごとに、とじしろ位置側（コーナー 1ヶ所または中央 2ヶ所）をステープラーでとじます。

詳しくは、「「仕上げ」タブの設定項目（対応プリンタのみ）」（→ P.154）をご覧ください。

運用管理に関して

■プリンタ状態の参照や印刷中止、印刷の完了通知を行いたい

パソコンとプリンタ間で次のやり取りを行えます。

- 接続されているプリンタの状態や、セットされている用紙サイズなどを参照
- 印刷を行ったパソコンからの印刷中止操作
- 印刷完了通知のメッセージ表示

詳しくは、「「Printianavi2」タブの設定項目」（→ P.173）をご覧ください。

■複数台のプリンタの状態を参照したい

「Printianavi ネットワークマネージャ」を使うと、ネットワークに接続された複数台のプリンタを管理者が一括管理できます（パソコンから各プリンタの状態を参照できます）。

詳しくは、「プリンタの管理（Printianavi ネットワークマネージャ）」（→ P.217）をご覧ください。

■消耗品の交換警告の履歴や印刷ログなどのメンテナンス情報を管理したい

次のようなメンテナンス機能を利用できます。

- Printianavi2 印刷ログビューア

  プリントサーバまたは直接プリンタに接続したパソコンから、印刷履歴のログを採取し、参照できます。また、「Printianavi2 印刷ログビューア」では、採取したログを CSV ファイルとして出力できます。「Printianavi2 印刷ログビューア」について詳しくは、「印刷ログ機能（印刷ログビューア）」（→ P.206）をご覧ください。
- Printia LASER Internet Service

  ネットワークに接続されたプリンタの場合、「Printia LASER Internet Service」を使うと、消耗品交換に関する警告の発生履歴をプリンタから CSV ファイルとしてダウンロードできます（対応プリンタのみ）。「Printia LASER Internet Service」について詳しくは、「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」（→ P.249）をご覧ください。
- E メール送信機能

  「Printia LASER Internet Service」の「E メール送信機能」を使用すると、消耗品や定期交換部品の交換時期が近づいたときに、指定した宛先に E メールを送信できます。

  「Printia LASER Internet Service」の E メール送信機能については「E メール送信設定（XL-9440/9380/9320/9311/9281/9310/9280/4360、管理者モードのみ）」（→ P.266）または「E メール送信設定（XL-9440/9380/9320/9311/9281/9310/9280/4360 以外の対応プリンタ、管理者モードのみ）」（→ P.268）をご覧ください。

■セキュリティを強化したい（対応プリンタ、IPv4 アドレス環境のみ）

「Printia LASER Internet Service」から、次のセキュリティ設定を行うことができます。

- ポート／サービスの管理

  ネットワークサービスと印刷ポートの有効／無効を設定します。
- IP アドレスによるアクセス管理

  プリンタに接続できるパソコン（IP アドレス）を制限します。
- オペレータパネルの操作制限

  管理者以外のユーザーによるプリンタの設定変更を防止するために、オペレータパネルの操作をパスワードにより管理します。

「Printia LASER Internet Service」について詳しくは、「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」（→ P.249）をご覧ください。

■印刷ログの出力先やクライアントの動作をプリントサーバから管理したい

「Printianavi2 クラサバ連携サービス」を使用すると、プリントサーバ経由で印刷を行う環境で、管理者は次の設定を行うことができます。

・クライアントの「Printianavi2」タブの動作を指定する
　プリントサーバから、クライアントの「Printianavi2」タブ（→ P.173）の設定を指定できます。クライアントのステータスの表示先を統一したり、すべてのクライアントで印刷ログを採取したりすることができます。
・クライアントの「ステータスの表示先」を指定する
　プリントサーバから、クライアントの「ステータスの表示先」の選択肢を制限できます。クライアントが「ステータスの表示先」に、予期しないパソコンを誤って指定することを防止できます。
・印刷ログの出力先を指定する
　プリントサーバ、クライアント以外のパソコンに印刷ログを出力し、印刷ログを集中管理できます。

「Printianavi2 クラサバ連携サービス」については、「印刷ログの出力先やクライアントの動作をプリントサーバ側で管理する」（→ P.178）をご覧ください。

第 2 章

ネットワークを利用したプリンタの接続

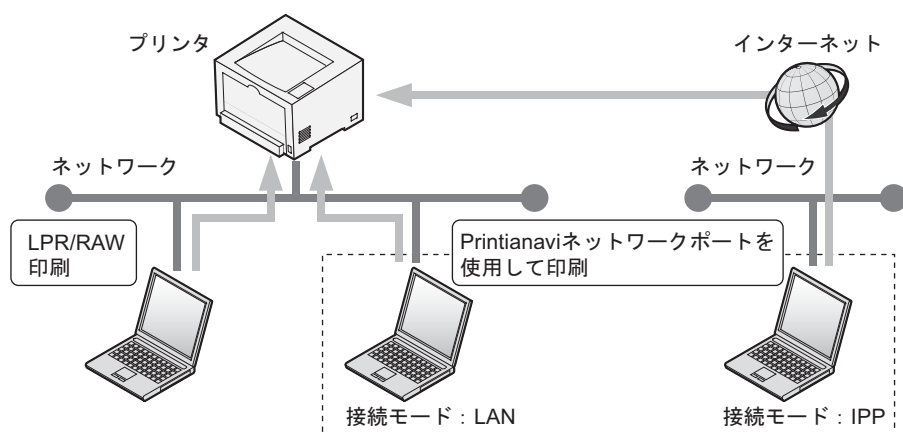
この章では、プリンタをネットワークに接続し、プリンタドライバ（Printia XL ドライバ）をインストールする方法を説明します。

1 印刷方法と作業の流れについて

プリンタを LAN ケーブルでネットワークに接続した場合、印刷方法によりインストールの順番や設定方法などが異なります。ここでは、印刷方法ごとの作業の流れを説明します。

印刷方法

プリンタに LAN ケーブルを直接接続して印刷する場合は、次の方法があります。

- Printianavi ネットワークポートを使用して印刷（LAN/IPP）
  「Printianavi ネットワークポート」は、双方向プリンティングシステムに対応した、Printia XL シリーズ専用のポートです。この Printianavi ネットワークポートを使用し、LAN（TCP/IP）に直接接続されたプリンタに印刷します。
  また、接続モードを IPP に変更することで、インターネットを経由して、遠隔地のプリンタ（社外などプロキシサーバの先にあるプリンタ）に印刷することもできます。
  XL-4360 の IPv6 アドレスでの印刷には対応していません。LPR 印刷 /RAW 印刷をお使いください。
- LPR 印刷
  「LPR」と呼ばれるプロトコルを使用し、LAN（TCP/IP）に直接接続されたプリンタに印刷します。
  LPR 印刷では、プリンタドライバのみのサポートとなり、双方向プリンティングシステムやネットワーク関連のソフトウェアには対応していません。
- RAW 印刷（対応プリンタのみ）
  「RAW」と呼ばれるプロトコルを使用し、LAN（TCP/IP）に直接接続されたプリンタに印刷します。
  LPR 印刷と比較すると、一般的に RAW 印刷のほうが印刷速度は速くなります。
  RAW 印刷では、プリンタドライバのみのサポートとなり、双方向プリンティングシステムやネットワーク関連のソフトウェアには対応していません。

作業の流れ

お使いの OS や印刷方法により、一部の作業が異なります。作業の流れをご確認のうえ、該当ページをご覧ください。

『ハードウェアガイド』の「第 2 章 プリンタを設置・接続する」参照

- IPv4 アドレスの場合
  「IPv4 アドレスを設定する」（→ P.24）参照
- IPv6 アドレスの場合
  「IPv6 アドレスを設定する」（→ P.34）参照

Printianavi ネットワークポートを使用して印刷（LAN/IPP）

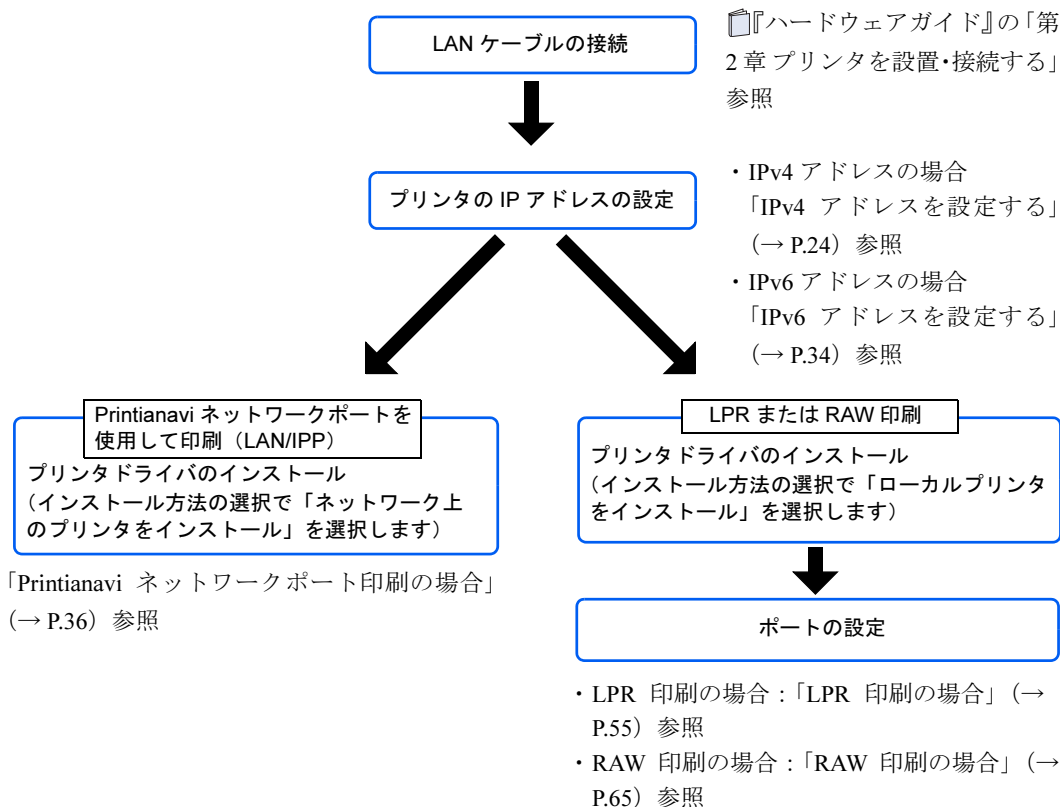
プリンタドライバのインストール
（インストール方法の選択で「ネットワーク上のプリンタをインストール」を選択します）

「Printianavi ネットワークポート印刷の場合」（→ P.36）参照

LPR または RAW 印刷

プリンタドライバのインストール
（インストール方法の選択で「ローカルプリンタをインストール」を選択します）

ポートの設定

- LPR 印刷の場合：「LPR 印刷の場合」（→ P.55）参照
- RAW 印刷の場合：「RAW 印刷の場合」（→ P.65）参照

POINT

- IPv6 アドレスは、IPv6 対応プリンタ（XL-4360/XL-9320）で、7/2008/Vista の場合使用できます。
- XL-4360 は、7/2008/Vista では IPv6 アドレスを利用できますが、IPv6 アドレスで接続している場合、Printianavi ネットワークポートを使用した印刷はできません。この場合は、LPR または RAW 印刷の設定を行ってください。
  インストール方法については、それぞれ次をご覧ください。
  - LPR 印刷の場合
    「LPR 印刷の場合」（→ P.55）
  - RAW 印刷の場合
    「RAW 印刷の場合」（→ P.65）

2 IPv4 アドレスを設定する

「Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2」を使用して、プリンタに IPv4 アドレスを設定する方法を説明します。なお、IPv4 アドレスの設定はプリンタの管理者が 1 回行えば良く、一般ユーザーの作業は必要ありません。
ここでは、「IPv4 アドレス」を「IP アドレス」と記載しています。

IP アドレスの設定は、次のいずれかの方法で行います。

- 「Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2」(以降、「IP アドレス設定ユーティリティ 2」)を使って、パソコンから IP アドレスを設定します。
- プリンタ本体のオペレータパネルから設定します。

ここでは、「IP アドレス設定ユーティリティ 2」を使った設定方法を説明します。オペレータパネルを使った設定方法については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

準備

設定方法の種類

IP アドレスを設定する方法には、次の 2 種類があります。

- 手動設定
  「IP アドレス設定ユーティリティ 2」を利用し、本製品に IP アドレスを直接設定します。
- 自動取得設定
  ネットワークが DHCP で運用されている場合は、プリンタの電源を入れたときに、DHCP サーバから自動的に取得します。

ご使用の環境に合わせて、いずれかの方法を選択してください。

「IP アドレス設定ユーティリティ 2」による設定を行う

POINT

- IPv6 アドレスには対応しておりません。
- 「IP アドレス設定ユーティリティ 2」での設定は、対応プリンタのみ可能です。対応プリンタについては、「Printia LASER プリンタユーティリティ」の「IPSET」フォルダ内の「IPSETUTY.TXT」をご覧ください。

「IP アドレス設定ユーティリティ 2」を利用すると、次のことができます。

- ネットワーク接続プリンタの一覧表示
  ネットワークに接続されている XL シリーズプリンタを自動検索し、一覧で表示します。
- IP アドレスの設定
  一覧ウィンドウから選択したプリンタに対し、IP アドレスの設定を行います。
- 1 台ずつ、または複数台をまとめて設定
  XL シリーズプリンタが複数台ある場合に、1 台ずつ設定することも、複数台をまとめて設定することもできます。

■事前確認

IP アドレスを設定する前に、次のことを確認してください。

表：確認事項

確認事項	確認内容
IP アドレス	プリンタに設定する IP アドレス、サブネットマスクを用意しておきます。 なお、プリンタを接続しているサブネットと、印刷を行うパソコンを接続しているサブネットが別々の場合は、ゲートウェイアドレスも用意してください。
環境	プリンタをネットワークに接続してください。 DHCP による自動取得設定を行う場合は、ネットワーク上に DHCP サーバが必要です。

1 台ずつ設定する場合

IP アドレスを 1 台ずつ設定する方法を説明します。複数台をまとめて設定したい場合は、「複数台をまとめて設定する場合」（→ P.30）をご覧ください。

POINT

- IP アドレスを初めて設定する場合は、同一セグメントに接続したパソコンから設定を行ってください（IP アドレスが設定されていないプリンタは、別のセグメントから検索できません）。
- 検索時に本製品が検出されない場合、または別のセグメントに接続されている IP アドレス設定済みの本製品の検索や IP アドレスの変更を行う場合は、「IP アドレス設定ユーティリティ 2」がファイアウォール機能にブロックされないよう、例外設定を行う必要があります。詳しくは、「ファイアウォール機能使用時の留意事項」（→ P.329）をご覧ください。

1 プリンタの電源を入れます。

2 ◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- 「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 7/2008/Vista の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。

3 メニューから「IP アドレス設定ユーティリティ」をクリックします。

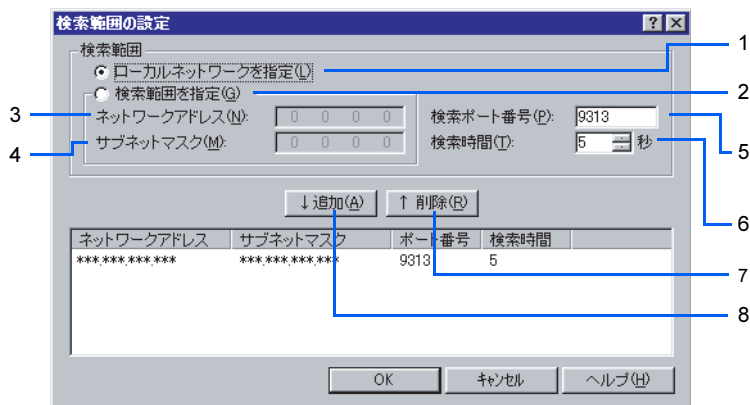
「IP アドレス設定ユーティリティ 2」が起動します。ネットワーク上のプリンタが自動検索され、次のウィンドウのように一覧表示されます。

プリンタが、節電モードの「スリープ」に移行しているときには、自動検索でプリンタが表示されません。その場合は、をクリックして再検索してください。

DHCP による自動設定で、DHCP が「設定」になっており、すでに IP アドレスが正しく設定されている場合は、以降の設定の必要はありません。「閉じる」をクリックし、「IP アドレス設定ユーティリティ 2」を終了してください。

■ IP アドレス設定済みのプリンタが別のセグメントに接続されていて、一覧に表示されない場合

次の手順で検索範囲を設定し、一覧に表示されるようにします。

1. 一覧ウィンドウの をクリックします。
2. 検索範囲を入力し、「追加」をクリックします。

表：設定項目一覧

No.	設定項目	説明
1	ローカルネットワークを指定	検索範囲をローカルネットワークに設定する場合に選択します。
2	検索範囲を指定	検索範囲の指定を行う場合に選択します。
3	ネットワークアドレス	プリンタの検索範囲に追加するネットワークアドレスを指定します。「0.0.0.0」および「255.255.255.255」は指定できません。

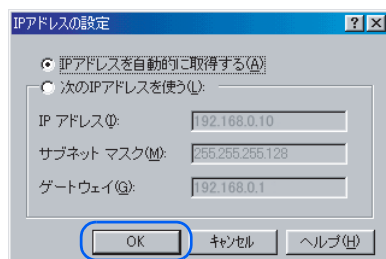
表：設定項目一覧

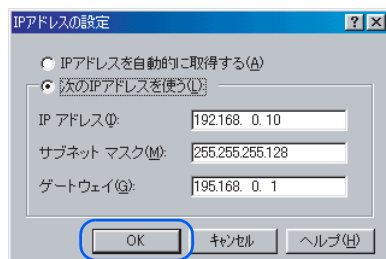
No.	設定項目	説明
4	サブネットマスク	プリンタの検索範囲に追加するサブネットマスクを指定します。「255.255.255.255」は指定できません。
5	検索ポート番号	プリンタの検索範囲に追加するポート番号を設定します。設定範囲：1 ～ 65535（初期設定：9313）
6	検索時間	プリンタの検索時間（タイムアウト時間）を設定します。設定範囲：5 ～ 30 秒（初期設定：5 秒）
7	削除	アドレスリストで選択した項目を削除し、1 ～ 6 に反映します。
8	追加	1 ～ 6 で指定した内容を、アドレスリストに追加します。すでに登録されているアドレスを指定した場合は、無効です。

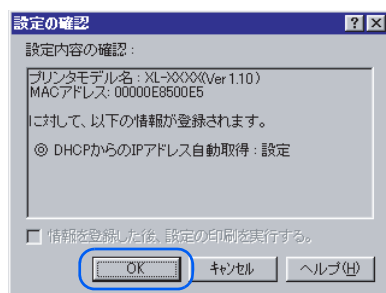
3.「OK」をクリックした後、[アイコン] をクリックします。

POINT

- ローカルネットワークを追加する場合、「検索ポート番号」と「検索時間」のみ入力することができます。
- ローカルネットワーク（***.***.***.***）の最後の 1 つを削除することはできません。
- 「ネットワークサービス設定」で、「プリンタ検索」が「無効」となっている場合は、該当するプリンタは表示されません（「ネットワークサービス設定」機能をサポートしているプリンタの場合）。「ネットワークサービス設定」については、「ネットワークサービス（対応プリンタ、管理者モードのみ）」（→ P.272）をご覧ください。

4 「個別設定モード」が選択されていることを確認します。

5 一覧から IP アドレスを設定するプリンタを選択し、[アイコン] をクリックします。

6 IP アドレスを設定し、「OK」をクリックします。

■ 自動取得の場合

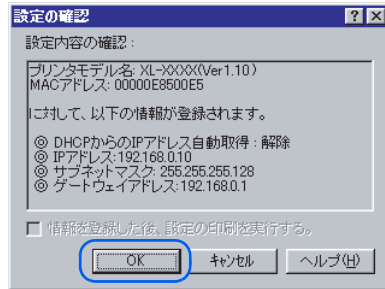
■ 手動設定の場合

手動設定を選択したときは、各アドレスを指定します。ゲートウェイは省略できます。入力には、次の制限があります。

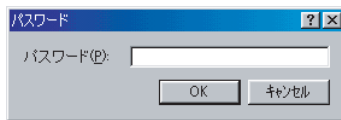
表：入力内容の制限

設定項目	制限の内容
IP アドレス	「0.0.0.0」、「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。
サブネットマスク	「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。
ゲートウェイ	空白を含むアドレスは指定できません。

7 次のウィンドウが表示されたら内容を確認し、「OK」をクリックします。

■ 自動取得の場合

■ 手動設定の場合

POINT

・オペレータパネルからのメニューモードの操作をパスワードで制限していると、次のウィンドウが表示されます。パスワードを入力して、「OK」をクリックしてください。

「情報の設定中です。」と表示された後、「プリンタの設定が完了しました。」と表示されます。

POINT

・「プリンタからの通信が異常となりました」と表示されたときは、設定が正しく行われていません。設定内容を確認し、設定し直してください。
・通信が行えない場合は、設定した値が正しくありません。プリンタの LAN 設定を初期化し、設定し直してください。初期化の方法については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

8 「OK」をクリックします。

以上で IP アドレスの設定は完了です。印刷を行うための設定作業に進んでください。

複数台をまとめて設定する場合

プリンタの設置台数が多い場合は、複数台の IP アドレスをまとめて設定できます。
まとめて設定するには、「IP アドレス設定ユーティリティ 2」を「一括設定モード」にします。一括設定モードでは、ローカルネットワーク内のプリンタに対して設定が行えます。

POINT

- IP アドレスを初めて設定する場合は、同一セグメントに接続したパソコンから設定を行ってください（IP アドレスが設定されていないプリンタは、別のセグメントから検索できません）。
- 検索時に本製品が検出されない場合、または別のセグメントに接続されている IP アドレス設定済みの本製品の検索や IP アドレスの変更を行う場合は、「IP アドレス設定ユーティリティ 2」がファイアウォール機能にブロックされないよう、例外設定を行う必要があります。詳しくは、「ファイアウォール機能使用時の留意事項」（→ P.329）をご覧ください。

1 プリンタの電源を入れます。

2 「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- 「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 7/2008/Vista の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。

3 メニューから「IP アドレス設定ユーティリティ」をクリックします。

「IP アドレス設定ユーティリティ 2」が起動します。ネットワーク上のプリンタが自動検索され、次のウィンドウのように一覧表示されます。

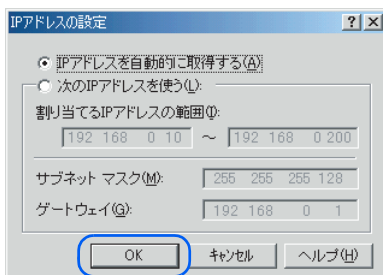
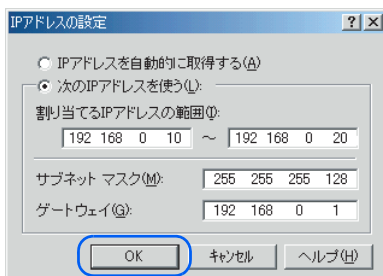
プリンタが、節電モードの「スリープ」に移行しているときには、最初の自動検索でプリンタが表示されない場合があります。をクリックして再検索してください。

4 「一括設定モード」を選択します。

5 【Shift】キー、または【Ctrl】キーを押しながら設定したいプリンタをクリックし、複数台選択します。

6 プリンタが選択された状態で、をクリックします。

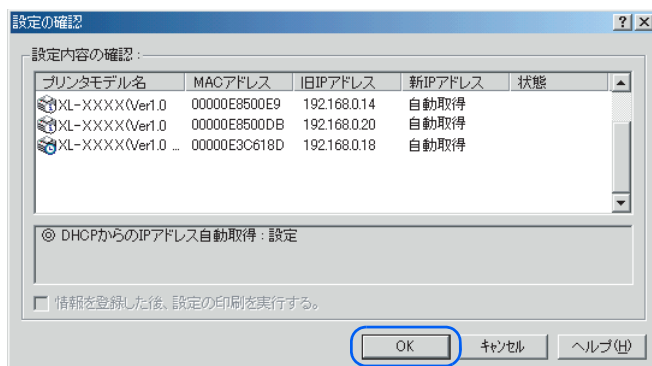
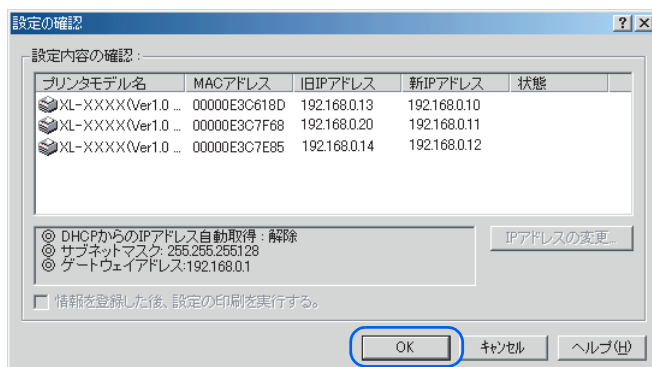
7 IP アドレスを設定し、「OK」をクリックします。

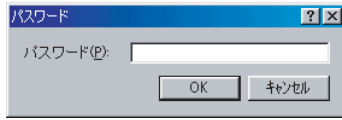
■ 自動取得の場合

■ 手動設定の場合

手動設定を選択したときは、設定する IP アドレスの範囲を指定します。ゲートウェイは省略できます。入力には、次の制限があります。

表：入力内容の制限

設定項目	制限の内容
設定する IP アドレスの範囲	・「0.0.0.0」、「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。 ・終了アドレスは、開始アドレスより大きな値を指定してください。 ・終了アドレスが開始アドレスのセグメント外となるときは、設定できません。 ・IP アドレスの範囲より本製品の台数が多いときは、設定できません。
サブネットマスク	「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。
ゲートウェイ	空白を含むアドレスは指定できません。

8 次のウィンドウが表示されたら内容を確認し、「OK」をクリックします。

■ 自動取得の場合

■ 手動設定の場合

POINT

・設定内容の確認リストに表示されている「新 IP アドレス」を変更する場合は、変更するプリンタを選択して「IP アドレスの変更」をクリックします。
・オペレータパネルからのメニューモードの操作をパスワードで制限していると、次のウィンドウが表示されます。パスワードを入力して、「OK」をクリックしてください。

設定が開始され、完了すると「プリンタの設定が完了しました。」と表示されます。

POINT

・「プリンタからの通信が異常となりました」と表示されたときは、設定が正しく行われていません。設定内容を確認し、設定し直してください。
・通信が行えない場合は、設定した値が正しくありません。プリンタの LAN 設定を初期化し、設定し直してください。初期化の方法については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

9 「OK」をクリックします。

以上で IP アドレスの設定は完了です。印刷を行うための設定作業に進んでください。

3 IPv6 アドレスを設定する

プリンタに IPv6 アドレスを設定する方法を説明します。
IPv6 アドレスは、IPv6 対応プリンタ（XL-4360/XL-9320）で、7/2008/Vista の場合使用できます。
IPv6 アドレスの設定はプリンタの管理者が 1 回行えば良く、一般ユーザーの作業は必要ありません。

設定方法

本製品には、「リンクローカルアドレス」、「グローバルアドレス」と呼ばれる、2 種類の IPv6 アドレスを設定できます。
XL-9320 では、プリンタのオペレータパネルのメニューモード、または「Printia LASER InternetService（管理者モード）の「ネットワーク情報」→「基本情報」で、手動で IPv6 アドレスを設定することができます。
IPv6 アドレスの手動設定については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」→「IP アドレスの設定」をご覧ください。

- リンクローカルアドレス
  同一ネットワーク内での通信に使用されるアドレスです。リンクローカルアドレスは、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「LAN セッテイ」→「TCP/IPv6 プロトコル」を「ユウコウ」に設定すると、「fe80::」から始まるプレフィックスと本製品の MAC アドレスが用いられ、自動的に設定されます。
  なお、本製品に設定できるリンクローカルアドレスは 1 つです。
- グローバルアドレス
  インターネット経由の通信に使用されるアドレスです。グローバルアドレスの設定には、RA（Router Advertisement）と呼ばれるパケットを送信できるルーターとの接続が必要です。グローバルアドレスは、ルーターから送信された RA に含まれるプレフィックスと本製品の MAC アドレスが用いられ、自動的に設定されます。
  なお、本製品に設定できるグローバルアドレスは 1 つです。

重要

- IPv6 アドレスを使用する場合は、プリンタの「TCP/IPv6 プロトコル」を「有効」にしてください。
  設定の変更は、プリンタのオペレータパネルのメニューモードまたは「Printia LASER Internet Service」（管理者モード）の「ネットワーク情報」→「基本情報」で変更できます。
  オペレータパネルの操作については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」、「Printia LASER Internet Service」については、「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」（→ P.249）をご覧ください。
- リンクローカルアドレスは、ルーターを越えた通信はできません。
- グローバルアドレスは、ステートレスアドレスのみ設定できます。DHCPv6 を用いたステートフルアドレスは設定できません。

自動設定された IPv6 アドレスの確認方法

自動設定された IPv6 アドレスは、次の方法で確認できます。

・設定一覧を印刷して確認する

プリンタのオペレータパネルのメニューモード「システム　インサツ」→「セッテイ　ノ　インサツ」で設定一覧を印刷し、「IP アドレス設定」内の「IPv6 アドレス設定」欄で確認します。
（機種により、表示内容は異なります。）

FUJITSU　XL−xxxx

システム情報

装置号機 = xxxxxxxxx
総印刷ページ数 = xxxページ
カウンタ（A4LEF換算） = xxxページ
／装置寿命ページ数 = ／xx万ページ
装置寿命カウンタ = 残り　xx％（消耗率　xx％）
定期交換キットカウンタ = 残り　xx％（消耗率　xx％）
電源投入後総印刷ページ数 = xxxページ
メインＲＯＭ版数 = Ver　X.xx
ネットワーク版数 = Ver　X.xx
制御チップ版数 = Ver　X.xx
エンジンＲＯＭ版数 = Ver　X.xx
カートリッジ情報 = X
メモリ容量 = xxMB
ＵＳＢステータス = HIGH SPEED
両面ユニット = あり
給紙トレイダイヤル位置 = パネルで設定
給紙口情報
給紙トレイ = A4 LEF（横置き）
カセット１ = A4 LEF（横置き）
カセット２ = A4 LEF（横置き）
カセット３ = A4 LEF（横置き）

IPアドレス設定

IPv4アドレス設定
ＤＨＣＰ自動取得 = 設定
ＩＰアドレス = xxx.xxx.xxx.xxx
サブネットマスク = xxx.xxx.xxx.xxx
ゲートウェイ = xxx.xxx.xxx.xxx
IPv6アドレス設定
固定アドレス = xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx
リンクローカル = xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx
グローバル = xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx
ゲートウェイ = xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx:xxx

LAN設定

ＭＡＣアドレス = xxxxxxxxxxxx
Ｅｔｈｅｒｎｅｔタイプ = 自動認識（100Mbps）
サービス設定
プリンタ検索 = 有効

設定一覧の印刷については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」→「代表的な設定項目とその操作方法」→「設定の一覧印刷」をご覧ください。

・「Printia LASER Internet Service」の「ネットワーク情報」を確認する

「Printia LASER Internet Service」画面を開き、「ネットワーク情報」→「基本情報」で確認します。
「Printia LASER Internet Service」については、「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」（→ P.249）をご覧ください。

4 Printianavi ネットワークポート印刷の場合

Printianavi ネットワークポートを使用して印刷する場合の設定方法を説明します。

POINT

・XL-4360 は、7/2008/Vista では IPv6 アドレスを利用できますが、IPv6 アドレスで接続している場合、Printianavi ネットワークポートを使用した印刷はできません。この場合は、LPR または RAW 印刷の設定を行ってください。
インストール方法については、それぞれ次をご覧ください。
  ・LPR 印刷の場合
  「LPR 印刷の場合」（→ P.55）
  ・RAW 印刷の場合
  「RAW 印刷の場合」（→ P.65）

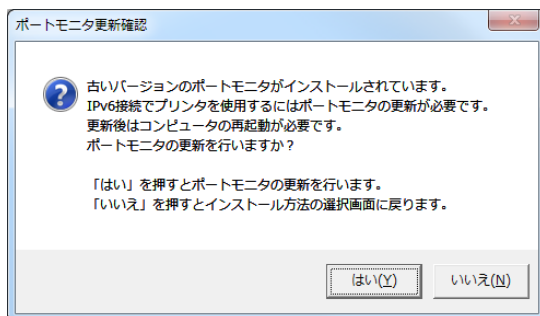
■作業の概要

「Printia LASER プリンタユーティリティ」を使用して、プリンタドライバをインストールします。

社内 LAN などに接続したプリンタに印刷する場合は、インストーラを起動してから最小 4 画面でインストール作業が終了します。

IPP で印刷する場合や、プリンタの設定情報（プリンタ名や通常使うプリンタにするかどうか、など）を変更する場合などは、インストール画面から設定ウィンドウを表示して設定を行いながら、プリンタドライバをインストールします。

重要

・お使いの環境によっては、IPv6 アドレスを使用するときに、ポートモニタの更新が必要です。
「ポートモニタ更新確認」ウィンドウが表示されたら、内容を確認し、「ポートモニタ」を更新してください。

プリンタドライバのインストール

「Printia LASER プリンタユーティリティ」を使用して、プリンタドライバをインストールします。ネットワーク経由で印刷するために必要なソフトウェア「Printianavi ネットワークポートモニタ」および「Printianavi2」も同時にインストールされます。

2

1 プリンタの電源を入れます。

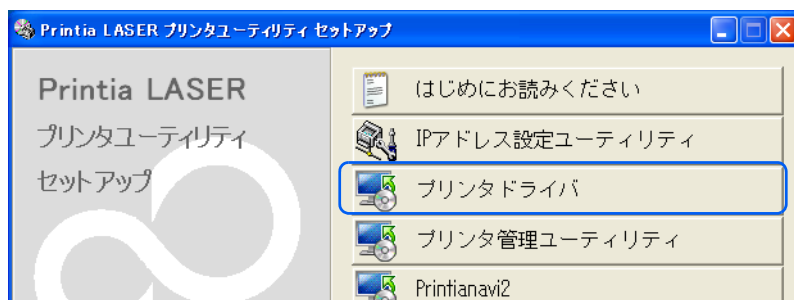
2 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

3 「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- 「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 7/008/Vista の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。

4 メニューから「プリンタドライバ」をクリックします。

■7 の場合

「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

■2008/Vista の場合

「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックします。インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

■2003/XP/2000 の場合

インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

5 (1)「ネットワーク上のプリンタをインストール」を選択して、(2)「次へ」をクリックします。

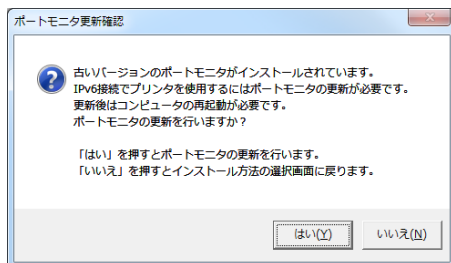
IPv6 アドレスのプリンタを検索する場合は、「IPv6」を選択します。

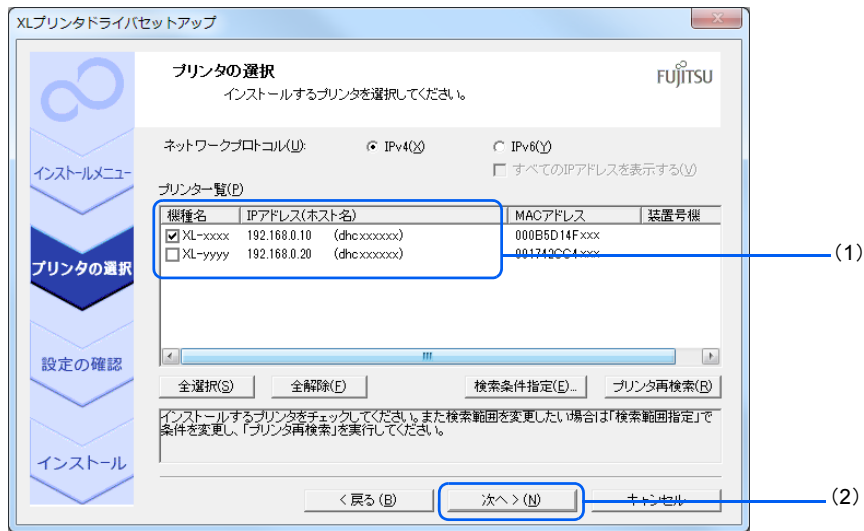
プリンタの検索が行われ、「プリンタの選択」ウィンドウが表示されます。

POINT

・IPv6 アドレスは、IPv6 対応プリンタ（XL-4360/XL-9320) で、7/2008/Vista の場合、利用できます。2003/XP/2000 では、IPv4/IPv6 の設定はグレイアウトされて変更できません。
・IP アドレス設定済みのプリンタが別のセグメントに接続されている場合は、次の手順 6（→ P.39）でプリンタが一覧に表示されません。あらかじめ検索範囲がわかっている場合は、「検索条件指定」をクリックして検索範囲を設定することができます。設定方法については、「検索条件の設定」（→ P.41）をご覧ください。なお、次の手順 6（→ P.39）のウィンドウからも検索範囲の設定ができます。
・IPv6 アドレスを使用する場合は、プリンタの「TCP/IPv6 プロトコル」を「有効」にしてください。
設定の変更は、プリンタのオペレータパネルのメニューモードまたは「Printia LASER Internet Service」(管理者モード) の「ネットワーク情報」→「基本情報」で変更できます。
オペレータパネルの操作については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」、「Printia LASER Internet Service」については、「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service)」（→ P.249）をご覧ください。

重要

・お使いの環境によっては、IPv6アドレスを使用する際に、ポートモニタの更新が必要です。「ポートモニタ更新確認」ウィンドウが表示されたら、よくお読みいただき「ポートモニタ」を更新してください。

6 (1)「プリンター覧」で、インストールするプリンタの「プリンタ名」を☑にして、(2)「次へ」をクリックします。

ネットワークプロトコルを変更する場合は、変更後に「プリンタ再検索」をクリックしてください。

POINT

- 「全選択」をクリックすると、「機種名」に表示されているすべてのプリンタが選択され、プリンタドライバが同時にインストールされます。
- IP アドレス設定済みのプリンタが別のセグメントに接続されている場合は、プリンタが一覧に表示されません。「検索条件指定」をクリックして、検索範囲を設定してください。設定方法については、「検索条件の設定」(→ P.41)をご覧ください。

「設定の確認」ウィンドウが表示されます。

7 インストール内容を確認し、必要に応じて設定を行います。

表：設定項目一覧

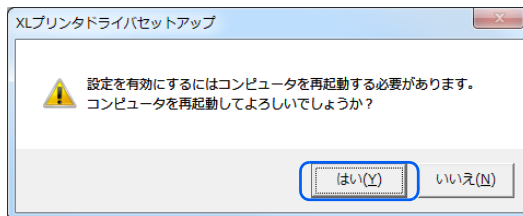
No.	設定項目	説明
1	追加	「プリンター覧」に、プリンタドライバをインストールするプリンタを追加します。
2	変更	・プリンタの設定情報（プリンタ名や通常使うプリンタにするかどうか、など）を変更します。 詳しくは、「プリンタの設定情報の変更」（→ P.43）をご覧ください。 ・IPP 印刷を行う場合などに、Printianavi ネットワークポートを作成します。 詳しくは、「プリンタの設定情報の変更」（→ P.43）、および「Printianavi ネットワークポートの作成」（→ P.45）をご覧ください。
3	削除	「プリンター覧」に表示されているプリンタを削除します。削除したいプリンタを選択してからボタンをクリックしてください。
4	設定のエクスポート	同じ設定で別のパソコンにプリンタドライバをインストールする場合に、インストールの設定内容をファイルとして保存します。 詳しくは、「設定のエクスポート」（→ P.54）をご覧ください。

8 「インストール」をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。しばらくすると、「インストール完了」ウィンドウが表示されます。

9 「完了」をクリックします。

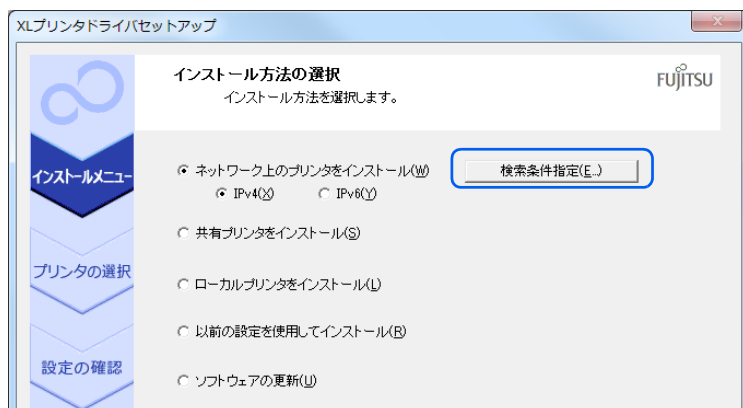
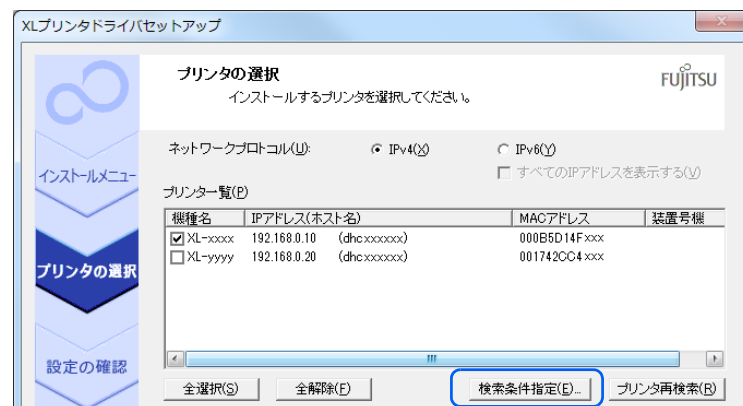
「設定を有効にするにはコンピュータを再起動する必要があります。コンピュータを再起動してよろしいでしょうか？」と表示されます。

10 「はい」をクリックして、パソコンを再起動します。

以上で、Printianavi ネットワークポートを使用して印刷する場合の設定は完了です。

検索条件の設定

IP アドレス設定済みのプリンタが別のセグメントに接続されている場合、「プリンタドライバのインストール」（→ P.37）の手順 6（→ P.39）の「プリンタの選択」ウィンドウに、プリンタが表示されません。この場合は、次の手順で検索条件を設定し、プリンタが表示されるようにします。

1 「プリンタドライバのインストール」（→ P.37）の手順 5（→ P.38）の「インストール方法の選択」ウィンドウ、または手順 6（→ P.39）の「プリンタの選択」ウィンドウで「検索条件指定」をクリックします。

■「インストール方法の選択」ウィンドウの場合

■「プリンタの選択」ウィンドウの場合

「プリンタ検索条件の一覧」ウィンドウが表示されます。

2 「追加」をクリックします。

「プリンタ検索条件の追加」ウィンドウが表示されます。

3 各項目を設定し、「OK」をクリックします。

■ IPv4 アドレスの場合

■ IPv6 アドレスの場合

表：設定項目一覧

No.	設定項目		説明
1	IPv4 の場合	ネットワークアドレス	プリンタの検索条件に追加するネットワークアドレスを指定します。「0.0.0.0」および「255.255.255.255」は指定できません。
2		サブネットマスク	プリンタの検索条件に追加するサブネットマスクを指定します。「0.0.0.0」および「255.255.255.255」は指定できません。
3	ポート番号		プリンタの検索条件に追加するポート番号を設定します。 設定範囲：1 〜 65535（初期設定：9313）
4	検索時間		プリンタの検索時間（タイムアウト時間）を設定します。 設定範囲：5 〜 30 秒（初期設定：5 秒）
5	IP アドレス		別セグメント上にあるプリンタの IPv6 アドレスを指定します。 次のアドレスは指定できません。 ・IPv6 の 16 進表示でないもの ・「0」 〜 「9」、「A」 〜 「F」、「：」以外 ・先頭が「0:0」「FFxx:」のアドレス

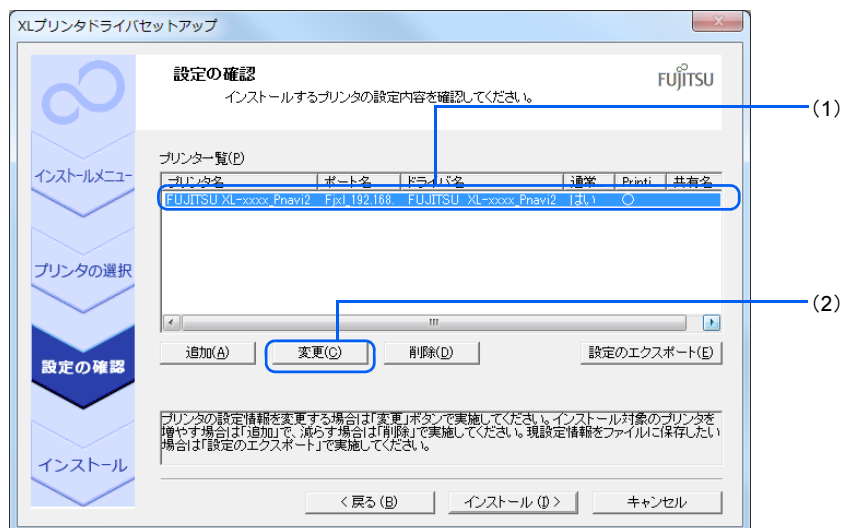
「プリンタ検索条件の一覧」ウィンドウに戻り、設定した内容が一覧に追加されます。

4 「OK」をクリックします。

「インストール方法の選択」ウィンドウ、または「プリンタの選択」ウィンドウに戻ります。

プリンタの設定情報の変更

プリンタの設定情報（プリンタ名や通常使うプリンタにするかどうか、など）を変更することができます。

1 **「プリンタドライバのインストール」（→ P.37）の手順 7（→ P.39）の「設定の確認」ウィンドウで、（1）設定情報を変更したいプリンタを選択し、（2）「変更」をクリックします。**

「プリンタ情報の変更」ウィンドウが表示されます。

2 **必要に応じて、設定を変更します。**

グレイアウトされている項目は変更できません。

表：設定項目一覧

No.	設定項目	説明
1	プリンタ名	プリンタ名を設定します。ここで設定したプリンタ名がアプリケーションの印刷ウィンドウなどに表示されます。
2	ドライバ名	出力先のプリンタに合わせて選択します。
3	ポート名	インストール方法や検索されたプリンタに適合するポートが表示されます。あらかじめ作成されている他のポートに変更することもできます。
4	Printianavi Network Port の追加	新規に作成する Printianavi ネットワークポートの、「ポート名」や「接続モード（IPP/LAN）」などの設定を行います。詳しくは、「Printianavi ネットワークポートの作成」（→ P.45）をご覧ください。
5	場所	共有プリンタの場合、プリンタのプロパティで設定されている場所が表示されます。変更はできません。
6	通常使うプリンタに設定する	通常使うプリンタにする場合は、☑にします。
7	Printianavi2 を使用する	双方向プリンティングシステム「Printianavi2」を使用する場合は、☑にします。
8	プリンタを共有する	プリンタを共有する場合は「プリンタを共有する」を☑にし、「共有設定」に「共有名」を入力します。 「他の OS のドライバをインストールする」を☑にすると、32 ビット版 OS と 64 ビット版 OS 間でのネットワークインストールができるようになります（2000 などの、64 ビット版の追加ドライバをサポートしていない OS は除きます）。ネットワークインストールの設定については、「クライアント側を設定する」（→ P.103）をご覧ください。

POINT

- 「Printianavi Network Port の追加」は、「プリンタ情報の変更」ウィンドウの「ポート名」で指定されているポートを作成します。Printianavi ネットワークポートのみを追加作成することはできませんので、ご注意ください。
  Printianavi ネットワークポートのみを追加したい場合は、まず「プリンタドライバのインストール」（→ P.37）の手順を行い、プリンタドライバのインストールを行ってください。その後、「Printianavi ネットワークポート管理」ウィンドウか、「デバイスとプリンター」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「プリンタと FAX」フォルダ内のプリントサーバーのプロパティから、追加してください。
  なお、「Printianavi ネットワークポート管理」の起動は、「スタート」ボタンまたは（スタート）→「プログラム」（または「すべてのプログラム」）→「Printia XL Utility」→「プリンタドライバ」→「Printianavi ネットワークポート管理」の順にクリックして行います。

3 「OK」をクリックします。

「設定の確認」ウィンドウに戻ります。

Printianavi ネットワークポートの作成

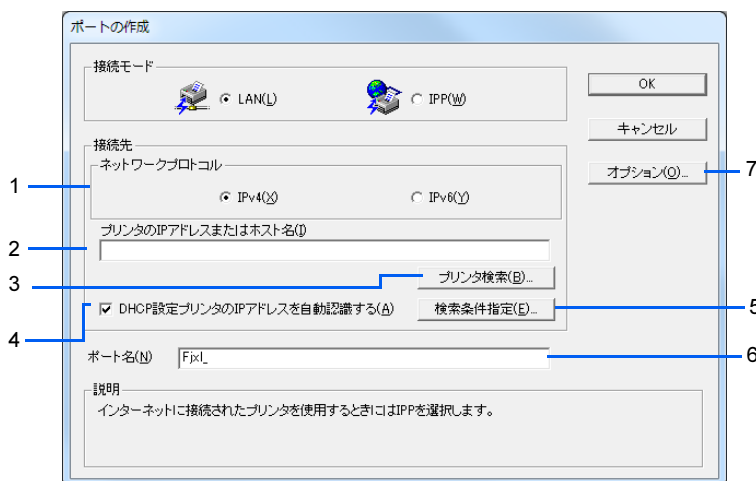
「プリンタの設定情報の変更」（→ P.43）の手順 2（→ P.43）の「プリンタ情報の変更」ウィンドウで「Printianavi Network Port の追加」をクリックすると、「ポートの作成」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、Printianavi ネットワークポートを、ポート名や接続モード（IPP/LAN）などを指定して作成できます。
「ポートの作成」ウィンドウの設定内容は、「接続モード」の「LAN」と「IPP」を切り替えることで変化します。それぞれ次の説明をご覧ください。

- 接続モードが LAN の場合
  「「ポートの作成」ウィンドウの詳細（接続モードが LAN の場合）」（→ P.46）
- 接続モードが IPP の場合
  「「ポートの作成」ウィンドウの詳細（接続モードが IPP の場合）」（→ P.50）

POINT

- プリンタドライバのインストール後に Printianavi ネットワークポートのみを追加したい場合は、管理者権限を持ったユーザーでログオンし、「Printianavi ネットワークポート管理」ウィンドウか、「デバイスとプリンター」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「プリンタと FAX」フォルダ内のプリントサーバーのプロパティから追加してください。
  なお、「Printianavi ネットワークポート管理」の起動は、次の手順で行います。
  - 7/2008/Vista の場合
    「スタート」ボタンまたは（スタート）→「すべてのプログラム」→「Printia XL Utility」→「プリンタドライバ」→「Printianavi ネットワークポート管理」を右クリックし、表示されるメニューから「管理者として実行」をクリックします。
    7 の場合は、「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。2008/Vista の場合は、「認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています」と表示されたら、「許可」をクリックします。
  - 2003/XP/2000 の場合
    「スタート」ボタン→「プログラム」（または「すべてのプログラム」）→「Printia XL Utility」→「プリンタドライバ」→「Printianavi ネットワークポート管理」の順にクリックします。

「ポートの作成」ウィンドウの詳細（接続モードが LAN の場合）

「接続モード」で「LAN」を選択した場合の、各ボタンや設定項目の詳細は次のとおりです。

1 ネットワークプロトコル

IPv4、または IPv6 を選択します。

・2003/XP/2000 では、ネットワークプロトコルは「IPv4」固定で変更できません。

2 プリンタの IP アドレスまたはホスト名

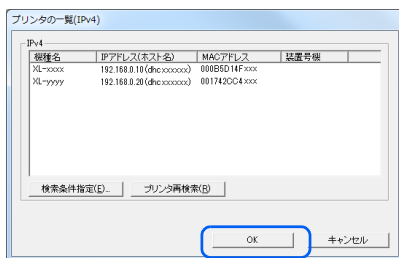
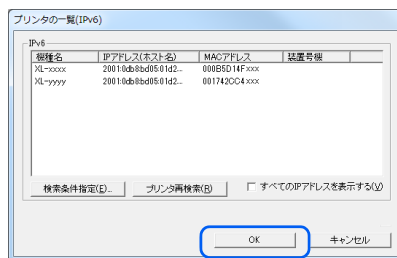
IPv4 アドレス、IPv6 アドレスまたはホスト名を入力します。

・IP アドレスを入力する場合は、「IPv4 アドレスを設定する」（→ P.24）または「IPv6 アドレスを設定する」（→ P.34）で設定した値を入力します。

・ホスト名は、プリンタを DNS サーバに登録している場合に設定されています。ホスト名を入力する場合は、ネットワーク管理者に確認してください（最大 255 バイト文字のホスト名を入力できます）。

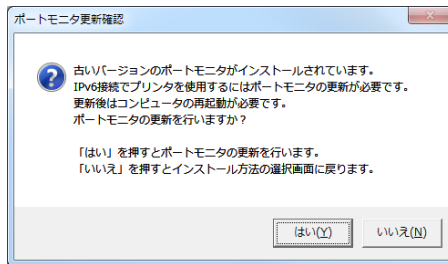
3 プリンタ検索

ネットワークに接続されている XL シリーズプリンタが次のように一覧表示されます。該当する IP アドレスを選択して「OK」をクリックすると、「プリンタの IP アドレスまたはホスト名」に反映されます。

・IPv4 アドレスの場合

・IPv6 アドレスの場合

POINT

・「ネットワークサービス設定」で「プリンタ検索」が「無効」に設定されている場合は、検索結果に表示されません。その場合は、プリンタの IP アドレスまたはホスト名を直接入力してください。「ネットワークサービス設定」については、「ネットワークサービス（対応プリンタ、管理者モードのみ）」（→ P.272）をご覧ください。
・「プリンタ検索条件」をクリックすると、ネットワーク上のプリンタの検索条件を指定するウィンドウが表示されます。詳しくは、「「プリンタの検索条件の一覧」ウィンドウ」（→ P.48）をご覧ください。

重要

・お使いの環境によっては、IPv6アドレスを使用する際に、ポートモニタの更新が必要です。「ポートモニタ更新確認」ウィンドウが表示されたら、よくお読みいただき「ポートモニタ」を更新してください。

4 DHCP 設定プリンタの IP アドレスを自動認識する（IPv4 アドレスのみ）

☑にすると、接続先プリンタの DHCP 自動取得の設定に合わせて、IP アドレスで通信するか MAC アドレスが一致したプリンタと通信するかを自動判別します。

・プリンタの DHCP 自動取得が有効のとき
MAC アドレスが一致するプリンタと通信します。DHCP による動的な IP アドレス設定によりプリンタの IP アドレスが変更されても、前回通信したプリンタを検索し、自動的に新しい IP アドレスで通信します。
・プリンタの DHCP 自動取得が解除されているとき
MAC アドレスの一致／不一致にかかわらず、接続先で指定した IP アドレスで通信します。

☐にすると、常に接続先で指定した IP アドレスで通信します。通常は☑にしたままで問題ありませんが、DHCP サーバからプリンタに割り当てる IP アドレスを固定した場合に、MAC アドレスの一致／不一致にかかわらず、接続先で指定した IP アドレスで通信したいときは☐にしてください。なお、DHCP サーバからプリンタに割り当てる IP アドレスを固定していない場合は、☐にしないでください。

POINT

・IPv6 アドレス環境には対応しておりません。
・ポートの作成時（または変更時）に、接続先の IP アドレス（またはホスト名）を「参照」から指定しないで直接入力し、一度も通信を行っていない場合は、プリンタ側の設定が取得できないため、初回通信時は入力された IP アドレス（またはホスト名）で接続します。
・「DHCP 設定プリンタの IP アドレスを自動認識する」を☑にしている状態で、プリンタの DHCP 自動取得の設定を変更した場合は、変更直後の通信では自動判別は行われません。いったん前回の設定で通信を行って情報を記録してから、変更された設定に従って動作します。
例：前回接続したときは「DHCP 自動取得が解除」だったが、今回接続した結果「DHCP 自動取得が有効」になっていた場合
（1）前回の通信結果から、IP アドレスで接続します。

（2）IP アドレスで接続したプリンタと通信（印刷）します。
（3）接続したプリンタの MAC アドレスを記録します。
（4）次回接続プリンタが「DHCP 自動取得が有効」のときは、MAC アドレスが一致するプリンタに接続します。次回接続プリンタが「DHCP 自動取得が解除」のときは、IP アドレスで接続します。

通常の運用では問題ありませんが、プリンタ交換、または設置場所を移動する場合には注意が必要です。詳しくは、「プリンタを交換、または設置場所を変更したら正しく印刷できない」（→ P.322）をご覧ください。

5 検索条件指定

ネットワーク上のプリンタの検索条件を指定するウィンドウが表示されます。詳しくは、「「プリンタの検索条件の一覧」ウィンドウ」（→ P.48）をご覧ください。

6 ポート名

OS に登録する任意のポート名を、日本語／半角英数字を含め、63 文字または全角 31 文字以内で指定します。ポート名を指定しなかった場合は、「プリンタの IP アドレスまたはホスト名」に指定した IP アドレスまたはホスト名の先頭に「Fjxl_」を付加したものがポート名として自動生成されます。

POINT

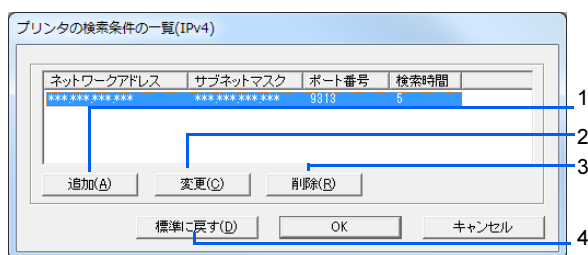
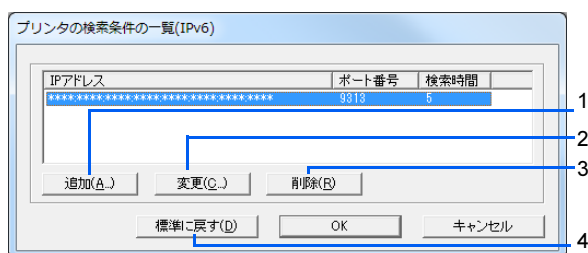
- バックスラッシュ（＼）、円記号（¥）、カンマ（,）が含まれるもの、および先頭が半角空白の文字列を、ポート名として指定することはできません。
- ポート名には環境依存文字（Unicode）を使用しないでください。ポート名の表示やプリンタの状態表示が、正しく行われない場合があります。

7 オプション

ポート番号とタイムアウト監視時間を指定するウィンドウが表示されます。詳しくは、「「オプション」ウィンドウ」（→ P.50）をご覧ください。

■「プリンタの検索条件の一覧」ウィンドウ

ネットワーク上の XL シリーズプリンタを検索するための条件（検索条件）を設定し、「OK」をクリックします。

- IPv4 アドレスの場合

- IPv6 アドレスの場合

1 追加

検索範囲を追加するためのウィンドウが表示されます。

・IPv4 アドレスの場合

・IPv6 アドレスの場合

各項目を設定して「OK」をクリックすると、設定した内容が「プリンタ検索条件の一覧」ウィンドウに追加されます。設定項目について詳しくは、「設定項目一覧」（→ P.42）をご覧ください。

2 変更

一覧に表示されている検索条件をクリックしてから、このボタンをクリックすると、検索条件を変更するためのウィンドウが表示されます。

・IPv4 アドレスの場合

・IPv6 アドレスの場合

各項目を設定して「OK」をクリックすると、変更した内容が「プリンタ検索条件の一覧」ウィンドウに追加されます。

3 削除

一覧に表示されている検索条件をクリックしてから、このボタンをクリックすると、登録されている検索条件が削除されます。

ただし、***.***.***.***（Pv4）、****:****:****:****:****:****:****:****（IPv6）は、設定するパソコンと同一のネットワークセグメント（検索範囲）であるため、削除できません。

4 標準に戻す

一覧に表示されている情報をすべて削除し、初期設定を表示します。初期設定は次のとおりです。

・ネットワークアドレス（IPv4）
..***.***（設定するパソコンと同一のネットワークセグメント）

・IP アドレス（IPv6）
****:****:****:****:****:****:****:****

・サブネットマスク
..***.***（設定するパソコンと同一のネットワークセグメント）

・ポート番号：9313

・検索時間：5 秒

■「オプション」ウィンドウ

ポート番号とプリンタタイムアウト監視時間を指定し、「OK」をクリックします。

1 ポート番号

プリンタとの通信で使用するポート番号を指定します。通常は、初期設定の「9313」のままにします。変更する場合は、プリンタ側の設定（印刷ポート番号）と同じ値にしてください。印刷ポート番号については、「TCP/IP 情報、または TCP/IP 情報（IPv4）と TCP/IP 情報（IPv6）」（→ P.262）をご覧ください。

2 プリンタタイムアウト監視時間

プリンタからの応答を待ち合わせる時間を、60 ～ 7200 秒の範囲で設定します。ここで指定した時間内にプリンタから何も応答がないときは、ネットワークが切断されているとみなし、エラーを通知します。初期設定は「300 秒」です。

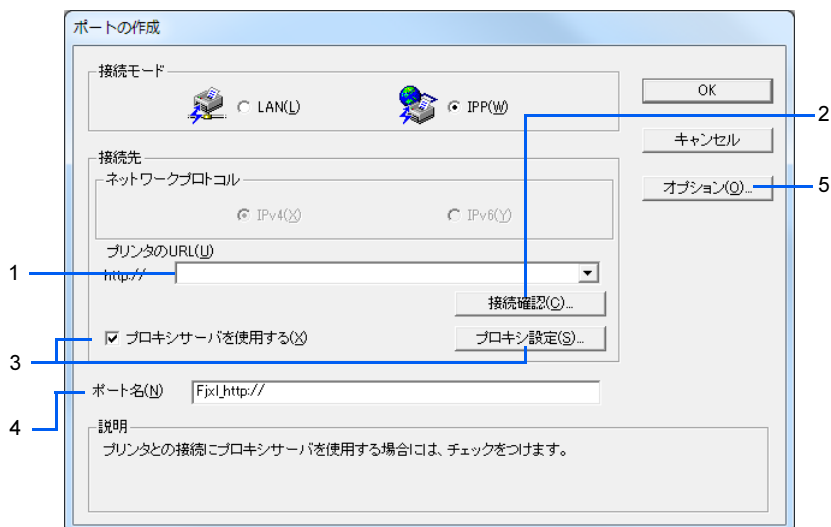
3 標準に戻す

初期設定に戻します。初期設定は、次のとおりです。

・ポート番号：9313

・プリンタタイムアウト監視時間：300 秒

「ポートの作成」ウィンドウの詳細（接続モードが IPP の場合）

「接続モード」で「IPP」を選択した場合の、各ボタンや設定項目の詳細は次のとおりです。

1 プリンタの URL

ご購入時の値は、「プリンタの IP アドレス、またはホスト名＋ドメイン名」＋「/ipp」です。プリンタの URL を変更する場合や、変更された URL の確認方法については、「URL を確認・設定する」（→ P.53）をご覧ください。

IPv6 のプリンタの IP アドレス設定は、IPv6 アドレスを [ ] で囲んでください。

例：http://[xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx]: ポート番号 /ipp

2 接続確認

プリンタがネットワークに接続され、電源が入っている状態のときにクリックすると、IPP ポートの接続を確認できます。プリンタと正常に接続できた場合は、次のウィンドウが表示されますので、「OK」をクリックしてください。

POINT

- 接続できない場合は、次の点を確認してください。
  - XL シリーズ以外のプリンタではありませんか
  - 指定したプリンタの URL が間違っていませんか
  - プロキシサーバの設定が間違っていませんか
  - プリンタはネットワークに接続され、電源が入っていますか
  - 設置場所は「Printia LASER Internet Service」（管理者モード）の「ネットワーク情報」→「SNMP 情報」で設定できます。

3 プロキシサーバを使用する／プロキシ設定

プリンタとの接続時にプロキシサーバを使用する場合に、☑にします。プロキシサーバのアドレスなどを設定する場合は、「プロキシ設定」をクリックします。詳しくは、「「プロキシ設定」ウィンドウ」（→ P.52）をご覧ください。

4 ポート名

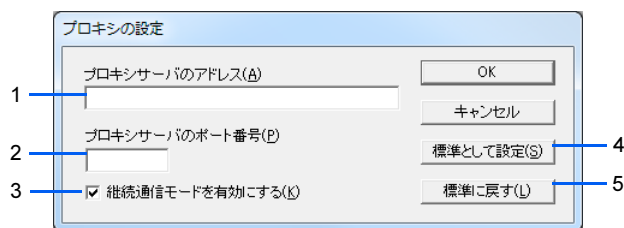
初期値として、「Fjxl_http://」＋「プリンタの URL」が設定されています。変更する場合は、日本語／半角英数字を含め、63 文字または全角 31 文字以内で指定します。

- バックスラッシュ（\）、円記号（¥）、カンマ（,）が含まれるもの、および先頭が半角空白の文字列を、ポート名として指定することはできません。
- ポート名には環境依存文字（Unicode）を使用しないでください。ポート名の表示やプリンタの状態表示が、正しく行われない場合があります。

5 オプション

タイムアウト監視時間を指定するウィンドウが表示されます。詳しくは、「「オプション」ウィンドウ」（→ P.52）をご覧ください。

■「プロキシ設定」ウィンドウ

プロキシサーバのアドレスなどを指定し、「OK」をクリックします。

1 プロキシサーバのアドレス

プロキシサーバの IP アドレス、またはネットワーク上のホスト名を入力します。

2 プロキシサーバのポート番号

プロキシサーバのポート番号を入力します。

3 継続通信モードを有効にする

プロキシサーバによっては、継続通信モードにすると正しく印刷できない場合があります。プリンタの接続を確認できているのに印刷時に通信エラーとなる、印刷データがプリンタに通信されないなどの現象が発生するときは、□にすると正常に印刷できることがあります。

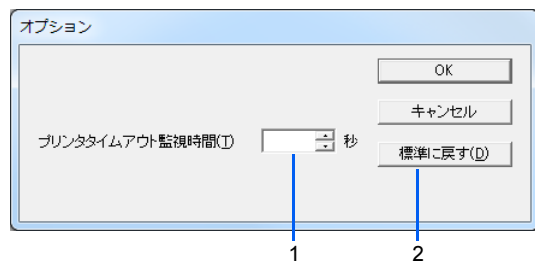
4 標準として設定

現在入力されている設定値を標準にします。

5 標準に戻す

「標準として設定」に指定した値に戻します。「標準として設定」が設定されていない場合は、空欄に戻します。

■「オプション」ウィンドウ

プリンタタイムアウト監視時間を指定し、「OK」をクリックします。

1 プリンタタイムアウト監視時間

プリンタからの応答を待ち合わせる時間を、60 ～ 7200 秒の範囲で設定します。ここで指定した時間内にプリンタから何も応答がないときは、ネットワークが切断されているとみなし、エラーを通知します。初期設定は「300 秒」です。

2 標準に戻す

初期設定に戻します。初期設定は、次のとおりです。

・プリンタタイムアウト監視時間：300 秒

■URL を確認・設定する

IPP で印刷する場合、プリンタに URL が設定されている必要があります。

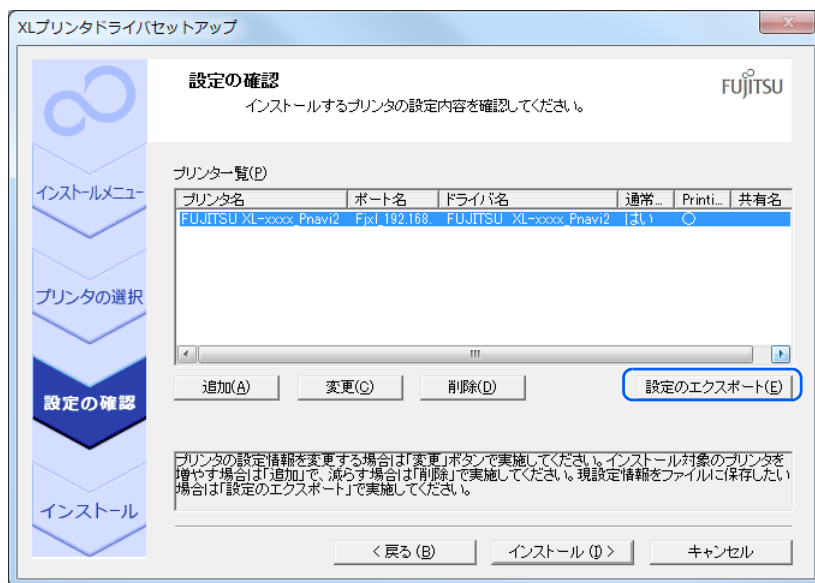
- ご購入時の状態では、初期値として「プリンタの IP アドレス、またはホスト名＋ドメイン名」＋「/ipp」が設定されています。「Printia LASER Internet Service」の「ネットワーク情報」→「基本情報」で、現在の設定値を確認してください。
  「Printia LASER Internet Service」について詳しくは、「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」（→ P.249）をご覧ください。
- 初期値を任意の URL に変更したい場合は、「Printia LASER Internet Service」（管理者モード）の「ネットワーク情報」→「基本情報」の設定を行ってください。※
  ※ URL の末尾が「/ipp」の場合、「基本情報」の「プリンタの URL」の表示では「/ipp」は省略されています。
  「Printia LASER Internet Service」について詳しくは、「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」（→ P.249）をご覧ください。

POINT

- プリンタの URL を確認するには、「Printia LASER InternetService」を利用する方法以外に、プリンタから設定情報を印刷する方法もあります。設定の印刷方法については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

設定のエクスポート

「設定のエクスポート」を行うと、インストールの設定がファイルに保存されます。このファイルを「インストール設定ファイル」と呼びます。インストール設定ファイルを利用すると、他のパソコンにプリンタドライバをインストールするときに、同じ設定を繰り返さずに済みます。
「設定のエクスポート」は次の手順で行います。

1 **「プリンタドライバのインストール」（→ P.37）の手順 7（→ P.39）の「設定の確認」ウィンドウで、「設定のエクスポート」をクリックします。**

「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。

2 **インストール設定ファイル（*.isf）の保存場所とファイル名を指定して「保存」をクリックします。**

共有サーバーや USB メモリなどに保存すると、他のパソコンに同じ設定でプリンタドライバをインストールする場合に利用しやすくなります。

インストール設定ファイルを使用したインストール方法については、「設定ファイルでインストールする」（→ P.69）をご覧ください。

5 LPR 印刷の場合

LPR 印刷を行う場合の設定方法を説明します。なお、プリンタに IP アドレスをまだ設定していない場合は、「IPv4 アドレスを設定する」（→ P.24）、または「IPv6 アドレスを設定する」（→ P.34）（IPv6 対応プリンタ（XL-4360/XL-9320）のみ）をご覧になり、設定しておいてください。

2

「Printia LASER プリンタユーティリティ」を使用して、プリンタドライバをインストールした後、ポート設定の変更を行います。

■2 種類のポート設定

ポート設定には、LPR Port を指定する方法と、Standard TCP/IP Port を指定する方法の 2 種類があります。

お使いのプリンタのモデル名が、下記に該当する場合は LPR Port、それ以外の場合は Standard TCP/IP Port による設定を行ってください。

- XL-5250/5310/5320/5330/5340/5350/5370/5510/5710/5720/5730/5750/5770/5810/6010/6100/6200/6700

設定方法については、次をご覧ください。

- 「LPR Port で設定する場合」（→ P.55）
- 「Standard TCP/IP Port で設定する場合」（→ P.61）

POINT

- LPR 印刷の場合、双方向プリンティングシステム「Printianavi2」は使用できません。あらかじめご了承ください。

LPR Port で設定する場合

サービスの組み込み

プリンタドライバをインストールする前に、サービスを組み込みます。

■7/2008/Vista の場合

「LPR ポートモニタ」を組み込みます。

1. **「スタート」ボタンまたは（スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。**

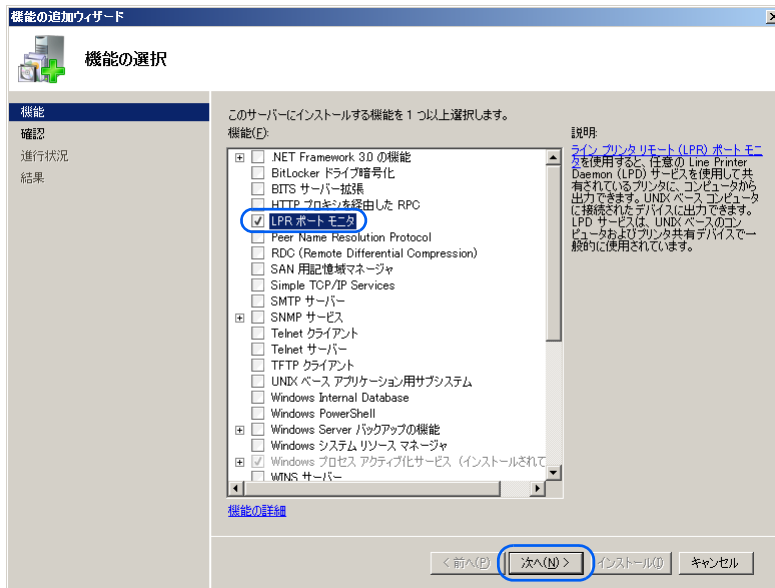
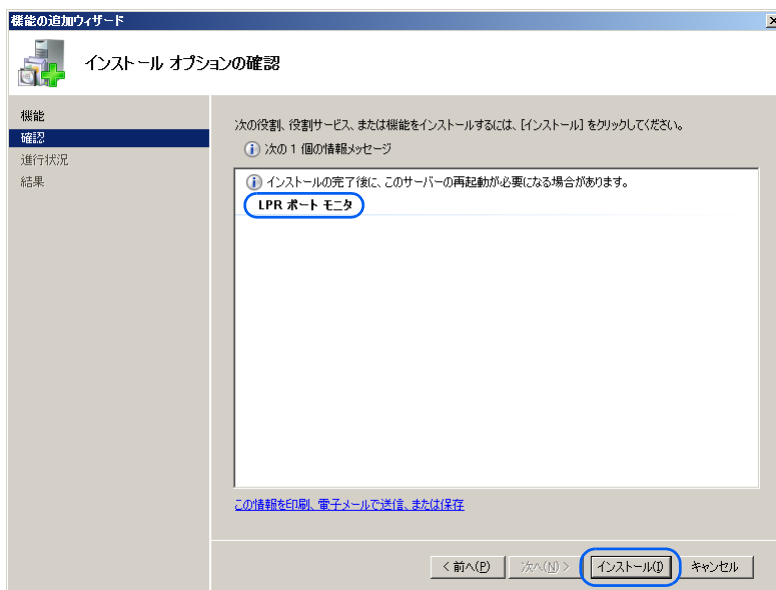
2. **「プログラム」→「プログラムと機能」の「Windows の機能の有効化または無効化」の順にクリックします。**

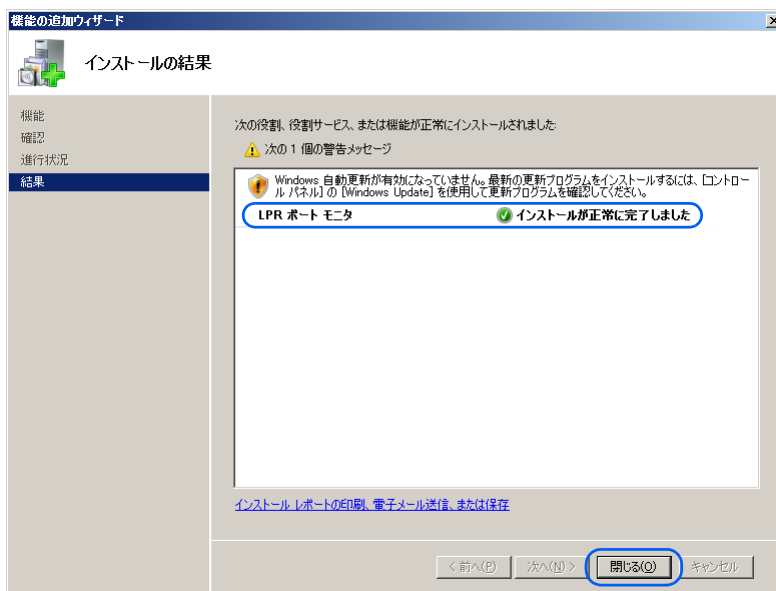
   Vista の場合は、「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されます。「続行」をクリックしてください。

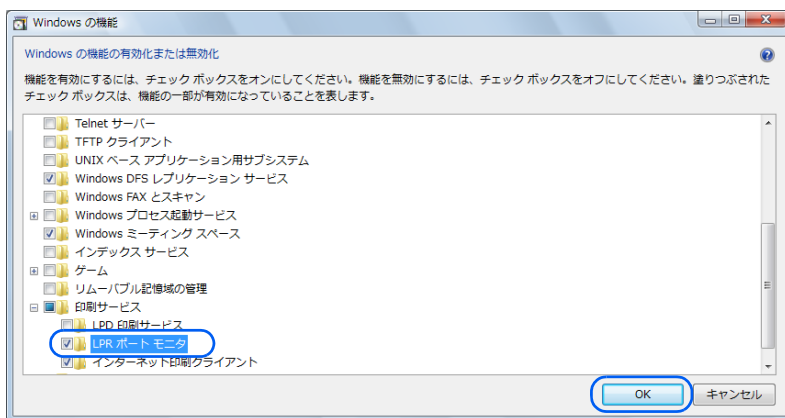
3 次の操作を行います。

■2008 の場合

1. 「サーバーマネージャ」ウィンドウで「機能の概要」の「機能の追加」をクリックします。

2. 「LPR ポートモニタ」をクリックして☑にし、「次へ」をクリックします。

3.「LPR ポートモニタ」が表示されていることを確認し、「インストール」をクリックします。

LPR ポートモニタのインストールが開始されます。

4. LPR ポートモニタが正常にインストールされたことを確認し、「閉じる」をクリックします。

■ 7/Vista の場合

1. 「Windows の機能」の「印刷とドキュメントサービス」、または「印刷サービス」をダブルクリックします。
2. 「LPR ポートモニタ」をクリックして☑にし、「OK」をクリックします。

続いて、プリンタドライバをインストールします（→ P.59）。

■ 2003/XP/2000 の場合

「UNIX 用印刷サービス」と「簡易 TCP/IP サービス」を組み込みます。

1 「オプションネットワークコンポーネント」ウィザードを表示します。

■ 2003 の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックし、「ネットワーク接続」を右クリックして表示されるメニューから「開く」をクリックします。
2. 「詳細設定」メニュー→「オプションネットワークコンポーネント」の順にクリックします。

■ XP の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワーク接続」の順にクリックします。
2. 「詳細設定」メニュー→「オプションネットワークコンポーネント」の順にクリックします。

■ 2000 の場合

1. 「スタート」ボタン→「設定」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」の順にクリックします。
2. 「詳細設定」メニュー→「オプションネットワークコンポーネント」の順にクリックします。

2 「UNIX 用印刷サービス」が組み込まれているか確認します。

「そのほかのネットワークファイルと印刷サービス」を選択し、「詳細」をクリックして「UNIX 用印刷サービス」が☑になっているか確認します。

組み込まれていないときは☑にして、「OK」をクリックします。すでに組み込まれているときは、「キャンセル」をクリックします。

3 「簡易 TCP/IP サービス」が組み込まれているか確認します。

「ネットワークサービス」を選択し、「詳細」をクリックして「簡易 TCP/IP サービス」が☑になっているか確認します。

組み込まれていないときは☑にして、「OK」をクリックします。すでに組み込まれているときは、「キャンセル」をクリックします。

以降は、「次へ」をクリックし、ウィンドウの指示に従って操作してください。

続いて、プリンタドライバをインストールします（→ P.59）。

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバを、ローカルプリンタとしてインストールします。インストール方法については、次をご覧ください。

- 7/2008 R2 の場合

  「USB インターフェースで接続する」（→ P.75）の「7/2008 R2 の場合」（→ P.75）をご覧ください。
  ただし、手順 5（→ P.77）では、POINT に記載している「ポートを選択してインストールする」を選択してください。
- 2008（R2 以外）/Vista/2003/XP/2000 の場合

  「パラレルインターフェースで接続する」（→ P.88）の「2008（R2 以外）/Vista/2003/XP/2000 の場合」（→ P.88）をご覧ください。

プリンタドライバのインストールが完了したら、続いて、ポート設定の変更を行います。

ポート設定の変更

プリンタのポート設定を変更します。

1 プリンタがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。

2 プリンタを選択します。

■ 7/2008 R2 の場合

1. （スタート）→「デバイスとプリンター」の順にクリックします。
2. LPR 印刷を行うプリンタを選択します。

■ 2008（R2 以外）/Vista の場合

1. 「スタート」ボタンまたは（スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
3. LPR 印刷を行うプリンタを選択します。

■ 2003/XP の場合

1. 「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。
2. LPR 印刷を行うプリンタを選択します。

■ 2000 の場合

1. 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
2. LPR 印刷を行うプリンタを選択します。

2

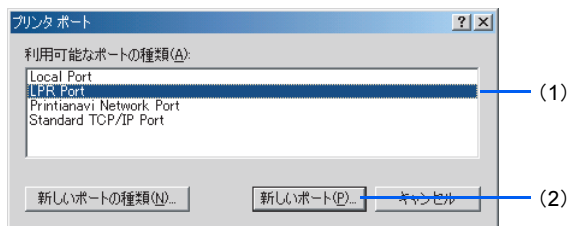
3 「ファイル」メニュー（または「整理」メニュー）→「プリンターのプロパティ」（または「プロパティ」）の順にクリックします。

プリンタのプロパティウィンドウが表示されます。

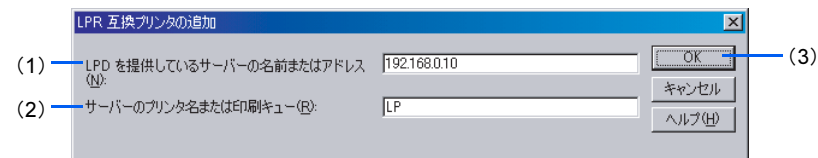
4 「ポート」タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」を☐にします。

5 「ポートの追加」をクリックします。

「プリンタポート」ウィンドウが表示されます。

6 (1)「LPR Port」を選択し、(2)「新しいポート」をクリックします。

「LPR 互換プリンタの追加」ウィンドウが表示されます。

7 (1) プリンタの IP アドレスを入力し、(2)「LP」を入力し、(3)「OK」をクリックします。

・IP アドレスは、IPv4 アドレスの場合は半角数字とピリオドで入力してください。
・「サーバーのプリンタ名または印刷キュー」には、必ず半角英字で「LP」と入力してください。

8 **印刷データのスプール方法を変更します。**

プリンタのプロパティから「詳細設定」タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。
設定が終わったら「OK」をクリックし、プリンタのプロパティを終了します。

以上で、LPR Port の設定は完了です。

Standard TCP/IP Port で設定する場合

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバを、ローカルプリンタとしてインストールします。インストール方法については、次をご覧ください。

- 7/2008 R2 の場合
  「USB インターフェースで接続する」（→ P.75）の「7/2008 R2 の場合」（→ P.75）をご覧ください。ただし、手順 5（→ P.77）では、POINT に記載している「ポートを選択してインストールする」を選択してください。
- 2008（R2 以外）/Vista/2003/XP/2000 の場合
  「パラレルインターフェースで接続する」（→ P.88）の「2008（R2 以外）/Vista/2003/XP/2000 の場合」（→ P.88）をご覧ください。

プリンタドライバのインストールが完了したら、続いて、ポート設定の変更を行います。

ポート設定の変更

プリンタのポート設定を変更します。

1 **プリンタがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。**

2 **プリンタを選択します。**

■7/2008 R2 の場合

1. （スタート）→「デバイスとプリンター」の順にクリックします。
2. LPR 印刷を行うプリンタを選択します。

■2008（R2 以外）/Vista の場合

1. 「スタート」ボタンまたは（スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
3. LPR 印刷を行うプリンタを選択します。

■2003/XP の場合

1. 「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。
2. LPR 印刷を行うプリンタを選択します。

■2000 の場合

1. 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
2. LPR 印刷を行うプリンタを選択します。

3 「ファイル」メニュー（または「整理」メニュー）→「プリンターのプロパティ」（または「プロパティ」）の順にクリックします。

プリンタのプロパティウィンドウが表示されます。

4 「ポート」タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」を☐にします。

5 「ポートの追加」をクリックします。

「プリンタポート」ウィンドウが表示されます。

6 (1)「Standard TCP/IP Port」を選択し、(2)「新しいポート」をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。

7 「次へ」をクリックします。

「ポートの追加」ウィンドウが表示されます。

8 (1)プリンタの IP アドレスを入力し、(2)「次へ」をクリックします。

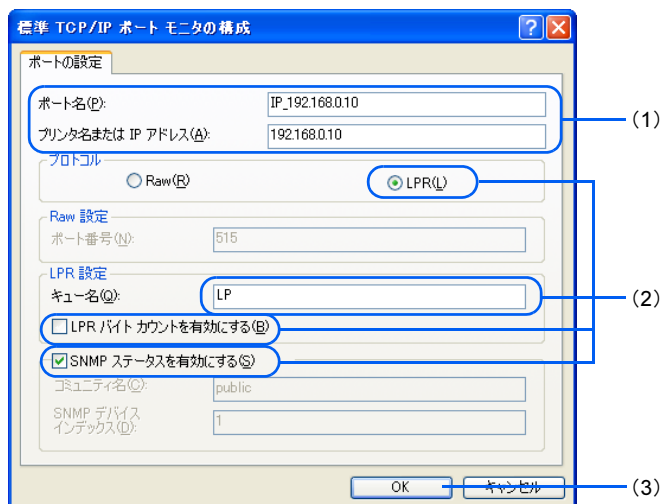
・IPv4 アドレスの例(プリンタの IPv4 アドレスが 192.168.0.10 の場合)
192.168.0.10
・IPv6 アドレスの例(IPv6 対応プリンタ(XL-4360/XL-9320)のみ)
(プリンタの IPv6 アドレスが fe80:0000:0000:0000:0280:87ff:fe9b:1234 の場合)
fe80::0280:87ff:fe9b:1234

IP アドレスを入力すると、「ポート名」にも IP アドレスが自動的に反映されます。

POINT

・IPv6 アドレスは、7/2008/Vista でのみ設定できます。

9 「カスタム」を選択し、「設定」をクリックします。

10 (1)「ポート名」「プリンタ名または IP アドレス」を確認し、(2)「プロトコル」を「LPR」、「キュー名」を「LP」、「LPR バイトカウントを有効にする」を☐に、「SNMP ステータスを有効にする」を☑にし、(3)「OK」をクリックします。

11 「次へ」をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。

12 「完了」をクリックします。

以上で、Standard TCP/IP Port の設定は完了です。

6 RAW 印刷の場合

RAW 印刷を行う場合の設定方法を説明します。なお、プリンタに IP アドレスをまだ設定していない場合は、「IPv4 アドレスを設定する」（→ P.24）、または「IPv6 アドレスを設定する」（→ P.34）（IPv6 対応プリンタ（XL-4360/XL-9320）のみ）をご覧になり、設定しておいてください。

2

POINT

- RAW 印刷の場合、双方向プリンティングシステム「Printianavi2」は使用できません。あらかじめご了承ください。

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバを、ローカルプリンタとしてインストールします。インストール方法については、次をご覧ください。

- 7/2008 R2 の場合
  「USB インターフェースで接続する」（→ P.75）の「7/2008 R2 の場合」（→ P.75）をご覧ください。ただし、手順 5（→ P.77）では、POINT に記載している「ポートを選択してインストールする」を選択してください。
- 2008（R2 以外）/Vista/2003/XP/2000 の場合
  「パラレルインターフェースで接続する」（→ P.88）の「2008（R2 以外）/Vista/2003/XP/2000 の場合」（→ P.88）をご覧ください。

プリンタドライバのインストールが完了したら、続いて、ポート設定の変更を行います。

ポート設定の変更

プリンタのポート設定を変更します。

1 プリンタがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。

2 プリンタを選択します。

■ 7/2008 R2 の場合
1. （スタート）→「デバイスとプリンター」の順にクリックします。
2. RAW 印刷を行うプリンタを選択します。

■ 2008（R2 以外）/Vista の場合
1. 「スタート」ボタンまたは（スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
3. RAW 印刷を行うプリンタを選択します。

■2003/XP の場合

1.「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。
2. RAW 印刷を行うプリンタを選択します。

■2000 の場合

1.「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
2. RAW 印刷を行うプリンタを選択します。

3 「ファイル」メニュー（または「整理」メニュー）→「プリンターのプロパティ」（または「プロパティ」）の順にクリックします。

プリンタのプロパティウィンドウが表示されます。

4 「ポート」タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」を☐にします。

5 「ポートの追加」をクリックします。

「プリンタポート」ウィンドウが表示されます。

6 （1）「Standard TCP/IP Port」を選択し、（2）「新しいポート」をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。

7 「次へ」をクリックします。

「ポートの追加」ウィンドウが表示されます。

8 (1) プリンタの IP アドレスを入力し、(2)「次へ」をクリックします。

・IPv4 アドレスの例(プリンタの IPv4 アドレスが 192.168.0.10 の場合)
192.168.0.10

・IPv6 アドレスの例(IPv6 対応プリンタ(XL-4360/XL-9320)のみ)
(プリンタの IPv6 アドレスが fe80:0000:0000:0000:0280:87ff:fe9b:1234 の場合)
fe80::0280:87ff:fe9b:1234

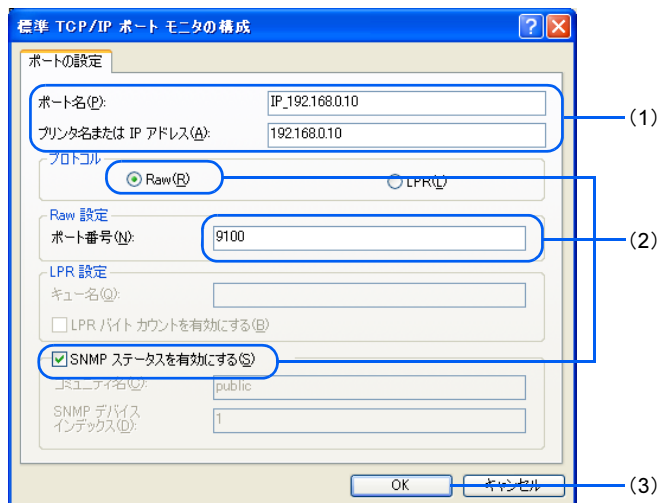
IP アドレスを入力すると、「ポート名」にも IP アドレスが自動的に反映されます。

2

POINT

・IPv6 アドレスは、7/2008/Vista でのみ設定できます。

9 「カスタム」を選択し、「設定」をクリックします。

10 (1)「ポート名」「プリンタ名または IP アドレス」を確認し、(2)「プロトコル」を「Raw」、「ポート番号」を「9100」、「SNMP ステータスを有効にする」を☑にし、(3)「OK」をクリックします。

11 「次へ」をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。

12 「完了」をクリックします。

以上で、RAW 印刷の設定は完了です。

設定ファイルでインストールする

ドライバインストール時に「設定のエクスポート」（→ P.54）をクリックして保存したインストール設定ファイル（*.isf）を利用してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。

1 **プリンタの電源を入れます。**

2 **管理者権限を持ったユーザーでログオンします。**

3 **「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。**

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- 「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 7/2008/Vista の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。

4 **メニューから「プリンタドライバ」をクリックします。**

■7 の場合

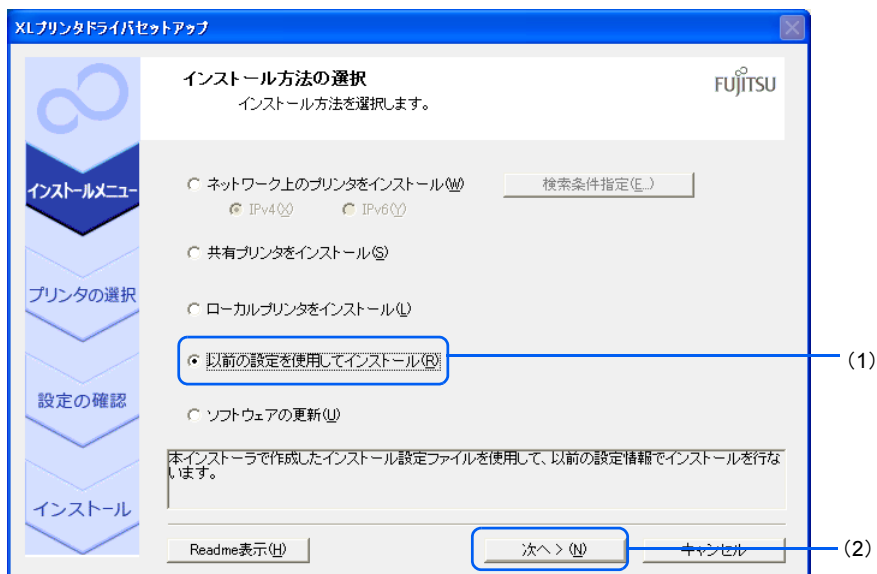
「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

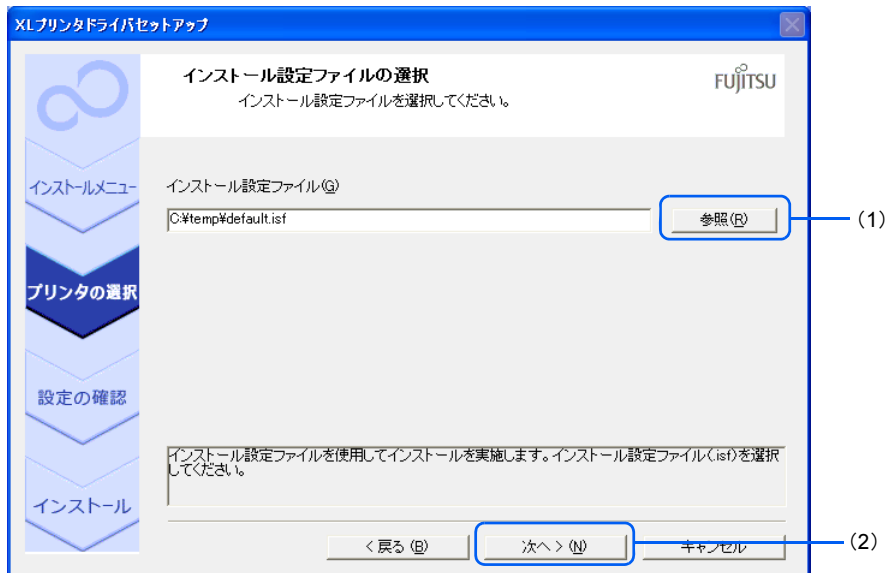
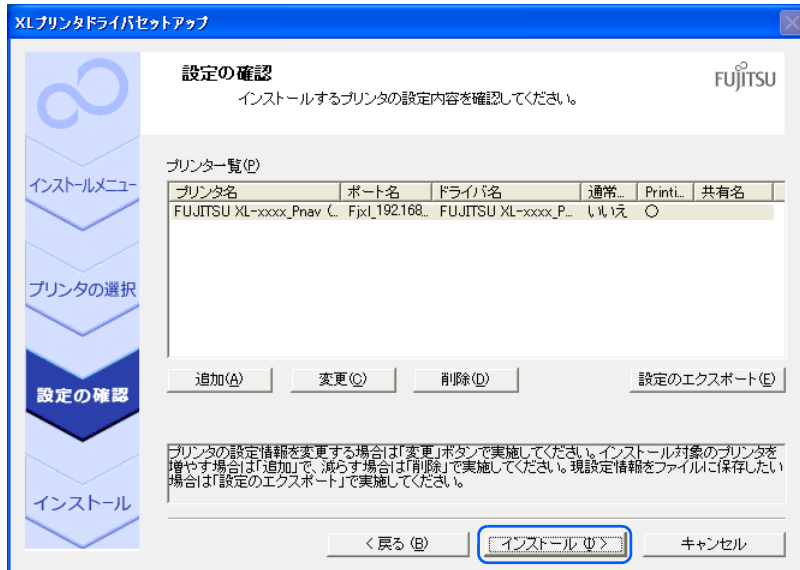
■2008/Vista の場合

「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックします。インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

■2003/XP/2000 の場合

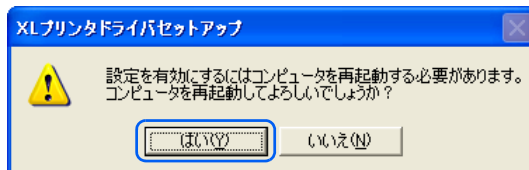
インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

5 （1）「以前の設定を使用してインストール」を選択して、（2）「次へ」をクリックします。

「ファイルの設定」ウィンドウが表示されます。

6 （1）「参照」をクリックして、インストール設定ファイルを選択し、（2）「次へ」をクリックします。

7 設定内容を確認して、「インストール」をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。しばらくすると、「インストール完了」ウィンドウが表示されます。

8 「完了」をクリックします。

「設定を有効にするにはコンピュータを再起動する必要があります。コンピュータを再起動してよろしいでしょうか？」と表示されます。

9 「はい」をクリックして、パソコンを再起動します。

第 3 章

ネットワークを利用しないプリンタの接続

この章では、ネットワークを利用せずにプリンタを接続し（プリンタとパソコンを直接接続し）、プリンタドライバ（Printia XL ドライバ）をインストールする方法を説明します。

1　接続インターフェースについて

パソコンとプリンタを直接接続する場合、USB インターフェース、またはパラレルインターフェースを利用します。どちらのインターフェースで接続するかは、お使いのパソコン・プリンタが備えるインターフェースや、パソコンの OS などの条件で変わってきます。ここでは、各インターフェースの動作条件、およびプリンタドライバのインストール方法の概要を説明します。

プリンタが備えるインターフェースおよび接続方法については、『ハードウェアガイド』の「第 2 章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。お使いのパソコンが備えるインターフェースや OS については、パソコンに添付のマニュアルをご覧ください。

重要

・プリンタドライバインストール前に次の表をご確認いただき、お使いのパソコンや OS に適合したインストール方法を選択してください。

USB インターフェースによる接続

表：USB インターフェース接続のための動作条件、およびセットアップ方法

項目	内容
パソコン	USB インターフェースを搭載している PC/AT 互換機
OS	7/2008/Vista/2003/XP/2000
インストール方法	・7/2008 R2 セットアッププログラムによって、インストールを行います。 ・2008（R2 以外）/Vista/2003/XP/2000 プラグアンドプレイによって、インストールを行います。

パラレルインターフェースによる接続

表：パラレルインターフェース接続のための動作条件、およびインストール方法

項目	内容
パソコン	双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機
OS	7/2008/Vista/2003/XP/2000
インストール方法	セットアッププログラムによって、インストールを行います。

2 USB インターフェースで接続する

USB 接続する場合は、OS により、ドライバのインストール方法が異なります。
7/2008 R2 の場合は、セットアッププログラムを使用して、プリンタドライバをインストールします。
上記以外の OS の場合は、プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールします。

・「7/2008 R2 の場合」（→ P.75）
・「2008（R2 以外）/Vista の場合」（→ P.78）
・「2003/XP の場合」（→ P.82）
・「2000 の場合」（→ P.85）

3

POINT

・USB インターフェースで接続する場合、「Printianavi2」を同時にインストールできません。プリンタドライバのインストール後に、手動でインストールしてください（→ P.93）。

7/2008 R2 の場合

「Printia LASER プリンタユーティリティ」からプリンタドライバのインストーラを起動してインストールを行います。
インストール手順は、USB 接続の場合と、パラレルインターフェース接続の場合で、共通です。

重要

・プリンタとパソコンを接続する前に、プリンタドライバをインストールする必要があります。
セットアッププログラムで「プリンタをインストールする準備ができました。」と表示されてから、プリンタとパソコンを接続してください。
・プリンタドライバのインストール前にプリンタとパソコンを接続してしまった場合、セットアッププログラムによるプリンタドライバのインストールはできません。この場合は、「USB インターフェース接続のときにプリンタが検出されない」（→ P.295）の手順で、インストールを行ってください。

1 **管理者権限を持ったユーザーでログオンします。**

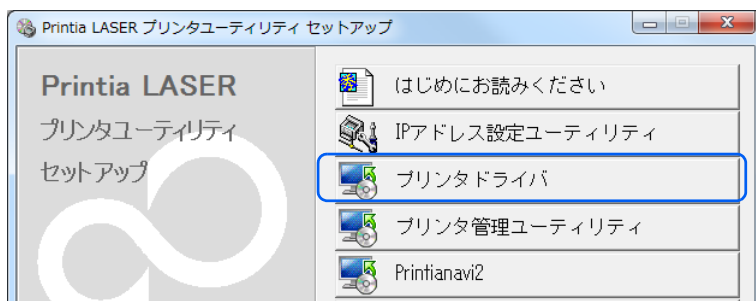
2 **「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。**

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

・「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。

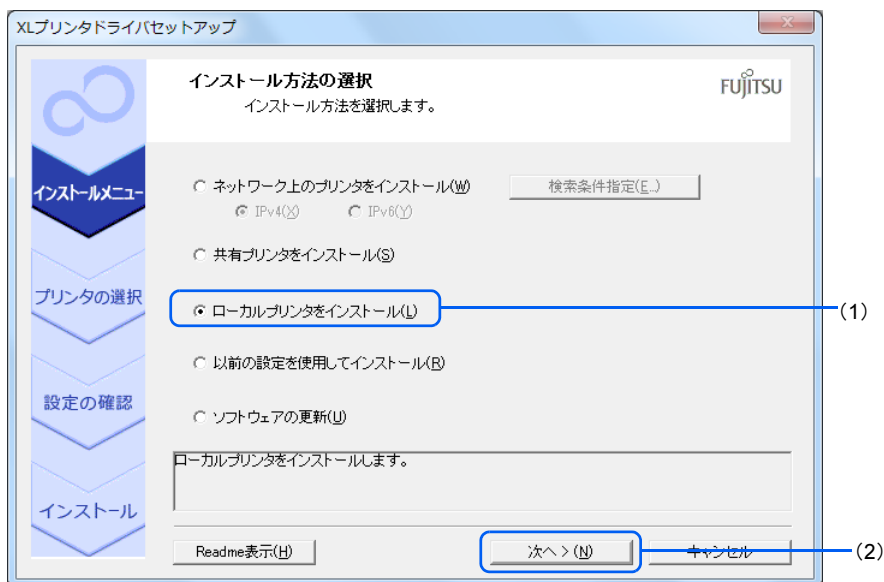
・自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。
・「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。

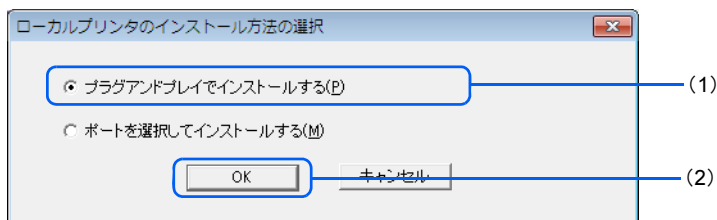
3 メニューから「プリンタドライバ」をクリックします。

■7 の場合

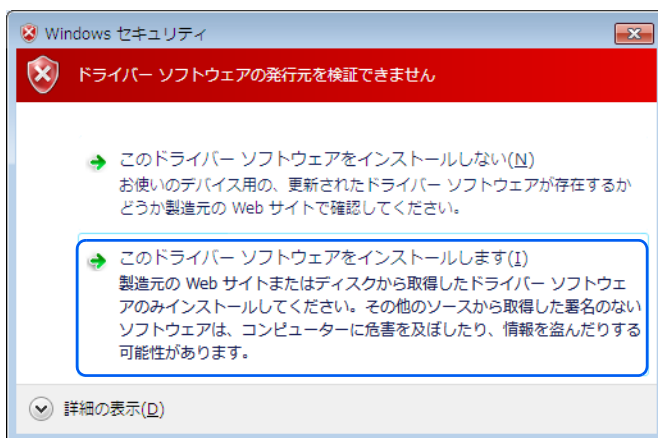
「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

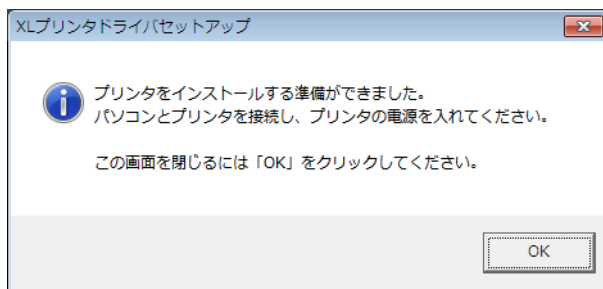
■2008 の場合

「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックします。インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

4 (1)「ローカルプリンタをインストール」を選択して、(2)「次へ」をクリックします。

「ローカルプリンタのインストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

5 (1)「プラグアンドプレイでインストールする」を選択して、(2)「OK」をクリックします。

POINT

- 既存の印刷ポートを使用したい場合は「ポートを選択してインストールする」を選択してください。
  「プリンタの選択」ウィンドウが表示されたら、次の手順でインストールを行います。
  1. 「プリンタの選択」ウィンドウで、インストールするプリンタの「装置名」を選択し、「次へ」をクリックします。
  2. 「設定の確認」ウィンドウで、インストール内容を確認し、必要に応じて設定を行います。
  3. 「インストール」をクリックします。
- 「Windows セキュリティ」ウィンドウが表示された場合は、「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックします。

「XL プリンタドライバセットアップ」ウィンドウが表示されます。

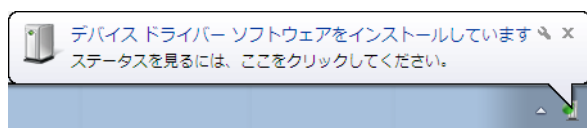
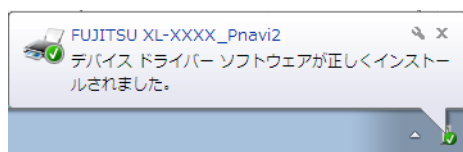
6 内容を確認して、「OK」をクリックします。

7 プリンタとパソコンを接続します。

プリンタとパソコンを接続する方法については、『ハードウェアガイド』の「第 2 章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。

重要

パラレルインターフェース接続の場合

プリンタとパソコンの電源を切った状態で接続し、プリンタ、パソコンの順番で電源を入れてください。

画面右下の通知領域に「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」と表示されます。

しばらくすると、「デバイスドライバーソフトウェアが正しくインストールされました」と表示されます。
何もしなくても、しばらくすると吹き出しは消えます。

「デバイスとプリンター」フォルダにプリンタアイコンが追加されていれば、プリンタドライバのインストールは完了です。

8 Windows を再起動します。

（スタート）→ シャットダウン の ▷ →「再起動」の順にクリックします。

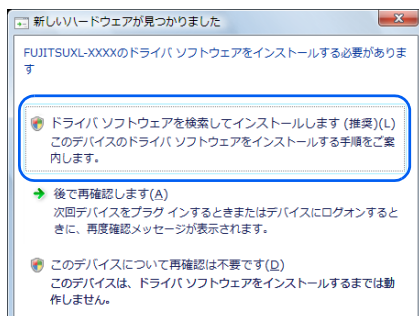
以上で、プリンタドライバのインストールは完了です。続いて、「Printianavi2」を手動でインストールします（→ P.93）。

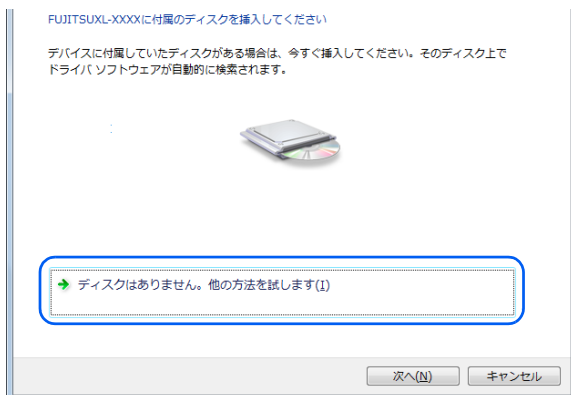
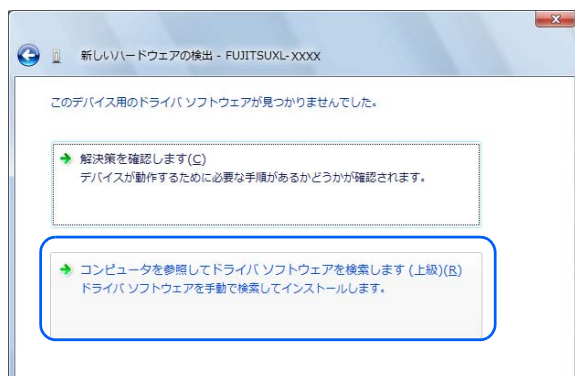
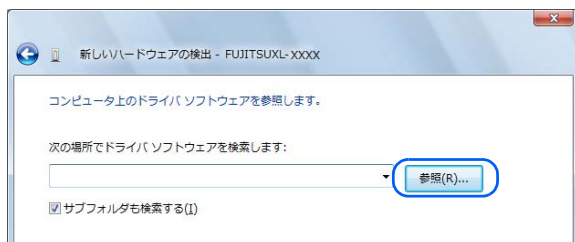
2008（R2 以外）/Vista の場合

1 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 プリンタの電源を入れてから、パソコンとプリンタを USB ケーブルで接続します。

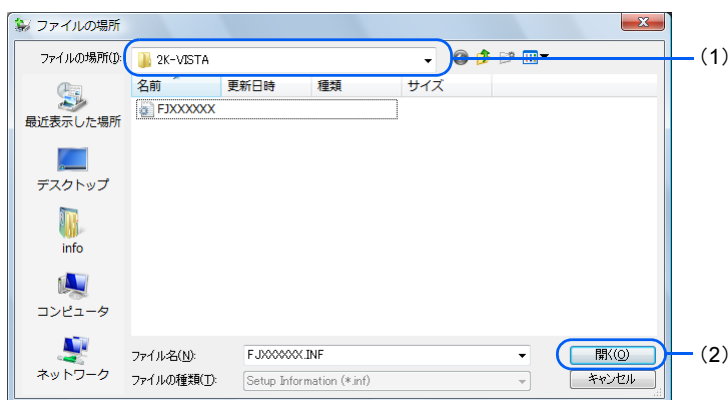
プリンタに USB ケーブルを接続する方法については、『ハードウェアガイド』の「第 2 章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。

3 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」をクリックします。

「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されます。Printia XL シリーズのプリンタドライバであることを確認し、「続行」をクリックしてください。

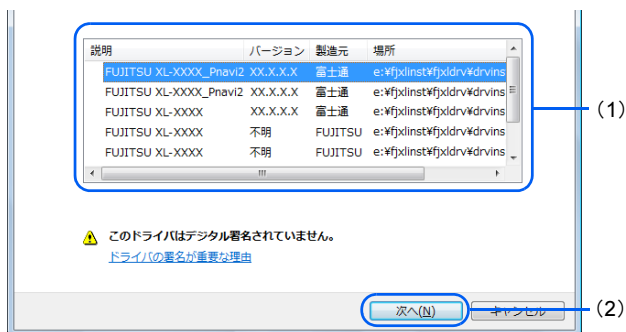
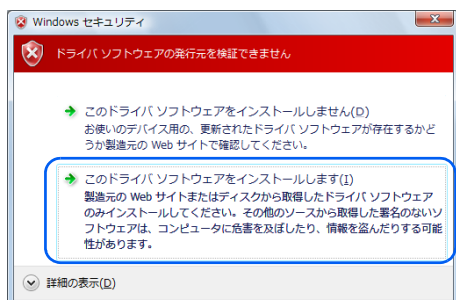
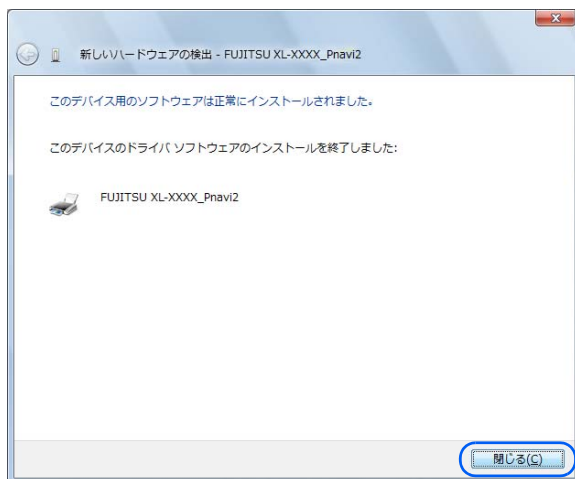
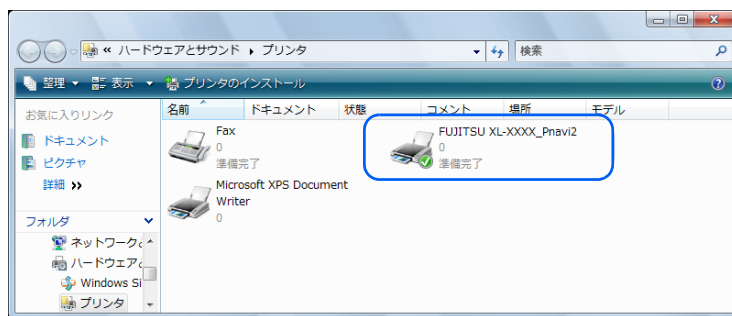
4 「ディスクはありません。他の方法を試します」をクリックします。

5 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」をクリックします。

6 「参照」をクリックします。

7 「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

8 メニューから「終了」をクリックします。

9 （1）プリンタドライバが格納されているフォルダ「D:¥FJXLINST¥FJXLDRV¥DRVINST¥2K-VISTA」（CD-ROM ドライブが D: の場合）を選択し、（2）「開く」をクリックします。

「新しいハードウェアの検出」ウィンドウに戻ります。

10 「次の場所でドライバソフトウェアを検索します」に選択したフォルダが入力されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

11 (1) インストールするプリンタをクリックし、(2)「次へ」をクリックします。

12 「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

13 「閉じる」をクリックします。

「プリンタ」フォルダにプリンタアイコンが追加されれば、プリンタドライバのインストールは完了です。

14 Windows を再起動します。

■2008 の場合

「スタート」ボタン→ [⏻][🔒][▸] の [▸] →「再起動」の順にクリックし、「シャットダウンイベントの追跡ツール」でオプションを選択して「OK」をクリックします。

■Vista の場合

（スタート）→ [⏻][🔒][▸] の [▸] →「再起動」の順にクリックします。

以上で、プリンタドライバのインストールは完了です。続いて、「Printianavi2」を手動でインストールします（→ P.93）。

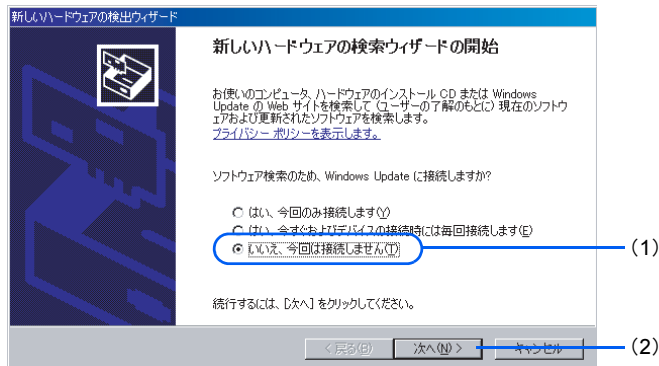
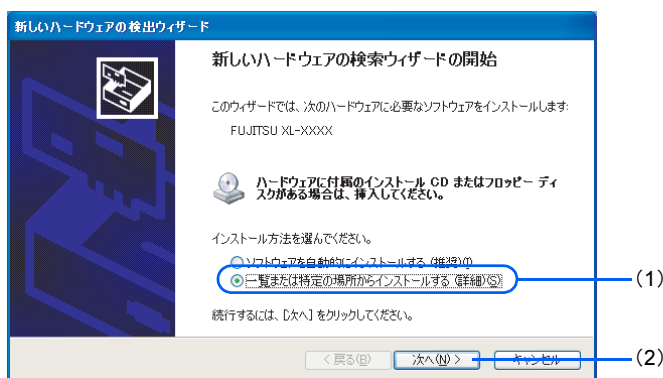
2003/XP の場合

1 管理者権限でログオンします。

2 プリンタの電源を入れてから、パソコンとプリンタを USB ケーブルで接続します。

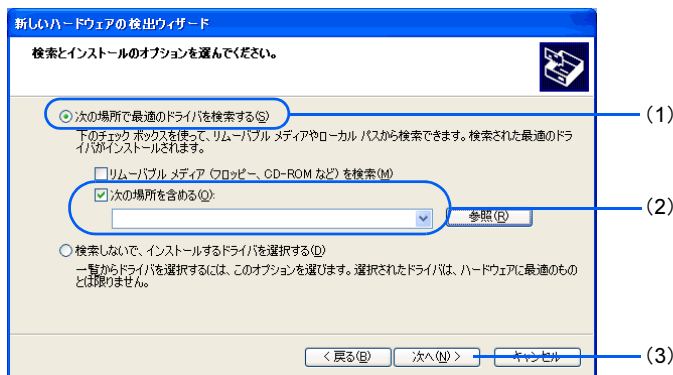
プリンタに USB ケーブルを接続する方法については、『ハードウェアガイド』の「第 2 章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。

画面右下の通知領域に「新しいハードウェアが見つかりました」と表示された後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが表示されます。なお、環境によっては、「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが表示されない場合があります。この場合は、手順 4（→ P.83）に進んでください。

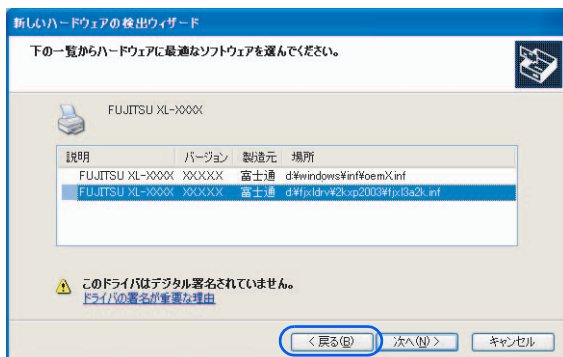
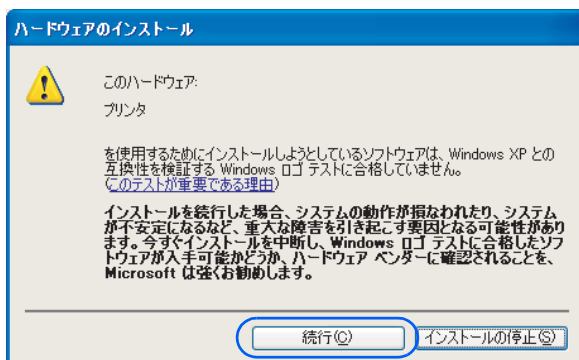
3 (1)「いいえ、今回は接続しません」を選択し、(2)「次へ」をクリックします。

4 (1)「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、(2)「次へ」をクリックします。

5 「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

6 メニューから「終了」をクリックします。

7 **(1)「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、(2)「次の場所を含める」を☑にして「D:¥FJXLINST¥FJXLDRV¥DRVINST¥2K-VISTA」(CD-ROM ドライブが D: の場合) と入力して、(3)「次へ」をクリックします。**

POINT

環境によっては、次のウィンドウが表示される場合があります。

・次のウィンドウが表示されたときは、「戻る」をクリックし、手順 4 (→ P.83) からインストールしてください。

・次のウィンドウが表示されたときは、「続行」をクリックしてください。

8 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し､｢完了｣をクリックします。

POINT

通常使うプリンタに設定する場合は、次の手順を行います。
1. 「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。
2. 「FUJITSU XL-XXXX」アイコンをダブルクリックします。
3. 「プリンタ」メニュー→「通常使うプリンタに設定」の順にクリックします。

9 Windows を再起動します。

■2003 の場合

「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックし、「シャットダウンイベントの追跡ツール」でオプションを選択して「OK」をクリックします。

■XP の場合

「スタート」ボタン→「シャットダウン」または「終了オプション」の順にクリックします。

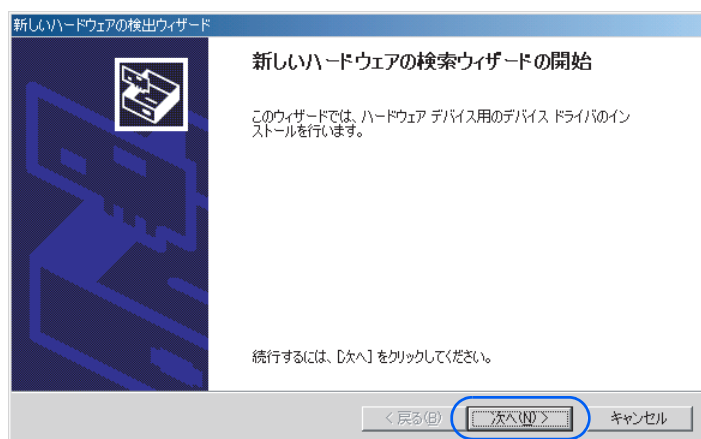
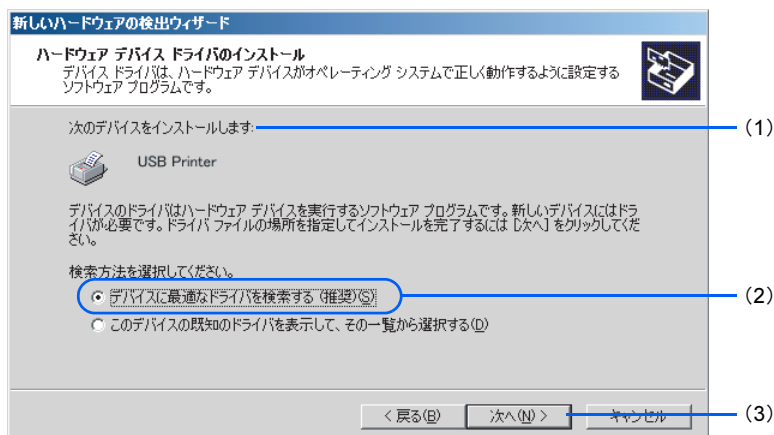
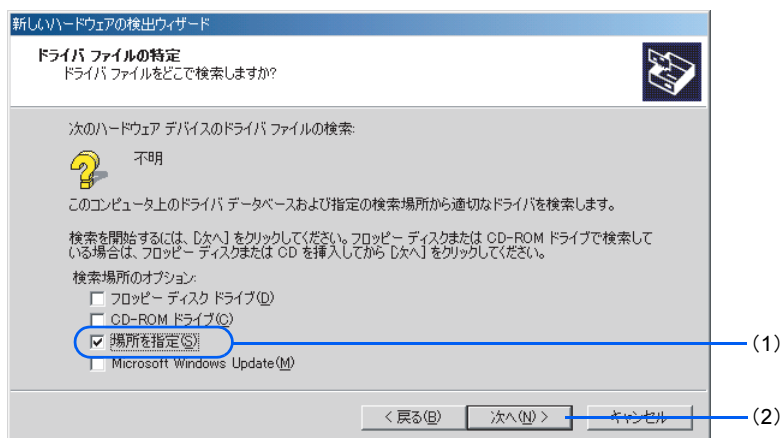
以上で、プリンタドライバのインストールは完了です。続いて、「Printianavi2」を手動でインストールします（→ P.93）。

2000 の場合

1 Windows を起動し、管理者権限でログオンします。

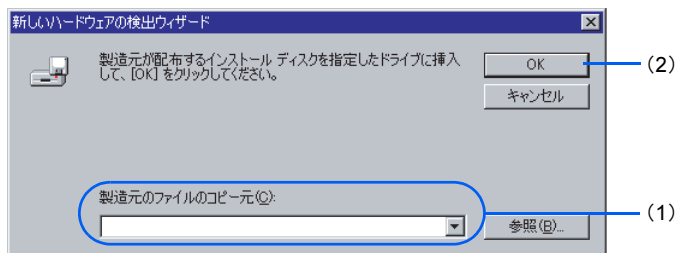
2 プリンタの電源を入れてから、パソコンとプリンタを USB ケーブルで接続します。

プリンタに USB ケーブルを接続する方法については、『ハードウェアガイド』の「第 2 章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。
「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが表示されます（表示されるまでに 1 ～ 2 分間かかることがあります）。

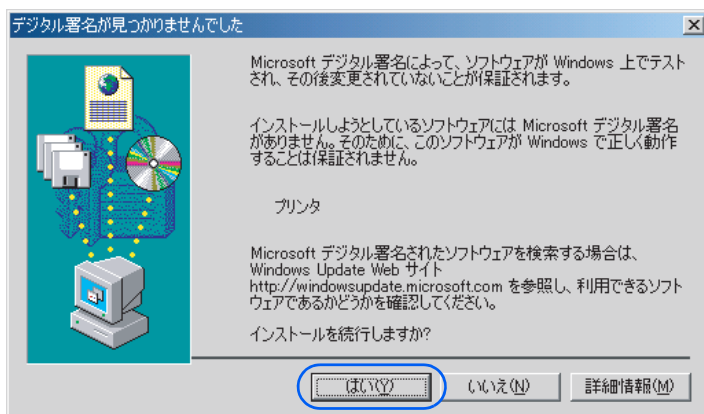
3 「次へ」をクリックします。

4 (1)「次のデバイスをインストールします」と表示されていることを確認し、(2)「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択して、(3)「次へ」をクリックします。

5 (1)「場所を指定」を☑にし、(2)「次へ」をクリックします。

6 「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

7 メニューから「終了」をクリックします。

8 (1)「製造元のファイルのコピー元」に「D:¥FJXLINST¥FJXLDRV¥DRVINST¥2K-VISTA」(CD-ROM ドライブが D: の場合)と入力して、(2)「OK」をクリックします。

9 「ドライバ ファイルの検索」ウィンドウで「次のデバイスのドライバが検索されました」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

POINT

・次のウィンドウが表示されたときは、「はい」をクリックしてください。

10 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、「完了」をクリックします。

POINT

通常使うプリンタに設定する場合には、次の操作を行います。

1. 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
2. 「FUJITSU XL-XXXX」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「通常使うプリンタに設定」をクリックします。

11 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックし、Windows を再起動します。

以上で、プリンタドライバのインストールは完了です。続いて、「Printianavi2」を手動でインストールします(→ P.93)。

3 パラレルインターフェースで接続する

パラレルインターフェース接続する場合は、セットアッププログラムを使用してプリンタドライバをインストールします。

・「7/2008 R2 の場合」（→ P.88）
・「2008（R2 以外）/Vista/2003/XP/2000 の場合」（→ P.88）

7/2008 R2 の場合

「Printia LASER プリンタユーティリティ」からプリンタドライバのインストーラを起動してインストールを行います。
インストール手順については、「USB インターフェースで接続する」（→ P.75）の「7/2008 R2 の場合」（→ P.75）をご覧ください。

重要

・プリンタとパソコンを接続する前に、プリンタドライバをインストールする必要があります。
　セットアッププログラムで「プリンタをインストールする準備ができました。」と表示されてから、プリンタとパソコンを接続してください。
・プリンタドライバのインストール前にプリンタとパソコンを接続してしまった場合、セットアッププログラムによるプリンタドライバのインストールはできません。この場合は、「パラレルインターフェース接続のときにプリンタが検出されない」（→ P.301）の手順で、インストールを行ってください。

2008（R2 以外）/Vista/2003/XP/2000 の場合

「Printia LASER プリンタユーティリティ」からプリンタドライバのインストーラを起動してインストールを行います。

1 **プリンタの電源を入れます。**

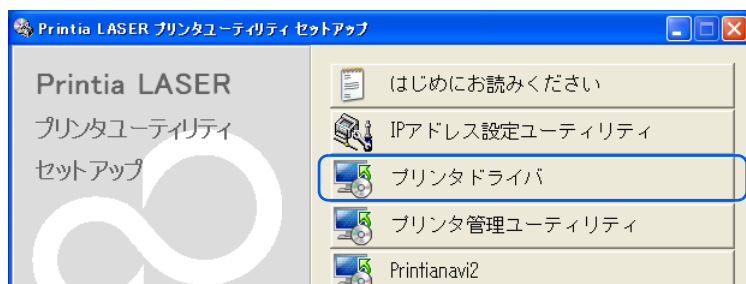
2 **管理者権限を持ったユーザーでログオンします。**

3 「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

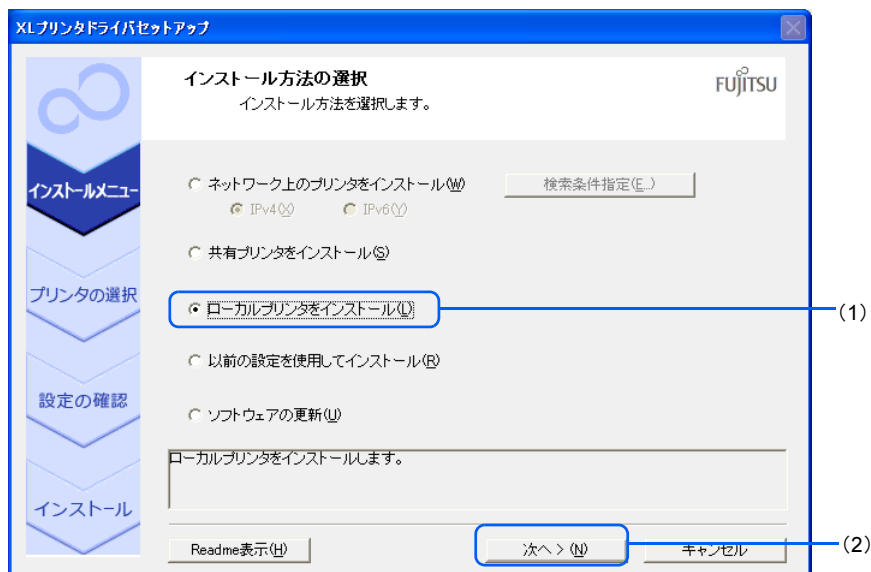
- 「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 2008/Vista の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。

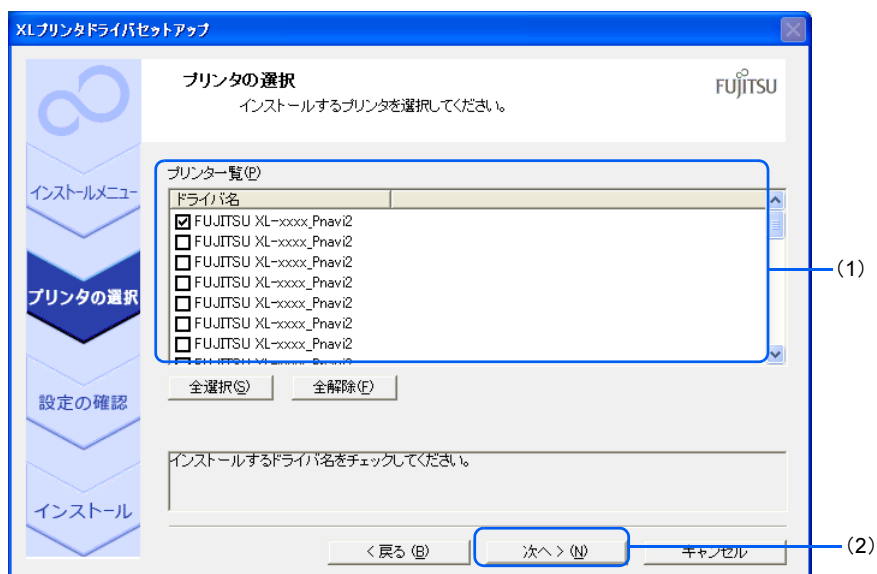
4 メニューから「プリンタドライバ」をクリックします。

■2008/Vista の場合

「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックします。インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

■2003/XP/2000 の場合

インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

5 (1)「ローカルプリンタをインストール」を選択して、(2)「次へ」をクリックします。

「プリンタの選択」ウィンドウが表示されます。

6 (1) インストールするプリンタの「ドライバ名」を☑にして、(2)「次へ」をクリックします。

POINT

・「全選択」をクリックすると、「ドライバ名」に表示されているすべてのプリンタが選択され、プリンタドライバが同時にインストールされます。

「設定の確認」ウィンドウが表示されます。

7 インストール内容を確認し、必要に応じて設定を行います。

表：設定項目一覧

No.	設定項目	説明
1	追加	「プリンター覧」に、プリンタドライバをインストールするプリンタを追加します。
2	変更	プリンタの設定情報（プリンタ名や通常使うプリンタにするかどうか、など）を変更します。 詳しくは、「プリンタの設定情報の変更」(→ P.43) をご覧ください。
3	削除	「プリンター覧」に表示されているプリンタを削除します。削除したいプリンタを選択してからボタンをクリックしてください。
4	設定のエクスポート	同じ設定で別のパソコンにプリンタドライバをインストールする場合に、インストールの設定内容をファイルとして保存します。 詳しくは、「設定のエクスポート」（→ P.54）をご覧ください。

3

8 「インストール」をクリックします。

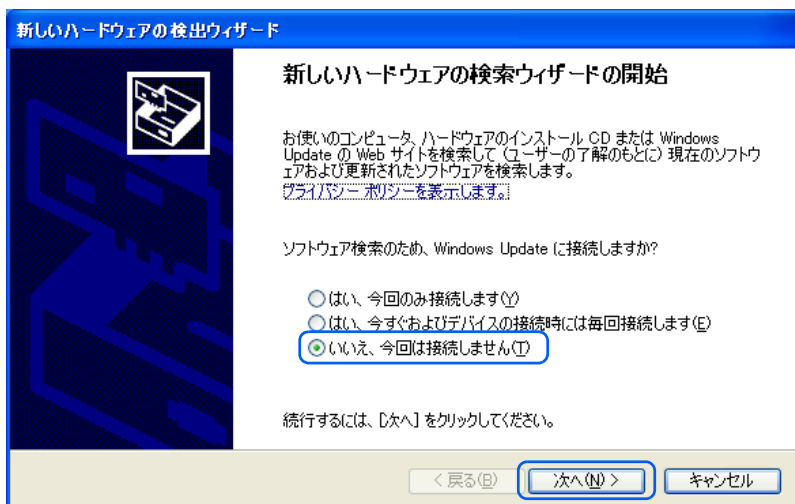
プリンタドライバのインストールが開始されます。しばらくすると、「インストール完了」ウィンドウが表示されます。

9 「完了」をクリックします。

「設定を有効にするにはコンピュータを再起動する必要があります。コンピュータを再起動してよろしいでしょうか ?」と表示されます。

10 「はい」をクリックして、パソコンを再起動します。

POINT

- 再起動後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが表示されることがあります。この場合は、「いいえ、今回は接続しません」を選択して「次へ」をクリックし、以降は、ウィザードに従ってインストールを完了してください。

以上で、プリンタをパラレルインターフェースで接続して印刷する場合の設定は完了です。

4 Printianavi2 の手動インストール

プラグアンドプレイでプリンタドライバのみをインストールした場合や、プリントサーバからネットワークインストールを行った場合は、次の手順で「Printianavi2」をインストールします。

1 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 「Printia LASER プリンタユーティリティ」をセットします。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- 「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 7/2008/Vista の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。

3 メニューから「Printianavi2」をクリックします。

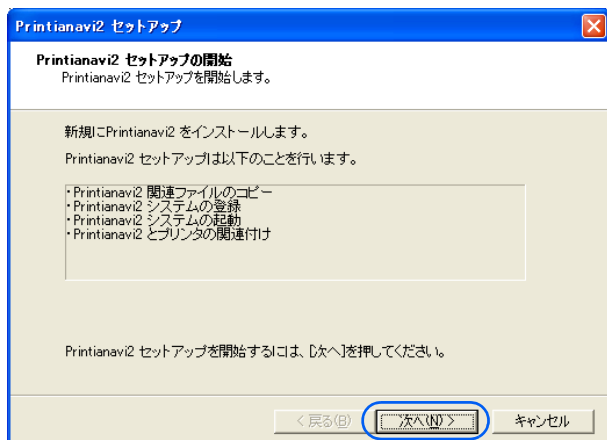
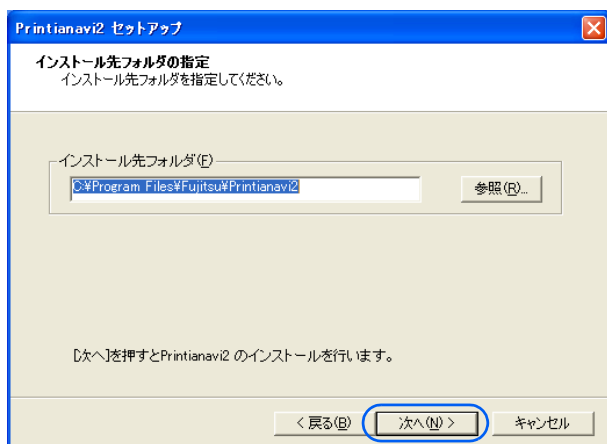
■ 7 の場合

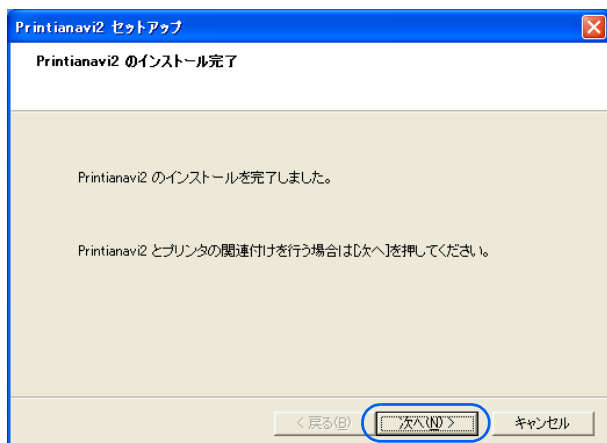
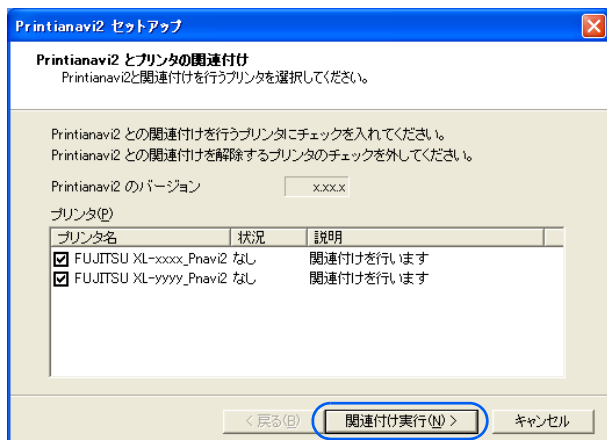
「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。

「Printianavi2 セットアップの開始」ウィンドウが表示されます。

■ 2008/Vista/2003/XP/2000 の場合

「Printianavi2 セットアップの開始」ウィンドウが表示されます。

4 内容を確認し、「次へ」をクリックします。

5 「インストール先フォルダ」を確認し、「次へ」をクリックします。

「Printianavi2」のインストールが開始されます。
インストールが完了すると、「Printianavi2 のインストール完了」ウィンドウが表示されます。

6 「Printianavi2」とプリンタの関連付けを行うため、「次へ」をクリックします。

7 関連付けを行うプリンタを指定し、「関連付け実行」をクリックします。

「Printianavi2」とプリンタの関連付けが行われ、「Printianavi2 セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

POINT

- 「Printianavi2」との関連付けを行わないプリンタでは、「Printianavi2」の機能を使用することができません。
- プリンタの一覧には、「Printianavi2」に対応したプリンタのみ表示されます。
- 関連付けを行ったプリンタは、プリンタのプロパティに「Printianavi2」タブが追加表示されます。
- 状況欄に「使用不可」と表示されるプリンタは、現在「Printianavi2」が使用できない環境になっています。関連付けを行うことはできますが、「Printianavi2」の機能を使用することはできません。「Printianavi2」の動作環境については、「動作環境」（→ P.14）をご覧ください。
- 「Printianavi2」との関連付けは、インストール後に行うこともできます。「Printianavi2 とプリンタドライバの関連付け」（→ P.96）をご覧ください。

8 「はい。今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」をクリックします。

Windows が再起動します。

POINT

- 「Printianavi2」をインストールすると、「スタート」メニューに次のプログラムが追加されます。
  - 「Printia XL Utility」「Printianavi2」グループ
  - 「スタートアップ」グループの「Printianavi2 ステータス表示」

Printianavi2 とプリンタドライバの関連付け

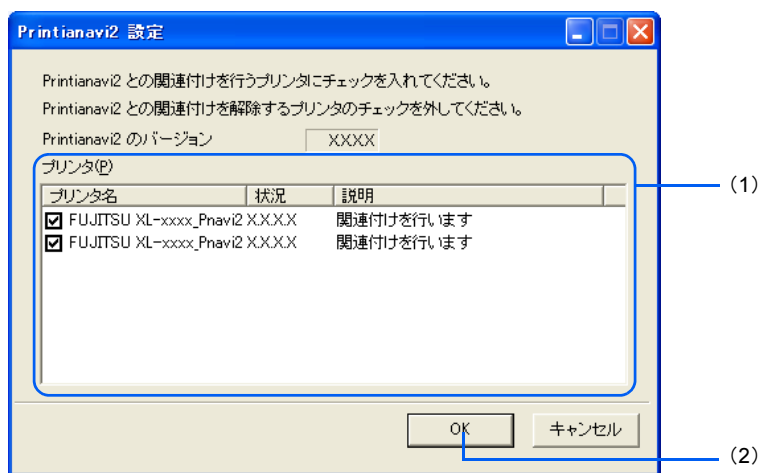
「Printianavi2」を使用するためには、プリンタドライバとの関連付け設定を行う必要があります。関連付けの設定または解除は、「Printianavi2 設定」を使って行います。
「Printianavi2 設定」は、「Printianavi2」をインストールすると「スタート」メニューに登録され、「Printianavi2」を削除するといっしょに削除されます。

1 **管理者権限を持ったユーザーでログオンします。**

2 **「スタート」ボタンまたは（スタート）→「プログラム」（または「すべてのプログラム」）→「Printia XL Utility」→「Printianavi2」→「Printianavi2 設定」の順にクリックします。**

「Printianavi2 設定」ウィンドウが表示されます。

3 **（1）関連付けを行うプリンタを選択、または解除し、（2）「OK」をクリックします。**

☑にすると、「Printianavi2」とプリンタドライバの関連付けの設定を行います。
☐にすると、関連付けを解除します。

POINT

・「状況」欄について
プリンタ名の右側の「状況」欄には、現在の関連付け設定状況が表示されます。

表：「状況」欄に表示される設定状況値

表示	説明
Printianavi2バージョン	表示されているバージョンの「Printianavi2」と関連付け設定されている状態です。
なし	関連付けが解除されている状態です。
使用不可	関連付け設定を行っても「Printianavi2」を使用できない状態です。「Printianavi2」の動作環境については、「動作環境」（→ P.14）をご覧ください。

第 4 章

プリンタ共有の設定

この章では、プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。

1 設定の概要

サーバに接続したプリンタを共有プリンタとして設定し、ネットワーク上の他のパソコンから印刷できるようにします。

共有プリンタを利用するためには、サーバとクライアントのそれぞれで設定が必要です。サーバの OS と、クライアントの OS の組み合わせによって、クライアントの設定方法が異なります。次の表をご覧になり、お使いの環境に合わせて、サーバとクライアントの設定を行ってください。

表：サーバとクライアントの組み合わせと設定方法

<table>
<tr><th rowspan="2">サーバの OS と設定方法</th><th colspan="2">クライアントの OS と設定方法</th></tr>
<tr><th>OS</th><th>設定方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">7/2008/Vista/2003/XP/2000
「サーバ側を設定する」（→ P.99）</td><td>7/2008/Vista/2003/XP/2000</td><td>次のいずれの方法でも設定できます。
・「ネットワークインストール」（→ P.103）
・「CD-ROM からのインストール」（→ P.104）</td></tr>
<tr><td>NT/Me/98</td><td>プリンタ共有できません。</td></tr>
</table>

2 プリンタの共有設定をする

ここでは、パソコンをプリントサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側を設定する

サーバとして運用するパソコンで行う設定について、説明します。

重要

・サーバの OS が 7/2008/Vista/2003/XP/2000 の場合、NT/Me/98 クライアントとのプリンタ共有はできません。

4

1 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 次の手順でプリンタのプロパティウィンドウを開きます。

■ 7/2008 R2 の場合

1. （スタート）→「デバイスとプリンター」の順にクリックします。
2. 共有するプリンタを右クリックし「プリンターのプロパティ」を選択します。
3. 「共有」タブを選択します。

■ 2008（R2 以外）の場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
3. 共有するプリンタを選択します。
4. 「ファイル」メニュー→「共有」の順にクリックします。

■ Vista の場合

1. （スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
3. 共有するプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「共有」をクリックします。

■ 2003/XP の場合

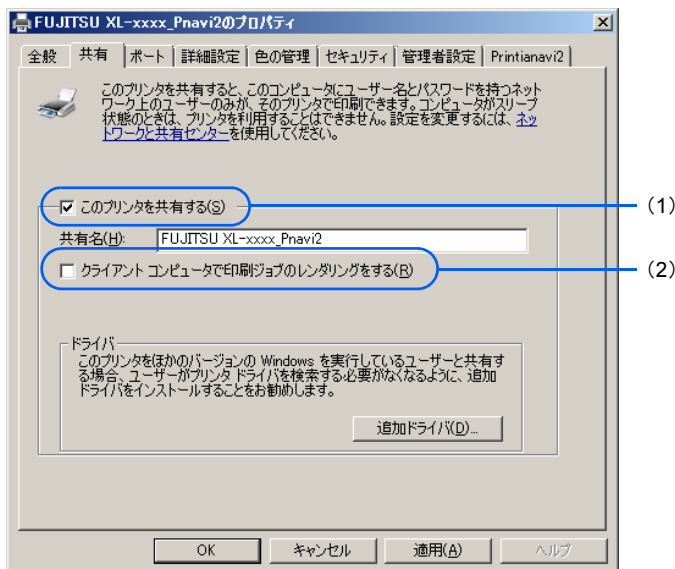
1. 「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。
2. 共有するプリンタを選択します。
3. 「ファイル」メニュー→「共有」の順にクリックします。

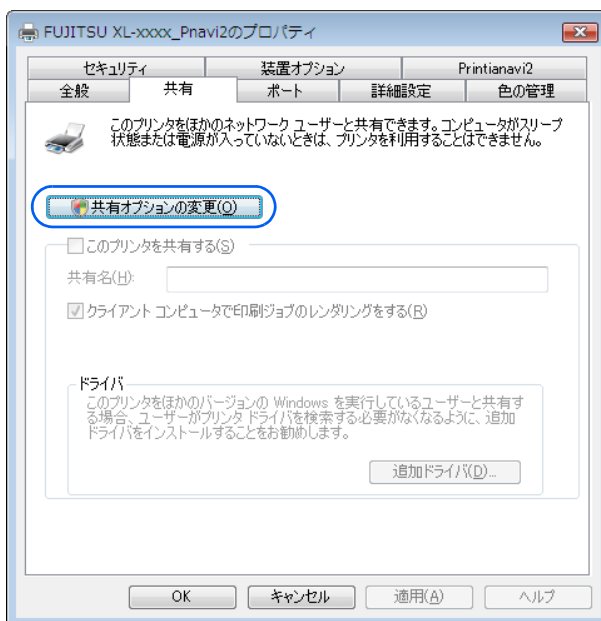
■ 2000 の場合

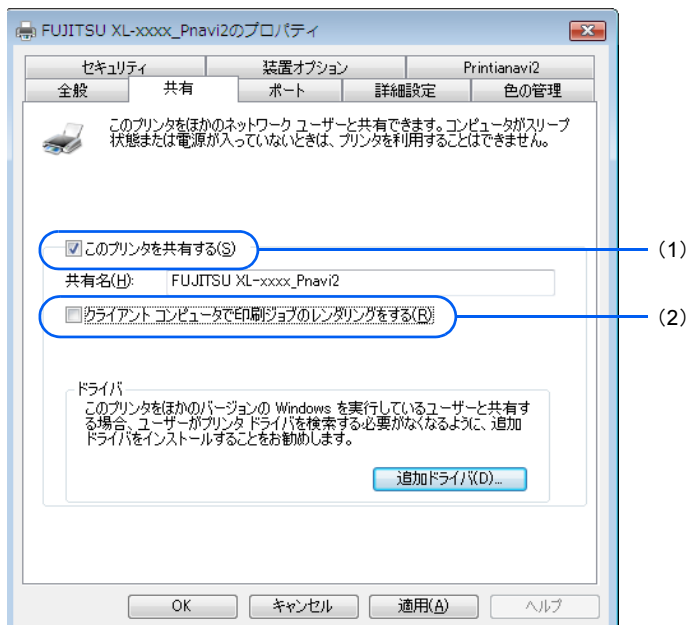
1. 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
2. 共有するプリンタを選択します。
3. 「ファイル」メニュー→「共有」の順にクリックします。

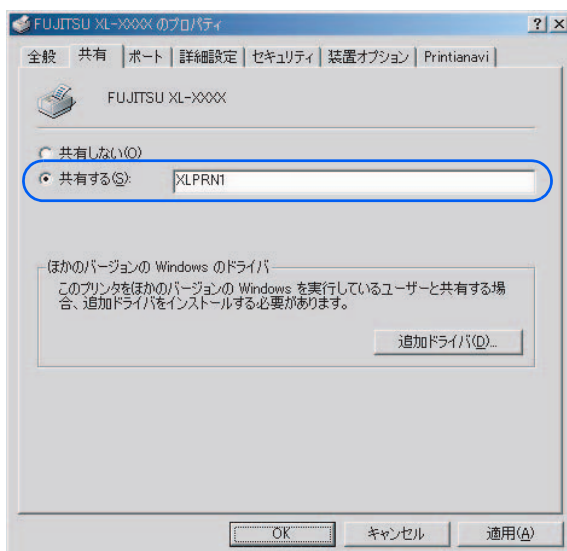
3 共有設定を行います。

■2008 の場合

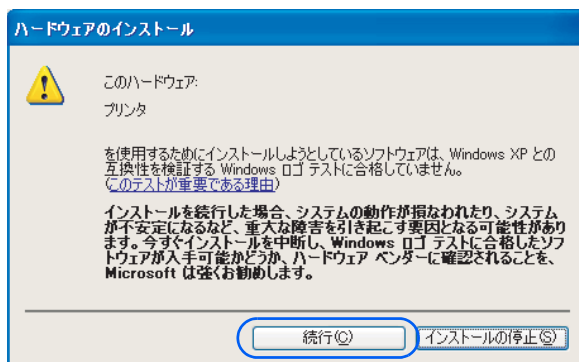
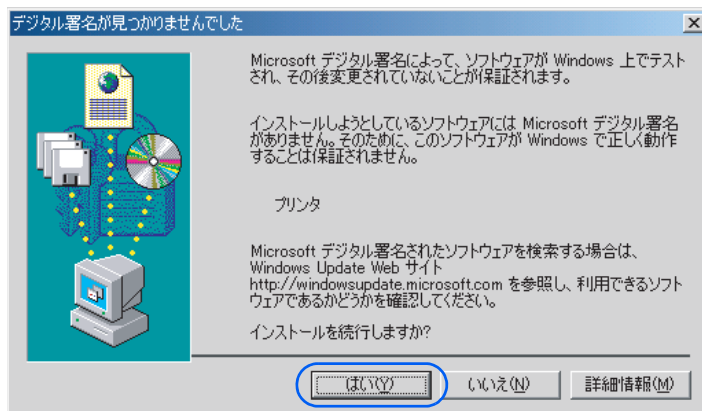
1. (1)「このプリンタを共有する」をクリックして☑にし、(2)「クライアントコンピュータで印刷ジョブのレンダリングをする」をクリックして□にします。

■7/Vista の場合

1. 「共有オプションの変更」をクリックします。

2. 「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、印刷設定の変更であることを確認し、「続行」をクリックします。

3. (1)「このプリンタを共有する」をクリックして☑にし、(2)「クライアントコンピュータで印刷ジョブのレンダリングをする」をクリックして☐にします。

■2003/XP/2000の場合

1. 「このプリンタを共有する」または「共有する」を選択し、共有プリンタ名を入力します。
   共有プリンタ名は、他のユーザーがネットワークで情報を見るときに表示されます。

4 「OK」をクリックします。

POINT

・環境によっては、次のウィンドウが表示される場合があります。
  ・2003/XP の場合
  「ハードウェアのインストール」ウィンドウが表示されたときは、「続行」をクリックしてください。

  ・2000 の場合
  「デジタル署名が見つかりませんでした」ウィンドウが表示されたときは、「はい」をクリックしてください。

クライアント側を設定する

7/2008/Vista/2003/XP/2000 の場合、サーバの OS により、クライアント側の設定は次のようになります。

・サーバの OS が 7/2008/Vista/2003/XP/2000 の場合
「ネットワークインストール」(→ P.103)、または「CD-ROM からのインストール」(→ P.104)のどちらの方法でも設定できます。

・サーバの OS が NT/Me/98 の場合
「CD-ROM からのインストール」(→ P.104)で設定します。

POINT

・クライアント側の設定を行う前に、サーバ側で共有プリンタの設定を行っておいてください。

4

ネットワークインストール

7/2008/Vista/2003/XP/2000 クライアントから 7/2008/ Vista/2003/XP/2000 のサーバ共有プリンタを使用する場合、プリンタドライバのインストールを◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」からではなく、サーバから行うことができます。

POINT

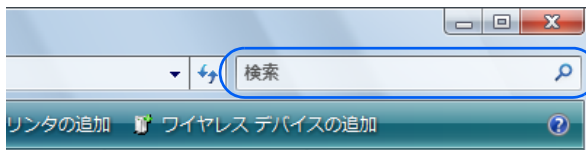
・ネットワークインストールを行うと、「Printianavi2」を同時にインストールできません。プリンタドライバのインストール後に、手動でインストールしてください(→ P.93)。

1 共有プリンタのサーバを検索します。

■ 7/2008 R2 の場合

1. 「エクスプローラー」を起動します。
2. 「ネットワーク」をクリックします。
3. ウィンドウ右上にある検索ボックスに共有プリンタのサーバ名を入力し、検索を行います。

■ 2008(R2 以外)/Vista の場合

1. 「スタート」ボタンまたは(スタート)→「ネットワーク」の順にクリックします。
2. ウィンドウ右上にある検索ボックスに共有プリンタのサーバ名を入力し、検索を行います。

■2003/XP/2000 の場合
1.「エクスプローラ」を起動します。
2.「マイネットワーク」を右クリックし、表示されるメニューから「コンピュータの検索」をクリックします。
3.「コンピュータ名」に共有プリンタのサーバ名を入力し、「検索の開始」をクリックします。

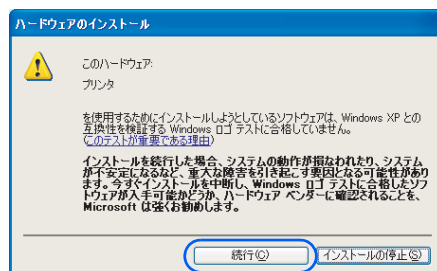
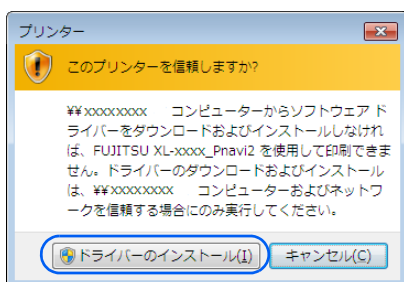
2 検索結果から、共有プリンタのサーバをダブルクリックします。

利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 印刷を行いたい共有プリンタをダブルクリックし、ウィンドウの指示に従ってインストールを行います。

ファイルがコピーされ、「プリンタ」フォルダに新しくプリンタが追加されれば、プリンタドライバのインストールは完了です。

POINT

環境によっては、次のウィンドウが表示される場合があります。
・次のウィンドウが表示されたときは、内容を確認し、「ドライバーのインストール」または「続行」をクリックしてください。

CD-ROM からのインストール

クライアントからサーバの共有プリンタのネットワークインストールが行えない場合は、「Printia LASER プリンタユーティリティ」から、共有プリンタのインストールを行います。

1 プリンタの電源を入れます。

2 「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

・「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
・7/2008/Vista の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。

3 メニューから「プリンタドライバ」をクリックします。

■7 の場合

「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

■2008/Vista の場合

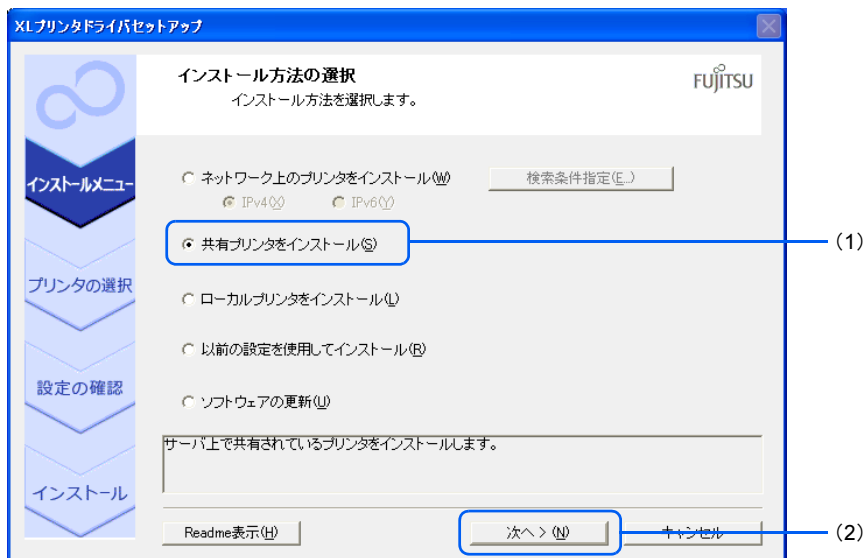
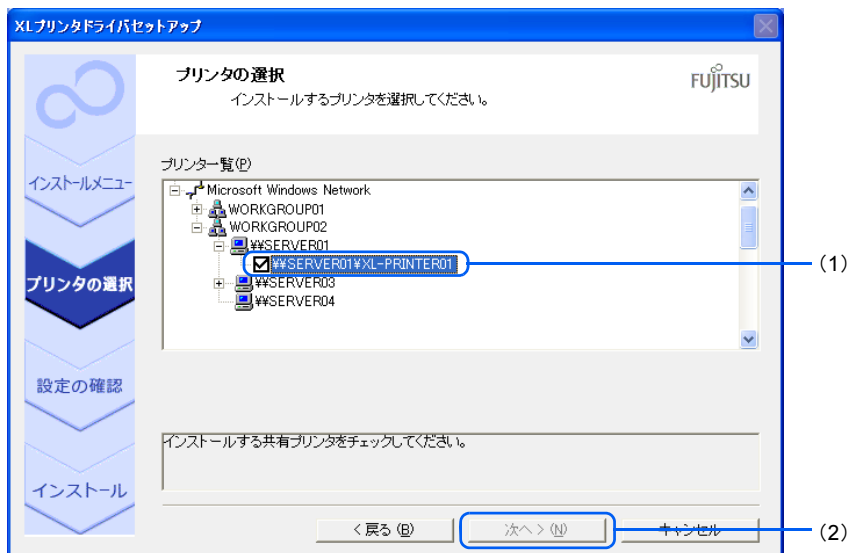
「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックします。インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

■2003/XP/2000 の場合

インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

4 (1)「共有プリンタをインストール」を選択して、(2)「次へ」をクリックします。

「プリンタの選択」ウィンドウが表示されます。

4

5 (1) インストールするプリンタを☑にして、(2)「次へ」をクリックします。

POINT

・複数台のプリンタドライバを同時にインストールする場合は、インストールするプリンタをすべて☑にしてください。

「設定の確認」ウィンドウが表示されます。

6 インストール内容を確認し、必要に応じて設定を行います。

表：設定項目一覧

No.	設定項目	説明
1	追加	「プリンタ一覧」に、プリンタドライバをインストールするプリンタを追加します。
2	変更	プリンタの設定情報（プリンタ名や通常使うプリンタにするかどうか、など）を変更します。 詳しくは、「プリンタの設定情報の変更」（→ P.43）をご覧ください。
3	削除	「プリンタ一覧」に表示されているプリンタを削除します。削除したいプリンタを選択してからボタンをクリックしてください。
4	設定のエクスポート	同じ設定で別のパソコンにプリンタドライバをインストールする場合に、インストールの設定内容をファイルとして保存します。 詳しくは、「設定のエクスポート」（→ P.54）をご覧ください。

7 「インストール」をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。しばらくすると、「インストール完了」ウィンドウが表示されます。

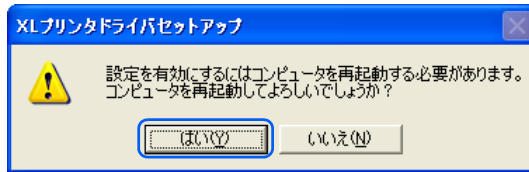
8 「完了」をクリックします。

「設定を有効にするにはコンピュータを再起動する必要があります。コンピュータを再起動してよろしいでしょうか ?」と表示されます。

9 「はい」をクリックして、パソコンを再起動します。

以上で、インストールは完了です。

4

第 5 章

プリンタドライバの機能と利用方法

この章では、プリンタドライバ（Printia XL ドライバ）がもつ機能と、その利用方法について説明します。

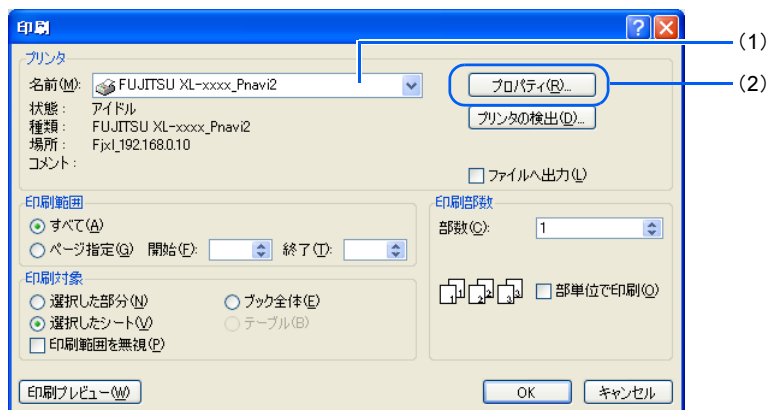
1　印刷するには

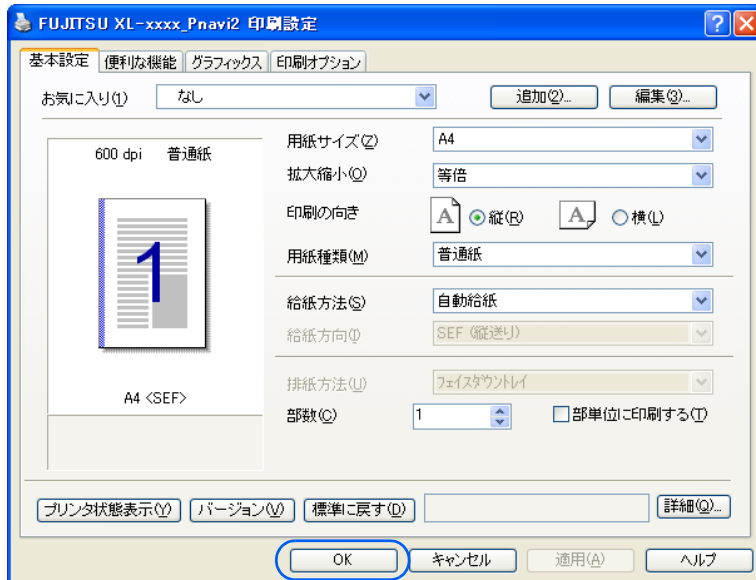
アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作は、お使いのアプリケーションによって異なりますが、ここでは一例を説明します。

1　アプリケーションでデータを作成するか、開きます。

2　「ファイル」メニュー→「印刷」の順にクリックします。

「印刷」ウィンドウが表示されます。

3　(1) プリンタが正しく選択されていることを確認し、(2)「プロパティ」をクリックします。

- アプリケーションによっては、「プロパティ」が「詳細設定」と表示されたり、プロパティウィンドウのタブが「印刷」ウィンドウ内に表示されたりします。詳しくは、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

4 各項目を設定し、「OK」をクリックします。

OS により、画面、表示内容は異なります。

- 各設定項目についての詳しい説明は、プリンタドライバの「ヘルプ」、または「プリンタドライバで設定できる内容」（→ P.115）をご覧ください。
- 用紙をセットする方法については、『ハードウェアガイド』の「第 4 章 日常の操作」をご覧ください。

5 「印刷」ウィンドウで「OK」をクリックします。

印刷が開始されます。

POINT

- 給紙口によっては、サポートするサイズが「ユーザ定義サイズ」ウィンドウで設定可能な範囲よりも狭い場合があります。このような給紙口を給紙方法に指定するときは、その給紙口のサポート範囲内のサイズを設定してください。
  各給紙口がサポートするユーザ定義サイズの範囲については、『ハードウェアガイド』の「第 8 章 付録」をご覧ください。

プリンタの状態確認（ポップアップ）

双方向プリンティングシステム「Printianavi2」を使うと、プリンタの状態をパソコン上で見ることができます。
「Printianavi2」は、印刷が実行されるとプリンタのモニタを開始します。プリンタでエラーが発生すると、エラーの内容と対処方法がパソコンの画面にポップアップ表示されます。

POINT

・「Printianavi2」によるエラー情報をポップアップ表示にするための設定、および詳しい説明については、プリンタドライバの「ヘルプ」、または「「Printianavi2」タブの設定項目」（→ P.173）をご覧ください。

2 印刷を中止するには

「Printianavi2」を使うと、印刷開始後にパソコンから印刷を中止できます。

パソコンから印刷を中止するときの操作は、「Printianavi2」タブ画面での設定によって異なります。詳しくは、「「Printianavi2」タブの設定項目」（→ P.173）をご覧ください。

プリンタの状態がポップアップ表示されている場合

「Printianavi2」タブ画面で、「印刷中のステータス表示」を「ポップアップ」に設定している場合は、印刷中に表示されるポップアップウィンドウから中止操作を行います。

1 ポップアップウィンドウの「印刷中止」をクリックします。

プリンタの状態がエラーの場合や最小化されている場合

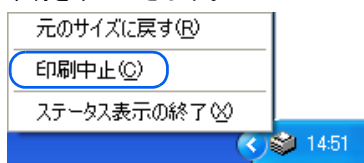
「Printianavi2」タブ画面で、「印刷中のステータス表示」を「エラー時ポップアップ」や「最小化」に設定している場合は、次の手順で中止操作を行います。

1 **タスクトレイ（画面右下の通知領域）上のプリンタアイコンをダブルクリックします。**

「Printianavi2」ウィンドウが表示されます。

2 **「印刷中止」をクリックします。**

POINT

・タスクトレイ上のプリンタアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「印刷中止」を選択しても、印刷を中止できます。

3 プリンタドライバで設定できる内容

プリンタの「印刷設定」ウィンドウ、または「プロパティ」ウィンドウでは、プリンタドライバの各種機能を設定できます。ここでは、ウィンドウの表示方法と、各設定項目の詳細を説明します。

プリンタの「印刷設定」、または「プロパティ」を表示するには

印刷に関する設定は、プリンタの「印刷設定」ウィンドウ、または「プロパティ」ウィンドウで変更します。
2 つのウィンドウの役割は、次のとおりです。

- 「印刷設定」ウィンドウ：本製品固有の機能を設定します。
  - 「「基本設定」タブの設定項目」（→ P.118）
  - 「「便利な機能」タブの設定項目」（→ P.136）
  - 「「仕上げ」タブの設定項目（対応プリンタのみ）」（→ P.154）
  - 「「グラフィックス」タブの設定項目」（→ P.159）
  - 「「印刷オプション」タブの設定項目」（→ P.161）
- 「プロパティ」ウィンドウ：オプションの取り付け状態に関する設定や印刷設定、双方向プリンティングシステム「Printianavi2」の設定を行います。
  - 「「管理者設定」タブの設定項目」（→ P.164）
  - 「「Printianavi2」タブの設定項目」（→ P.173）

ウィンドウは、アプリケーションから表示する方法と、「デバイスとプリンター」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「プリンタと FAX」フォルダから表示する方法の 2 通りがあります。

アプリケーションから表示する場合

アプリケーションの「印刷」ウィンドウから「印刷設定」ウィンドウを表示します。
操作方法はアプリケーションによって異なりますが、標準的な表示方法は、次のとおりです。

POINT

- オプションの取り付け状態に関する設定や印刷設定、双方向プリンティングシステム「Printianavi2」の設定は、アプリケーションの「印刷」ウィンドウからは表示できません。「「デバイスとプリンター」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「プリンタと FAX」フォルダから表示する場合」（→ P.116）の手順で開いてください。

1 **「ファイル」メニュー→「印刷」の順にクリックします。**
「印刷」ウィンドウが表示されます。

2 **「プロパティ」をクリックします。**

「デバイスとプリンター」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「プリンタと FAX」フォルダから表示する場合

「デバイスとプリンター」フォルダー、「プリンタ」フォルダ、または「プリンタと FAX」フォルダからウィンドウを表示して設定を行うと、その設定値は、アプリケーションからウィンドウを表示したときの初期設定となります。

1 「プロパティ」ウィンドウを表示する場合は、管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 「デバイスとプリンター」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「プリンタと FAX」フォルダを開きます。

■ 7/2008 R2 の場合

1. （スタート）→「デバイスとプリンター」の順にクリックします。

■ 2008（R2 以外）/Vista の場合

1. 「スタート」ボタンまたは（スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

■ 2003/XP の場合

1. 「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。

■ 2000 の場合

1. 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。

3 7 の場合は、使用するプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「印刷設定」、または「プリンターのプロパティ」をクリックします。
2008/Vista/2003/XP/2000 の場合は、使用するプリンタのアイコンをクリックし、「ファイル」メニュー→「印刷設定」、または「プロパティ」の順にクリックします。

「印刷設定」ウィンドウ、または「プロパティ」ウィンドウが表示されます。

設定内容の概要

プリンタのプロパティウィンドウで設定できる内容の概要と、詳しく説明している参照先を説明します。各機能についての注意事項、機種や設定条件によって使用できない機能については、プリンタドライバの「ヘルプ」、または「ヒント情報」（→ P.183）を参照してください。

基本設定

用紙サイズや種類、印刷の向きなどの用紙に関する設定や、給紙、部単位印刷に関する設定を行います。

・「「基本設定」タブの設定項目」（→ P.118）
・「プリンタの状態を確認する」（→ P.121）
・「任意の用紙サイズを設定する」（→ P.123）

・「拡大、または縮小して印刷する」(→ P.126)
・「複数部数、または部単位印刷を行う」(→ P.128)
・「プリンタドライバの設定を保存する」(→ P.132)

便利な機能設定

N-up や両面印刷に関する設定を行います。

・「「便利な機能」タブの設定項目」(→ P.136)
・「複数ページを 1 枚にまとめて印刷する（N-up 印刷)」(→ P.148)
・「用紙の両面に印刷する（対応プリンタのみ)」(→ P.150)
・「片面印刷時にとじしろを設定する」(→ P.152)
・「ヘッダー、またはフッターに情報を印刷する」(→ P.138)
・「スタンプを印刷する」(→ P.140)
・「地紋を印刷する（対応プリンタのみ)」(→ P.144)
・「プリンタドライバの設定を保存する」(→ P.132)

仕上げ設定（対応プリンタのみ）

オフセット排紙やパンチ穴開け、ステープルの設定を行います。

・「「仕上げ」タブの設定項目（対応プリンタのみ)」(→ P.154)
・「オフセット排紙を行う（対応プリンタのみ)」(→ P.155)
・「パンチ穴開け・ステープルを行う（対応プリンタのみ)」(→ P.157)
・「プリンタドライバの設定を保存する」(→ P.132)

グラフィックス設定

解像度やディザパターン、トナーセーブに関する設定を行います。

・「「グラフィックス」タブの設定項目」(→ P.159)
・「プリンタドライバの設定を保存する」(→ P.132)

印刷オプション設定

スプールに関する設定、プロテクトモード印刷など、印刷に関する設定を行います。

・「「印刷オプション」タブの設定項目」(→ P.161)
・「プリンタドライバの設定を保存する」(→ P.132)

管理者設定

オプションの取り付け状態に関する設定を行います。

・「「管理者設定」タブの設定項目」(→ P.164)
・「拡張スタッカを使って印刷する（XL-6700 のみ)」(→ P.167)

1 台のパソコンにログオンする全ユーザーに、共通の印刷設定（ヘッダー／フッター、スタンプ、地紋）を適用することもできます。

・「セキュリティ設定を行う」(→ P.165)

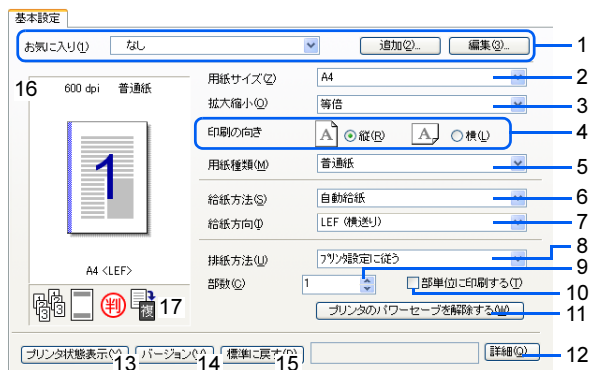
Printianavi2 に関する設定

「Printianavi2」に関する設定を行います。

・「「Printianavi2」タブの設定項目」(→ P.173)

・「印刷ログの出力先やクライアントの動作をプリントサーバ側で管理する」（→ P.178）

「基本設定」タブの設定項目

用紙サイズや種類、印刷の向きなどの用紙に関する設定や、給紙、部単位印刷に関する設定を行います。

1 お気に入り（初期設定：なし）

プリンタドライバの設定値を、「お気に入り」に登録することで、使用頻度の高い印刷条件を簡単に選択できるようになります。設定方法については、「プリンタドライバの設定を保存する」（→ P.132）をご覧ください。

登録済みの「お気に入り」の項目を使用する場合は、をクリックし、表示されるリストから選択します。

・追加
　設定内容に名前を付けて、「お気に入り」として登録します。

・編集
　登録済みの「お気に入り」を削除したり、「お気に入り」の名前、コメント、表示順を変更したりします。

2 用紙サイズ（初期設定：A4）

アプリケーションで設定した用紙サイズを選択します。をクリックし、表示されるリストから選択します。

POINT

・定型用紙以外のサイズに印刷するときは、「ユーザ定義サイズ」を選択します。「ユーザ定義サイズ」ウィンドウが表示され、任意の用紙サイズの設定ができます。ユーザ定義サイズの設定方法については、「任意の用紙サイズを設定する」（→ P.123）をご覧ください。

3 拡大縮小（初期設定：等倍）

アプリケーションで作成したデータを、出力する用紙サイズに拡大／縮小して印刷する場合に設定します。拡大／縮小印刷については、「拡大、または縮小して印刷する」（→ P.126）をご覧ください。

4 印刷の向き（初期設定：縦）

印刷するイメージの向きを縦／横で選択します。

5 用紙種類（初期設定：普通紙）

印刷する用紙の種類を選択します。選択できる用紙種類については、『ハードウェアガイド』の「第 6 章 使用できる用紙と保管方法」をご覧ください。なお、一部のプリンタでは、「普通紙 L」や「普通紙 H」という用紙種類を選択できます。これらの用紙種類は、次の場合に選択します。

表：「普通紙 L」と「普通紙 H」の用途

設定項目	説明
普通紙 L	トナーの定着温度を少し低めにして印刷します。坪量が小さい、薄めの用紙に印刷する場合や、用紙がカールしやすい場合に選択します。
普通紙 H	トナーの定着温度を少し高めにして印刷します。坪量が大きい、厚めの用紙に印刷する場合や、トナーが定着しにくい場合に選択します。

6 給紙方法（初期設定：自動給紙）

印刷するときの給紙口を選択します。
「自動給紙」を選択すると、「用紙サイズ」で指定したサイズの用紙がセットされている給紙口を自動的に選んで印刷します。

7 給紙方向（初期設定：機種により異なる）

プリンタの用紙搬送方向に対し、どちら向きにセットされた用紙を給紙するのか選択します。

表：給紙方向の種類

設定項目	説明
LEF（横送り）	用紙搬送方向に対し、横送りにセットされた用紙を給紙します（用紙の長辺が、用紙搬送方向に対して垂直に位置します）。
SEF（縦送り）	用紙搬送方向に対し、縦送りにセットされた用紙を給紙します（用紙の短辺が、用紙搬送方向に対して垂直に位置します）。

8 排紙方法（初期設定：フェイスダウントレイ、またはプリンタ設定に従う）

用紙を排出するトレイを選択します。をクリックし、表示されるリストから選択します。

9 部数（初期設定：1）

印刷する部数を 1 ～ 999 で設定します。

10 部単位に印刷する（初期設定：□）

2 部以上の印刷を、1 部ごとにまとめて印刷したい場合に☑にします。

11 プリンタのパワーセーブを解除する（対応プリンタのみ）

プリンタのウォームアップを開始します。印刷前にこのボタンをクリックすると、あらかじめウォームアップさせておくことができます。

12 詳細

プリンタドライバの設定に関する情報や警告がある場合、ボタンの横にメッセージが表示されます。ボタンをクリックすると、メッセージの詳細が表示されます。
メッセージの意味などについては、「ヒント情報」（→ P.183）をご覧ください。

13 プリンタ状態表示

「Printianavi2」を使用してプリンタの状態を確認できます。状態を確認するウィンドウについては、「プリンタの状態を確認する」（→ P.121）をご覧ください。

14 バージョン

プリンタドライバのバージョンが表示されます。詳しくは、「プリンタドライバのバージョン」（→ P.183）をご覧ください。

15 標準に戻す

「基本設定」タブで設定した「お気に入り」以外の内容を、すべて初期値に戻します。

16 用紙サマリ

用紙に関する設定内容が表示されます。

17 機能アイコンサマリ

「基本設定」タブ、「便利な機能」タブ、または「管理者設定」タブで設定されている設定項目をアイコンで確認できます。アイコンの表示内容については、「機能アイコンの種類と意味」(→ P.120)をご覧ください。

■機能アイコンの種類と意味

機能アイコンの種類と意味は次のとおりです。

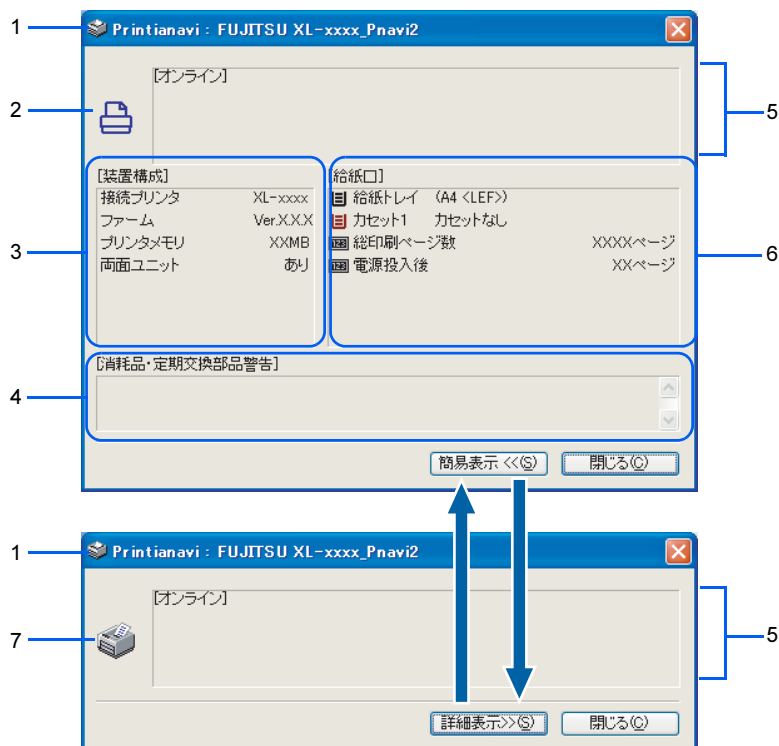
表：機能アイコン

アイコン	意味
	「部単位に印刷する」機能が有効に設定されています。
または	「ヘッダー / フッター」印刷機能が有効に設定されています。「管理者設定」タブで、全ログオンユーザーに共通で適用するヘッダー/フッターを設定している場合は、(鍵マーク) が付きます。
判 または 判	「スタンプ」印刷機能が有効に設定されています。「管理者設定」タブで、全ログオンユーザーに共通で適用するスタンプを設定している場合は、(鍵マーク) が付きます。
複 または 複	「地紋」印刷機能が有効に設定されています。「管理者設定」タブで、全ログオンユーザーに共通で適用する地紋を設定している場合は、(鍵マーク) が付きます。

プリンタの状態を確認する

「基本設定」タブ画面で「プリンタ状態表示」をクリックすると、プリンタの状態を確認できます。

画面の説明

プリンタの状態表示ウィンドウには、簡易表示と詳細表示の 2 種類があります。
「簡易表示」、または「詳細表示」をクリックするたびに、ウィンドウが切り替わります。

1 プリンタ名

プリンタ名が表示されます。

2 ステータスアイコン（詳細）

現在のプリンタの状態がアイコンで表示されます。アイコンの表示内容については、「詳細表示アイコンの種類と意味」（→ P.122）をご覧ください。

3 装置構成情報リスト

プリンタモデル名、ファームウェアのバージョン、プリンタメモリ、オプションが表示されます。

4 消耗品・定期交換部品警告

交換の準備や交換が必要な消耗品・定期交換部品の情報が表示されます。

5 プリンタ状態メッセージ

現在のプリンタの状態が表示されます。

6 給紙口情報リスト

給紙口の情報がアイコンで表示されると共に、印刷ページ数（機種により枚数）が表示されます。アイコンの表示内容については、「詳細表示アイコンの種類と意味」（→ P.122）をご覧ください。

7 ステータスアイコン（簡易）
現在のプリンタの状態がアイコンで表示されます。アイコンの表示内容については、「簡易表示アイコンの種類と意味」（→ P.122）をご覧ください。

詳細表示アイコンの種類と意味

詳細表示アイコン、および給紙口情報アイコンの種類と意味は次のとおりです。

表：詳細表示アイコン

詳細表示アイコン				
情報あり	通信中（青）	オンライン	印刷中	警告
消耗品交換（黄）	カートリッジエラー（暗い赤）	紙詰まり	ハードエラー	カセットエラー
用紙なし	通信エラー（暗い赤）	カバーオープン、その他のエラー	－	－

表：給紙口情報アイコン

給紙口情報アイコン				
用紙残量あり、または 4/4 ～ 1/4（黒）	用紙残量少し、または 1/4（黄）	用紙なし（暗い赤）	カセットエラー（暗い赤）	情報未取得（グレイ）

簡易表示アイコンの種類と意味

簡易表示アイコンの種類と意味は次のとおりです。

表：簡易表示アイコン

簡易表示アイコン				
情報あり	通信中（青）	オンライン	印刷中	警告
消耗品交換	カートリッジエラー	紙詰まり	ハードエラー	カセットエラー
用紙なし	通信エラー（暗い赤）	カバーオープン、その他のエラー	－	－

任意の用紙サイズを設定する

「基本設定」タブ画面で、定形用紙でない（「用紙サイズ」リストにない）用紙サイズを、「ユーザ定義サイズ」や「長尺紙」（対応プリンタのみ）として設定できます。

⚠注意

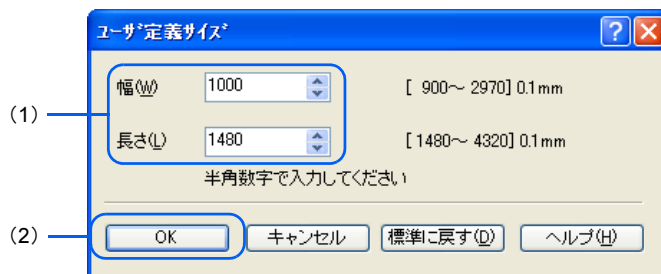
・プリンタドライバおよびアプリケーションで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障するおそれがあります。

用紙サイズの設定方法には、直接サイズを設定する方法と、あらかじめ用紙サイズを設定しておく方法（対応プリンタのみ）の 2 種類があります。

直接サイズを設定する

1 「基本設定」タブの「用紙サイズ」から、「ユーザ定義サイズ」または「長尺紙」（対応プリンタのみ）を選択します。

「ユーザ設定サイズ」ウィンドウが表示されます。

2 （1）用紙の幅と長さを入力し、（2）「OK」をクリックします。

設定は 0.1mm 単位で行います。設定できる範囲は、ウィンドウの右側に記載されています（機種によって異なります）。

POINT

・給紙口によっては、サポートするサイズが「ユーザ定義サイズ」ウィンドウで設定可能な範囲よりも狭い場合があります。このような給紙口を給紙方法に指定するときは、その給紙口のサポート範囲内のサイズを設定してください。
各給紙口がサポートするユーザ定義サイズの範囲については、『ハードウェアガイド』の「第 8 章 付録」をご覧ください。

あらかじめ用紙サイズを設定しておく（対応プリンタのみ）

給紙トレイまたはユーザ定義サイズをサポートする給紙カセットごとに、ユーザ定義サイズを設定しておくことができます。

POINT

・ここで設定した各給紙ユニットの用紙サイズは、「基本設定」タブ画面の「用紙サイズ」のリストとして表示されます。

1 「デバイスとプリンター」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「プリンタと FAX」フォルダを開きます。

■ 7/2008 R2 の場合

1. （スタート）→「デバイスとプリンター」の順にクリックします。

■ 2008（R2 以外）/Vista の場合

1. 「スタート」ボタンまたは（スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

■ 2003/XP の場合

1. 「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。

■ 2000 の場合

1. 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。

2 プリンタのプロパティウィンドウを開きます。

■ 7 の場合

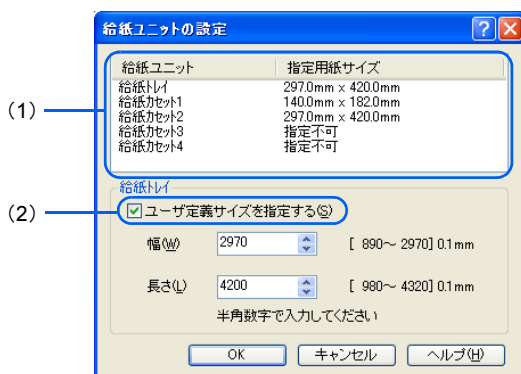
1. 使用するプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プリンターのプロパティ」をクリックします。

■ 2008/Vista/2003/XP/2000 の場合

1. 使用するプリンタのアイコンをクリックし、「ファイル」メニュー→「プロパティ」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

3 「管理者設定」タブの「給紙ユニットの設定」をクリックします。

「給紙ユニットの設定」ウィンドウが表示されます。

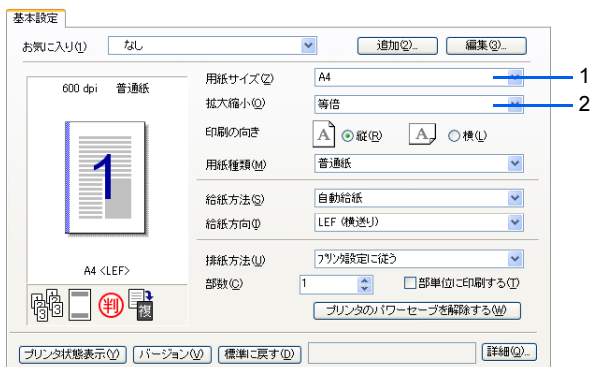
4 (1) リストからユーザ定義サイズを使用する給紙口を選択し、(2)「ユーザ定義サイズを指定する」を☑にします。

ユーザ定義サイズをサポートしていない給紙口では、ユーザ定義サイズの指定はできません(「指定用紙サイズ」に「指定不可」と表示されます)。

また、「ユーザ定義サイズを指定する」を☐にすると、「基本設定」タブの「用紙サイズ」に表示されないため、印刷時に指定できなくなります。

5 (1) 用紙の幅と長さを入力し、(2)「OK」をクリックします。

設定は 0.1mm 単位で行います。設定できる範囲は、ウィンドウの右側に記載されています(機種によって異なります)。

拡大、または縮小して印刷する

「基本設定」タブ画面で、アプリケーションで作成したデータ（文書）を拡大、または縮小して印刷します。

1 用紙サイズ

拡大／縮小する前の用紙サイズを指定します。

アプリケーション側の書式設定などで用紙サイズが指定されているときは、通常、アプリケーション側の設定値が優先されます。

2 拡大縮小

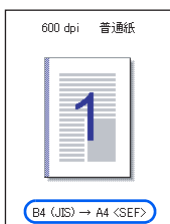
拡大／縮小した後に、実際に印刷される用紙サイズを指定します。

- 等倍

  拡大／縮小印刷は行いません。

- ○○に拡大縮小

  用紙サイズと出力用紙の大きさから、拡大／縮小率を自動的に設定し、出力する用紙サイズを○○に固定します。拡大縮小の設定を行うと、「基本設定」タブの左上に用紙サイズと出力用紙サイズの関係が表示されます。

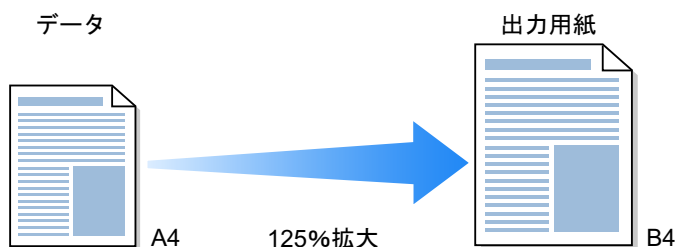
  例えば、「B4（JIS）→ A4<SEF>」と表示されているときは、B4 の用紙に収まるように作成した文書を、A4 の用紙に収まるように縮小印刷することを示します。

重要

- プリンタの給紙口に、出力用紙として指定したサイズの用紙が入っていることを確認してから印刷してください。

POINT

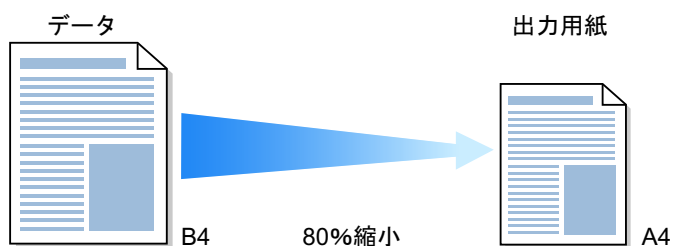
- 実際に出力する用紙サイズを変更せずに、「便利な機能」タブの「イメージサイズの調整」機能（→ P.137）によって、印刷イメージだけを 50%～ 150%の範囲で拡大／縮小することもできます。

拡大／縮小印刷の設定例

例 1）拡大印刷：A4 サイズのデータを B4 サイズに拡大して印刷したい場合

このようなときは、次のように設定します。

表：拡大印刷時の設定例

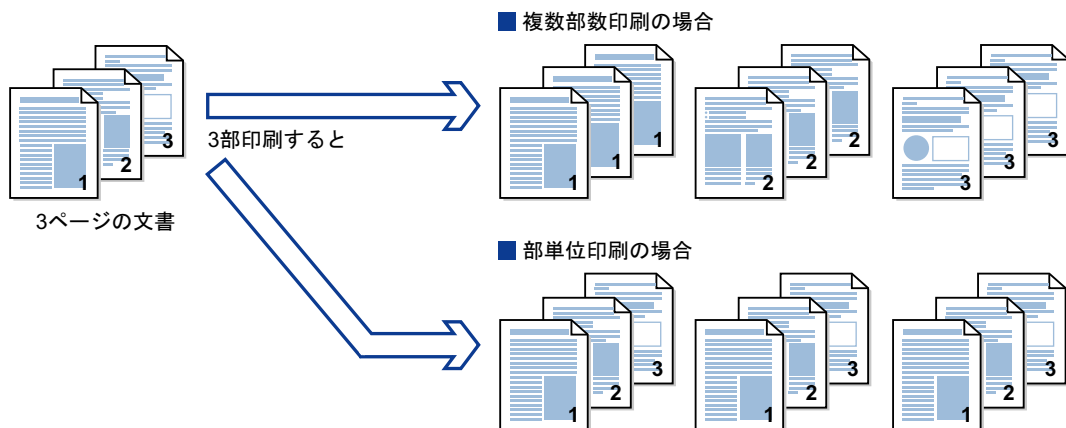
設定項目	設定値
用紙サイズ	「A4」を選択します。
拡大縮小	「B4 に拡大縮小」を選択します。

例 2）縮小印刷：B4 サイズのデータを A4 サイズに縮小して印刷したい場合

このようなときは、次のように設定します。

表：縮小印刷時の設定例

設定項目	設定値
用紙サイズ	「B4（JIS)」を選択します。
拡大縮小	「A4 に拡大縮小」を選択します。

複数部数、または部単位印刷を行う

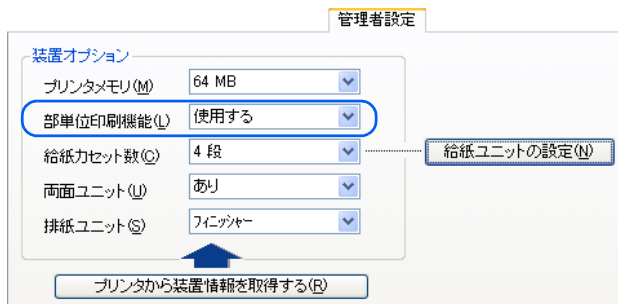
「基本設定」タブ画面で、1 回の印刷で同じ文書を 2 部以上印刷したいときは複数部数印刷を、さらにそれらを部単位で出力させたいときは部単位印刷を行います。

部単位印刷を行うときは、「管理者設定」タブの「部単位印刷機能」で「使用する」を選択し、「基本設定」タブで「部数」と「部単位に印刷する」を指定します。

POINT

・部単位印刷を行うときの条件については、「部単位印刷の種類と可能な条件」（→ P.131）をご覧ください。

設定方法

1 次のように操作します。

「管理者設定」タブの「部単位印刷機能」から、「使用する」を選択します。

2 「基本設定」タブの「部数」（1 ～ 999 部の範囲）を指定し、「部単位に印刷する」を ☑ にします。

3 「OK」をクリックし、「基本設定」タブを閉じます。

4 印刷を実行します。

部単位印刷時の注意事項

■部単位印刷をサポートしているアプリケーションと、プリンタドライバの「部単位印刷」の設定について

使用するアプリケーションによっては、アプリケーション自身が部単位の印刷を行うため、プリンタドライバの部単位印刷が働かず、期待どおりの印刷結果が得られない場合があります。次の表をご覧になり、部単位印刷の設定をしてください。

表：部単位印刷をサポートしているアプリケーションとプリンタドライバの部単位印刷の設定

アプリケーション	プリンタドライバ		
	「管理者設定」タブ	「基本設定」タブ	
	「部単位印刷機能」の設定	□ 部単位に印刷する	☑ 部単位に印刷する
□ 部単位で印刷	使用しない	部単位印刷されない	設定できません
	使用する	部単位印刷されない	[注 1] 部単位印刷される
☑ 部単位で印刷	使用しない	[注 2] 部単位印刷される	設定できません
	使用する	[注1][注3] 部単位印刷される	[注1][注4] 部単位印刷される

注 1　：　データ量が大きいと「メモリオーバー」エラーになる場合があります。その場合はプリンタ RAM モジュール（オプション）の増設が必要です。

注 2　：　部単位で印刷されますが、お使いのアプリケーションによっては、3 ページ× 2 部＝合計 6 ページを、1 つのジョブとして処理するため印刷が遅くなる場合があります。

注 3　：　部単位で印刷されますが、お使いのアプリケーションによっては、「基本設定」タブの「部単位に印刷する」も有効になり、期待通りの印刷結果が得られない場合があります。

注 4　：　部単位で印刷されますが、お使いのアプリケーションによっては、部単位印刷の組合せになるため、2 部が 4 部になるなど期待通りの印刷結果が得られない場合があります。

POINT

- ページ数が少ない（データ量の小さい）文書を部単位で印刷したい場合は、アプリケーションの「部単位印刷」は使用せずプリンタドライバの「部単位に印刷する」を ☑ にして印刷することをお勧めします。
- アプリケーションの「部単位印刷」を使用する場合は、プリンタドライバの「部単位に印刷する」を □ にしてください。

部単位印刷の種類と可能な条件

■プリンタによる部単位印刷

プリンタのメモリに印刷データをコピーするため、高速な部単位印刷を行えます。ただし、機種によって対応していない場合や、プリンタ RAM モジュールの増設が必要な場合があります。その場合、部単位印刷を行うと次のようになります。

- 部単位印刷機能に対応していない機種の場合
  1 部のみ印刷されます。
- 部単位印刷にメモリ増設が必要な機種の場合
  メモリ不足エラーが表示されます。「Printianavi2」が有効の場合は、エラー表示後 1 部のみ印刷されます。

プリンタによる部単位印刷ができない場合でも、「Printianavi2」による部単位印刷が可能な条件を満たしている場合は、自動的に「Printianavi2」による部単位印刷に切り替わります（対応プリンタのみ）。

■Printianavi2 による部単位印刷（対応プリンタのみ）

「Printianavi2」がパソコンのスプールデータを制御して部単位印刷を実現します。

「Printianavi2」が有効で、プリンタのプロパティの「詳細設定」タブで「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」を選択している場合、「Printianavi2」による部単位印刷を行うことができます。

ただし、印刷速度はプリンタでの部単位印刷に比べて遅くなります。

POINT

- 「管理者設定」タブの「プリンタから装置情報を取得する」をクリックすると、お使いのプリンタやパソコン環境で部単位印刷が行えるかどうかを自動で判別できます。

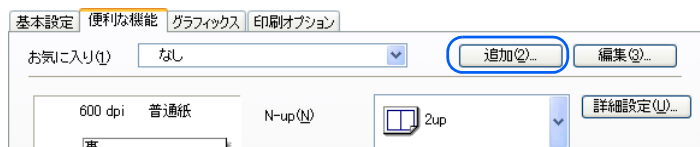
プリンタドライバの設定を保存する

「基本設定」タブ、「便利な機能」タブ、「仕上げ」タブ、「グラフィックス」タブ、「印刷オプション」タブ画面には、「お気に入り」機能があります。「お気に入り」で「追加」をクリックすると、プリンタドライバの設定内容に名前を付けて、「お気に入り」として最大 16 個保存できます。

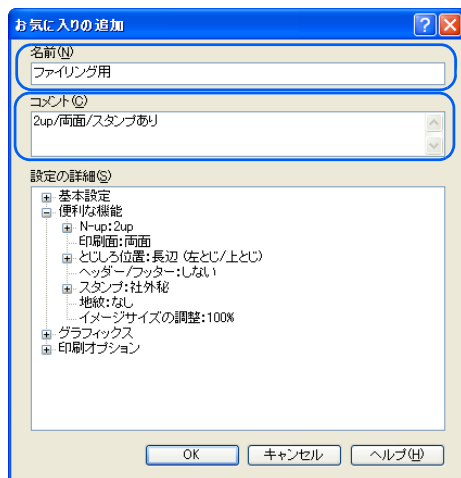
「お気に入り」の登録

よく使う設定を、「お気に入り」として登録します。

1 **プリンタの「印刷設定」ウィンドウで、「お気に入り」として登録したい設定を行います。**

2 **「お気に入り」の「追加」をクリックします。**

「お気に入りの追加」ウィンドウが表示されます。

3 **登録する「名前」を入力し、必要に応じて「コメント」も入力します。**

「名前」は最大 31 文字、「コメント」は最大 127 文字まで入力できます。

4 **必要に応じて「設定の詳細」で登録内容を確認し、「OK」をクリックします。**

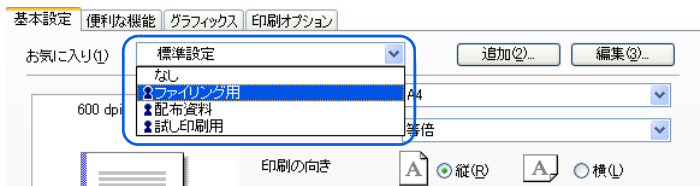
「お気に入り」のリストに、設定した「名前」が追加されます。

POINT

・「設定の詳細」では、設定値の変更はできません。設定値を変更したい場合は、いったん登録をキャンセルし、設定変更してから登録してください。

「お気に入り」の呼び出し

登録した「お気に入り」は、次の手順で呼び出します。

1 **「お気に入り」の をクリックし、表示されるリストから、使用する「お気に入り」の名前をクリックします。**

設定内容がウィンドウに反映されます。

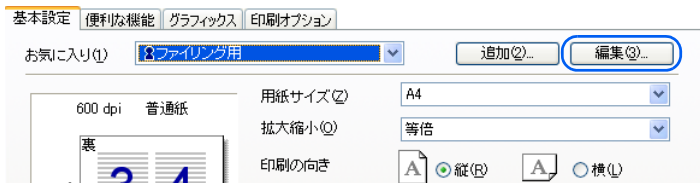
POINT

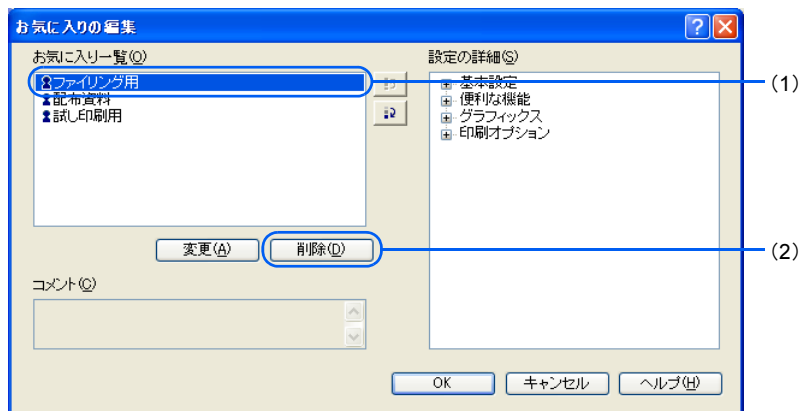
・「お気に入り」のリストにある「なし」は、「お気に入り」が選択されていない状態を示すものです。設定を標準値に戻すなどの機能はありませんので、ご注意ください。

「お気に入り」の削除

不要になった「お気に入り」は、次の手順で削除します。

1 **「編集」をクリックします。**

削除する「お気に入り」の名前が選択されている必要はありません。

「お気に入りの編集」ウィンドウが表示されます。

2 **(1)「お気に入り一覧」から、削除したい「お気に入り」の名前を選択し、(2)「削除」をクリックします。**

「お気に入り「(名前)」を削除します。よろしいですか？」と表示されます。

3 削除しても良い「お気に入り」か確認し、「はい」をクリックします。

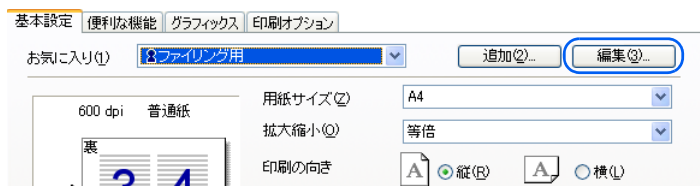
「お気に入りの編集」ウィンドウに戻ります。

4 「OK」をクリックし、「お気に入りの編集」ウィンドウを閉じます。

「お気に入り」の「名前」、「コメント」、表示順の変更

「お気に入り」の登録名、コメント、リストの表示順を変更できます。

1 「編集」をクリックします。

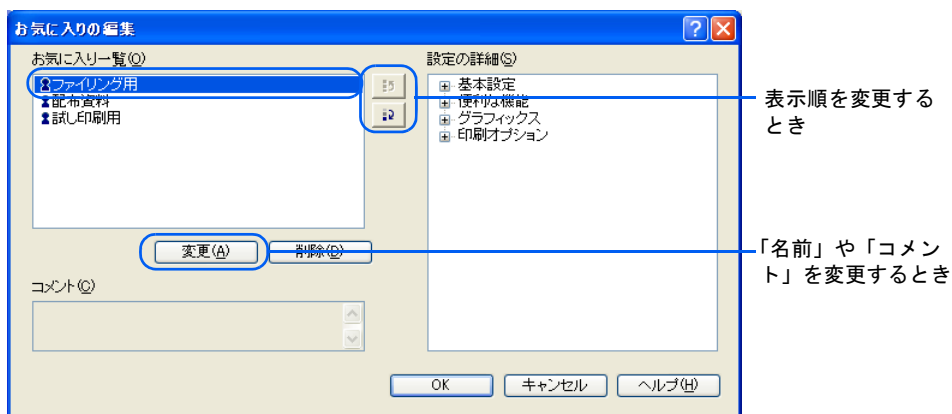
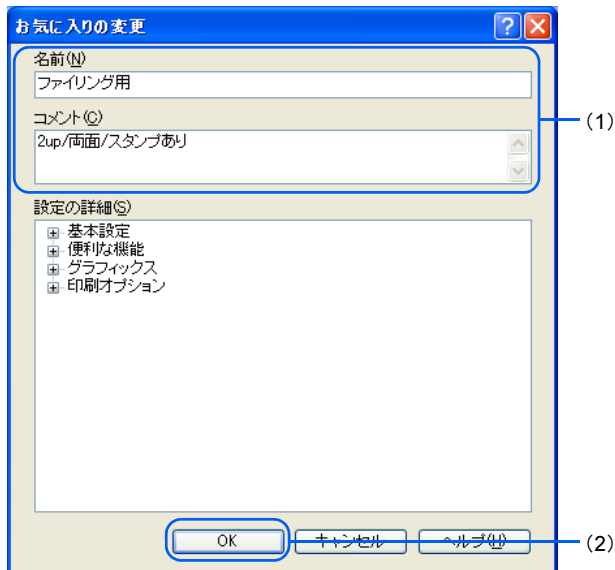
編集する「お気に入り」の名前が選択されている必要はありません。

「お気に入りの編集」ウィンドウが表示されます。

2 「お気に入り一覧」から、編集したい「お気に入り」の名前を選択し、必要に応じて次の操作を行います。

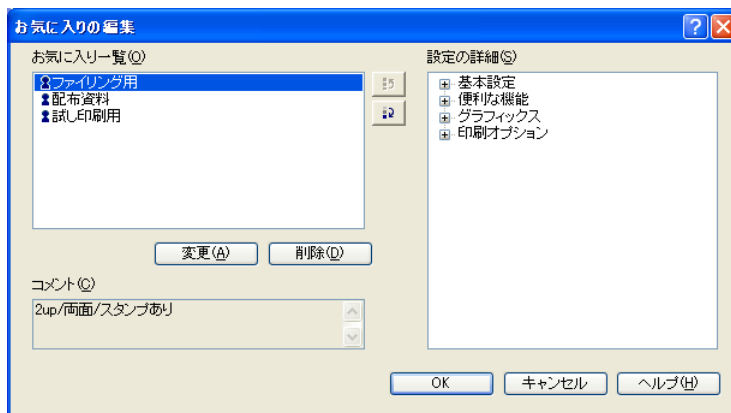
・選択した「お気に入り」の「名前」、「コメント」を変更するとき

「変更」をクリックします。「お気に入りの変更」ウィンドウが表示されますので、手順3（→ P.135）に進んでください。

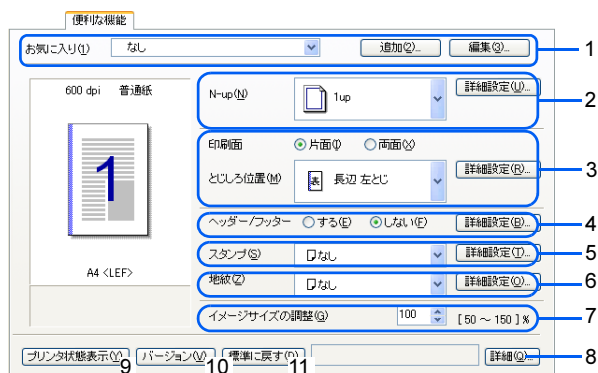
・選択した「お気に入り」の表示順を変更するとき

、 をクリックします。変更したら、手順4（→ P.135）に進んでください。

3 （1）「名前」、「コメント」を変更して、（2）「OK」をクリックします。

POINT

・「お気に入りの変更」ウィンドウでは、設定値の変更はできません。設定値を変更したい場合は、新しい「お気に入り」を登録し、古い「お気に入り」を削除してください。

「お気に入りの編集」ウィンドウに戻ります。

4 「OK」をクリックし、「お気に入りの編集」ウィンドウを閉じます。

「便利な機能」タブの設定項目

N-up や両面印刷に関する設定を行います。

1　お気に入り（初期設定：なし）

プリンタドライバの設定値を、「お気に入り」に登録することで、使用頻度の高い印刷条件を簡単に選択できるようになります。設定方法については、「プリンタドライバの設定を保存する」（→ P.132）をご覧ください。

登録済みの「お気に入り」の項目を使用する場合は、をクリックし、表示されるリストから選択します。

・追加

設定内容に名前を付けて、「お気に入り」として登録します。

・編集

登録済みの「お気に入り」を削除したり、「お気に入り」の名前、コメント、表示順を変更したりします。「お気に入り」の名前、コメント、表示順を変更したりします。

2　N-up（初期設定：1up）

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。1、2、4、8、16up の 5 種類の設定ができます。

・詳細設定

割り付けたページ数に対してページ配置の設定を行います。

N-up 印刷については、「複数ページを 1 枚にまとめて印刷する（N-up 印刷）」（→ P.148）をご覧ください。

3　印刷面（初期設定：片面）

両面／片面印刷の選択や、とじしろ位置の設定を行います。

・詳細設定

とじしろ量や白紙印刷などの設定を行います。

両面印刷については、「用紙の両面に印刷する（対応プリンタのみ）」（→ P.150）をご覧ください。

4　ヘッダー / フッター（初期設定：しない）

用紙のヘッダー（上部）／フッター（下部）に、ユーザー名やパソコン名などを印刷します。

・詳細設定

印刷する情報、印字位置、文字（フォント、色、サイズ）などの設定ができます。

ヘッダー／フッターについては、「ヘッダー、またはフッターに情報を印刷する」（→ P.138）をご覧ください。

5 スタンプ（初期設定：なし）

用紙の背景に、「社外秘」「コピー禁止」などの透かし文字を印刷します。

・詳細設定
新しいスタンプの登録や、登録されているスタンプの編集および削除ができます。
また、スタンプの設定をファイルとして保存したり、保存してあるスタンプ設定を読み込んだりすることもできます。スタンプについては、「スタンプを印刷する」（→ P.140）をご覧ください。

6 地紋（初期設定：なし）（対応プリンタのみ）

用紙の背景に、コピーを抑止するための文字列を地紋として印刷します。地紋を印刷したものをコピーすると、文字列が浮かび上がり、原本とコピーの判別を行うことができます。

・詳細設定
新しい地紋の登録や、登録されている地紋の編集および削除ができます。
また、地紋の設定をファイルとして保存したり、保存してある地紋設定を読み込んだりすることもできます。地紋については、「地紋を印刷する（対応プリンタのみ）」（→ P.144）をご覧ください。

重要

- 地紋印刷の対応プリンタについては、「Printia LASER プリンタユーティリティ」の「FJXLDRV」フォルダ内にある「Win**.TXT」をご覧ください。
  なお、「Win**.TXT」の「**」は、お使いの OS の略称です。例えば、2000 の場合は「WIN2K.TXT」となります。
- 地紋印刷に対応していないプリンタでは、「地紋」設定は表示されません。
- 地紋印刷は、必ずしも情報漏えいを防止するものではありません。
- 地紋は用紙全体に印刷を行うため、トナーを通常の印刷よりも多く消費します。

7 イメージサイズの調整（初期設定：100）

用紙サイズを変更せずに、イメージを拡大縮小する場合の倍率を設定します。とじしろの設定などで、イメージがうまく収まらなくなったときの調整に使うことができます。

8 詳細

設定を変更すると、ボタンの左側にメッセージが表示されます。ボタンをクリックすると、プリンタドライバの設定を行ううえでのヒント情報（アドバイス）が表示されます。詳しくは、「ヒント情報」（→ P.183）をご覧ください。

9 プリンタ状態表示

「Printianavi2」を使用してプリンタの状態を確認できます。状態を確認するウィンドウについては、「プリンタの状態を確認する」（→ P.121）をご覧ください。

10 バージョン

プリンタドライバのバージョンが表示されます。詳しくは、「プリンタドライバのバージョン」（→ P.183）をご覧ください。

11 標準に戻す

「便利な機能」タブで設定した「お気に入り」以外の内容を、すべて初期値に戻します。

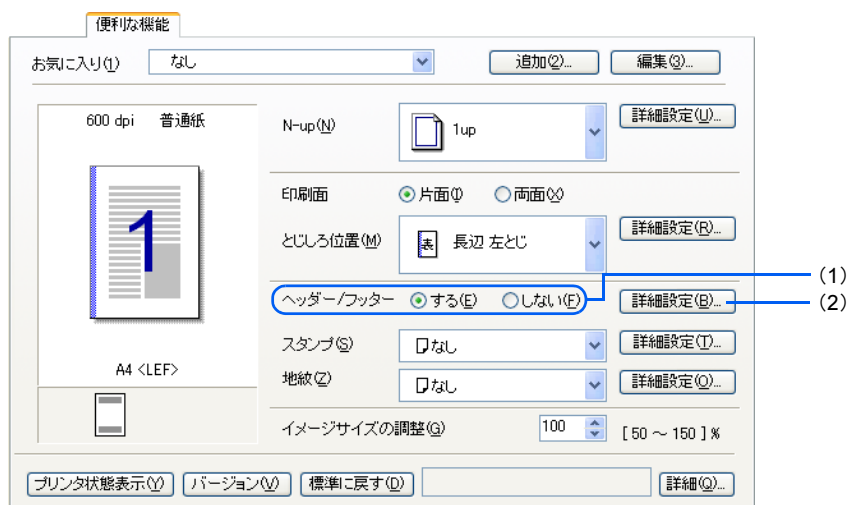
ヘッダー、またはフッターに情報を印刷する

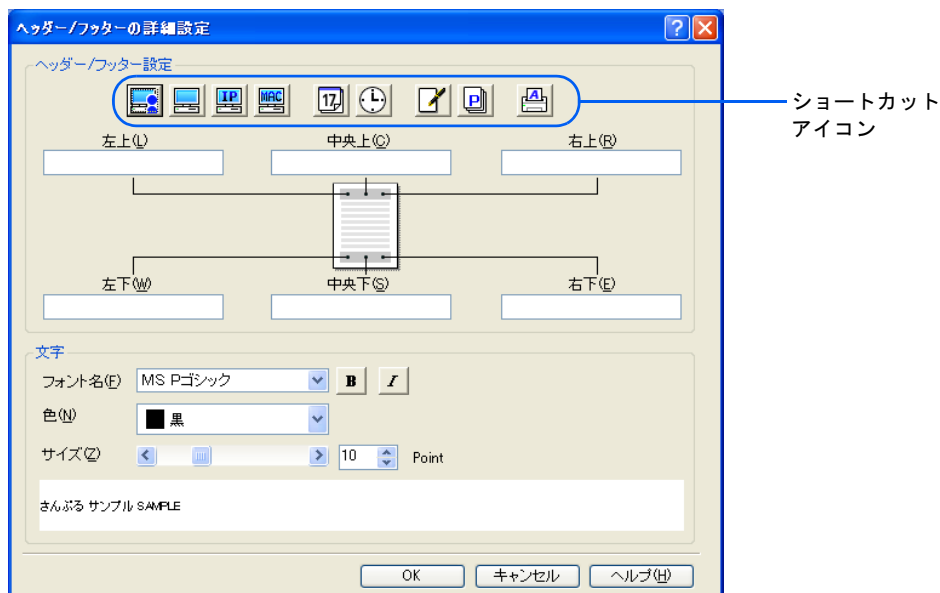
「便利な機能」タブの「ヘッダー / フッター」で、用紙のヘッダー／フッターに印刷する情報を設定します。

POINT

・1 台のパソコンを複数人で共有している場合、全ログオンユーザーに共通で適用するヘッダー／フッターを設定できます。詳しくは、「セキュリティ設定を行う」（→ P.165）をご覧ください。
なお、共通のヘッダー／フッターが設定されている場合、本設定は変更できません。

設定方法

1 **（1）「便利な機能」タブの「ヘッダー / フッター」で「する」を選択し、（2）「詳細設定」をクリックします。**

「ヘッダー / フッターの詳細設定」ウィンドウが表示されます。

2 「ヘッダー / フッターの詳細設定」ウィンドウで、印刷する情報と印刷位置を設定します。

印刷する情報を設定するには、印字したい内容を直接入力します。なお、次の表で示すショートカットアイコンを利用することで、ログオンしているユーザー名や印刷するパソコン名などを簡単に入力することができます。ショートカットアイコンを利用するには、ショートカットアイコンを印字したい場所にドラッグするか、印字したい場所を選択してから、ショートカットアイコンをクリックします。

表：ショートカットアイコンで設定できる項目

アイコン	説明
	印刷するパソコンにログオンしているユーザー名を、自動取得して印字します。
	印刷するパソコン名を自動取得して印字します。
	印刷するパソコンの IP アドレスを自動取得して印字します。 ※ Windows 7/2008/Vista の場合、IPv6 プロトコル有効時は IPv6 アドレスが優先されます。
	印刷するパソコンの MAC アドレスを自動取得して印字します。
	印刷するパソコンに設定してある日時を利用して、印刷日付を印字します。
	印刷するパソコンに設定してある日時を利用して、印刷時刻を印字します。

表：ショートカットアイコンで設定できる項目

アイコン	説明
	印刷するデータのファイル名を自動取得して印字します。
	印刷するデータのページ番号を印字します。
	印刷するプリンタ名を印字します。

POINT

・ショートカットアイコンを利用すると、「印刷ログビューア」に表示される印刷ログ一覧に、印字内容が出力されます。詳しくは、「印刷ログ一覧の見かた」（→ P.207）の「ヘッダー / フッター出力種別」（→ P.208）をご覧ください。
・プリントサーバ経由で印刷を行う環境で、ヘッダー／フッターにパソコン名を印刷する場合は、コンピュータ名と IP アドレスの対応付けが行われている必要があります（対応付けが行われていないと、パソコン名を指定しても IP アドレスが印刷されます）。対応付けは、DNS サーバや WINS サーバを使用するか、各パソコンで「hosts」ファイルや「lmhosts」ファイルを設定することで行ってください。

3 **「OK」をクリックし、「ヘッダー / フッターの詳細設定」ウィンドウを閉じます。**

4 **「OK」をクリックし、「便利な機能」タブを閉じます。**

5 **印刷を実行します。**

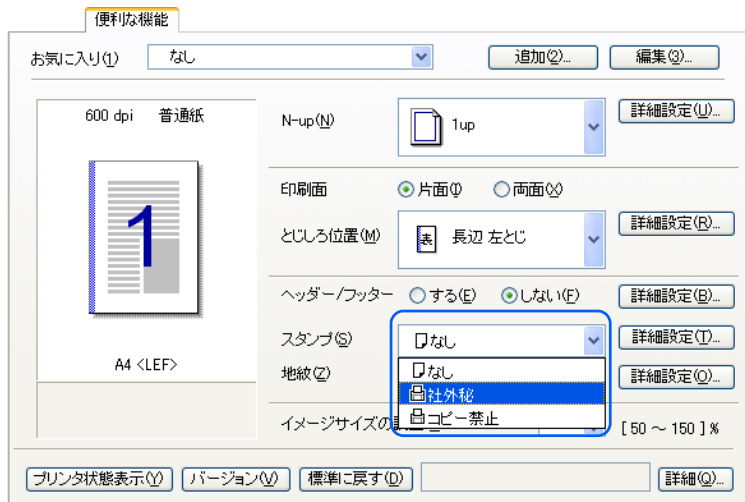
スタンプを印刷する

「便利な機能」タブの「スタンプ」で、用紙の背景に印刷する透かし文字を設定します。
スタンプ印刷は、事前に登録されているスタンプを利用して行うほか、新しいスタンプを登録して行うこともできます。

POINT

・1 台のパソコンを複数人で共有している場合、全ログオンユーザーに共通で適用するスタンプを設定できます。詳しくは、「セキュリティ設定を行う」（→ P.165）をご覧ください。
なお、共通のスタンプが設定されている場合、本設定は変更できません。

登録されているスタンプを使用して印刷する

1 **「便利な機能」タブの「スタンプ」から、印刷するスタンプを選択します。**

2 **「OK」をクリックし、「便利な機能」タブを閉じます。**

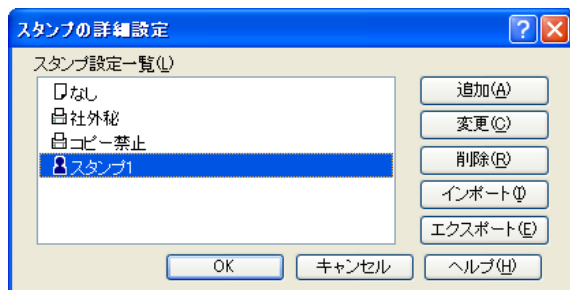
3 **印刷を実行します。**

スタンプを追加／変更／削除／インポート／エクスポートする

「スタンプ」の「詳細設定」をクリックすると、スタンプの追加、変更、および削除ができます。また、ファイルに保存してあるスタンプの設定を読み込んだり（インポート）、スタンプの設定をファイルに保存したり（エクスポート）することもできます。

1 **「便利な機能」タブで、「スタンプ」の「詳細設定」をクリックします。**

「スタンプの詳細設定」ウィンドウが表示されます。

2 スタンプを追加／変更／削除／インポート／エクスポートします。

■スタンプを追加する場合

「追加」をクリックします。
「スタンプの追加」ウィンドウが表示されますので、続けて手順 3（→ P.143）へ進み、スタンプの詳細設定を行ってください。詳細設定を行うと、「スタンプ設定一覧」にスタンプ名が追加されます。

POINT

- 追加したスタンプには、ユーザーが作成したことを示す が付きます。
  付きのスタンプは、16 個まで追加できます。

■スタンプを変更する場合

「スタンプ設定一覧」から、変更するスタンプを選択し、「変更」をクリックします。
「スタンプの変更」ウィンドウが表示されますので、続けて手順 3（→ P.143）へ進み、スタンプの詳細設定を行ってください。

POINT

- 変更できるスタンプは、 付きのスタンプです。 付きのスタンプは、管理者が「管理者設定」タブで作成したスタンプ、または標準で登録されているスタンプのため、変更できません。

■スタンプを削除する場合

「スタンプ設定一覧」から、削除するスタンプを選択し、「削除」をクリックします。
削除後は、「OK」をクリックして「スタンプの詳細設定」ウィンドウを閉じます。

POINT

- 削除できるスタンプは、 付きのスタンプです。 付きのスタンプは、管理者が「管理者設定」タブで作成したスタンプ、または標準で登録されているスタンプのため、削除できません。

■スタンプをインポートする場合

「インポート」をクリックし、ファイルに保存してあるスタンプを読み込んで「スタンプ設定一覧」に追加します。
インポート後は、「OK」をクリックして「スタンプの詳細設定」ウィンドウを閉じます。

■スタンプをエクスポートする場合

「スタンプ設定一覧」から、エクスポートするスタンプを選択し、「エクスポート」をクリックしてファイルに保存します。
エクスポート後は、「OK」をクリックして「スタンプの詳細設定」ウィンドウを閉じます。

3 「スタンプの追加」（または「スタンプの変更」）ウィンドウで、スタンプの詳細を設定します。

ここでは「スタンプの追加」ウィンドウを例に説明していますが、「スタンプの変更」ウィンドウでも、画面構成や設定項目は同じです。

表：スタンプの詳細設定項目

No.	設定項目	説明
1	スタンプサマリ	設定したスタンプが、どのように印刷結果に反映されるか、イメージで表示されます。
2	配置	スタンプの印刷位置を、スクロールバーや配置ボタンを使用して設定します。
3	位置	スタンプの印刷位置が数値で表示されます。
4	繰り返して印字する（初期設定：□）	スタンプを用紙全体に敷きつめるように印刷する場合は、☑にします。
5	スタンプ設定名	スタンプの名称を入力します。
6	スタンプ文字列	スタンプとして印字する文字列を入力します。31 文字まで入力できます。
7	文字	スタンプとして印字する文字のフォント、色、サイズ、スタイルなどを設定します。実際の印刷イメージは、スタンプサマリで確認できます。
8	先頭ページのみ印刷する（初期設定：□）	設定したスタンプを1ページ目だけに印刷する場合は、☑にします。

4 「OK」をクリックし、「スタンプの追加」（または「スタンプの変更」）ウィンドウを閉じます。

5 「OK」をクリックし、「スタンプの詳細設定」ウィンドウを閉じます。

地紋を印刷する（対応プリンタのみ）

「便利な機能」タブの「地紋」で、用紙の背景に印刷する地紋を設定します。
地紋印刷は、事前に登録されている地紋を利用して行うほか、新しい地紋を登録して行うこともできます。

POINT

・1 台のパソコンを複数人で共有している場合、全ログオンユーザーに共通で適用する地紋を設定できます。詳しくは、「セキュリティ設定を行う」（→ P.165）をご覧ください。
なお、共通の地紋が設定されている場合、本設定は変更できません。

登録されている地紋を使用して印刷する

1 「便利な機能」タブの「地紋」から、印刷する地紋を選択します。

2 「OK」をクリックし、「便利な機能」タブを閉じます。

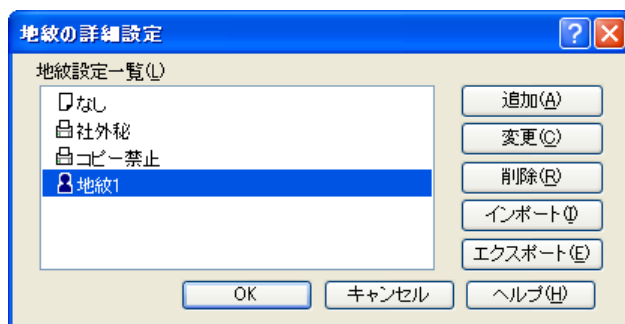
3 印刷を実行します。

地紋を追加／変更／削除／インポート／エクスポートする

「地紋」の「詳細設定」をクリックすると、地紋の追加、変更、および削除ができます。また、ファイルに保存してある地紋の設定を読み込んだり（インポート）、地紋の設定をファイルに保存したり（エクスポート）することもできます。

1 **「便利な機能」タブで、「地紋」の「詳細設定」をクリックします。**

「地紋の詳細設定」ウィンドウが表示されます。

2 **地紋を追加／変更／削除／インポート／エクスポートします。**

■ 地紋を追加する場合

「追加」をクリックします。

「地紋の追加」ウィンドウが表示されますので、続けて手順 3（→ P.147）へ進み、地紋の詳細設定を行ってください。詳細設定を行うと、「地紋設定一覧」に地紋名が追加されます。

・追加した地紋には、ユーザーが作成したことを示す が付きます。
　付きの地紋は、16 個まで追加できます。

■地紋を変更する場合

「地紋設定一覧」から、変更する地紋を選択し、「変更」をクリックします。

「地紋の変更」ウィンドウが表示されますので、続けて手順3（→ P.147）へ進み、地紋の詳細設定を行ってください。

POINT

・変更できる地紋は、付きの地紋です。付きの地紋は、管理者が「管理者設定」タブで作成した地紋、または標準で登録されている地紋のため、変更できません。

■地紋を削除する場合

「地紋設定一覧」から、削除する地紋を選択し、「削除」をクリックします。

削除後は、「OK」をクリックして「地紋の詳細設定」ウィンドウを閉じます。

POINT

・削除できる地紋は、付きの地紋です。付きの地紋は、管理者が「管理者設定」タブで作成した地紋、または標準で登録されている地紋のため、削除できません。

■地紋をインポートする場合

「インポート」をクリックし、ファイルに保存してある地紋を読み込んで「地紋設定一覧」に追加します。

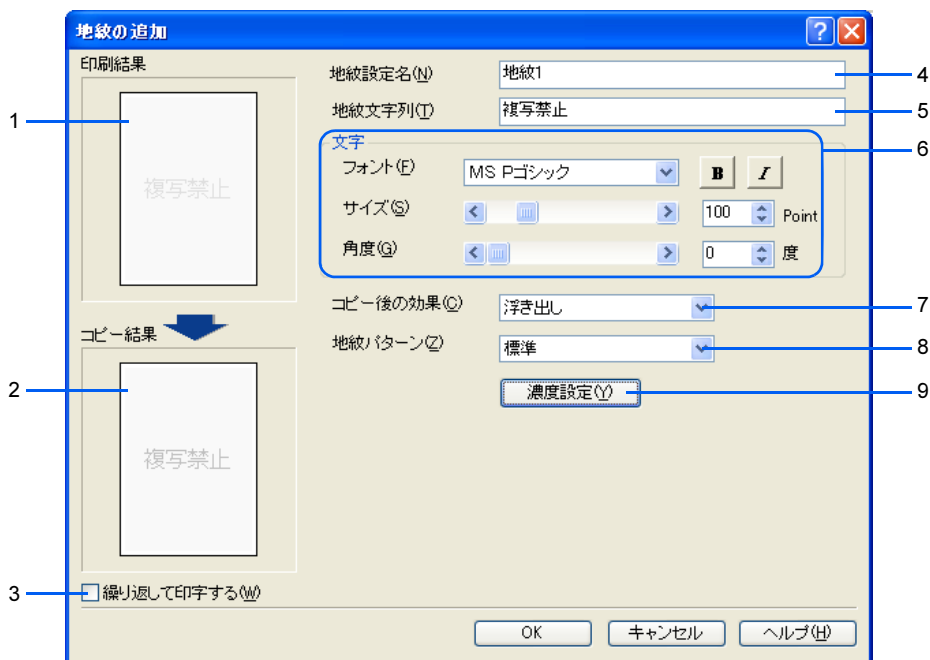
インポート後は、「OK」をクリックして「地紋の詳細設定」ウィンドウを閉じます。

■地紋をエクスポートする場合

「地紋設定一覧」から、エクスポートする地紋を選択し、「エクスポート」をクリックしてファイルに保存します。

エクスポート後は、「OK」をクリックして「地紋の詳細設定」ウィンドウを閉じます。

3 「地紋の追加」（または「地紋の変更」）ウィンドウで、地紋の詳細を設定します。

ここでは「地紋の追加」ウィンドウを例に説明していますが、「地紋の変更」ウィンドウでも、画面構成や設定項目は同じです。

表：地紋の詳細設定項目

No.	設定項目	説明
1	印刷結果サマリ	設定した地紋が、どのように印刷結果に反映されるか、イメージで表示されます。
2	コピー結果サマリ	地紋印刷した文書を、コピー機でコピーしたときのイメージが表示されます。
3	繰り返して印字する（初期設定：☐）	地紋文字列を用紙全体に敷きつめるように印刷する場合は、☑にします。
4	地紋設定名	地紋の名称を入力します。
5	地紋文字列	地紋として印字する文字列を入力します。31 文字まで入力できます。
6	文字	印字する文字について設定します。フォント、色、サイズ、スタイルなどが指定できます。実際の印刷イメージは、印刷結果サマリで確認できます。
7	コピー後の効果	地紋の表現方法を指定します。
8	地紋パターン	地紋に適用するパターンを指定します。なお、「地紋パターン」は、印刷結果サマリやコピー結果サマリに反映されません。指定内容を確認する場合は、実際に印刷を行ってください。

5

表：地紋の詳細設定項目

No.	設定項目	説明
9	濃度設定	クリックすると「濃度設定」ウィンドウが表示され、印刷した用紙をコピーしたときの「消える部分の濃さ」や「コピーしたときに残る部分の濃さ」を設定できます。「装置に最適な濃度に設定する」を ☑ にすると、プリンタごとに最適な濃度に自動調整されます。「装置に最適な濃度に設定する」を □ にすると、スライダーを動かして 24 段階の濃度設定ができます。

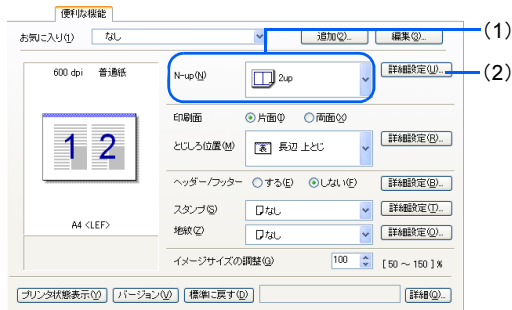
4 **「OK」をクリックし、「地紋の追加」（または「地紋の変更」）ウィンドウを閉じます。**

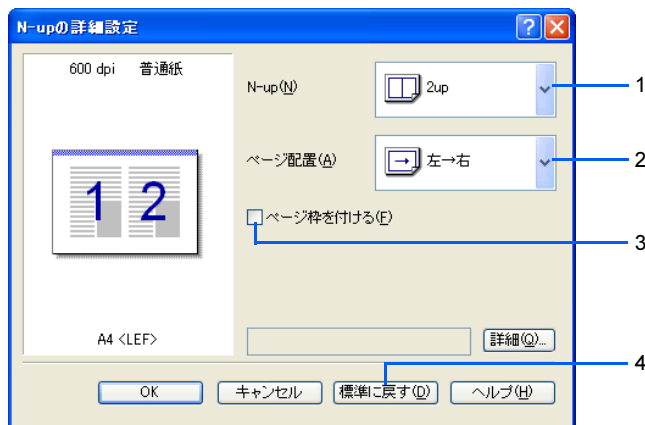
5 **「OK」をクリックし、「地紋の詳細設定」ウィンドウを閉じます。**

複数ページを 1 枚にまとめて印刷する（N-up 印刷）

「便利な機能」タブの「N-up」で 1 枚に割り付けるページ数を設定します。

設定方法

1 **(1)「便利な機能」タブの「N-up」で 1 枚に割り付けるページ数を設定し、(2)「詳細設定」をクリックします。**

「N-up の詳細設定」ウィンドウが表示されます。

2 「N-up の詳細設定」ウィンドウで、ページ配置などを設定します。

表：N-up の詳細設定項目

No.	設定項目	説明
1	N-up （初期設定：1up）	「便利な機能」タブの「N-up」（→ P.136）で設定した内容が表示されます。このウィンドウで設定を変更することもできます。
2	ページ配置 （初期設定：グレイアウト）	割り付けたページをどのような順序で配置するか選択します。「印刷の向き」（縦・横）と「N-up」によって、選択できるページ配置が変わります。
3	ページ枠を付ける （初期設定：☐）	割り付けたページの周囲に枠線を印刷する場合には、☑にします。
4	標準に戻す	「N-up の詳細設定」ウィンドウで設定した内容をすべて初期値に戻します。 この場合、「便利な機能」タブの「N-up」で設定した値も初期値に戻ります。

3 「OK」をクリックし、「N-up の詳細設定」ウィンドウを閉じます。

4 「OK」をクリックし、「便利な機能」タブを閉じます。

5 印刷を実行します。

用紙の両面に印刷する（対応プリンタのみ）

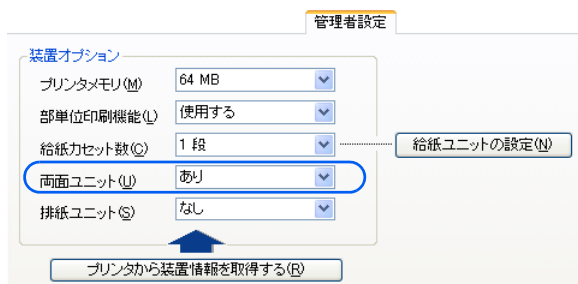
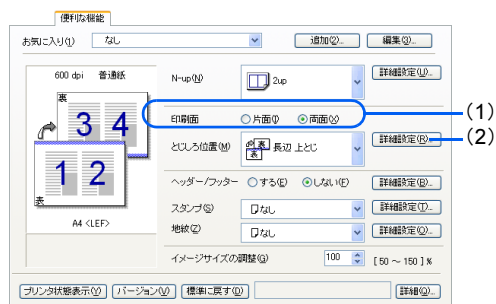
「便利な機能」タブで、両面印刷を行うときの条件、設定手順について説明します。

両面印刷のときの条件

両面印刷を行うには、両面ユニット（オプション）の取り付けが必要です。
両面ユニットの取り付け手順については、『ハードウェアガイド』の「第 3 章 オプションを取り付ける」をご覧ください。

設定方法

1 次のように操作します。

「管理者設定」タブで「両面ユニット」を「あり」に設定します。

2 (1)「便利な機能」タブで「印刷面」の「両面」を選択し、(2)「とじしろ位置」の「詳細設定」をクリックします。

「印刷面の詳細設定」ウィンドウが表示されます。

3 「印刷面の詳細設定」ウィンドウで、とじしろ量や白紙ページを設定します。

表：印刷面の詳細設定項目

No.	設定項目	説明
1	印刷面 （初期設定：片面）	「便利な機能」タブの「印刷面」で選択した内容が表示されます。このウィンドウで設定を変更することもできます。
2	とじしろ位置 （初期設定：長辺左とじ）	「便利な機能」タブの「とじしろ位置」で選択した内容が表示されます。このウィンドウで設定を変更することもできます。
3	とじしろ量 （初期設定：0）	とじしろ量を、用紙の表と裏それぞれについて設定します。設定できる範囲は、0 ～ 30mm です。
4	両面時に白紙ページを印刷する （初期設定：☑）	印刷するデータに含まれる白紙のページを印刷する場合は、☑にします。☐の場合は、ページ順序がずれることがあります。印刷面が「片面」のときは、本機能は設定できません。
5	詳細	設定が変更されると、ボタンの左側にメッセージが表示されます。ボタンをクリックすると、プリンタドライバの設定を行ううえでのヒント情報（アドバイス）が表示されます。詳しくは、「ヒント情報」（→ P.183）をご覧ください。
6	標準に戻す	「印刷面の詳細設定」タブで設定した内容をすべて初期値に戻します。この場合、「便利な機能」タブの「印刷面」で設定した値も初期値に戻ります。

4 「OK」をクリックし、「印刷面の詳細設定」ウィンドウを閉じます。

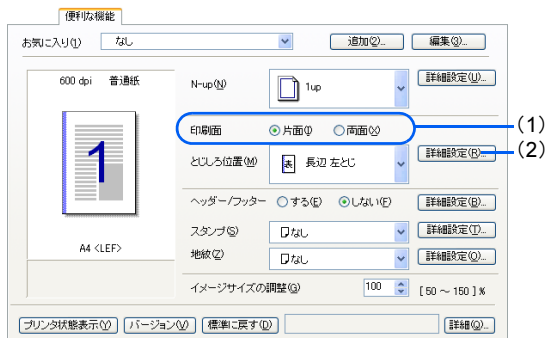
5 「OK」をクリックし、「便利な機能」タブを閉じます。

6 印刷を実行します。

片面印刷時にとじしろを設定する

「便利な機能」タブで、片面印刷時のとじしろ位置、とじしろ量などを設定します。

設定方法

1 **(1)「便利な機能」タブで「印刷面」の「片面」を選択し、(2)「とじしろ位置」の「詳細設定」をクリックします。**

「印刷面の詳細設定」ウィンドウが表示されます。

2 「印刷面の詳細設定」ウィンドウで、とじしろ量や白紙ページを設定します。

表：印刷面の詳細設定項目

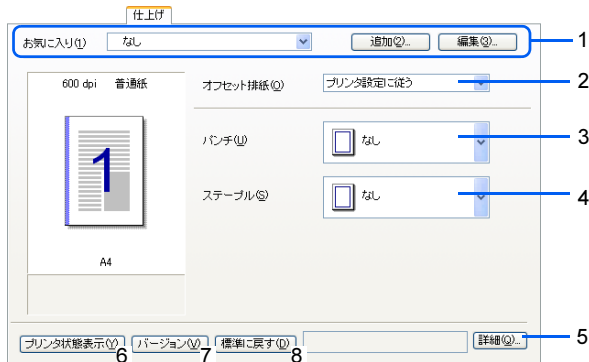
No.	設定項目	説明
1	印刷面 （初期設定：片面）	「便利な機能」タブの「印刷面」で選択した内容が表示されます。このウィンドウで設定を変更することもできます。
2	とじしろ位置 （初期設定：長辺左とじ）	「便利な機能」タブの「とじしろ位置」で選択した内容が表示されます。このウィンドウで設定を変更することもできます。
3	とじしろ量 （初期設定：0）	とじしろ量の「表」について設定します。設定できる範囲は 0 ～ 30mm です。印刷面で「片面」を選択している場合、「裏」はグレイアウトされ、設定できません。
4	片面時に白紙ページを印刷する （初期設定：□）	印刷するデータに含まれる白紙のページを印刷する場合は、☑にします。
5	詳細	設定が変更されると、ボタンの左側にメッセージが表示されます。ボタンをクリックすると、プリンタドライバの設定を行ううえでのヒント情報（アドバイス）が表示されます。詳しくは、「ヒント情報」（→ P.183）をご覧ください。
6	標準に戻す	「印刷面の詳細設定」タブで設定した内容をすべて初期値に戻します。この場合、「便利な機能」タブの「印刷面」で設定した値も初期値に戻ります。

3 「OK」をクリックし、「印刷面の詳細設定」ウィンドウを閉じます。

4 「OK」をクリックし、「便利な機能」タブを閉じます。

5 印刷を実行します。

「仕上げ」タブの設定項目（対応プリンタのみ）

オフセット排紙やパンチ穴開け、ステープルの設定を行います。

1 お気に入り（初期設定：なし）

プリンタドライバの設定値を、「お気に入り」に登録することで、使用頻度の高い印刷条件を簡単に選択できるようになります。設定方法については、「プリンタドライバの設定を保存する」（→ P.132）をご覧ください。

登録済みの「お気に入り」の項目を使用する場合は、をクリックし、表示されるリストから選択します。

・追加

設定内容に名前を付けて、「お気に入り」として登録します。

・編集

登録済みの「お気に入り」を削除したり、「お気に入り」の名前、コメント、表示順を変更したりします。

2 オフセット排紙（初期設定：プリンタ設定に従う）

1 回（1 部）の印刷ごとに、用紙排紙の位置を交互にシフトして排紙するか選択します。「プリンタ設定に従う」を選択した場合は、プリンタのオペレータパネルの設定で動作します。

詳しくは、「オフセット排紙を行う（対応プリンタのみ）」（→ P.155）をご覧ください。

3 パンチ（初期設定：なし）

印刷した用紙のとじしろ側にパンチ穴（2 穴）を開けるか選択します。詳しくは、「パンチ穴開け・ステープルを行う（対応プリンタのみ）」（→ P.157）をご覧ください。

4 ステープル（初期設定：なし）

1 回（1 部）の印刷ごとに、とじしろ側（コーナー 1ヶ所または中央 2ヶ所）をステープラーでとじるか選択します。詳しくは、「パンチ穴開け・ステープルを行う（対応プリンタのみ）」（→ P.157）をご覧ください。

5 詳細

設定を変更すると、ボタンの左側にメッセージが表示されます。ボタンをクリックすると、プリンタドライバの設定を行ううえでのヒント情報（アドバイス）が表示されます。詳しくは、「ヒント情報」（→ P.183）をご覧ください。

6 プリンタ状態表示

「Printianavi2」を使用してプリンタの状態を確認できます。状態を確認するウィンドウについては、「プリンタの状態を確認する」（→ P.121）をご覧ください。

7 バージョン

プリンタドライバのバージョンが表示されます。詳しくは、「プリンタドライバのバージョン」（→ P.183）をご覧ください。

8 標準に戻す

「仕上げ」タブで設定した「お気に入り」以外の内容を、すべて初期値に戻します。

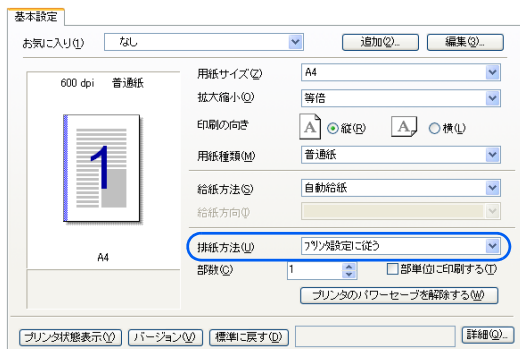
オフセット排紙を行う（対応プリンタのみ）

「仕上げ」タブで、オフセット排紙を行うときの条件、設定方法について説明します。

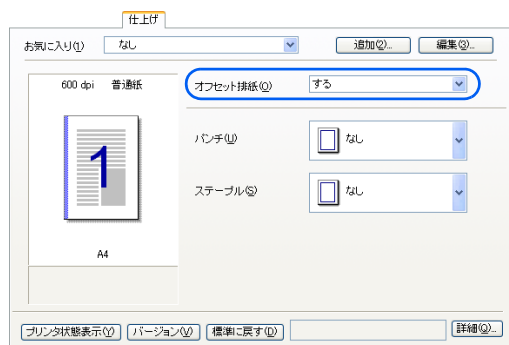
オフセット排紙を行うときの条件

オフセット排紙を行うには、オフセット排紙口（排紙方法）が設定されている必要があります。オフセット排紙をサポートする排紙口については、『ハードウェアガイド』をご覧ください。

設定方法

1 「基本設定」タブの「排紙方法」から、オフセット排紙をサポートする排紙口を指定します。

POINT

・プリンタのオペレータパネルの排紙口設定がオフセット排紙をサポートする排紙口になっている場合は、「プリンタ設定に従う」を選択してもオフセット排紙を行うことができます。

2 「仕上げ」タブで、「オフセット排紙」を「する」に設定します。

■オペレータパネル側で、同様にオフセット排紙を設定している場合の動作について

プリンタのオペレータパネルで、オフセット排紙設定を「設定」にしている場合、プリンタドライバで「プリンタ設定に従う」を選択しても、オフセット排紙を行うことができます。ただし、プリンタドライバでオフセット排紙を「する」、または「プリンタ設定に従う」に設定しても、オペレータパネルの設定との組み合わせによっては、オフセット排紙されないことがあります。

各排紙方法でオフセット排紙を「する」または「プリンタ設定に従う」にしたときの、オペレータパネルの設定との組み合わせによる動作は次のとおりです。

表：設定の組み合わせによるオフセット排紙動作

プリンタドライバ側の設定		オペレータパネル側の設定		結果
排紙方法	オフセット排紙設定	排紙口	オフセット排紙設定	
プリンタ設定に従う	プリンタ設定に従う	オフセット排紙をサポートする排紙口	設定	○
			解除	×
		オフセット排紙をサポートしない排紙口	設定	×［注1］
			解除	×
	する	オフセット排紙をサポートする排紙口	－［注2］	○
		オフセット排紙をサポートしない排紙口		×［注1］
オフセット排紙をサポートする排紙口	プリンタ設定に従う	－［注2］	設定	○
			解除	×
	する		－［注2］	○
オフセット排紙をサポートしない排紙口	プリンタ設定に従う［注3］	－［注2］	設定	×［注4］
			解除	×

注1　：　オペレータパネルの排紙口の設定が優先されるため、オフセット排紙されません。
注2　：　プリンタドライバの設定が優先されるため、オペレータパネルの設定値に関係なく動作します。
注3　：　プリンタドライバでオフセット排紙「する」は選択できません。
注4　：　プリンタドライバの排紙口の設定が優先されるため、オフセット排紙されません。

3 「OK」をクリックし、「仕上げ」タブを閉じます。

4 印刷を実行します。

パンチ穴開け・ステープルを行う（対応プリンタのみ）

「仕上げ」タブで、パンチ・ステープルを行うときの条件、設定手順について説明します。

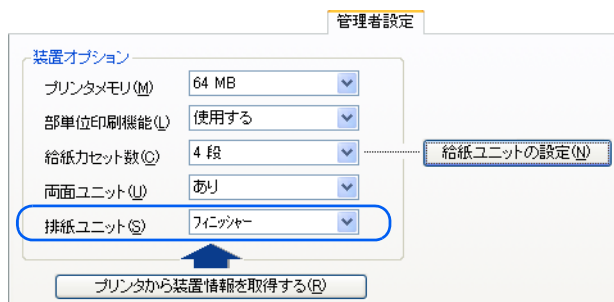
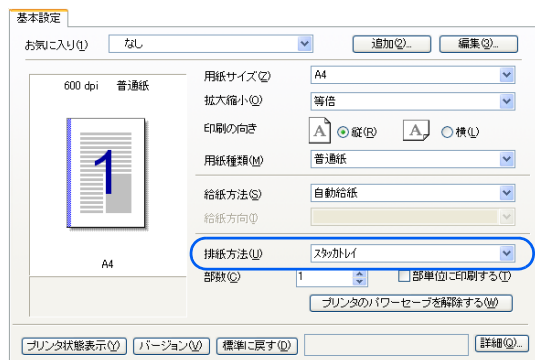
パンチ・ステープルを行うときの条件

・フィニッシャー（オプション）が取り付けられていること
・パンチ・ステープルをサポートする排紙口（排紙方法）および用紙サイズ・用紙種類が設定されていること

フィニッシャーの取り付け手順、パンチ・ステープルをサポートする排紙口および用紙サイズ・用紙種類については、『ハードウェアガイド』をご覧ください。

設定方法

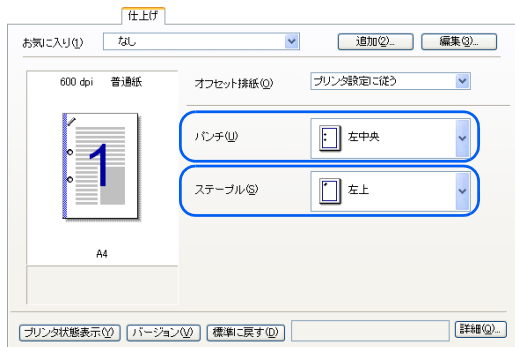
1 次のように操作します。

「管理者設定」タブの「排紙ユニット」から、「フィニッシャー」を選択します。

2 「基本設定」タブの「排紙方法」から、「スタッカトレイ」を選択します。

POINT

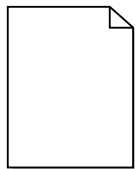
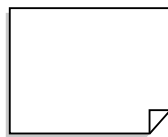
・プリンタのオペレータパネルの排紙口設定がスタッカトレイになっている場合は、「プリンタ設定に従う」を選択してもパンチ・ステープルを行うことができます。

3 「仕上げ」タブで「パンチ」および「ステープル」を設定します。

・パンチ
　とじしろ位置の中央 2ヶ所にパンチ穴を開けます。
・ステープル
　とじしろ位置のコーナー 1ヶ所、または中央 2ヶ所をステープラーでとじます。

パンチとステープルは同時に設定できます。

POINT

・パンチおよびステープルの中央 2ヶ所を設定するには、機能をサポートする用紙サイズに対して、横送りの長辺とじ、または縦送りの短辺とじを指定します。
　定形サイズでは、給紙側（装置に最初に引き込まれる側）に長い辺をセットする用紙が横送り、短い辺をセットする用紙が縦送りとなります。通常、A4 ／ B5 ／レターは横送り用紙、A3 ／ B4 は縦送り用紙です。

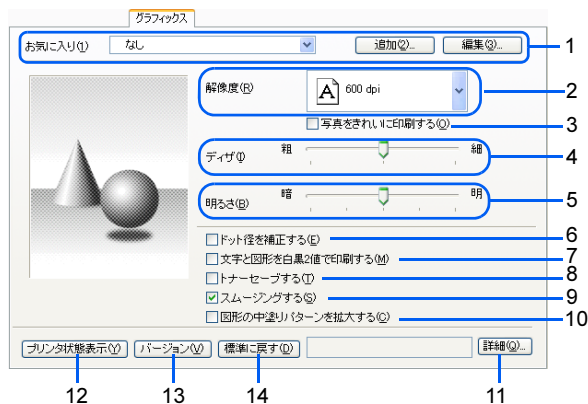
横送りの場合：　　縦送りの場合：

・ステープル可能な枚数は、1 回（1 部）の印刷につき 50 枚までです。また、異なるサイズの用紙が混在している場合はステープルできません。
・複数部数を印刷するときは、「基本設定」タブの「部単位に印刷する」を ☑ にしてください。

4 「OK」をクリックし、「仕上げ」タブを閉じます。

5 印刷を実行します。

用紙の送り方向とパンチ、ステープルについて詳しくは、『ハードウェアガイド』をご覧ください。

「グラフィックス」タブの設定項目

解像度やディザパターン、トナーセーブに関する設定を行います。

1 お気に入り（初期設定：なし）

プリンタドライバの設定値を、「お気に入り」に登録することで、使用頻度の高い印刷条件を簡単に選択できるようになります。設定方法については、「プリンタドライバの設定を保存する」（→ P.132）をご覧ください。

登録済みの「お気に入り」の項目を使用する場合は、☑をクリックし、表示されるリストから選択します。

- 追加
  設定内容に名前を付けて、「お気に入り」として登録します。
- 編集
  登録済みの「お気に入り」を削除したり、「お気に入り」の名前、コメント、表示順を変更したりします。

2 解像度（初期設定：300dpi または 600dpi）

印刷時の解像度です。解像度が高いほどきれいに印刷できます。300/600/1200dpi のいずれかを設定できます（1200dpi は対応プリンタのみ）。

3 写真をきれいに印刷する（初期設定：□または☑）

☑にすると、写真データの印刷に適したディザパターンを使用して印刷します。

4 ディザ（初期設定：普通）

ディザパターンを選択します。「粗」「普通」「細」の 3 段階で調整を行います。「細」に設定すると、図形やイメージを精細に印刷できます。

5 明るさ（初期設定：中央）

全体の明るさを、5 段階で調整します。

6 ドット径を補正する（初期設定：□）（対応プリンタのみ）

☑にすると、ドット径を小さくして、バーコードなどを読みやすく印刷します。

7 文字と図形を白黒 2 値で印刷する（初期設定：□）

文字と図形を、階調表現を行わず白黒 2 色のみで（白い部分は白で、白以外の部分は黒で）印刷する場合は、☑にします。

8 トナーセーブする（初期設定：□）

トナーを節約した印刷を行います。☑にすると印刷品質は落ちますが、トナーの寿命を長くすることができます。

9 スムージングする（初期設定：☑）

文字や図形の線のギザギザをなめらかにしたい場合は、☑にします。ただし、写真データの印刷には向きません。

10 図形の中塗りパターンを拡大する （初期設定：□）

図形の中を網掛けなどのパターンで塗りつぶした文書を印刷するときにパターン部分のドットを拡大して見えやすくします。

11 詳細

設定を変更すると、ボタンの左側にメッセージが表示されます。ボタンをクリックすると、プリンタドライバの設定を行ううえでのヒント情報（アドバイス）が表示されます。詳しくは、「ヒント情報」（→ P.183）をご覧ください。

12 プリンタ状態表示

「Printianavi2」を使用してプリンタの状態を確認できます。状態を確認するウィンドウについては、「プリンタの状態を確認する」（→ P.121）をご覧ください。

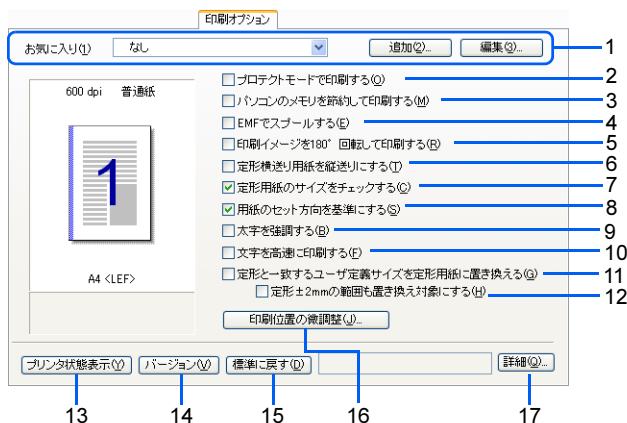
13 バージョン

プリンタドライバのバージョンが表示されます。詳しくは、「プリンタドライバのバージョン」（→ P.183）をご覧ください。

14 標準に戻す

「グラフィックス」タブで設定した「お気に入り」以外の内容を、すべて初期値に戻します。

「印刷オプション」タブの設定項目

スプールに関する設定、プロテクトモード印刷など、印刷に関する設定を行います。

1 お気に入り（初期設定：なし）

プリンタドライバの設定値を、「お気に入り」に登録することで、使用頻度の高い印刷条件を簡単に選択できるようになります。設定方法については、「プリンタドライバの設定を保存する」(→ P.132）をご覧ください。

登録済みの「お気に入り」の項目を使用する場合は、☐をクリックし、表示されるリストから選択します。

・追加

設定内容に名前を付けて、「お気に入り」として登録します。

・編集

登録済みの「お気に入り」を削除したり、「お気に入り」の名前、コメント、表示順を変更したりします。

2 プロテクトモードで印刷する（初期設定：☐）

解像度、用紙サイズ、印刷方法（片面／両面）の設定の組み合わせによっては、プリンタ側でメモリを確保できず、印刷途中でメモリ不足エラーとなる場合があります。本設定を☑にすると、印刷保証できる必要メモリがプリンタ側で確保できない場合には印刷を行いません。

3 パソコンのメモリを節約して印刷する（初期設定：☐）

パソコン上のメモリを節約して印刷する場合は、☑にします。

4 EMF でスプールする（初期設定：☐）

印刷データを EMF 形式でスプールする場合は、☑にします。サーバとクライアントの OS が 7/2008/Vista/2003/XP/2000 の場合、本設定を☑にすると、クライアント側ではプリントサーバで設定した内容で 「Printianavi2」が動作します。

EMF 形式の意味については、「EMF（Enhanced Meta File)」（→ P.333）をご覧ください。

5 印刷イメージを 180° 回転して印刷する（初期設定：☐）（対応プリンタのみ）

印刷イメージを 180° 回転させて印刷したい場合にクリックし、☑にします。用紙の出力方向はすべて逆になります。

6 定形横送り用紙を縦送りにする（初期設定：☐）

横送りの向きにセットする定形サイズの用紙を、縦送りの向きにセットして印刷する場合は☑にします（対応給紙口のみ)。

重要

- 本設定を☑にすると、プリンタは用紙をユーザ定義サイズとして印刷するため、横送りに比べて印刷速度が大幅に低下することがあります。また、A4（SEF または LEF）換算ページ数が増える場合があります。

7　定形用紙のサイズをチェックする（初期設定：☑）

定形サイズの用紙を印刷するときに、用紙のサイズをチェックするかどうかを設定します。指定したサイズと異なる用紙をセットしたときにエラーとして検出させたい場合は、☑にします。

重要

- 本設定を□にすると、印刷速度が低下することがあります。また、A4（SEF または LEF）換算ページ数が増える場合があります。
- 本設定を□にする場合は、実際にセットする用紙はプリンタがサポートするユーザ定義サイズの範囲内とし、最も近いサイズの定形用紙を指定してください。実際にセットする用紙とのサイズ差が大きいと、用紙を 2 枚給紙したり、紙詰まりや故障したりする原因となります。
  なお、お使いの機種によっては、故障防止のため、本設定を□に設定しても、指定したサイズと実際にプリンタにセットした用紙サイズに次の差があると、エラーとして検出される場合があります。
  - XL-9440/9380
    カセット 1 から給紙する場合は、指定した定形用紙の長さ＋ 35 ㎜以上
  - XL-4360
    給紙トレイから給紙する場合は、指定した定形用紙の長さ＋ 40 ㎜以上
    なお、カセット 1、カセット 2、カセット 3 では、本設定を□に設定しても、定形サイズの用紙の印刷時に用紙サイズのチェックを行います。

8　用紙のセット方向を基準にする（初期設定：□または☑）

とじしろ位置について、用紙のセット方向を基準にするか、排紙したときの印刷イメージの方向を基準にするかを指定します。用紙のセット方向を基準にするときは、☑にします。

9　太字を強調する（初期設定：□）

☑にすると、太字の部分は通常より強調して印刷されます。

10　文字を高速に印刷する（初期設定：□）（対応プリンタのみ）

文字データをプリンタ上のメモリに蓄えて印刷する場合は、☑にします。文字を高速で印刷できます。

11　定形と一致するユーザ定義サイズを定形用紙に置き換える（初期設定：□または☑）

ユーザ定義サイズで指定した幅と長さが定形用紙と一致したときに、用紙サイズを定形用紙に置き換えます。

ソフトウェアによっては、定形用紙を指定しても定形用紙相当のユーザ定義サイズに変換するため、定形用紙をセットした給紙口から給紙されなかったり、用紙サイズ不一致エラーとなることがあります。このような場合は、☑にします。

12　定形± 2mm の範囲も置き換え対象にする（初期設定：□）

ユーザ定義サイズで指定した幅と長さの両方が、定形用紙の幅± 2mm、長さ± 2mm の範囲のときに用紙サイズを定形用紙に置き換えます。

13　プリンタ状態表示

「Printianavi2」を使用してプリンタの状態を確認できます。状態を確認するウィンドウについては、「プリンタの状態を確認する」（→ P.121）をご覧ください。

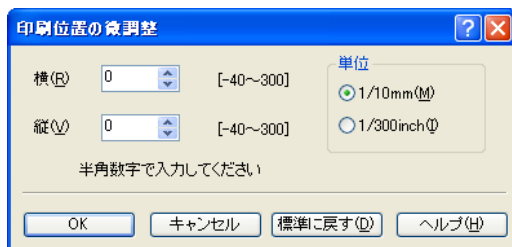
14 バージョン

プリンタドライバのバージョンが表示されます。詳しくは、「プリンタドライバのバージョン」（→ P.183）をご覧ください。

15 標準に戻す

「印刷オプション」タブで設定した「お気に入り」以外の内容を、すべて初期値に戻します。

16 印刷位置の微調整

設定されている印刷位置を調整する場合に使用します。クリックすると、次のウィンドウが表示されます。

値をマイナスにすると、用紙に対して左／上方向に印字が移動します。
値をプラスにすると、用紙に対して右／下方向に印字が移動します。
また、印刷位置を調整する単位を指定できます。

- 1/10mm
  調整量を 1/10mm 単位で設定します。
- 1/300inch
  調整量を 1/300inch 単位で設定します。

「便利な機能」タブの「詳細設定」でとじしろ量を設定している場合（→ P.136）、両方の設定を合わせた値が微調整量となります。

17 詳細

設定を変更すると、ボタンの左側にメッセージが表示されます。ボタンをクリックすると、プリンタドライバの設定を行ううえでのヒント情報（アドバイス）が表示されます。詳しくは、「ヒント情報」（→ P.183）をご覧ください。

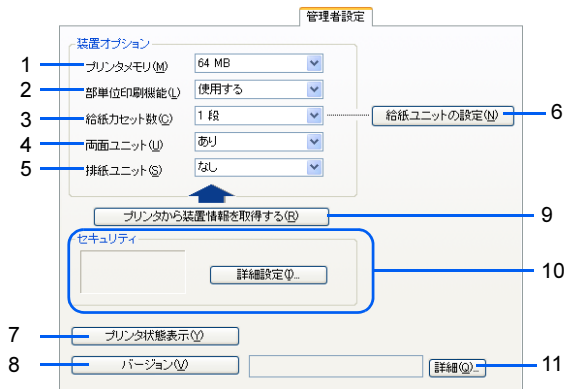
5

「管理者設定」タブの設定項目

「管理者設定」タブを使って、オプションの取り付け状態に関する設定、および管理者による印刷設定（ヘッダー／フッター、スタンプ、地紋）を行います。

POINT

・「管理者設定」タブ画面を表示するには、「「デバイスとプリンター」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「プリンタと FAX」フォルダから表示する場合」（→ P.116）の手順で「プロパティ」を選択します（「印刷設定」を選択した場合は、表示されません）。

■「管理者設定」タブ

1 プリンタメモリ

プリンタに搭載されているメモリサイズを設定します。

2 部単位印刷機能

部単位印刷機能を使う場合に設定します。
部単位印刷機能については、「複数部数、または部単位印刷を行う」（→ P.128）をご覧ください。

3 給紙カセット数（または給紙ユニット数）

プリンタに取り付けられている給紙カセットの段数を設定します。機種によっては、「給紙ユニット数」と表示されます。

4 両面ユニット

プリンタに両面ユニットが取り付けられている／いないを設定します。

5 排紙ユニット （対応プリンタのみ）

プリンタに拡張スタッカやフィニッシャーなどの排紙ユニットが取り付けられている／いないを設定します。フィニッシャーを使用した印刷方法については、「パンチ穴開け・ステープルを行う（対応プリンタのみ）」（→ P.157）をご覧ください。また、拡張スタッカを使用した印刷方法については、「拡張スタッカを使って印刷する（XL-6700 のみ）」（→ P.167）をご覧ください。

6 給紙ユニットの設定 （対応プリンタのみ）

ユーザ定義サイズを給紙口ごとに登録できます。
ユーザ定義サイズについては、「あらかじめ用紙サイズを設定しておく（対応プリンタのみ）」（→ P.124）をご覧ください。

7 プリンタ状態表示

「Printianavi2」を使用してプリンタの状態を確認できます。状態を確認するウィンドウについては、「プリンタの状態を確認する」(→ P.121)をご覧ください。

8 バージョン

プリンタドライバのバージョンが表示されます。詳しくは、「プリンタドライバのバージョン」(→ P.183)をご覧ください。

9 プリンタから装置情報を取得する

プリンタに取り付けられているオプションの状態が、「管理者設定」タブ内の各設定値に反映されます。ただし、プリンタのプロパティの双方向通信機能が無効に設定されている場合はグレイアウトされます。
双方向通信機能の設定は、プリンタのプロパティから「ポート」タブの「双方向サポートを有効にする」で設定します(プリントサーバ経由の印刷の場合はプリントサーバ側で設定してください。また、OS によって一部表記が異なる場合があります)。

10 セキュリティ

管理者がヘッダー/フッター、スタンプ、地紋の印刷設定を行っておくと、同じパソコンを使う他のユーザーが印刷するときに、ここで設定した項目が適用されます。設定方法については、「セキュリティ設定を行う」(→ P.165)をご覧ください。

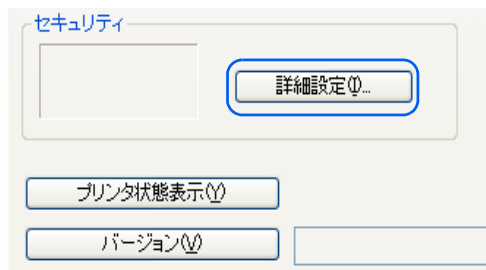
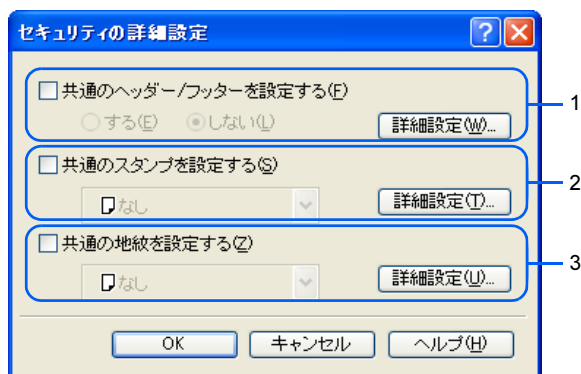
11 詳細

設定を変更すると、ボタンの左側にメッセージが表示されます。ボタンをクリックすると、プリンタドライバの設定を行ううえでのヒント情報(アドバイス)が表示されます。詳しくは、「ヒント情報」(→ P.183)をご覧ください。

セキュリティ設定を行う

1 台のパソコンを複数人で共有している場合などに、全ログオンユーザーに共通で適用する印刷設定(ヘッダー/フッター、スタンプ、地紋)を、「管理者設定」タブで行います。

設定方法

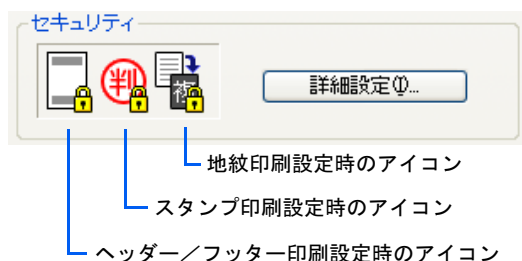
1 「管理者設定」タブで「詳細設定」をクリックします。

2 「セキュリティの詳細設定」ウィンドウで、全ログオンユーザーに適用したい項目を選択し、必要に応じて詳細を設定します。

表：セキュリティの詳細設定項目

No.	設定項目	説明
1	共通のヘッダー/ フッターを設定する	ヘッダー／フッター印刷を設定する場合は☑にし、「する」を◉にします。 ヘッダー／フッターの位置や内容を設定する場合は、「詳細設定」をクリックし、「ヘッダー、またはフッターに情報を印刷する」（→ P.138）をご覧になり、設定を行ってください。
2	共通のスタンプを設定する	スタンプ印刷を設定する場合は☑にし、▼で印刷するスタンプを選択します。 スタンプを追加したり、内容を変更したりする場合は、「詳細設定」をクリックし、「スタンプを追加／変更／削除／インポート／エクスポートする」（→ P.141）をご覧になり、設定を行ってください。 が付いているスタンプは、標準のスタンプを含めて 16 個まで登録することができます。
3	共通の地紋を設定する	地紋印刷を設定する場合は☑にし、▼で印刷する地紋を選択します。 地紋を追加したり、内容を変更したりする場合は、「詳細設定」をクリックし、「地紋を追加／変更／削除／インポート／エクスポートする」（→ P.145）をご覧になり、設定を行ってください。 が付いている地紋は、標準の地紋を含めて 16 個まで登録することができます。

重要

・地紋印刷に対応していないプリンタでは、「共通の地紋を設定する」項目は表示されません。

3 **「OK」をクリックします。**

設定を行うと、「管理者設定」タブの「セキュリティ」にアイコンが表示されます。

また、「基本設定」タブの「機能アイコンサマリ」(→ P.120)にもアイコンが表示されます。

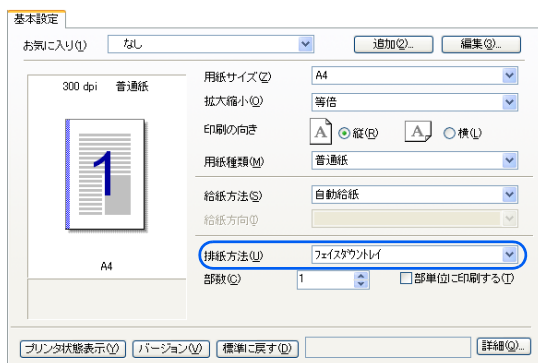
拡張スタッカを使って印刷する（XL-6700 のみ）

拡張スタッカを使った印刷を行うときの条件、設定手順について説明します。

拡張スタッカを使った印刷を行うときの条件

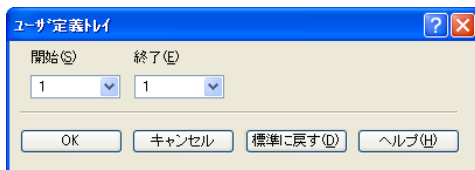
- 拡張スタッカが取り付けられている必要があります。拡張スタッカの取り付け手順については、『XL-6700 取扱説明書』をご覧ください。
- 次の用紙は、拡張スタッカに出力できません（フェイスダウントレイに出力されます）。
  はがき、不定形用紙（「ユーザ定義サイズ」）、厚紙、OHP フィルム

排紙方法を選択する

1 **「基本設定」タブで「排紙方法」を選択します。**

■ リストにない排紙方法を指定するには

リストにない排紙方法を指定したい場合は、ユーザ定義トレイを次の手順で設定します。

1. 「排紙方法」から「ユーザ定義トレイ」を選択します。

「ユーザ定義トレイ」ウィンドウが表示されます。

2. 拡張トレイの開始番号と終了番号を指定し、「OK」をクリックします。

POINT

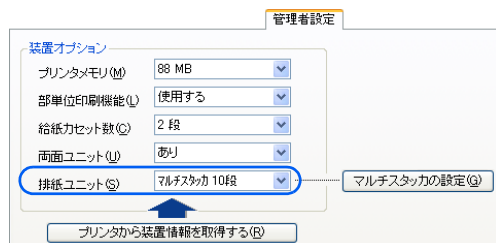
- 設定できるユーザ定義トレイは 1 つだけです。
- 排紙方法を登録したい場合や、排紙方法をリストから削除したい場合は、「拡張スタッカの排紙方法を追加・削除する」（→ P.168）の操作を行ってください。
- 「管理者設定」タブで拡張スタッカが「なし」に設定されていると、拡張スタッカの排紙方法はリストに表示されません。
- 「管理者設定」タブの「マルチスタッカの設定」で登録済みの範囲を「ユーザ定義トレイ」で設定すると、排紙方法は「マルチスタッカの設定」で登録した名称が表示されます。

拡張スタッカの排紙方法を追加・削除する

拡張スタッカに出力するには、出力先の拡張トレイをどこに（またはどこからどこまでに）するかの設定が必要です。

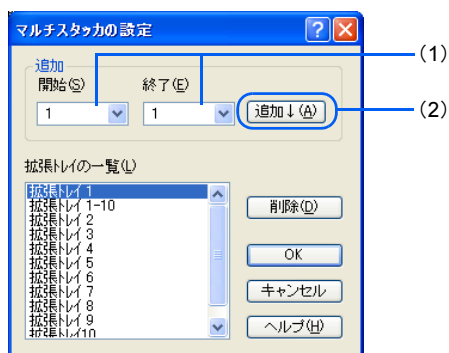
拡張トレイの設定は、次の手順で行います。

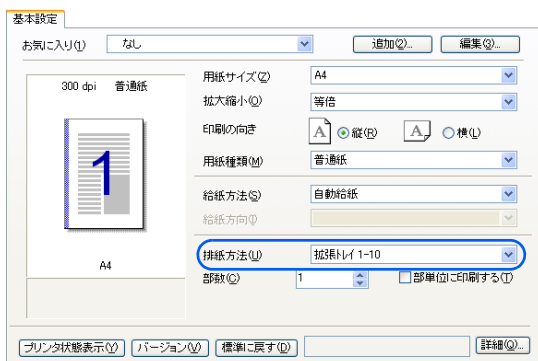
1 「管理者設定」タブまたは「装置オプション」タブの「排紙ユニット」から、「マルチスタッカ 10 段」を選択します。

「マルチスタッカの設定」が有効になります。

2 「マルチスタッカの設定」をクリックします。

「マルチスタッカの設定」ウィンドウが表示されます。

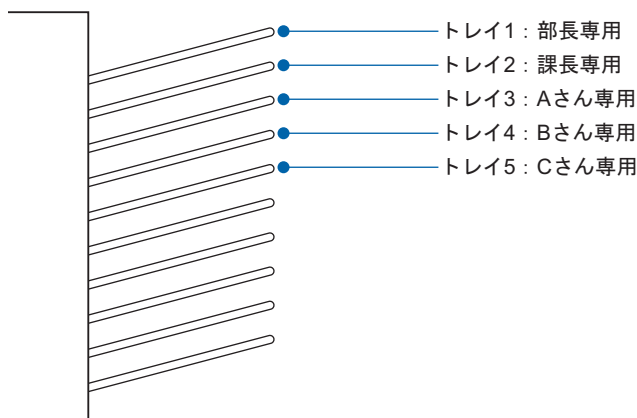
3 **(1)「マルチスタッカの設定」ウィンドウで拡張トレイの開始番号と終了番号を指定し、(2)「追加」をクリックします。**

リストに設定内容が追加登録されます。設定内容は、「基本設定」タブの「排紙方法」リストボックスに追加されます。設定は 20 種類まで登録できます。

4 **設定が完了したら、「OK」をクリックして「マルチスタッカの設定」ウィンドウを閉じます。**

5 **「基本設定」タブの「排紙方法」から、手順 3(→ P.169)で登録した設定を選択します。**

拡張スタッカのさまざまな使い方（XL-6700 のみ）

拡張スタッカの使い方は、大きく分けてメールボックス、大容量排紙スタッカ、マルチソーターの 3 種類があります。これらの使い方を組み合わせることもできますので、用途に合わせて設定してください。

■メールボックスとして使う

ユーザーやグループごと（最大 10）に別々の拡張トレイを割り当てると、メールボックスとして使うことができます。
これにより、他の人やグループの文書を誤って持っていったり、自分が出力した文書を探したりすることがなくなります。

設定方法

別々に割り当てられた拡張トレイ番号を、排紙方法として設定します。
上図のように割り当てる場合は、各自の設定を次のようにします。

表：メールボックスの割り当て設定例

割り当て	拡張トレイ番号（開始～終了）	排紙方法
部長	1 ～ 1	拡張トレイ 1
課長	2 ～ 2	拡張トレイ 2
A さん	3 ～ 3	拡張トレイ 3
B さん	4 ～ 4	拡張トレイ 4
C さん	5 ～ 5	拡張トレイ 5

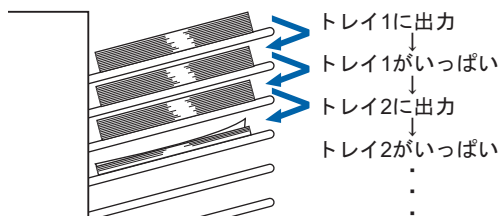
重要

・拡張トレイの開始番号と終了番号の割り当ては、他の人やグループと重複しない（文書が混ざらない）よう、あらかじめプリンタ管理者と相談してから行ってください。

POINT

・排出先のトレイに用紙がいっぱいになったときは、トレイフルのエラーが表示され、用紙が取り除かれるまで印刷は一時中断されます。他に空いている拡張トレイがあっても出力されず、排出先トレイの用紙を取り除くことによって、印刷が再開されます。

■大容量排紙スタッカとして使う

指定した範囲（最大 1 ～ 10）の拡張トレイを 1 つの排出先として設定すると、大容量排紙スタッカとして使うことができます。
フェイスダウントレイの連続出力可能枚数約 500 枚に対し、各拡張トレイ約 100 枚ずつ、合計最大約 1000 枚の連続出力が可能となります。なお、使用する用紙の質や、湿度の影響によるカールにより、排紙できる枚数はばらつきます。

設定方法

大容量排紙スタッカとして使う拡張トレイ番号を､連続した範囲で排紙方法として設定します。

- 1 ～ 10（拡張トレイ 1 ～ 10）の場合
  拡張トレイ 1 ～ 10 に連続で約 1000 枚まで出力します。
- 2 ～ 8（拡張トレイ 2 ～ 8）の場合
  拡張トレイ 2 ～ 8 に連続で約 700 枚まで出力します。

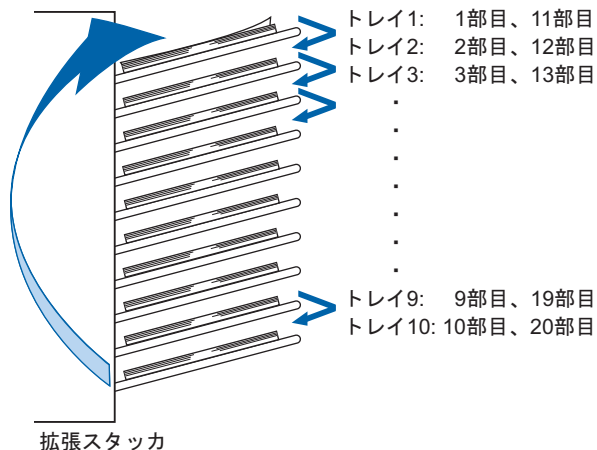
重要

- 印刷を行う前に、指定範囲の拡張トレイに残されている用紙は取り除いてください。用紙が残ったまま印刷を行うと、その上に別の排紙を行うため文書が混ざってしまいます。

POINT

- 印刷中に排出先のトレイが用紙でいっぱいになったときは、指定範囲内の次のトレイに排出先を切り替えます。
  - 切り替え先のトレイがすでにいっぱいのときは、トレイフルのエラーが表示され、用紙が取り除かれるまで印刷は一時中断されます。排出先トレイの用紙を取り除くことによって、印刷が再開されます。
  - 印刷開始時に開始トレイがいっぱいのときは、範囲内で空いているトレイから排紙されます。

■マルチソーターとして使う

指定した範囲（最大 1 ～ 10）の拡張トレイを、1 つの排出先として設定した状態で部単位印刷を行うと、マルチソーターとして使うことができます。このとき、指定した範囲の拡張トレイには 1 部ずつソート出力します。拡張トレイ数より部数のほうが多い場合は、開始トレイからのソート出力を繰り返し行います。

設定方法

マルチソーターとして使う拡張トレイ番号を、連続した範囲で排紙方法として設定した後、部単位印刷を行います。

部単位印刷の設定方法については、「複数部数、または部単位印刷を行う」（→ P.128）をご覧ください。

・排紙方法が 1 ～ 8（拡張トレイ 1 ～ 8）で、8 部の部単位印刷を行った場合
　拡張トレイ 1 ～ 8 に 1 部ずつ出力します。

・排紙方法が 2 ～ 8（拡張トレイ 2 ～ 8）で、9 部の部単位印刷を行った場合
　拡張トレイ 2 ～ 8 に 1 部ずつ出力後、拡張トレイ 2 ～ 3 にさらに 1 部ずつ出力します。

重要

・印刷を行う前に、指定範囲の拡張トレイに残されている用紙は取り除いてください。用紙が残ったまま印刷を行うと、その上に別の排紙を行うため文書が混ざってしまいます。

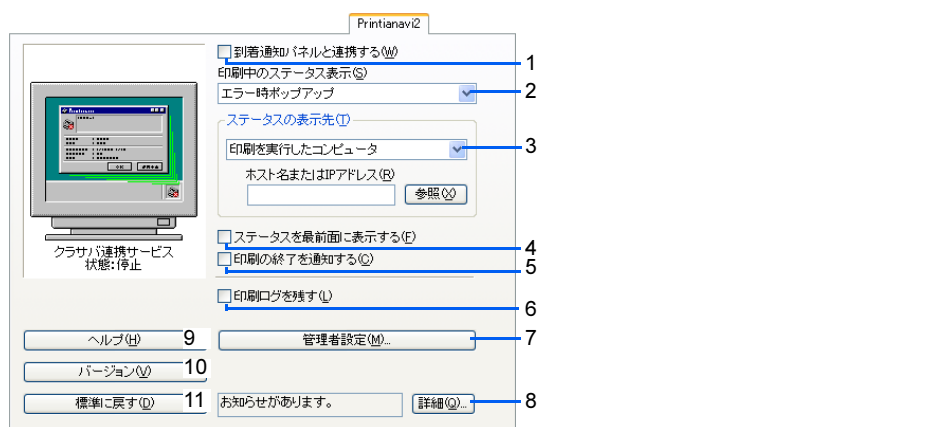
POINT

・印刷開始時の開始トレイがいっぱいだったときや、印刷中の排出先のトレイが用紙でいっぱいになったときは、トレイフルのエラーが表示され、用紙が取り除かれるまで印刷は一時中断されます。排出先トレイの用紙を取り除くことによって、印刷が再開されます。

「Printianavi2」タブの設定項目

「Printianavi2」に関する表示方法の設定を行います。

POINT

- 「Printianavi2」タブ画面を表示するには、「「デバイスとプリンター」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「プリンタと FAX」フォルダから表示する場合」（→ P.116）の手順で「プロパティ」を選択します（「印刷設定」を選択した場合は、表示されません）。
- 「Printianavi2」の各システムの機能概要については、「機能」（→ P.14）をご覧ください。
- 「Printianavi2」タブ画面をはじめとする Printianavi 機能および設定は、お使いの環境によって推奨値に変更される場合があります。
- 環境によっては、設定変更または使用できない機能があるため、グレイアウトされる場合があります。使用可能な条件については「環境による機能の差異について」（→ P.184）をご覧ください。

1 到着通知パネルと連携する（初期設定：☐）

「Interstage Print Manager」などの到着通知パネルと連携して印刷する場合は、☑にします。

- 「Printianavi2」のメッセージ（印刷中のステータス表示、印刷終了通知）は表示されません。
- 印刷ログの採取は、「印刷ログを残す」（→ P.174）の設定に従います。

2 印刷中のステータス表示（初期設定：エラー時ポップアップ）

印刷中のステータス情報の表示方法を選択します。

- エラー時ポップアップ
  印刷中のステータスを、タスクトレイ（画面右下の通知領域）にアイコン表示します。エラーが発生すると、ポップアップ表示します。
- ポップアップ
  印刷中のステータスをポップアップ表示します。
- 最小化
  印刷中のステータスをタスクトレイにアイコン表示します。
- 表示しない
  印刷中のステータスを表示しません。

詳しくは、「印刷中のステータス表示の種類」（→ P.175）をご覧ください。

3 ステータスの表示先（初期設定：印刷を実行したコンピュータ）

印刷時のステータス表示および印刷終了の通知先を設定します。

- 印刷を実行したコンピュータ
  印刷を実行したパソコンにメッセージを通知します。
- プリントサーバ
  プリントサーバにメッセージを通知します。
- コンピュータを指定
  「ホスト名または IP アドレス」に、メッセージを通知したいパソコンのホスト名または IP アドレスを入力することで、任意のパソコンにメッセージを通知します。IP アドレスは、IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。
  「Printianavi2」では、「参照」をクリックし、ネットワーク接続されているパソコンを選択できます。

4 ステータスを最前面に表示する（初期設定：☐）

ステータスを常に最前面に表示させておきたい場合は、☑にします。他のアプリケーションが起動していて、ステータスが隠れて見えにくい場合に便利な機能です。

ただし、「印刷中のステータス表示」で「表示しない」が選択されている場合は☐固定となり、変更できません。

5 印刷の終了を通知する（初期設定：☐）

印刷終了時に通知メッセージを表示させる場合は、☑にします（ただし、「ステータスの表示先」で「プリントサーバ」が選択されている場合は使用できません）。

詳しくは、「印刷の終了を通知する」（→ P.177）をご覧ください。

6 印刷ログを残す（初期設定：☑）

印刷時に発生したエラーや印刷の記録をログに残したい場合は、☑にします。プリントサーバ経由で印刷する場合、クライアントの設定にかかわらず、サーバ側には印刷ログが残ります。

7 管理者設定

プリントサーバ側でクライアントの動作を管理できます。詳しくは、「印刷ログの出力先やクライアントの動作をプリントサーバ側で管理する」（→ P.178）をご覧ください。

8 詳細

設定を変更すると、ボタンの左側にメッセージが表示されます。ボタンをクリックすると、プリンタドライバの設定を行ううえでのヒント情報（アドバイス）が表示されます。詳しくは、「ヒント情報」（→ P.183）をご覧ください。

9 ヘルプ

ヘルプが表示されます。

10 バージョン

「Printianavi2」のバージョンが表示されます。バージョンの確認方法については、「Printianavi2 のバージョン確認」（→ P.204）をご覧ください。

11 標準に戻す

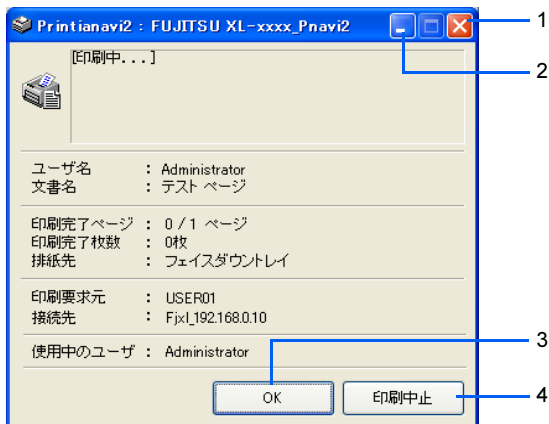
「Printianavi2」タブで設定した内容を、すべて初期値に戻します。

印刷中のステータス表示の種類

印刷中のステータス表示には、ポップアップ表示と最小化表示の 2 種類があります。どちらの表示も、印刷が終了すると自動的に終了します。

■ポップアップ表示

画面上にウィンドウが表示されます。

1 ［×］

印刷中のステータス表示を終了するときにクリックします。

2 ［＿］

最小化表示に切り替えるときにクリックします。

3 OK

ステータスを確認したら、このボタンをクリックします。機能は［＿］と同様で、ウィンドウが最小化表示されます。

4 印刷中止

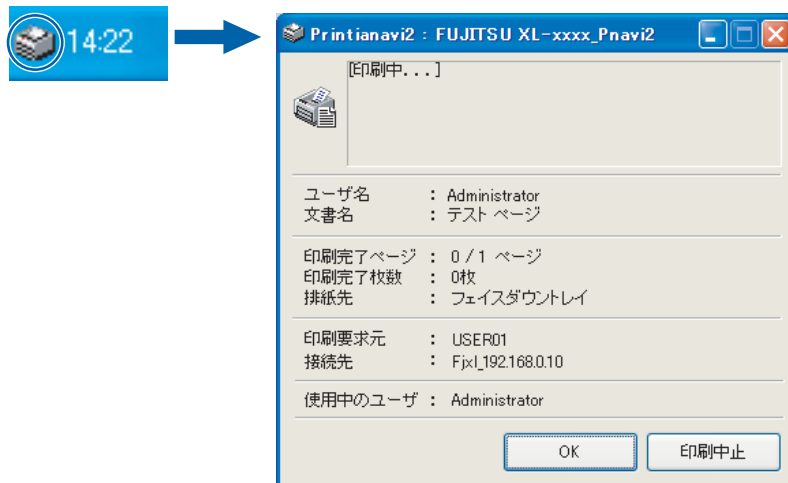
印刷を中止するときにクリックします。

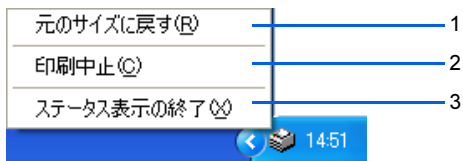
POINT

・ポップアップウィンドウ内の「印刷完了ページ」には、部単位印刷のときのみ、部数が表示されます。

5

■最小化表示
タスクトレイ（画面右下の通知領域）上にアイコンが表示されます。

・タスクトレイ上のアイコンをダブルクリックすると、ポップアップ表示に切り替わります。

・タスクトレイ上のアイコンにマウスポインタを合わせると、簡単なステータスが表示されます。

・タスクトレイ上のアイコンを右クリックすると、次のメニューが表示されます。

1 元のサイズに戻す

ポップアップ表示に切り替わります。

2 印刷中止

印刷を中止するときに選択します。

3 ステータス表示の終了

ステータス表示を終了します。

タスクトレイのアイコン

タスクトレイに表示される、各アイコンの意味は、次のとおりです。

表：ステータスアイコンの意味

アイコン	説明
	印刷中です。
	プリンタは次のいずれかの状態です。 ウォームアップ／クールダウン中、印刷準備中、印刷待ち、印刷再開準備中
	プリンタがエラー状態です。
	プリンタのトナーが残り少なくなっているなど、警告の状態を示します。
	プリンタとの通信に異常が起きた状態です。
	消耗品の交換時期が近づいた状態です。

印刷の終了を通知する

印刷終了時に、印刷が終了したことを知らせるメッセージを表示させる／させないを指定します。表示させたい場合は、「「Printianavi2」タブの設定項目」（→ P.173）の「印刷の終了を通知する」を ☑ に設定します。

■印刷終了のメッセージ例

POINT

- 印刷終了通知は、印刷が正常に終了した場合のみ通知されます。エラーなどによって印刷が打ち切られた場合は通知されません。
- 部単位印刷を行った場合は、「印刷完了ページ」のページ数の後ろに、指定した印刷部数が表示されます。

印刷完了ページ : 6 / 6ページ（3 / 3部）
印刷完了枚数 : 18枚
排紙先 : フェイスダウントレイ

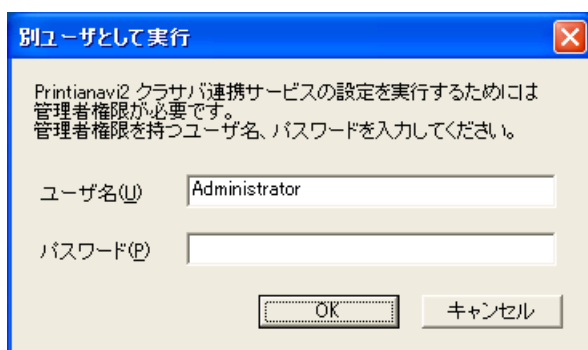
印刷ログの出力先やクライアントの動作をプリントサーバ側で管理する

プリントサーバ経由で印刷を行う環境の場合、管理者は「Printianavi2 クラサバ連携サービス」を使用して、印刷ログの出力先を指定したり、クライアントの動作（印刷中のステータスや印刷終了メッセージの表示、および設定項目の制限）を指定したりできます。
これらの機能を利用するには、「Printianavi2 クラサバ連携サービス」を開始したうえで、プリンタのプロパティの「Printianavi2」タブで「管理者設定」を行います。

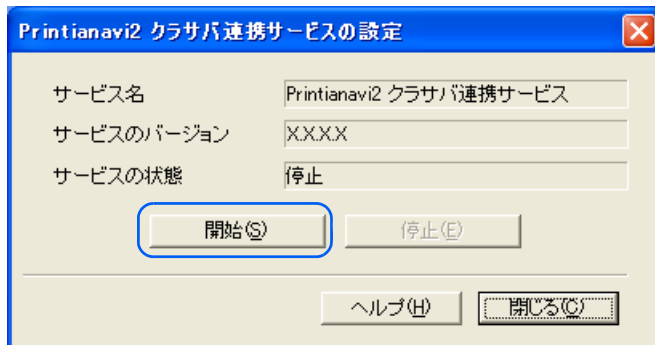
「Printianavi2 クラサバ連携サービス」を開始する

印刷ログの出力先を指定したり、クライアントの動作を指定したりするためには、プリントサーバ、クライアントの両方で、「Printianavi2 クラサバ連携サービス」を開始します。

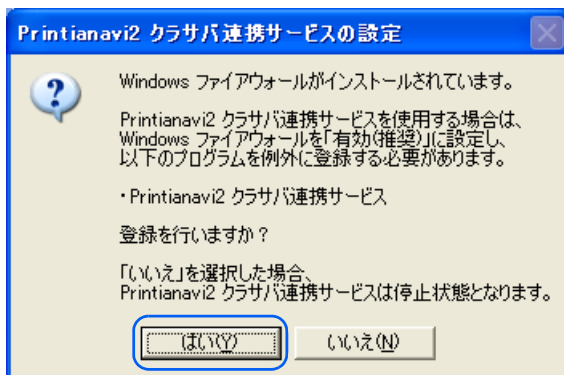
1 **管理者権限を持ったユーザーでログオンします。**

次のウィンドウが表示された場合は、管理者権限を持ったユーザー名、パスワードを入力し、「OK」をクリックしてください。

2 **「スタート」ボタンまたは（スタート）→「プログラム」（または「すべてのプログラム」）→「Printia XL Utility」→「Printianavi2」→「Printianavi2 クラサバ連携サービスの設定」の順にクリックします。**

「Printianavi2 クラサバ連携サービスの設定」ウィンドウが表示されます。

3 「開始」をクリックします。

「サービスの状態」が「開始」になります。

POINT

- 「Printianavi2 クラサバ連携サービス」を「開始」状態にすることで、印刷を行ったクライアント、または指定した他のパソコンに、印刷中のステータスや印刷終了のメッセージを表示させたり、印刷ログを残したりできます。
- 「Printianavi2 クラサバ連携サービス」を停止する場合は、「停止」をクリックします。「Printianavi2 クラサバ連携サービス」を「停止」状態にすると、プリントサーバ上に印刷ログは保存されますが、印刷中のステータス、印刷終了のメッセージは表示されません。
- 次の画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください（「Printianavi2 クラサバ連携サービス」がファイアウォール機能にブロックされないよう、例外設定が行われます）。

4 「閉じる」をクリックします。

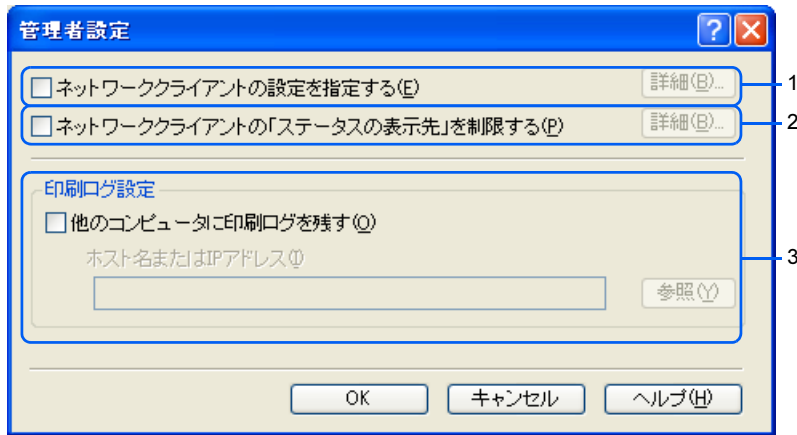
印刷ログの出力先やクライアントの動作を指定する

「Printianavi2 クラサバ連携サービス」を開始したら、プリンタのプロパティの「Printianavi2」タブで「管理者設定」をクリックし、必要に応じて設定を行います。

1 **プリンタのプロパティを開き、「Printianavi2」タブを選択します。**

2 **「管理者設定」をクリックします。**

「管理者設定」ウィンドウが表示されます。

3 **必要に応じて設定を行い、「OK」をクリックします。**

表：設定項目一覧

No.	設定項目	説明
1	ネットワーククライアントの設定を指定する	プリントサーバから、クライアントの「Printianavi2」タブの設定を指定します。設定方法については、「クライアントの「Printianavi2」タブの動作を指定する」（→ P.181）をご覧ください。
2	ネットワーククライアントの「ステータスの表示先」を制限する	プリントサーバから、クライアントの「ステータスの表示先」の選択肢を制限します。設定方法については、「クライアントの「ステータスの表示先」を指定する」（→ P.182）をご覧ください。
3	印刷ログ設定	プリントサーバ、クライアント以外のパソコンに印刷ログを出力します。設定方法については、「印刷ログの出力先を指定する」（→ P.182）をご覧ください。

4 **「OK」をクリックし、「Printianavi2」タブを閉じます。**

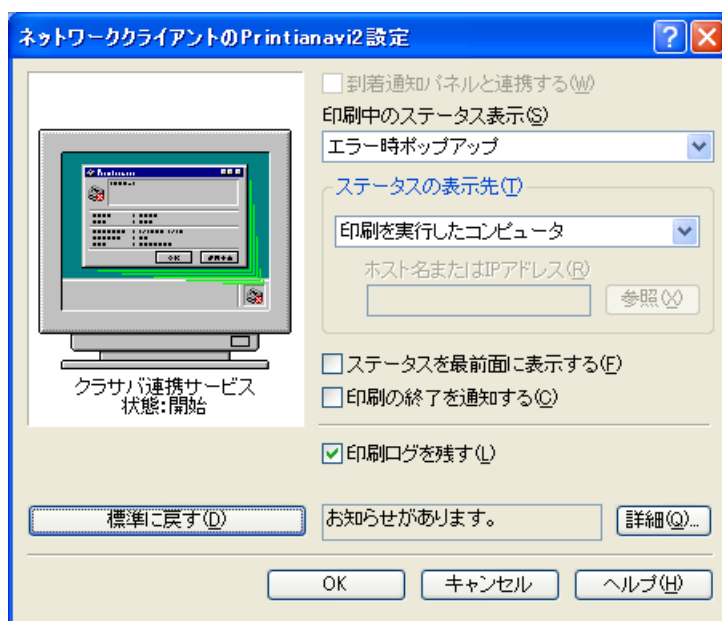
■クライアントの「Printianavi2」タブの動作を指定する

「ネットワーククライアントの設定を指定する」を設定すると、クライアントのステータスの表示先を統一したり、すべてのクライアントで印刷ログを採取したりすることができます。

1 **「ネットワーククライアントの設定を指定する」をクリックして☑にし、「詳細」をクリックします。**

「ネットワーククライアントの Printianavi2 設定」ウィンドウが表示されます。

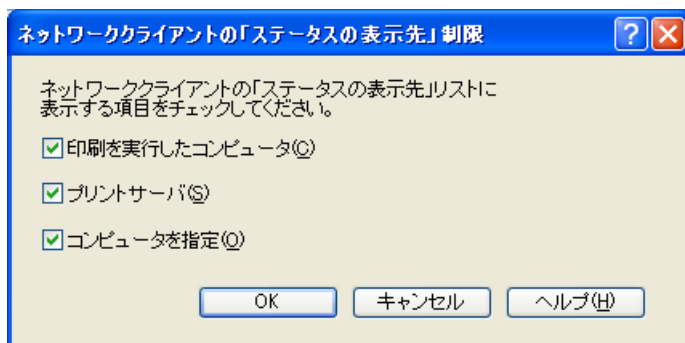
2 **ステータスの表示方法や表示先、印刷ログをクライアント側に出力するかどうかなどを設定し、「OK」をクリックします。**

設定内容については、「「Printianavi2」タブの設定項目」（→ P.173）と同じです。

■クライアントの「ステータスの表示先」を指定する

「ネットワーククライアントの「ステータスの表示先」を制限する」を設定すると、クライアントが「ステータスの表示先」に、予期しないパソコンを誤って指定することを防止できます。

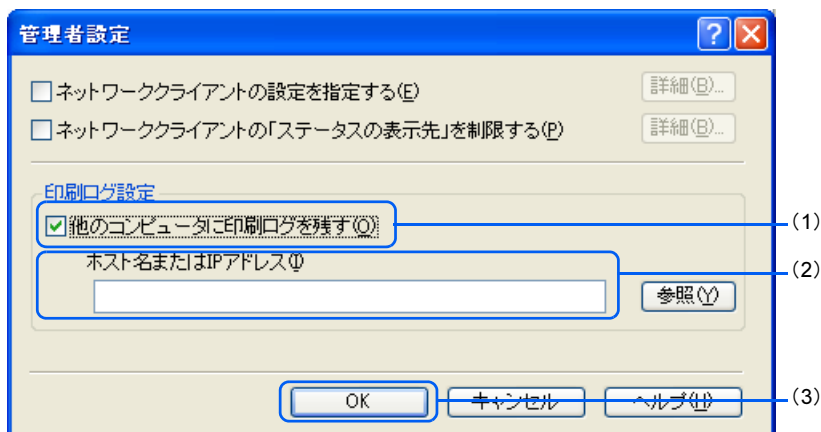
1 **「ネットワーククライアントの「ステータスの表示先」を制限する」をクリックして☑にし、「詳細」をクリックします。**

「ネットワーククライアントの「ステータス表示先」制限」ウィンドウが表示されます。

2 **「Printianavi2」タブの「ステータスの表示先」の選択肢に表示させたくない項目をクリックして□にし、「OK」をクリックします。**

■印刷ログの出力先を指定する

「印刷ログ設定」を設定すると、プリントサーバ、クライアント以外のパソコンに印刷ログを出力し、印刷ログを集中管理できます。

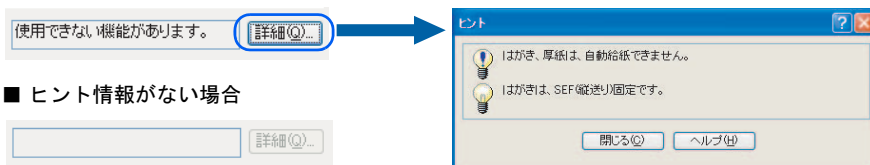
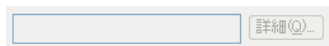
1 **(1)「他のコンピュータに印刷ログを残す」をクリックして☑にし、(2)「ホスト名または IP アドレス」に出力先とするパソコンのホスト名か IP アドレスを入力し、(3)「OK」をクリックします。**

「参照」をクリックすると、ネットワーク上のパソコンが一覧表示され、クリックして選択できます。

各タブ共通の確認項目

各タブ共通で確認できる項目は、ヒント情報とバージョン情報の 2 種類があります。

ヒント情報

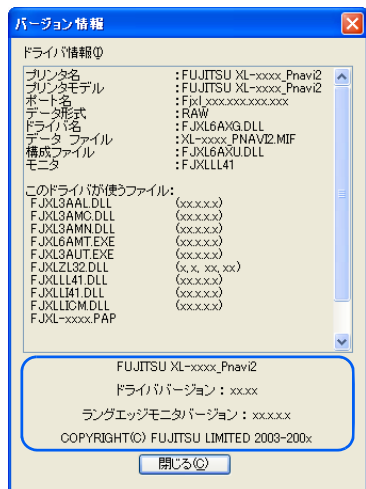
プリンタドライバの設定を行ううえでのヒント（アドバイス）が表示されます。
各タブで項目を設定するときに、簡単な情報と共に「詳細」が表示されている場合は、クリックすることで、その設定項目に関するヒント情報を確認できます。

■ ヒント情報がある場合：クリックすることで、詳細な情報を確認できます。

ヒント情報には、次の 4 種類があります。

表：ヒント情報の種類

アイコン	説明
	プリンタ使用時に必要な情報を表示しています。
	設定を変更したことによって、他の設定項目で固定となったものがあることを表しています（例：解像度を変更すると、その解像度では利用できないスムージングなどの機能がグレイアウトされるなど）。
	設定を変更したことによって、他の設定項目で設定を変更し、固定となったものがあることを表しています（例：スムージングを選択すると、スムージングに対応した解像度に変更され、その解像度以外は選択できなくなるなど）。
	このままの設定では、正しく印刷が行えないことを表しています。このアイコンが表示されている場合は、表示内容に従い、必ず設定を変更してください。

プリンタドライバのバージョン

各タブで「バージョン」をクリックすると、プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。

4 環境による機能の差異について

「Printianavi2」タブ画面をはじめとする Printianavi 機能および設定は、お使いの環境によって推奨値に変更される場合があります。
また、設定変更や使用できない場合は、項目がグレイアウトされたり、タブ画面そのものが表示されなかったりします。

設定変更、または使用できない組み合わせについて

設定変更、または使用できない機能については、次の条件の組み合わせにより自動判別されます。

- パソコンの管理者権限（あり／なし）
- 双方向通信（有効／無効）
- 印刷するポート

これらの組み合わせによる設定値は次のとおりです。

重要

- 次の表は、「Printianavi2」がインストールされ、プリンタドライバとの関連付けが行われている環境を前提としています。「Printianavi2」のインストールと関連付けを行っていない場合は、「Printianavi2 の手動インストール」（→ P.93）をご覧になり、インストールと関連付けを行ってください。

表：環境により有効／無効となる機能

パソコンの管理者権限		権限あり		権限なし	
双方向通信		有効	無効	有効	無効
印刷するポート	Printianavi2 機能 対応ポート （パラレルポート、USB ポート、Printianavi ネットワークポート、またはこれらのポートにおける共有サーバへの接続ポート）	◎	×	○	×
	Printianavi2 機能 未対応ポート （FILE：、LPR ポート、Standard TCP/IP Port、その他）	×	×	×	×
	ネットワークインストールを行ったプリンタポート	◎	×	○	×
	「Citrix XenDesktop」、「Citrix XenApp」（旧称「Citrix Presentation Server」「MetaFrame」）、または Windows ターミナルサービス環境のポート（マッピングプリンタ）	▲1	▲1	▲1	▲1
	「Interstage Print Manager」などの高信頼性リモートプリンタのポート	▲2	▲2	▲2	▲2

◎ ：すべての Printianavi2 機能を設定・使用できます。

○ ：すべての Printianavi2 機能を使用できますが、設定はグレイアウトされ、変更することはできません。

× ：すべての Printianavi2 機能は使用できません。プリンタのプロパティウィンドウの「Printianavi2」タブの項目はすべて機能 OFF となり、グレイアウトされます。

▲1 ：マッピングプリンタの元となった、クライアント側のプリンタドライバの Printianavi2 設定で動作しますが、マッピングプリンタのプロパティウィンドウには「Printianavi2」タブは表示されません。

▲2 ：「Interstage Print Manager」サーバのプリンタドライバの Printianavi2 設定で動作しますが、リモートプリンタのプロパティウィンドウには「Printianavi2」タブは表示されません。

ネットワークインストールを行った場合のクライアントの設定について

7/2008/Vista/2003/XP/2000 のプリントサーバのクライアントとして、ネットワークインストールを行った場合、「Printianavi2」はインストールされません。

プリントサーバ側でプリンタの関連付けを行った後、クライアント側で「Printianavi2」を手動でインストールし、「Printianavi2」の設定を行ってください。

「Printianavi2」の手動インストールと関連付けの方法については、「Printianavi2 の手動インストール」（→ P.93）をご覧ください。

POINT

・「標準に戻す」をクリックすると、設定は標準値に戻ります。

5 プリンタドライバを更新／削除するには

プリンタドライバを更新（バージョンアップ）したり、削除（アンインストール）したりする方法を説明します。

・「更新する場合」（→ P.186）
・「削除する場合」（→ P.191）

更新する場合

プリンタドライバの更新は、「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウから行うことができます。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウから更新を行った場合、元の設定はすべて引き継がれます。
また、プリンタドライバの更新と同時に「Printianavi2」、「Printianavi ネットワークポートモニタ」も更新されます。
ただし、更新前の環境によっては、更新が行えない場合や、注意が必要な場合があります。次の表をご覧ください。

表：プリンタドライバ／ソフトウェア更新の可否

プリンタドライバ／ソフトウェア名	更新前のバージョン	更新の可否	備考
プリンタドライバ	インストール未	×	更新対象となるプリンタドライバがインストールされていない環境では、本機能によるソフトウェアの更新は行えません。 次のソフトウェアについては、個別にインストール・更新が可能です。 ・Printinavi2 「Printianavi2 の手動インストール」（→ P.93）をご覧ください。 ・Printianavi ネットワークマネージャ、Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2 「Printianavi ネットワークマネージャのインストール」（→ P.221）をご覧ください。
	V20.00 以上	○	－
	V7.1 ～ V12.xx	○	「Printianavi」から「Printianavi2」への更新は行えません。別途「Printianavi2」をインストールし、関連付けなどの設定を行ってください。 詳しくは、「Printianavi2 の手動インストール」（→ P.93）をご覧ください。
Printianavi2	インストール未	－	インストールされないままとなります。
	インストール済	○	－

表：プリンタドライバ／ソフトウェア更新の可否

プリンタドライバ／ソフトウェア名	更新前のバージョン	更新の可否	備考
Printianavi ネットワークポートモニタ	インストール未	－	インストールされないままとなります。
	V20.00 以上	○	－
	V7.1 ～ V10.0	○	「Printianavi ネットワークポート管理」の起動メニューが、「スタート」ボタンまたは（スタート）→「プログラム」（または「すべてのプログラム」）→「Printia XL Utility」→「プリンタドライバ」→「Printianavi ネットワークポート管理」に変更されます。
	V3.1 ～ V5.1	×	本機能によるソフトウェアの更新は行えません。いったん「Printianavi ネットワークポートモニタ」のアンインストールを行ってください。
Printianavi ネットワークマネージャ／Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2	インストール未	－	インストールされないままとなります。
	V20.00 以上	×	
	V7.1 ～ V10.0	○	「Printianavi ネットワークポートモニタ」とあわせてインストールされている場合は、いったんアンインストールが必要なため、OS 再起動後に起動される「Printianavi ネットワークソフトウェア 3」のセットアップを行うことで更新されます。また、起動メニューが「スタート」ボタンまたは（スタート）→「プログラム」（または「すべてのプログラム」）→「Printia XL Utility」→「ネットワークソフトウェア 3」の下に変更されます。

1 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

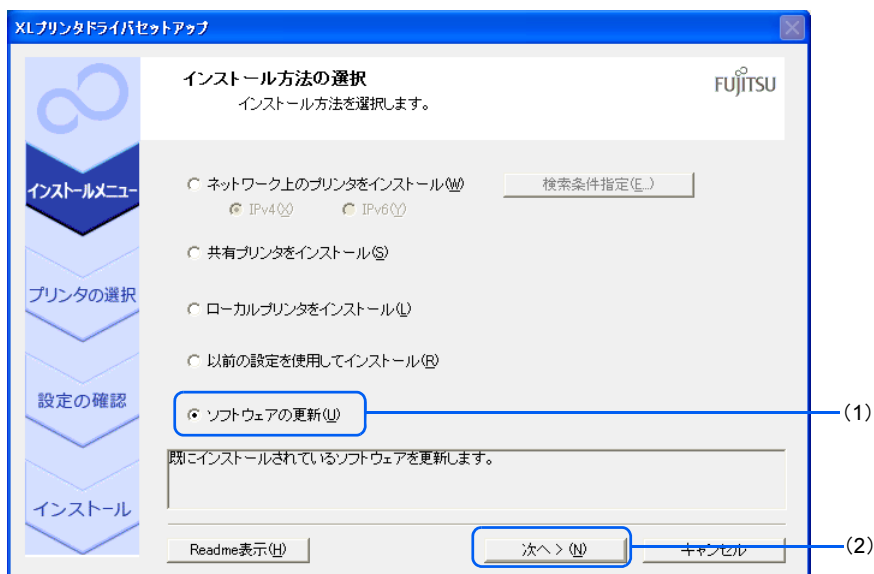
- 「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 7/2008/Vista の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。

3 メニューから「プリンタドライバ」をクリックします。

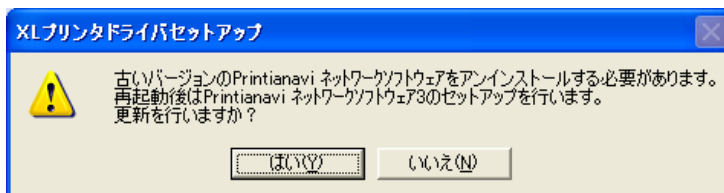
■7 の場合
「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

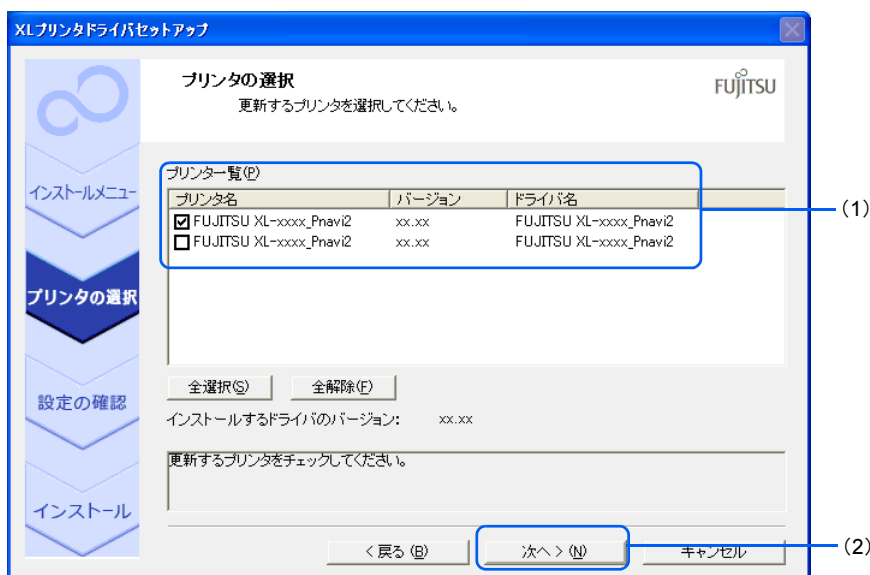
■2008/Vista の場合
「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックします。インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

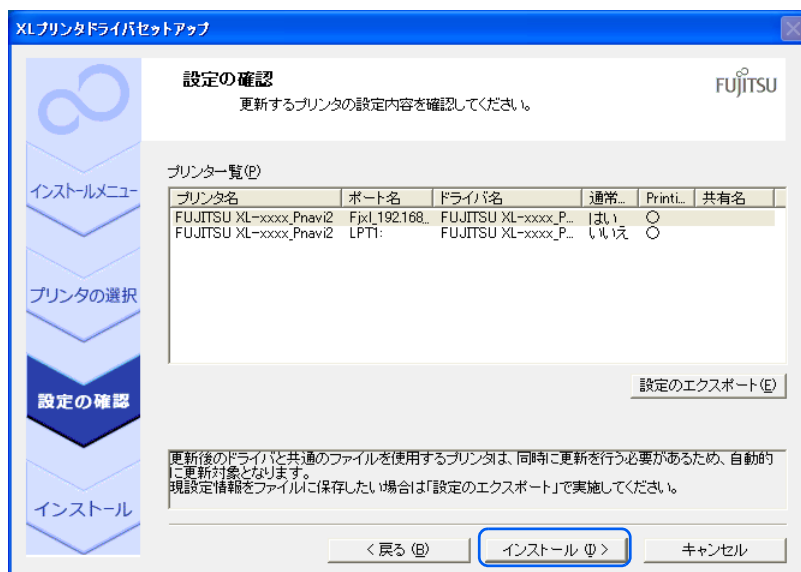
■2003/XP/2000 の場合
インストーラが起動し、「インストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

4 (1)「ソフトウェアの更新」を選択して、(2)「次へ」をクリックします。

「プリンタの選択」ウィンドウが表示されます。

POINT

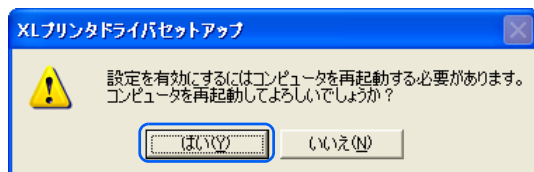
・「Printianavi ネットワークポートモニタ」がインストールされている環境からの更新時、「Printianavi ネットワークソフトウェア 2」の「IP アドレス設定ユーティリティ 2」「Printianavi ネットワークマネージャ」があわせてインストールされている場合は、次の確認画面が表示されます。これは、古い Printianavi ネットワークソフトウェアをいったんアンインストールし、OS 再起動後に「Printianavi ネットワークソフトウェア 3」のセットアップを行う必要があるためです。

ソフトウェアの更新を行う場合は、「はい」をクリックしてください。「いいえ」をクリックすると、「インストール方法の選択」ウィンドウに戻ります。

5 (1) 更新するプリンタの「プリンタ名」を☑にして、(2)「次へ」をクリックします。

「設定の確認」ウィンドウが表示されます。

6 設定内容を確認して、「インストール」をクリックします。

プリンタドライバ、「Printianavi2」、「Printianavi ネットワークポートモニタ」の更新が開始されます。しばらくすると、「更新完了」ウィンドウが表示されます。

7 「完了」をクリックします。

「設定を有効にするにはコンピュータを再起動する必要があります。コンピュータを再起動してよろしいでしょうか?」と表示されます。

8 「はい」をクリックして、パソコンを再起動します。

POINT

- 古い Printianavi ネットワークソフトウェアのアンインストールが行われた場合は、再起動後に「Printianavi ネットワークソフトウェア 3」のセットアップウィンドウが表示されます。「次へ」をクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。
- 本手順で「いいえ」をクリックしてパソコンを再起動しなかった場合は、更新後に必ずパソコンを再起動してください。再起動を行うことで、ソフトウェアの更新が完了します。

以上で、プリンタドライバ、「Printianavi2」、「Printianavi ネットワークポートモニタ」の更新は完了です。

削除する場合

プリンタドライバを削除せずに Windows をアップグレードしたときや、本製品を使用しなくなったときは、プリンタドライバ、「Printianavi2」、「Printianavi ネットワークポートモニタ」を削除します。
プリンタドライバを、インストーラを使用してインストールした場合は、アンインストーラを使用して削除します。プリンタドライバをプラグアンドプレイ、またはプリンタフォルダから「プリンタの追加」などでインストールした場合は、アンインストーラを使用せずに削除します。

- 「アンインストーラを使用して削除する場合」（→ P.191）
- 「アンインストーラを使用せずに削除する場合」（→ P.194）

アンインストーラを使用して削除する場合

プリンタドライバを、インストーラを使用してインストールした場合は、次の手順で削除します。
なお、「Printianavi2」は、プリンタドライバ、「Printianavi ネットワークポートモニタ」と同時に削除することも、単独で削除することもできます。

- 「プリンタドライバ、「Printianavi2」、「Printianavi ネットワークポートモニタ」の削除」（→ P.191）
- 「「Printianavi2」単独で削除」（→ P.193）

■プリンタドライバ、「Printianavi2」、「Printianavi ネットワークポートモニタ」の削除

1 **管理者権限を持ったユーザーでログオンします。**

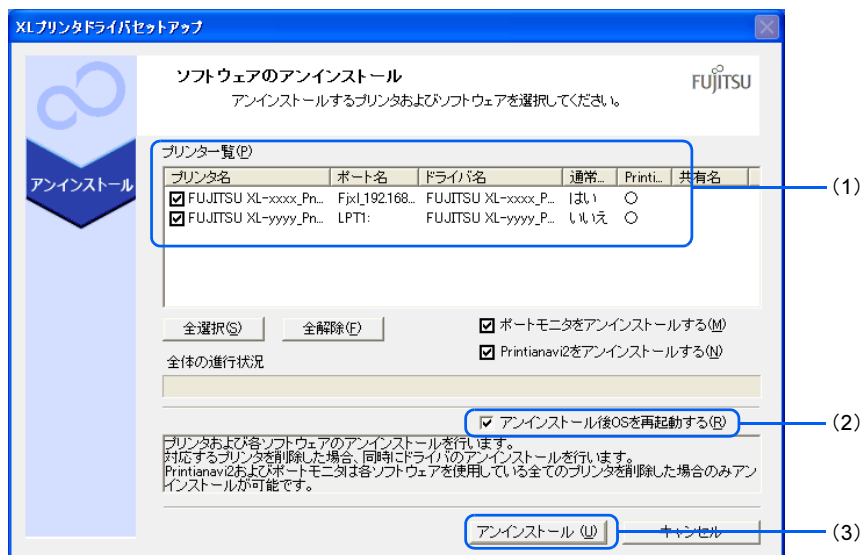
2 **「スタート」ボタンまたは（スタート）→「プログラム」（または「すべてのプログラム」）→「Printia XL Utility」→「プリンタドライバ」→「アンインストール」の順にクリックします。**

「アンインストールを行います。よろしいでしょうか？」と表示されます。

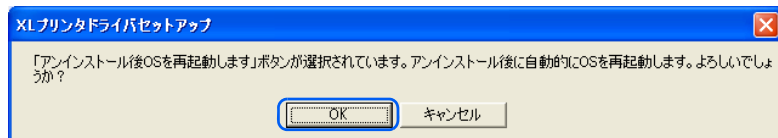
3 **「はい」をクリックします。**

「ソフトウェアのアンインストール」ウィンドウが表示されます。

4 (1) アンインストールするプリンタの「プリンタ名」を☑にし、(2)「アンインストール後 OS を再起動する」を☑にし、(3)「アンインストール」をクリックします。

「Printianavi2」と「Printianavi ネットワークポートモニタ」も同時にアンインストールする場合は、「Printianavi2 をアンインストールする」と「ポートモニタをアンインストールする」も☑にしてから、「アンインストール」をクリックします。

POINT

- 「Printianavi2」を削除すると、「Printianavi2 印刷ログビューア」も同時に削除されます。
- 「Printianavi ネットワークポート」を使用しているプリンタが、すべてアンインストール対象として選択された場合のみ、「ポートモニタをアンインストールする」を☑にすることができます。
- 「Printianavi2」と関連付けしているプリンタが、すべてアンインストール対象として選択された場合のみ、「Printianavi2 をアンインストールする」を☑にすることができます。

5 「OK」をクリックします。

アンインストールが開始されます。しばらくすると、「アンインストールが正常に終了しました」と表示されます。

6 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。

POINT

- 手順 4（→ P.192）で「アンインストール後 OS を再起動する」を ☑ にしなかった場合は、アンインストール後に必ずパソコンを再起動してください（再起動を行うことで、アンインストールが完了します）。
- 1 台のパソコンを複数のユーザーで共有している場合、プリンター覧に表示されたすべてのプリンタをアンインストールしても、別のログオンユーザーがプリントサーバーの共有プリンタをインストールしていると、システムにプリンタドライバが残ったままとなります。この場合は、すべてのログオンユーザーの共有プリンタを削除してから、「アンインストーラを使用せずに削除する場合」（→ P.194）の手順で、プリンタドライバを削除してください。
- 追加ドライバがインストールされている場合（例：32 ビット版の OS 環境に 64 ビット版用の追加ドライバがインストールされている場合）は、アンインストーラを使用してプリンタドライバを削除しても、システムに追加ドライバが残ったままとなります。この場合は、すべてのログオンユーザーの共有プリンタを削除してから、「アンインストーラを使用せずに削除する場合」（→ P.194）の手順で、プリンタドライバを削除してください。

以上でプリンタドライバの削除は完了です。

■「Printianavi2」単独で削除

重要

- 印刷中のときは、「Printianavi2」を削除しないでください。正しく削除できない場合があります。
- お使いのパソコンで、「Printianavi2」をサポートした XL シリーズプリンタを複数台ご利用の場合、以降の操作を行うことで、すべてのプリンタから「Printianavi2」が削除されます。

5

POINT

- 「Printianavi2」を削除すると、「Printianavi2 印刷ログビューア」も同時に削除されます。

1 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

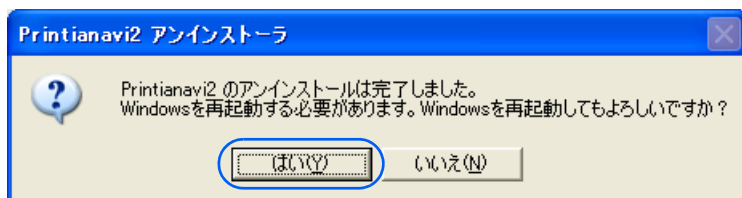
2 「スタート」ボタンまたは（スタート）→「プログラム」（または「すべてのプログラム」）→「Printia XL Utility」→「Printianavi2」→「Printianavi2 アンインストーラ」の順にクリックします。

「Printianavi2 をアンインストールします。よろしいですか？」と表示されます。

3 「はい」をクリックします。

「Printianavi2」の削除が開始されます。

削除が完了すると、「Printianavi2 のアンインストールが完了しました。」と表示されます。

4 「はい」をクリックして、パソコンを再起動します。

以上で「Printianavi2」の削除は完了です。

アンインストーラを使用せずに削除する場合

プリンタドライバを、プラグアンドプレイまたはプリンタフォルダから「プリンタの追加」などでインストールした場合は、次の手順で削除します。

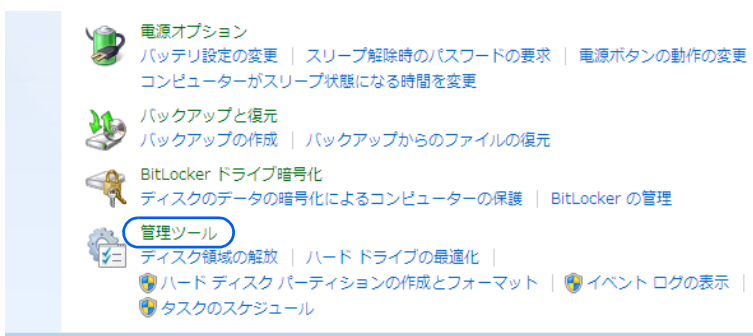
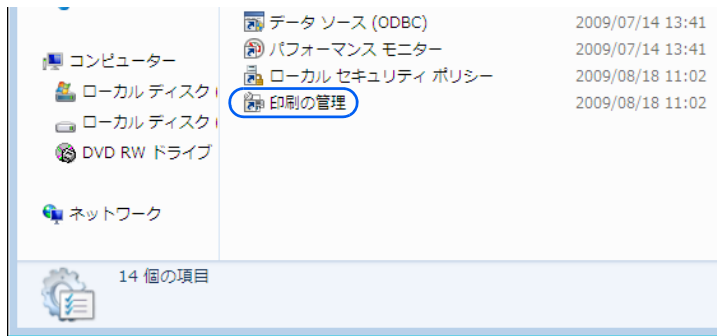
■7/2008 R2 の場合

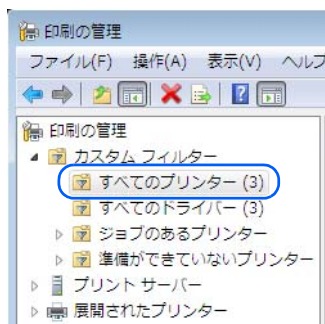
1 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

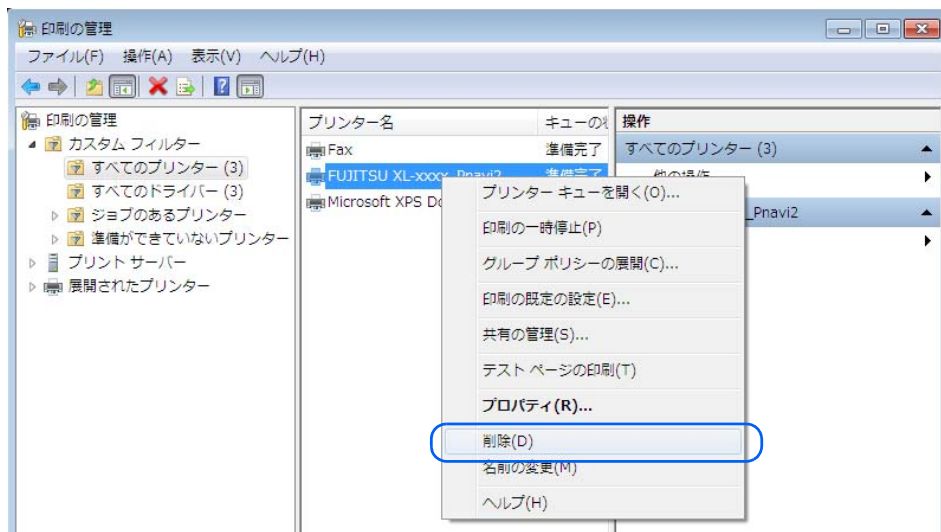
- プリンタドライバのアンインストールは、Administrators グループのユーザーのみが行えます。Guests グループのユーザーは操作できませんので、ご注意ください。

2 （スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。

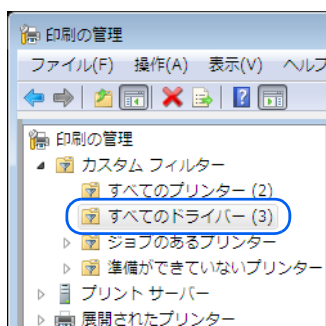
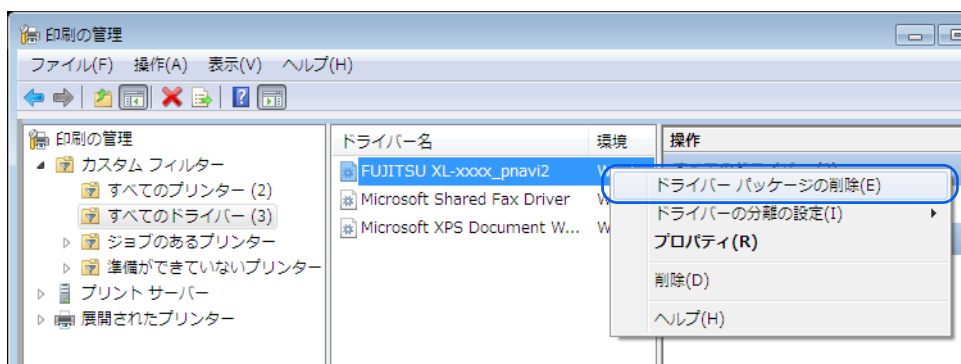
3 「システムとセキュリティ」をクリックします。

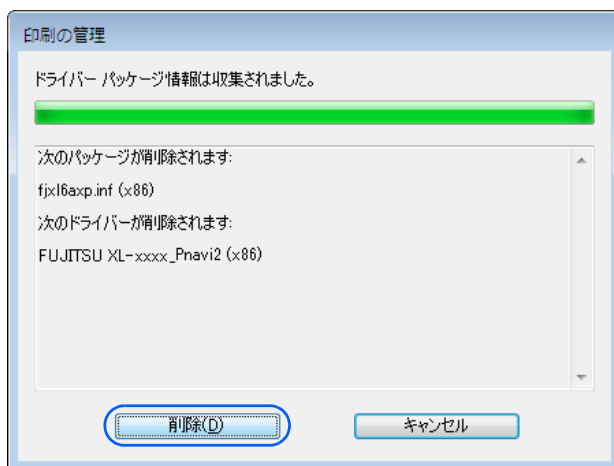
4 「管理ツール」をクリックします。

5 「印刷の管理」をクリックします。

「印刷の管理」ウィンドウが表示されます。

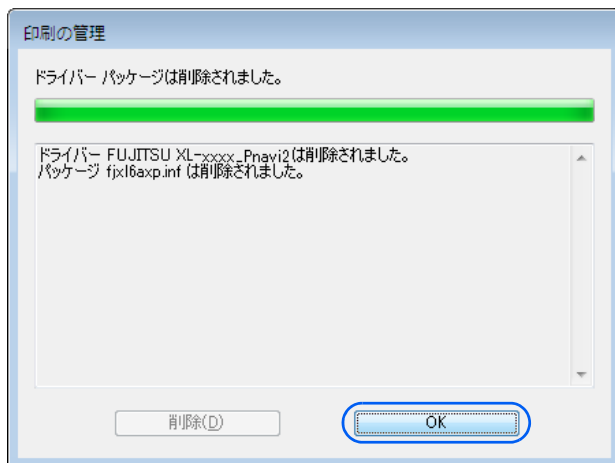
6 左側にあるツリーで、「カスタムフィルター」→「すべてのプリンター」の順にクリックします。

ウィンドウの中央にプリンタの一覧が表示されます。
削除するプリンタが一覧に表示されていない場合は、手順 9 に進んでください。

7 削除するプリンタ名を右クリックし、表示されるメニューから「削除」をクリックします。

確認画面が表示されます。

8 「はい」をクリックします。

9 左側にあるツリーで、「カスタムフィルター」→「すべてのドライバー」の順にクリックします。

10 削除するドライバ名を右クリックし、表示されるメニューから「ドライバーパッケージの削除」をクリックします。

「ドライバーパッケージ情報は収集されました。」と表示されます。

11 「削除」をクリックします。

「ドライバーパッケージは削除されました。」と表示されます。

12 「OK」をクリックします。

13 Windows を再起動します。

(スタート) → シャットダウン の → 「再起動」の順にクリックします。

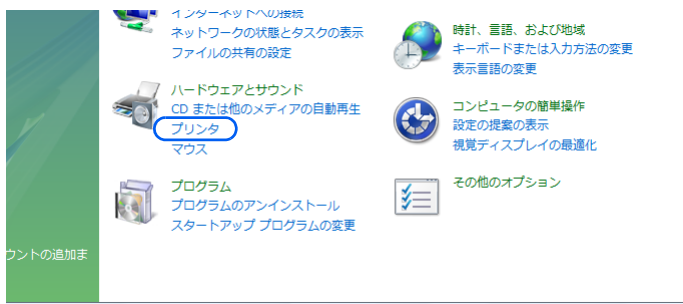
■2008（R2 以外）/Vista の場合

1 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

POINT

・プリンタドライバのアンインストールは、Administrators グループのユーザーのみが行えます。Guests グループのユーザーは操作できませんので、ご注意ください。

2 「スタート」ボタンまたは (スタート) →「コントロールパネル」の順にクリックします。

3 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

「プリンタ」フォルダが開き、プリンタの一覧が表示されます。
削除するプリンタが一覧に表示されていない場合は、手順 6 に進んでください。

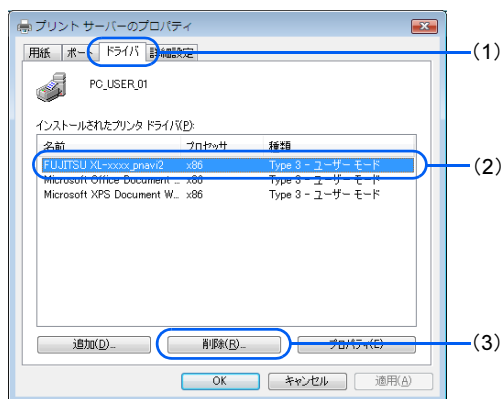
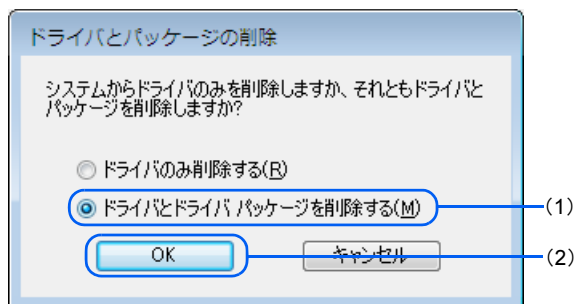
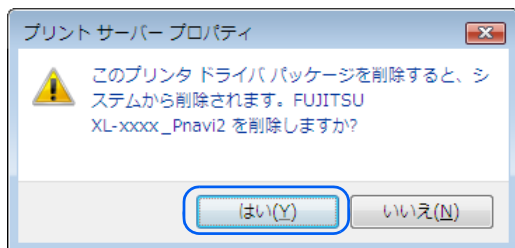
4 削除するプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「削除」をクリックします。

確認画面が表示されます。

5 「はい」をクリックします。

6 「プリンタ」フォルダの何もない部分を右クリックし、表示されるメニューから「管理者として実行」→「サーバーのプロパティ」の順にクリックします。

Vista の場合は、「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されます。プリンタドライバの削除処理であることを確認し、「続行」をクリックしてください。

7 (1)「ドライバ」タブをクリックし、(2) 削除するドライバパッケージをクリックし、(3)「削除」をクリックします。

8 (1)「ドライバとドライバパッケージを削除する」をクリックし、(2)「OK」をクリックします。

9 「はい」をクリックします。

「ドライバパッケージ情報は収集されました」と表示されます。

10 削除するドライバパッケージを確認し、「削除」をクリックします。

「ドライバパッケージは削除されました」と表示されます。

11 「OK」をクリックします。

「プリントサーバーのプロパティ」ウィンドウに戻ります。

12 「閉じる」をクリックします。

13 Windows を再起動します。

■2008 の場合

「スタート」ボタン→［電源］［ロック］［▶］の［▶］→「再起動」の順にクリックし、「シャットダウンイベントの追跡ツール」でオプションを選択して「OK」をクリックします。

■Vista の場合

（スタート）→［電源］［ロック］［▶］の［▶］→「再起動」の順にクリックします。

■2003/XP/2000 の場合

1 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 削除するプリンタを選択します。

次の操作を行っても削除するプリンタが表示されない場合は、手順 5 に進んでください。

■2003/XP の場合

「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックし、削除するプリンタをクリックします。

■2000 の場合

「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックし、削除するプリンタをクリックします。

3 「ファイル」メニュー→「削除」の順にクリックします。

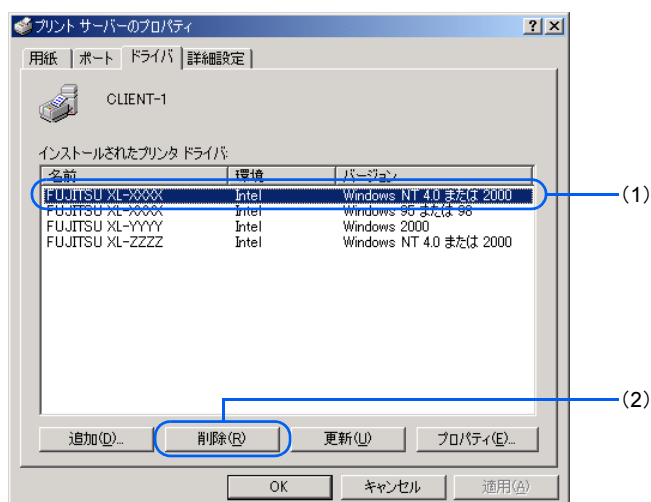
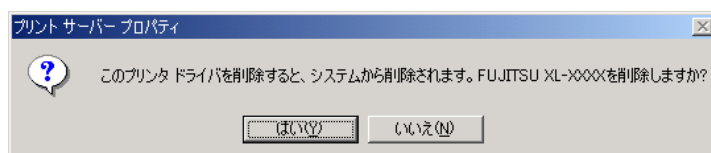
プリンタドライバの削除を確認するメッセージが表示されます。

4 「はい」をクリックします。

重要

・削除するプリンタの選択は、充分に確認したうえで行ってください。通常使用しているプリンタを削除すると次のようなメッセージが表示され、プリンタは変更または削除されてしまいます。
  ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。'（プリンタ名）' が新しく通常使うプリンタに設定されます。」
  ・「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

5 「ファイル」メニュー→「サーバーのプロパティ」の順にクリックし、「ドライバ」タブをクリックします。

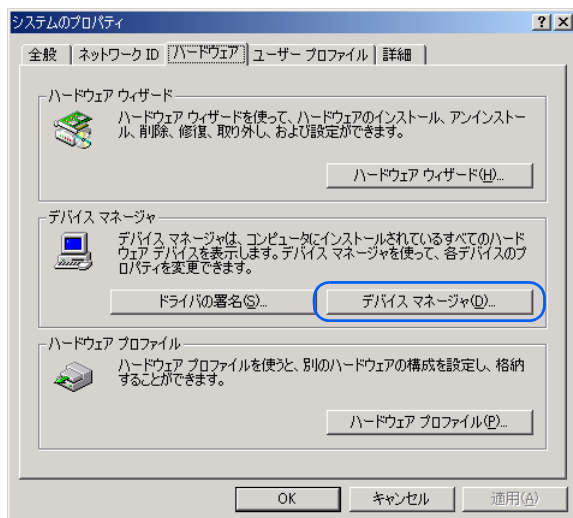
6 (1)「インストールされたプリンタドライバ」リストの中から、削除するプリンタ名を選択し、(2)「削除」をクリックします。

プリンタドライバの削除を確認するメッセージが表示されます。

7 「はい」をクリックします。

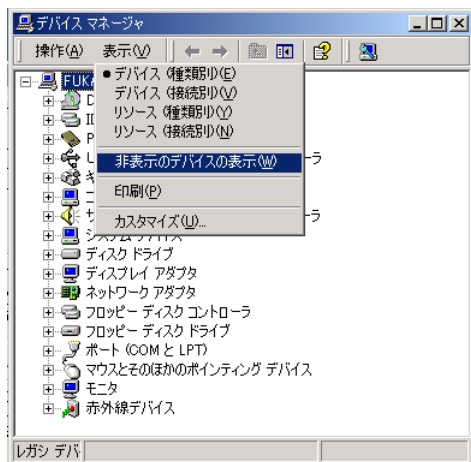
プリンタドライバが削除されます。

8 「閉じる」をクリックして、「プリントサーバーのプロパティ」ウィンドウを閉じます。

9 「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

10 **「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。**

お使いのパソコンにインストールされているデバイスの一覧が表示されます。

11 **「表示」メニュー→「非表示のデバイスの表示」の順にクリックし、プリンタの中に今回削除したプリンタが表示されていないことを確認します。**

■削除したプリンタが表示されている場合

アンインストールするプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「削除」を選択します。処理が終わったら、「デバイスマネージャ」および「システムのプロパティ」ウィンドウを閉じます。

12 Windows を再起動します。

■2003 の場合

「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックし、「シャットダウンイベントの追跡ツール」でオプションを選択して「OK」をクリックします。

■XP/2000 の場合

「スタート」ボタン→「シャットダウン」または「終了オプション」の順にクリックします。

重要

・プリンタをプリンタケーブルで接続しているとき、再起動後にプラグアンドプレイによって XL ドライバディスクを挿入するようにメッセージが表示される場合があります。この場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

6 Printia XL ドライバのバージョンを確認するには

プリンタドライバおよび「Printianavi2」のバージョンは、次の方法で確認できます。

プリンタドライバのバージョン確認

■7 の場合

1 **（スタート）→「デバイスとプリンター」の順にクリックします。**

2 **使用するプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「印刷設定」をクリックします。**

プリンタのプロパティが表示されます。

3 **各タブにある「バージョン」をクリックします。**

プリンタドライバのバージョンが表示されます。

■2008/Vista の場合

1 **「スタート」ボタンまたは（スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。**

2 **「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。**

3 **使用するプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「印刷設定」をクリックします。**

プリンタのプロパティが表示されます。

4 **各タブにある「バージョン」をクリックします。**

プリンタドライバのバージョンが表示されます。

■2003/XP の場合

1 **「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。**

2 **使用するプリンタのアイコンをクリックします。**

3 **「ファイル」メニュー→「印刷設定」の順にクリックします。**

4 各タブにある「バージョン」をクリックします。

プリンタドライバのバージョンが表示されます。

■2000 の場合

1 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。

2 使用するプリンタのアイコンをクリックします。

3 「ファイル」メニュー→「印刷設定」の順にクリックします。

プリンタのプロパティが表示されます。

4 各タブにある「バージョン」をクリックします。

プリンタドライバのバージョンが表示されます。

Printianavi2 のバージョン確認

「Printianavi2」のバージョンは、「Printianavi2」タブから確認できます。
詳しくは、「「Printianavi2」タブの設定項目」（→ P.173）をご覧ください。

1 プリンタの一覧を表示します。

■7/2008 R2 の場合

1. （スタート）→「デバイスとプリンター」の順にクリックします。

■2008（R2 以外）/Vista の場合

1. 「スタート」ボタンまたは（スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

■2003/XP の場合

1. 「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。

■2000 の場合

1. 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。

2 バージョンを確認したいプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「プリンターのプロパティ」（または「プロパティ」）をクリックします。

「プリンタのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 「Printianavi2」タブの「バージョン」をクリックします。

「Printianavi2」のバージョンが表示されます。

第 6 章

印刷ログの確認

この章では、印刷の履歴を管理するログ機能について説明します。

1 印刷ログ機能（印刷ログビューア）

印刷ログは、印刷時の最後の状態を記録したものです。
「印刷ログビューア」を使用することで、印刷が終了してから時間が経過していても、自分の印刷物がいつ、どこに印刷されたかを確認できます。

POINT

- 「印刷ログビューア」は、「Printianavi2」をインストールすると、「スタート」メニューに登録されます。
- 「印刷ログビューア」は、「Printianavi2」を削除すると、いっしょに削除されます。ログファイルは削除されません。
- 印刷ログは、各メッセージ（ステータス表示、印刷完了通知）の表示先にバイナリ形式で格納されます。
- パソコン 1 台につき、印刷ログファイルは 1 個となります（「Printianavi2」と関連付けしているプリンタが複数ある場合は、複数のプリンタのログが 1 ファイルに格納されます）。
- XL-5900 などの「Printianavi」が使用する印刷ログファイルとは別ファイルになります。

印刷ログビューアでできること

「印刷ログビューア」では、次のことができます。

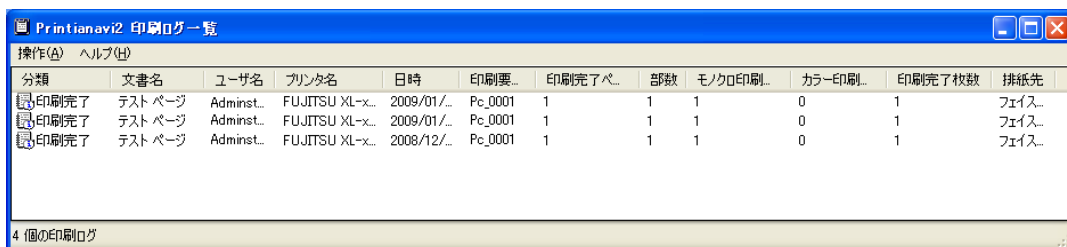
■ログの表示

お使いのパソコンから実行した印刷について、終了状態を確認できます。

■ログの情報表示

印刷ログごとに詳細を確認できます。
印刷を行ったユーザーや印刷枚数などの情報に加えて、印刷時の詳細設定や、セキュリティに関する設定の有無などを確認できます。印刷のコスト計算や、印刷時のセキュリティ設定の徹底などに、ログを活用できます。

■ログの CSV ファイルへの出力

採取したログを CSV ファイルとして出力できます。

印刷ログビューアを起動するには

「印刷ログビューア」を起動するには、「スタート」ボタンまたは（スタート）→「プログラム」（または「すべてのプログラム」）→「Printia XL Utility」→「Printianavi2」→「Printianavi2 印刷ログビューア」の順にクリックします。
印刷ログビューアを起動すると、「Printianavi2 印刷ログ一覧」ウィンドウが表示されます。

印刷ログ一覧の見かた

「印刷ログビューア」の初期設定では、一部の項目のみが表示されます。確認したい項目が表示されていない場合は、「表示項目の設定」（→ P.210）を行ってください。

上図には、初期設定の項目のみ表示されています。

1 分類

印刷終了時の状態が、アイコンと共に表示されます。表示内容は次のとおりです。

表：印刷終了時のアイコンの状態説明

アイコン	名称	説明
	印刷完了	正常に印刷が完了しました。
	印刷打ち切り	印刷中のステータス表示で印刷を中止しました。または、通信エラーなどにより、「Printianavi2」が印刷を打ち切りました。
	エラー表示	現在、プリンタにエラーが発生しています。
	警告	「Interstage Print Manager」などの連携アプリケーション上で、印刷ジョブを保留しました。

2 文書名

印刷を行った文書名が表示されます。

3 ユーザ名

印刷を行ったユーザー名が表示されます。

4 印刷完了ページ

印刷が完了したページ数が表示されます。

5 部数

印刷部数が表示されます。

6 モノクロ印刷ページ数

モノクロで印刷したページ数が表示されます。

7 カラー印刷ページ数

カラーで印刷したページ数が表示されます。

8 印刷完了枚数

印刷完了枚数が表示されます。

9 排紙先

印刷された文書が排紙されたトレイが表示されます。

10 プリンタ名

印刷先のプリンタ名が表示されます。

11 日時

ログが採取された日時が表示されます。

12 印刷要求元

印刷を行ったパソコン名が表示されます。

13 出力用紙サイズ

印刷した用紙のサイズが表されます。文書の途中で用紙サイズが変わっている場合は、ジョブの先頭ページの用紙サイズが表示されます。

14 用紙種類

用紙種類が表示されます。

15 給紙方向

印刷時の給紙方向が表示されます。

16 N-up

N-up の設定が表示されます。

17 印刷面

印刷面（「片面」「両面」）の設定が表示されます。

18 パンチ穴

パンチ穴の使用有無が「あり」「なし」で表示されます。

19 ステープル

ステープルの使用有無が「あり」「なし」で表示されます。

20 ヘッダー / フッター

ヘッダー／フッターの使用有無が「する」「しない」で表示されます。

21 ヘッダー / フッター出力種別

「ヘッダー、またはフッターに情報を印刷する」（→ P.138）の手順 2（→ P.139）で、ヘッダー／フッターに印刷する情報をショートカットアイコンで指定している場合に、指定したアイコンに対応した印字内容が表示されます。

表：ショートカットアイコンと印字内容の対応

指定アイコン	表示される印字内容	意味
	AC	印刷するパソコンにログオンしているユーザー名
	PC	印刷するパソコン名
	IP	印刷するパソコンの IP アドレス
	MAC	印刷するパソコンの MAC アドレス
	日付	印刷日付
	時間	印刷時刻

表：ショートカットアイコンと印字内容の対応

指定アイコン	表示される印字内容	意味
	文書	印刷するデータのファイル名
	ページ	印刷するデータのページ番号
	PRN	印刷するプリンタ名

22 スタンプ名

スタンプ名称が表示されます。

23 地紋名

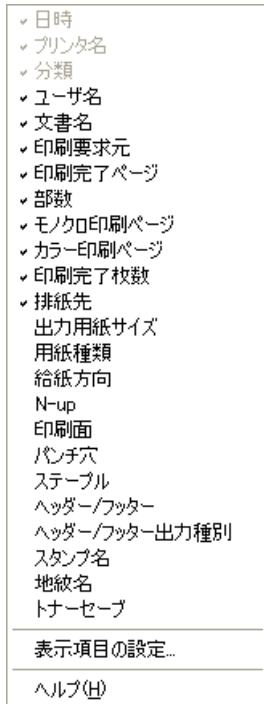
地紋名称が表示されます。

24 トナーセーブ

トナーセーブ機能の使用有無が「する」「しない」で表示されます。

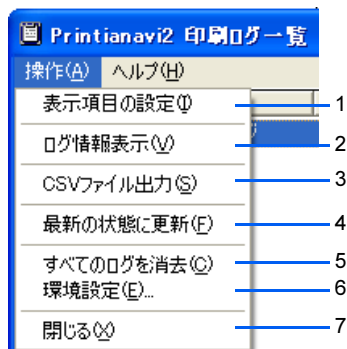
POINT

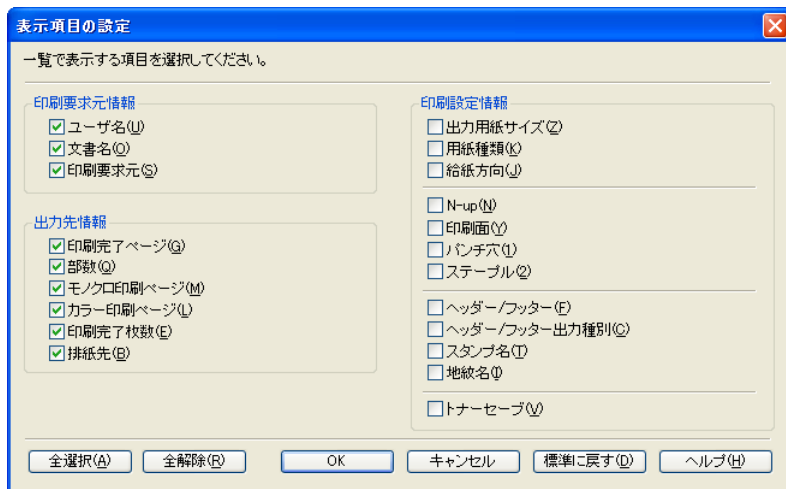
- 印刷ログを採取しない場合は、プリンタのプロパティの「Printianavi2」タブの「印刷ログを残す」を□にしてください。
- 印刷中にプリンタの電源を切ると、記録されるモノクロ印刷ページ数、カラー印刷ページ数は、実際の印刷ページ数と合わない場合があります。
- 印刷完了枚数が不確定の場合、総印刷枚数は空白となります。
- 「Printianavi2 印刷ログ一覧」ウィンドウに表示する項目は、「表示項目の設定」（→ P.210）で設定できます。また、表示項目を右クリックして表示されるメニューからも設定できます。

日時
プリンタ名
分類
ユーザ名
文書名
印刷要求元
印刷完了ページ
部数
モノクロ印刷ページ
カラー印刷ページ
印刷完了枚数
排紙先
出力用紙サイズ
用紙種類
給紙方向
N-up
印刷面
パンチ穴
ステープル
ヘッダー/フッター
ヘッダー/フッター出力種別
スタンプ名
地紋名
トナーセーブ
表示項目の設定...
ヘルプ(H)

- 表示項目をドラッグすると、表示順を変更できます。

印刷ログ一覧の操作

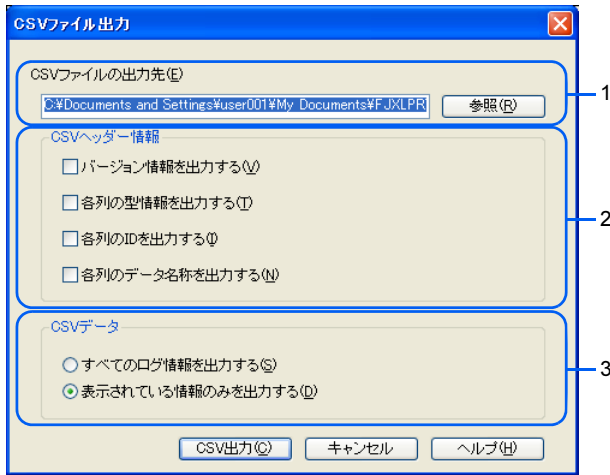
「印刷ログビューア」のメニューバーから、次の操作を行えます。

■操作メニュー

1 表示項目の設定

「表示項目の設定」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、「Printianavi2 印刷ログ一覧」ウィンドウの表示項目を選択できます。ただし、「分類」「プリンタ名」「日時」は、非表示への変更はできません。

2 ログ情報表示

一覧で印刷ログを選択し、「ログ情報表示」を選択すると、「Printianavi2 印刷ログ情報」ウィンドウが表示されます。「Printianavi2 印刷ログ情報」では、印刷ログの詳細を確認できます（→ P.213）。

3 CSV ファイル出力

「CSV ファイル出力」ウィンドウが表示されます。設定を行って「CSV 出力」をクリックすると、「印刷ログビューア」に現在読み込まれている情報を、CSV ファイルとして出力できます。

表：「CSV ファイル出力」ウィンドウの設定項目

No.	項目	説明
1	CSV ファイルの出力先	CSV ファイルの出力先を指定します。
2	CSV ヘッダー情報	CSV ファイルのヘッダー行として出力する情報を指定します。 ・バージョン情報を出力する 印刷ログの版数を出力します。 ・各列の型情報を出力する 印刷ログデータの型（文字列、数値）をデータ名ごとに出力します。 ・各列のデータ ID を出力する データを分類するための、ID（数値）を出力します。 ・各列のデータ名称を出力する データを分類するための、データ名（項目名）を出力します。
3	CSV データ	ログデータに含まれるすべての内容を出力するか、「Printianavi2 印刷ログ一覧」ウィンドウに表示されている項目のみを出力するかを選択します。

4 最新の状態に更新

印刷ログの一覧を最新の状態に更新します。なお、印刷ログは15秒ごとに自動的に更新されます。

5 すべてのログを消去

すべての印刷ログを初期化します。

6

6 環境設定

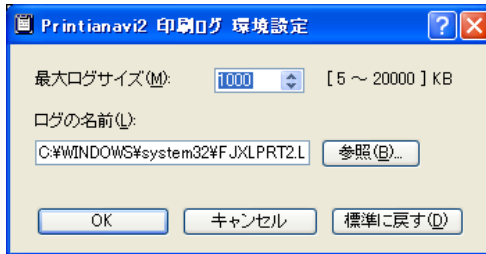
「Printianavi2 印刷ログ 環境設定」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、最大ログサイズとログのファイル名を指定できます。

■ 7/2008/Vista の場合

・最大ログサイズ（初期値：1000KB）
　ログファイルの最大サイズを、5 ～ 20000KB の範囲で指定します。

・フォルダ名
　ログファイルの格納先です。変更はできません。

・ファイル名
　ログファイル名を指定します。

■ 2003/XP/2000 の場合

・最大ログサイズ（初期値：1000KB）
　ログファイルの最大サイズを、5 ～ 20000KB の範囲で指定します。

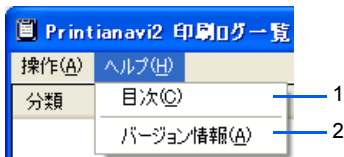
・ログの名前
　ログファイルの格納先とログファイル名を指定します。

重要

- ログファイルのサイズが最大ログサイズを超える場合、古いログから削除されます。
- 環境設定は、管理者権限でログオンしてから行ってください。管理者権限以外でログオンした場合はグレイアウトされます。

7 閉じる

「Printianavi2 印刷ログ一覧」ウィンドウを閉じ、「印刷ログビューア」を終了します。

■ヘルプメニュー

1 目次

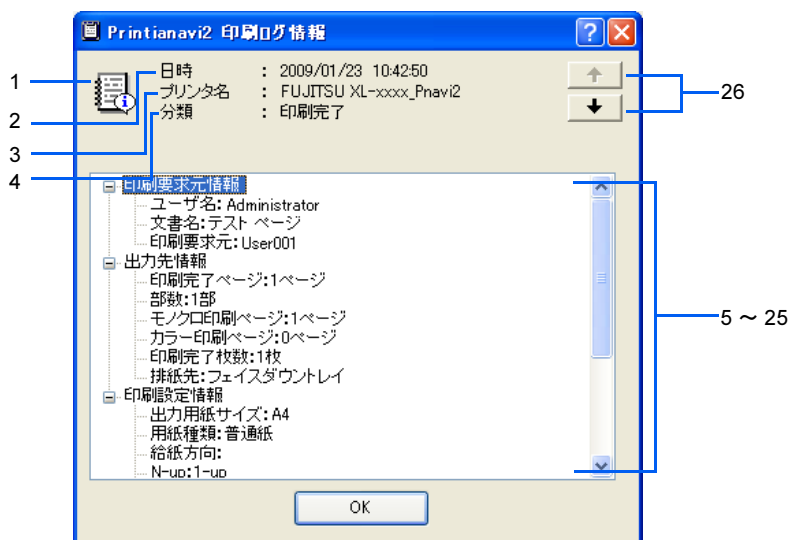
ヘルプが表示されます。

2 バージョン情報

「印刷ログビューア」のバージョン情報が表示されます。

印刷ログ情報表示

「Printianavi2 印刷ログ一覧」ウィンドウで選択中のログの詳細を表示することができます。ログの詳細を表示するときは、「Printianavi2 印刷ログ情報」ウィンドウを表示します。「Printianavi2 印刷ログ情報」ウィンドウは、次のいずれかの操作で表示します。

- 「Printianavi2 印刷ログ一覧」ウィンドウで、情報を表示したいログをダブルクリックする
- 「Printianavi2 印刷ログ一覧」ウィンドウのメニューバーで「操作」→「ログ情報表示」の順に選択する

印刷ログ情報表示を閉じるには、「OK」をクリックします。

1 アイコン

プリンタの状態を示すアイコンが表示されます。アイコンの種類と意味については、「分類」(→ P.207) の表をご覧ください。

2 日時

ログが採取された日時が表示されます。

3 プリンタ名

印刷先のプリンタ名が表示されます。

4 分類

ログの分類が表示されます。次の種類があります。

印刷完了／印刷打ち切り／エラー表示／保留

5 ユーザ名

印刷を行ったユーザー名が表示されます。

6 文書名

印刷を行った文書名が表示されます。

6

7 印刷要求元
印刷を行ったパソコン名が表示されます。

8 印刷完了ページ
印刷完了ページ数が表示されます。

9 部数
印刷部数が表示されます。

10 モノクロ印刷ページ
モノクロで印刷したページ数が表示されます。

11 カラー印刷ページ
カラーで印刷したページ数が表示されます。

12 印刷完了枚数
印刷完了枚数が表示されます。

13 排紙先
用紙の排紙先が表示されます。

14 出力用紙サイズ
印刷した用紙のサイズが表されます。文書の途中で用紙サイズが変わっている場合は、ジョブの先頭ページの用紙サイズが表示されます。

15 用紙種類
用紙種類が表示されます。

16 給紙方向
印刷時の給紙方向が表示されます。

17 N-up
N-up の設定が表示されます。

18 印刷面
印刷面（「片面」「両面」）の設定が表示されます。

19 パンチ穴
パンチ穴の使用有無が「あり」「なし」で表示されます。

20 ステープル
ステープルの使用有無が「あり」「なし」で表示されます。

21 ヘッダー / フッター
ヘッダー／フッターの使用有無が「する」「しない」で表示されます。

22 ヘッダー / フッター出力種別
「ヘッダー、またはフッターに情報を印刷する」（→ P.138）の手順 2（→ P.139）で、ヘッダー／フッターに印刷する情報をショートカットアイコンで指定している場合に、指定したアイコンに対応した印字内容が表示されます。
表示内容については、「ヘッダー / フッター出力種別」（→ P.208）をご覧ください。

23 スタンプ名
スタンプ名称が表示されます。

24 地紋名
地紋名称が表示されます。

25 トナーセーブ
トナーセーブ機能の使用有無が「する」「しない」で表示されます。

26 ログ切り替え

他の印刷ログの詳細情報を表示したいときに使用します。「↑」をクリックすると 1 つ前に発生したログ情報が、「↓」をクリックすると 1 つ後に発生したログ情報が表示されます。

POINT

・印刷中にプリンタの電源を切ると、記録される印刷完了ページ、モノクロ印刷ページ、カラー印刷ページは、実際の印刷枚数と合わない場合があります。

6

7

第 7 章

プリンタの管理（Printianavi ネットワークマネージャ）

この章では、「Printianavi ネットワークマネージャ」の使い方について説明します。「Printianavi ネットワークマネージャ」を使用すると、プリンタの管理作業（ネットワークに接続された XL シリーズプリンタの状態監視など）をパソコンから行えます。

1 Printianavi ネットワークマネージャとは

「Printianavi ネットワークマネージャ」は、ネットワークに接続されている XL シリーズのプリンタを管理するためのソフトウェアです。
「Printianavi ネットワークマネージャ」をインストールすることにより、プリンタの状態監視などをパソコンから行うことができます。
なお、「Printianavi ネットワークマネージャ」は、IPv6 アドレス環境には対応しておりません。

管理対象にできるプリンタ

「Printianavi ネットワークマネージャ」で管理できるプリンタについては、◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」内の「PNS3」フォルダの「README.TXT」をご覧ください。

POINT

・詳細表示をサポートしていないプリンタでは、「プリンタ情報」ウィンドウでのステータス情報表示は簡易表示となります。エラー時の用紙サイズ、給紙カセット位置、カバー種類は表示されません。

機能一覧

「Printianavi ネットワークマネージャ」は、ネットワークに接続されている XL シリーズプリンタに対し、次のことができます。

表：「Printianavi ネットワークマネージャ」の機能一覧

機能	内容
一覧表示	管理するプリンタを、パソコンの画面に一覧表示します。複数のプリンタに関する情報を、ひと目で確認できます。一覧表示するプリンタは、任意に指定できます。
自動検索	管理するプリンタをネットワーク上で自動的に検索し、各プリンタに関する情報を一覧表示します。
状態監視	複数のプリンタの状態を同時に監視します。また、一覧表示されている個々のプリンタに対して、定期監視を行うかどうかを設定できます。
保守情報の保存	複数のプリンタの、総印刷ページ数、A4LEF 換算値などの保守情報を一括保存します。定期的に稼動情報（印刷枚数）を把握できます。

画面構成

「Printianavi ネットワークマネージャ」ウィンドウは、次のように構成されています。

■メニューバー、ツールバー、グループバー、監視リスト

メニューバーとツールバーは、グループバーや監視リストの操作を行うときに使用します。グループバーには、監視対象のプリンタをグループ化して登録できます。グループバーの選択によって、監視リストの表示内容が切り替わります。初期値では、グループバーに「XL プリンタ」「IP アドレス未登録」の 2 種類が登録されています。

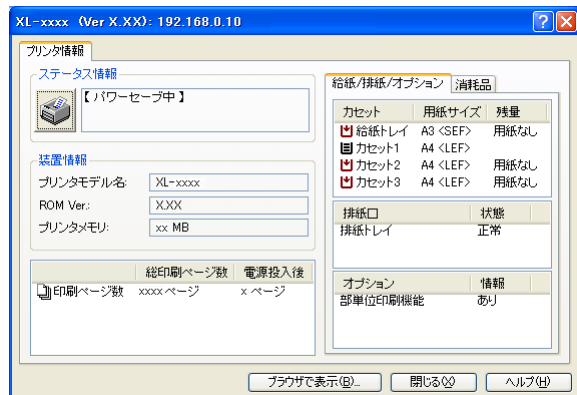
- XL プリンタ
  登録されたプリンタの一覧を監視リストに表示します。「XL プリンタ」の配下に作成したグループにプリンタを登録することにより、監視するプリンタをグループ分けして管理できます。登録可能なグループ数は 100 グループ、1 グループにつき登録可能なプリンタは 64 台です。
- IP アドレス未登録
  ローカルネットワークに接続された IP アドレス未設定のプリンタを検索し、監視リストに表示します。IP アドレスを設定し、監視リストに登録できます。
  IPv4 アドレスの設定については、「IP アドレスを設定する」（→ P.239）をご覧ください。

POINT

- メニューバーおよびツールバーの構成内容、グループの作成と登録方法については、それぞれ次で詳しく説明しています。
  - メニューバーについての詳細 :「メニューバーの機能」（→ P.230）
  - ツールバーについての詳細 :「ツールバーの機能」（→ P.233）
  - グループの作成方法 :「複数台のプリンタを管理するためのグループを作成する」（→ P.223）
  - グループの登録方法 :「監視するプリンタをグループに登録する」（→ P.224）
- 「Printianavi ネットワークマネージャ」は、IPv6 アドレス環境には対応していません。
- プリンタが、節電モードの「スリープ」に移行しているときには、自動検索でプリンタが表示されません。その場合は、メニューの「プリンタ」→「プリンタの検索」の順にクリックし、再検索してください。

7

■詳細画面

プリンタごとの詳細情報を表示するウィンドウです。詳細画面についての説明は、「詳細画面の見かたと設定」（→ P.245）をご覧ください。

［注］機種により、表記が異なる場合があります。

2 Printianavi ネットワークマネージャのインストールと操作方法

「Printianavi ネットワークマネージャ」のインストールと操作方法について説明します。

Printianavi ネットワークマネージャのインストール

「Printia LASER プリンタユーティリティ」の「プリンタ管理ユーティリティ」メニューからインストールを行います。プリンタに IP アドレスを設定したり、設定した IP アドレスを変更したりするためのソフトウェア「Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2」も同時にインストールされます。

1 プリンタの電源を入れます。

2 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

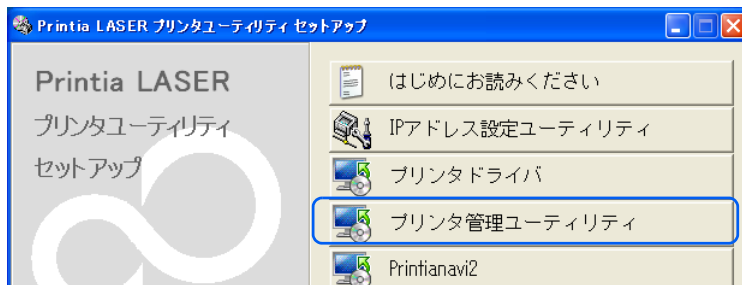
3 「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- 「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 7/2008/Vista の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。
- 「Printianavi ネットワークマネージャ」は、IPv6 アドレス環境には対応しておりません。

4 メニューから「プリンタ管理ユーティリティ」をクリックします。

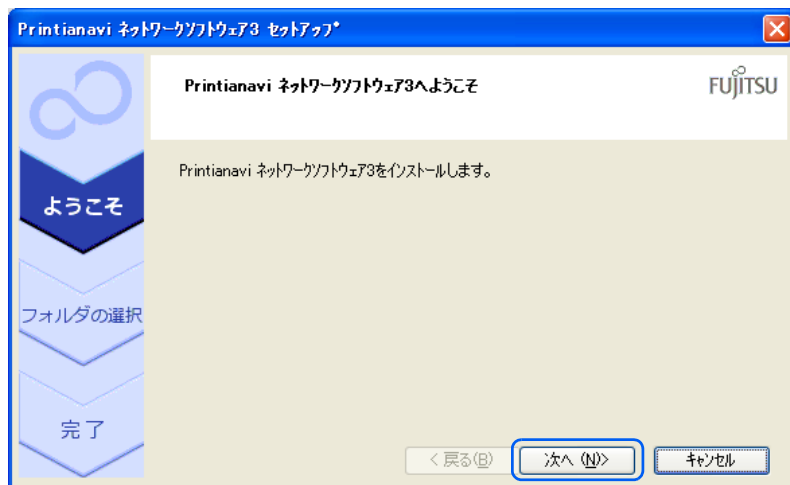
7

■7 の場合

「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。

インストーラが起動し、「Printianavi ネットワークソフトウェア 3 へようこそ」ウィンドウが表示されます。

■2008/Vista/2003/XP/2000 の場合

インストーラが起動し、「Printianavi ネットワークソフトウェア 3 へようこそ」ウィンドウが表示されます。

5 「次へ」をクリックします。

以降、ウィンドウの指示に従ってインストールを行ってください。

Printianavi ネットワークマネージャの起動

「Printianavi ネットワークマネージャ」は、次の手順で起動します。

1 「スタート」ボタンまたは (スタート）→「プログラム」（または「すべてのプログラム」）→「Printia XL Utility」→「ネットワークソフトウェア 3」→「Printianavi ネットワークマネージャ」の順にクリックします。

「Printianavi ネットワークマネージャ」を初めて起動したときは、監視するプリンタを指定する必要があります。

2 回目以降の起動時は、前回表示していたグループの監視プリンタが表示されます。

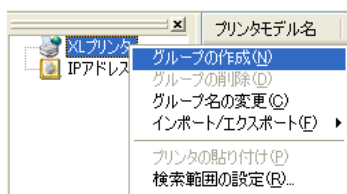
監視するプリンタを登録する操作については、「監視するプリンタをグループに登録する」（→ P.224）をご覧ください。

複数台のプリンタを管理するためのグループを作成する

プリンタをグループ分けして管理するときの、グループの作成方法について説明します。

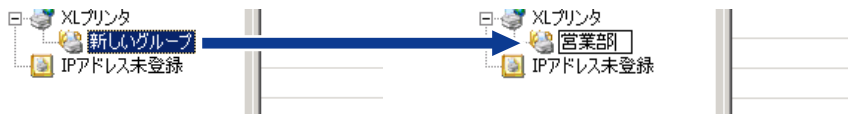
POINT

・作成できるグループは、全部で 100 までです。また、各グループに登録可能なプリンタは 64 台までです。

1 **グループバーでグループを配下に作成する親グループを右クリックし、表示されるメニューから「グループの作成」をクリックします。**

「新しいグループ」という名前のグループが作成されます。

POINT

・同様の操作は、メニューバーから行うこともできます。
　グループバーで親グループを選択したら、「プリンタ」メニュー→「グループの作成」の順にクリックしてください。

2 **必要に応じて名前を変更します。**

POINT

・同じ親グループ配下のグループどうしは、同じ名前を付けることはできません。
・グループ名は、全角／半角 128 文字以内（Me/98 は全角 64 文字／半角 128 文字以内）で設定してください。ただし、円記号（¥）、および環境依存文字（Unicode）は使用できません（環境依存文字を使用した場合、「??」と表示されてしまいます）。
・「IP アドレス未登録」には、グループを作成できません。
・新しく作成するグループの検索範囲には、作成時に親グループに設定されている検索範囲がコピーされますが、グループ作成後に検索範囲を変更することもできます。
　検索範囲の設定については、「プリンタの検索範囲を設定する」（→P.226）をご覧ください。
・グループの削除や移動などの操作方法については、「グループやプリンタを変更する」（→P.236）をご覧ください。

7

監視するプリンタをグループに登録する

「Printianavi ネットワークマネージャ」で監視するプリンタを登録するには、IP アドレスとコミュニティ名で指定して登録する方法と、自動検索で登録を行う方法の 2 種類があります。

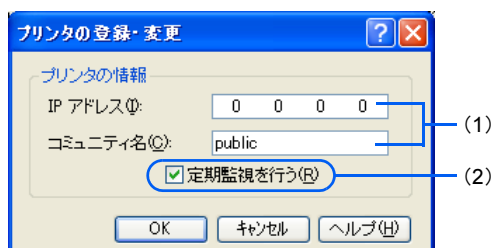
IP アドレスとコミュニティ名で登録する場合

監視するプリンタを、IP アドレスとコミュニティ名で指定します。

1 **プリンタを新規に登録したいグループ（「XL プリンタ」、または配下のグループ）をグループバーから選択します。**

2 **ツールバーの をクリックする、または「プリンタ」メニュー→「プリンタの登録」の順にクリックします。**

「プリンタの登録・変更」ウィンドウが表示されます。

3 **(1)「プリンタの登録・変更」ウィンドウで「IP アドレス」と「コミュニティ名」を設定し、(2) 定期監視を行うかどうかを指定します。**

表：「プリンタの登録・変更」ウィンドウの設定項目

設定項目	説明
IP アドレス	登録するプリンタの IP アドレスを指定します。「0.0.0.0」および「255.255.255.255」は指定できません。 例：192.168.0.11
コミュニティ名	登録するプリンタの SNMP 参照時のコミュニティ名を、半角英数字 15 文字以内で指定します。
定期監視を行う	登録するプリンタを定期監視の対象とする場合は、 にします。

4 **すべて良ければ、「OK」をクリックします。**

プリンタが選択したグループに登録されます。

・同じ IP アドレスのプリンタがすでに登録されている場合は、上書きで登録されます。
・プリンタが 64 台登録されているグループには新規登録は行えません。

自動的に検索して登録する場合

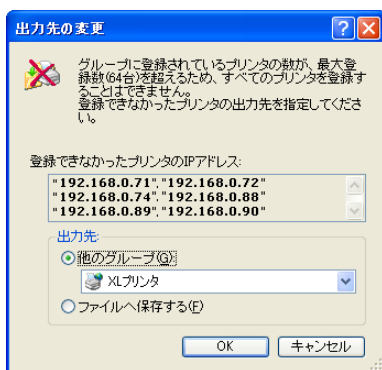
ネットワークに接続されているプリンタを自動検索します。

1 **プリンタを新規に登録したいグループ（「XL プリンタ」、または配下のグループ）をグループバーから選択します。**

2 **ツールバーの をクリックする、または「プリンタ」メニュー→「プリンタの検索」の順にクリックします。**

ネットワークに接続されているプリンタが検索され、監視リストに定期監視「有効」で登録されます。

POINT

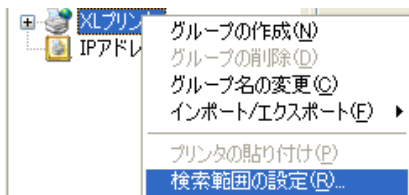
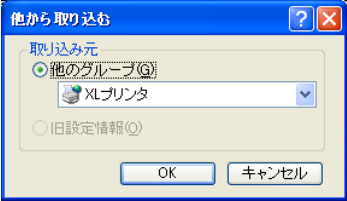
- ローカルネットワーク（検索を行うパソコンと同一ネットワーク）以外の XL シリーズプリンタを検索する場合は、「プリンタの検索範囲を設定する」（→ P.226）をご覧になり、検索範囲の設定を行ってください。
- プリンタから応答のあった順に、監視リストへ登録されます。64 台を超えるプリンタが検索された場合は、超えた分のプリンタを別グループへ登録するか、CSV ファイルに保存するかを確認する、次のウィンドウが表示されます。

すでに作成された別グループへ登録する場合は「他のグループ」を選択し、登録先を指定して「OK」をクリックしてください。
ただし、このウィンドウでは新しいグループを作成できませんので、後で登録先のグループを作成する場合は、いったん「ファイルへ保存する」を選択し、「OK」をクリックしてください。登録先のグループを作成した後、ここで保存した CSV ファイルからプリンタ情報を読み込んで登録できます。なお、プリンタの登録を中止する場合は、「キャンセル」をクリックしてください。
CSV ファイルへの保存、および CSV ファイルからの読み込み方法については、「CSV ファイルへの保存と読み込み」（→ P.242）をご覧ください。グループの作成方法については、「複数台のプリンタを管理するためのグループを作成する」（→ P.223）をご覧ください。

- 登録先のグループに同じ IP アドレスのプリンタがすでに登録されている場合は、上書きで登録されます。
- 指定した登録先のプリンタがさらに 64 台を超えるとき、他のグループに登録していた場合は再度登録先を指定するウィンドウが表示されます。ファイルに保存していた場合は、ファイル名の後ろに番号を付けた別のファイルに分割して登録します。

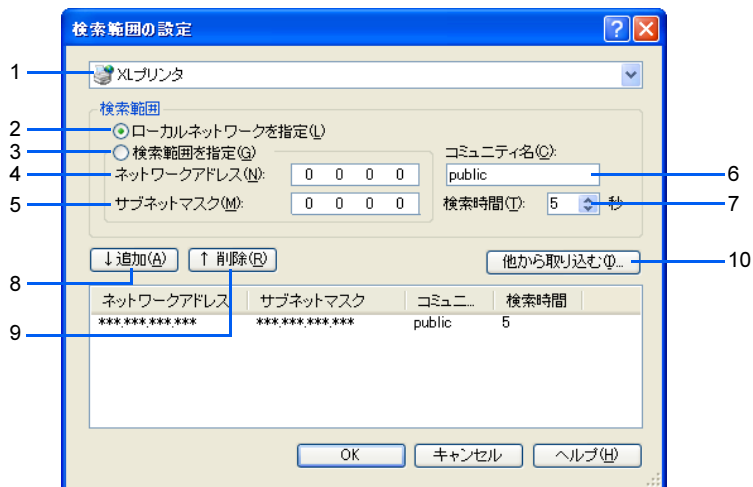
・プリンタが、節電モードの「スリープ」に移行しているときには、自動検索でプリンタが表示されません。その場合は、メニューの「プリンタ」→「プリンタの検索」の順にクリックし、再検索してください。

プリンタの検索範囲を設定する

ネットワークに接続されているプリンタの検索範囲を設定できます。

1 **グループバーでプリンタを新規に登録したいグループ（「XL プリンタ」または配下のグループ）を右クリックし、表示されるメニューから「検索範囲の設定」をクリックします。**

「検索範囲の設定」ウィンドウが表示されます。

POINT

・同様の操作は、メニューバーから行うこともできます。
グループバーでプリンタを新規に登録したいグループを選択し、「プリンタ」メニュー→「検索範囲の設定」の順にクリックしてください。

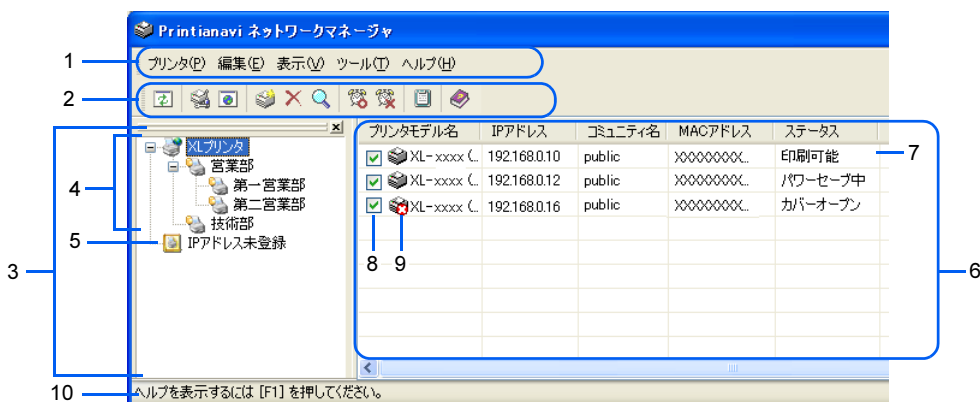
2 **「検索範囲の設定」ウィンドウで検索条件を指定します。**

表：「検索範囲の設定」の設定項目

No.	設定項目	説明
1	グループ選択リスト	手順 1（→ P.226）で右クリックしたグループが表示されます。検索範囲を設定するグループを変更するときはをクリックし、表示されたグループのリストから選択します。
2	ローカルネットワークを指定	検索を行うパソコンが属しているネットワーク内を検索する場合に選択します。
3	検索範囲を指定	検索を行うパソコンが属しているネットワークと異なるネットワークの範囲を、検索する場合に選択します。
4	ネットワークアドレス	プリンタの検索範囲に追加するネットワークアドレスを指定します。「0.0.0.0」および「255.255.255.255」は指定できません。
5	サブネットマスク	プリンタの検索範囲に追加するサブネットマスクを指定します。「255.255.255.255」は指定できません。
6	コミュニティ名	プリンタの検索範囲に追加する SNMP 参照時のコミュニティ名を半角英数字 15 文字以内で指定します。
7	検索時間	プリンタの検索時間（タイムアウト時間）を設定します。設定可能な範囲は 5 ～ 30 秒です。
8	追加	No.1 ～ 7 の項目で設定した内容を、アドレスリストに追加します。
9	削除	アドレスリストに登録されている項目を削除します。指定した内容は、No.2 ～ 7 の項目に反映されます。
10	他から取り込む	他のグループなどで設定されている検索範囲を取り込み、アドレスリストに追加します。 検索範囲をどこから取り込むかを選択し、「OK」をクリックします。 ・他のグループ 他のグループで設定されている検索範囲を取り込みます。をクリックして表示されたグループのリストから、検索範囲を取り込むグループを選択します。 ・旧設定情報 「IP アドレス設定ユーティリティ2」、または「Printianavi ネットワークマネージャ V7.1/V8.1」で設定していた検索範囲がある場合は、取り込むことができます。取り込める情報がない場合はグレイアウトされ、選択できません。

POINT

- すでに登録されている検索範囲を指定した場合（他のグループからの取り込み時はすでに登録されている検索範囲と同じ範囲）は、追加されません。ただし、検索時間のみ異なる内容を追加したときは、検索時間が上書きされます。
- ローカルネットワークを追加する場合は､｢コミュニティ名｣と｢検索時間｣のみ入力することができます。
- 検索範囲は 1 つのグループにつき 64 個まで登録できます。他からの取り込み時は、合計 64 個を超えた分の検索範囲は追加されません。
- 検索範囲をすべて削除することはできません。最低 1 つは残してください。

画面の見かたと設定方法

「Printianavi ネットワークマネージャ」の画面構成と、各項目の設定方法は次のとおりです。

1 メニューバー

グループバーや監視リストで実行できる機能が表示されます。

2 ツールバー

グループバーや監視リストで実行できる機能がボタンで表示されます。

3 グループバー

監視リストに表示するプリンタのグループを選択・設定します。

4 プリンタグループ

プリンタの管理を行うグループです。初期値では「XL プリンタ」が 1 つだけ登録されています。「XL プリンタ」配下に任意のグループを作成すると、プリンタをグループ別に管理できます。グループはツリー形式で表示され、[+] と [-] で配下のグループの表示を切り替えることができます。

5 IP アドレス未登録グループ

IP アドレスの設定とプリンタグループへの登録を行うグループです。初期値では「IP アドレス未登録」と表示されます。IP アドレスの設定については、「IP アドレスを設定する」（→ P.239）をご覧ください。

6 監視リスト

グループバーで選択したグループの、登録プリンタや検索されたプリンタが表示されます。

7 表示項目名

プリンタの情報の項目名です（監視リストの表示方法が「詳細」表示の場合のみ）。項目名をクリックすると、クリックした項目でプリンタ情報の表示順を並び替えることができます。
また、マウスでドラッグすると、表示する項目の、幅の変更や順序を入れ替えることができます。

8 定期監視チェックボックス

☑ に設定しているプリンタは、定期的に監視されます。定期監視の間隔は「ツール」メニューの「通信タイマの設定」で設定します。

9 プリンタ状態アイコン

プリンタの状態がアイコンで表示されます。各アイコンの意味は、次のとおりです。

通常	通信中	通信エラー	警告	その他のエラー

10 ステータスバー

現在選択されている項目の説明が表示されます。

7

メニューバーの機能

メニューバーの各機能は、次のとおりです。

プリンタ(P)　編集(E)　表示(V)　ツール(T)　ヘルプ(H)

表：メニューバーの機能

メニュー	サブメニュー	説明
プリンタ	プリンタの登録	監視リストに新規登録するプリンタを指定します。 プリンタの登録方法については、「監視するプリンタをグループに登録する」（→ P.224）をご覧ください。
	プリンタの変更	IP アドレス、コミュニティ名、監視状態の変更を行います。変更画面は、プリンタの登録と共通です。「監視するプリンタをグループに登録する」（→ P.224）をご覧ください。
	グループの作成	選択されたグループの配下に新しいグループを作成します。 グループの作成方法については、「複数台のプリンタを管理するためのグループを作成する」（→ P.223）をご覧ください。
	グループ名の変更	選択されたグループの名前を変更します。
	プリンタの検索	「検索範囲の設定」ウィンドウで指定した検索範囲からプリンタを検索し、監視リストに登録します。
	検索範囲の設定	プリンタの検索範囲を指定します。 詳しくは、「プリンタの検索範囲を設定する」（→ P.226）をご覧ください。
	詳細画面の表示	選択したグループによって表示が切り替わります。 ・プリンタグループ選択時 監視リストで選択されているプリンタの詳細画面が表示されます。詳細画面については、「詳細画面の表示方法と画面構成」（→ P.245）をご覧ください。 ・IP アドレス未登録グループ選択時 監視リストで選択されているプリンタの IP アドレスを設定します。IP アドレスの設定については、「IP アドレスを設定する」（→ P.239）をご覧ください。
	ブラウザで状態を表示	監視リストで選択されているプリンタが備えている「Printia LASER Internet Service」を起動します。 「Printia LASER Internet Service」については、「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」（→ P.249）をご覧ください。
	終了	「Printianavi ネットワークマネージャ」を終了します。

表：メニューバーの機能

メニュー	サブメニュー	説明
編集	切り取り	選択されたグループの監視リストで選択されているプリンタを切り取ります。
	コピー	選択されたグループの監視リストで選択されているプリンタをコピーします。
	貼り付け	選択されたグループの監視リストに、切り取り、またはコピーされたプリンタを貼り付けます。
	削除	プリンタグループ選択時は、選択したグループとその配下にあるすべてのグループとプリンタを削除します。 プリンタ選択時は、選択したプリンタを監視リストから削除します。
	すべてのプリンタを選択	監視リストに登録されている、すべてのプリンタを一括で選択します。
表示	ツールバー	ツールバーの表示・非表示を指定します。
	ステータスバー	ステータスバーの表示・非表示を指定します。
	グループバー	グループバーの表示・非表示を指定します。
	グリッドラインの表示	監視リストの表示方法が「詳細」のときの、枠線の表示・非表示を指定します。
	並べて表示／アイコン／一覧／詳細	監視リストの表示方法を切り替えます。
	表示項目の設定	監視リストの「表示項目名」に表示する項目と順序を指定します。
	すべてのプリンタの情報を更新	監視リストに登録されている、すべてのプリンタの情報を最新の情報に更新します。
	情報の更新	監視リストで選択されているプリンタの情報を最新の情報に更新します。

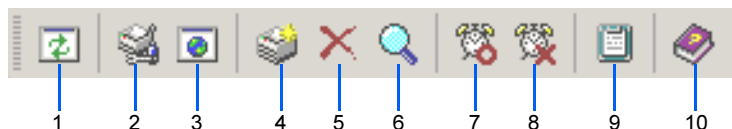
表：メニューバーの機能

メニュー	サブメニュー	説明
ツール	定期監視する	選択されているプリンタに対し、定期監視を有効にする場合に選択します。
	定期監視しない	選択されているプリンタに対し、定期監視を無効にする（行わない）場合に選択します。
	通信タイマの設定	通信エラーと判断するまでの時間、および定期監視の間隔を設定します。 詳しくは、「プリンタの通信時間を設定する」（→ P.235）をご覧ください。
	インポート / エクスポート	選択されたグループに対し、設定情報の CSV ファイルへの保存や読み込みを行います。 ・監視プリンタの保存 ・監視プリンタの追加 ・検索範囲の保存 ・検索範囲の追加 CSV ファイルへの保存・読み込みについては、「CSV ファイルへの保存と読み込み」（→ P.242）をご覧ください。
	保守情報の保存	グループ名、プリンタモデル名、IP アドレス、MAC アドレス、ファームウェアバージョン、総印刷ページ数、A4LEF 換算ページ数、装置号機（製造番号）を、CSV ファイル形式で保存します。
ヘルプ	目次	「トピックの検索」が表示されます。
	ヘルプ	「Printianavi ネットワークマネージャ」のヘルプが表示されます。
	バージョン情報	「Printianavi ネットワークマネージャ」のバージョン情報が表示されます。また、「サポートプリンタ」に現在サポートしているプリンタの機種名が表示されます。

POINT

・グループバーや監視リストのプリンタモデル名を右クリックして表示されるメニューからは、ツールバーやメニューバーと同じ機能を実行できます。

ツールバーの機能

ツールバー上の各ボタンの機能と意味は、次のとおりです。

表：ツールバーの機能

No.	アイコンの名称	説明
1	すべてのプリンタの情報を更新	監視リストに登録されている、すべてのプリンタの情報を最新の情報に更新します。
2	詳細画面の表示	選択したグループによって表示が切り替わります。 ・プリンタグループ選択時 監視リストで選択したプリンタの「詳細画面」が表示されます。詳細画面については、「詳細画面の表示方法と画面構成」（→ P.245）をご覧ください。 ・IP アドレス未登録グループ選択時 監視リストで選択したプリンタの IP アドレスを設定します。IP アドレスの設定については、「IP アドレスを設定する」（→ P.239）をご覧ください。
3	ブラウザで状態を表示	監視リストで選択したプリンタが備えている「Printia LASER Internet Service」を起動します。 「Printia LASER Internet Service」については、「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」（→ P.249）をご覧ください。
4	プリンタの登録	監視リストに新規登録するプリンタを指定します。 プリンタの登録方法については、「監視するプリンタをグループに登録する」（→ P.224）をご覧ください。
5	削除	プリンタグループ選択時は、選択したグループとその配下にあるすべてのグループとプリンタを削除します。プリンタ選択時は、監視リストから選択したプリンタを削除します。
6	プリンタの検索	「検索範囲の設定」で指定された検索範囲からプリンタを検索し、監視リストに登録します。
7	定期監視する	選択されているプリンタに対し、定期監視を有効にする場合に選択します。
8	定期監視しない	選択されているプリンタに対し、定期監視を無効にする（行わない）場合に選択します。
9	保守情報出力	グループ名、プリンタモデル名、IP アドレス、MAC アドレス、ファームウェアバージョン、総印刷ページ数、A4 換算ページ数（または A4LEF 換算ページ数）、装置号機（製造番号）を、CSV ファイル形式で保存します。
10	ヘルプ	「Printianavi ネットワークマネージャ」のヘルプが表示されます。

7

POINT

・グループバーや監視リストのプリンタモデル名を右クリックして表示されるメニューからは、ツールバーやメニューバーと同じ機能を実行できます。

保守情報を保存する

監視リストに登録されている、すべてのプリンタの保守情報を収集して、CSV ファイルに保存します。
保存される CSV ファイル形式は次のとおりです。

1 行目　　：　グループ名（親グループ ¥ 子グループ）
2 行目以降　：　プリンタモデル名 ,IP アドレス ,MAC アドレス , ファームウェアバージョン , 総印刷ページ数 ,A4 換算ページ数（または A4LEF 換算ページ数）, 装置号機（製造番号）

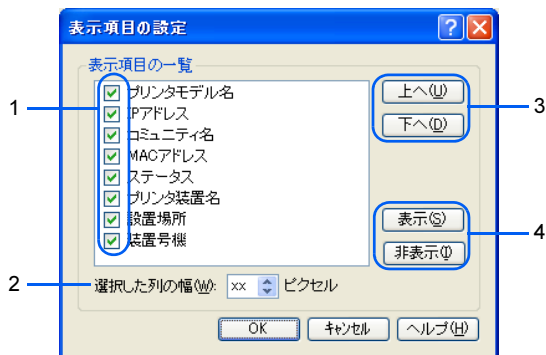
1 **「ツール」メニュー→「保守情報の保存」の順にクリックします。**
保存先と保存ファイル名（初期値 : 保守情報 -yymmdd.csv）を指定するウィンドウが表示されます。

2 **保存先と保存ファイル名を指定し、「保存」をクリックします。**
CSV ファイルが保存されます。

表示する項目や順序を変更する

監視リストのプリンタ情報として表示する項目を変更したり、順序を入れ替えたりする操作は、次のとおりです。

1 **「表示」メニュー→「表示項目の設定」の順にクリックします。**
「表示項目の設定」ウィンドウが表示されます。

2 監視リストに表示する項目や順序を設定し、「OK」をクリックします。

表：表示項目の設定

No.	設定項目	説明
1	表示／非表示チェックボックス	表示／非表示を切り替える項目を☑にします。
2	選択した列の幅	選択した項目の表示の幅をピクセル（ドット）単位で指定します。設定範囲は 0 ～ 200 ピクセルです。
3	上へ／下へ	表示する順序を変える項目を選択し、「上へ」または「下へ」をクリックして順番を並び替えます。
4	表示／非表示	選択した項目の表示／非表示を切り替えます。

POINT

- 監視リストの初期設定は、「プリンタモデル名」「IP アドレス」「コミュニティ名」「MAC アドレス」「ステータス」「プリンタ装置名」「設置場所」「装置号機」の順に表示されています。
- すべての項目を非表示にすることはできません。最低 1 つは表示してください。
- 監視リストの表示項目名を直接マウスでドラッグすると表示順序を、境界をマウスでドラッグすると表示の幅を、それぞれ変更できます。

7

プリンタの通信時間を設定する

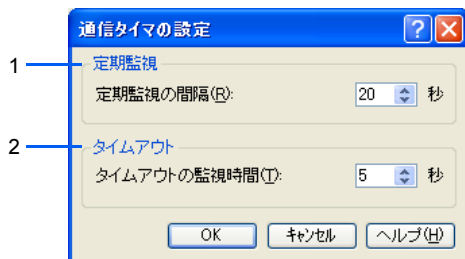
監視リストおよび「詳細画面」に表示されるプリンタの情報を更新する間隔、およびプリンタとデータを送受信するときのタイムアウト時間を設定する方法は、次のとおりです。

POINT

- 「Printianavi　ネットワークマネージャ」が最小化表示のときは、ここで説明する設定にかかわらず定期監視は行われません。

1 「ツール」メニュー→「通信タイマの設定」の順にクリックします。

「通信タイマの設定」ウィンドウが表示されます。

2 必要に応じて時間を設定し、「OK」をクリックします。

表：通信タイマの設定

No.	設定項目	説明
1	定期監視	監視リストおよび「詳細画面」に表示中のプリンタの情報更新間隔を設定します。設定範囲は 5 ～ 180 秒で、初期設定では 20 秒 に設定されています。
2	タイムアウト	プリンタからの応答を待ち合わせる最大値を設定します。設定時間をオーバーした場合は「応答なし」となります。設定範囲は 5 ～ 180 秒で、初期設定では 5 秒 に設定されています。

グループやプリンタを変更する

一度作成したグループや監視リストに登録したプリンタの変更・削除方法や、他のグループに移動するときの操作は、次のとおりです。

グループ名の変更

1 グループバーで名前を変更したいグループを右クリックし、表示されるメニューから「グループ名の変更」をクリックします。

グループ名が編集可能状態になります。

POINT

- 次の方法でも、グループ名を編集可能状態にできます。
  - グループバーで名前を変更したいグループを選択し、「プリンタ」メニュー→「グループ名の変更」の順にクリックする
  - グループバーで名前を変更したいグループ名をクリックし、グループ名が選択状態になったら、再度グループ名をクリックする

2 新しい名前に変更します。

POINT

- 同じ親グループ配下のグループどうしは、同じ名前を付けることはできません。
- グループ名は、全角／半角 128 文字以内（Me/98 は全角 64 文字／半角 128 文字以内）で設定してください。ただし、円記号（¥）、および環境依存文字（Unicode）は使用できません（環境依存文字を使用した場合、「??」と表示されてしまいます）。

グループの削除

1 **グループバーで名前を変更したいグループを右クリックし、表示されるメニューから「グループの削除」をクリックします。**

選択されたグループと、その配下にあるすべてのグループおよび登録されているプリンタを、削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

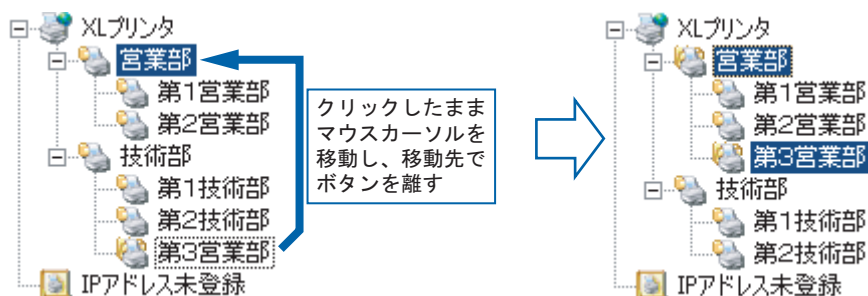
POINT

- 次の操作でも、同様のメッセージが表示されます。
  - グループバーで削除するグループを選択し、ツールバーの ✕ をクリックする
  - グループバーで削除するグループを選択し、「編集」メニュー→「削除」の順にクリックする
  - グループバーで削除するグループを選択し、【Delete】キーを押す

2 **削除して良ければ、「はい」をクリックします。**

選択されたグループと、その配下にあるすべてのグループおよび登録されているプリンタが削除されます。
なお、「XL プリンタ」グループ（プリンタグループの最上位のグループ）と、「IP アドレス未登録」グループは削除できません。

グループの移動

グループを移動するには、グループバーで移動したいグループを選択し、移動先の親グループへドラッグします。
例えば、下図の「技術部」グループ配下にある「第 3 営業部」グループを「営業部」グループ配下に移動させたい場合は、「第 3 営業部」グループを選択し、マウスの左ボタンを押したまま「営業部」の上にマウスポインタを移動し、マウスの左ボタンを離します。

POINT

- 同じ親グループ配下の移動先に、すでに同じグループ名が存在する場合は、移動できません。別の名前に変更してから移動してください。グループ名の変更方法については、「グループ名の変更」（→ P.236）をご覧ください。

7

プリンタ情報の変更

1 **監視リストで変更するプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「プリンタの変更」をクリックします。**

「プリンタの登録・変更」ウィンドウが表示されます。

POINT

- 監視リストで変更するプリンタを選択し、「プリンタ」メニュー→「プリンタの変更」の順にクリックしても、同様の操作が可能です。

2 **プリンタ情報を変更し、「OK」をクリックします。**

IP アドレス、コミュニティ名、定期監視を行うかどうかを変更します。各項目についての説明は、「監視するプリンタをグループに登録する」（→ P.224）をご覧ください。

プリンタの複数選択

【Shift】キーや【Ctrl】キーを押しながらプリンタを選択すると、複数のプリンタを選択できます。
プリンタの複数選択は、プリンタの削除、移動、コピー、情報更新、定期監視を行うかの設定変更時、または IP アドレスの一括設定時に有効です。

プリンタの削除

1 **監視リストで削除するグループを右クリックし、表示されるメニューから「削除」をクリックします。**

選択したプリンタを削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

POINT

- 次の操作でも、同様のメッセージが表示されます。
  - 監視リストで削除するプリンタを選択し、ツールバーの ✕ をクリックする
  - 監視リストで削除するプリンタを選択し、「編集」メニュー→「削除」の順にクリックする
  - 監視リストで削除するプリンタを選択し、【Delete】キーを押す

2 **削除して良ければ、「はい」をクリックします。**

選択されたグループと、その配下にあるすべてのグループおよび登録されているプリンタが削除されます。なお、「IP アドレス未設定」グループの監視リストに表示されているプリンタは削除できません。

プリンタの別グループへの移動

次のいずれかの方法で、プリンタを別グループへ移動します。

・移動させるプリンタを選択し、移動先のグループへドラッグする
・プリンタの「切り取り」と「貼り付け」で移動する
　「切り取り」と「貼り付け」は、次の方法があります。
　切り取り：
　- 移動するプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「切り取り」をクリックする
　- 移動するプリンタを選択し、「編集」メニュー→「切り取り」の順にクリックする
　貼り付け：
　- 移動先のグループを右クリックし、表示されるメニューから「プリンタの貼り付け」をクリックする
　- 移動先のグループを選択し、「編集」メニュー→「貼り付け」の順にクリックする
　- 移動先のグループを選択し、監視リストの何も表示されていないところを右クリックし、表示されるメニューから「貼り付け」をクリックする

プリンタの別グループへのコピー

次のいずれかの方法で、プリンタをコピーします。

・コピーするプリンタを選択し、【Ctrl】キーを押しながら移動先のグループへドラッグする
・プリンタの「コピー」と「貼り付け」で移動する
　「コピー」と「貼り付け」は、次の方法があります。
　コピー：
　- 移動するプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「コピー」をクリックする
　- 移動するプリンタを選択し、「編集」メニュー→「コピー」の順にクリックする
　貼り付け：
　- 移動先のグループを右クリックし、表示されるメニューから「プリンタの貼り付け」をクリックする
　- 移動先のグループを選択し、「編集」メニュー→「貼り付け」の順にクリックする
　- 移動先のグループを選択し、監視リストの何も表示されていないところを右クリックし、表示されるメニューから「貼り付け」をクリックする

7

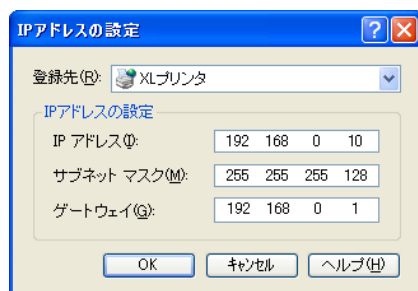
IP アドレスを設定する

「Printianavi ネットワークマネージャ」から、IP アドレスが設定されていないプリンタに対し手動で IP アドレスを設定できます。

POINT

・検索可能なプリンタは、検索を行うパソコンのローカルネットワーク上に接続されており、かつ DHCP 自動取得設定が有効で IP アドレスが設定されていないプリンタのみです。
　DHCP 自動取得設定については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。
・設定を行うプリンタが、印刷中や設定中、エラー状態でないことを確認してから設定を行ってください。
・「Printianavi ネットワークマネージャ」は、IPv6 アドレス環境には対応しておりません。

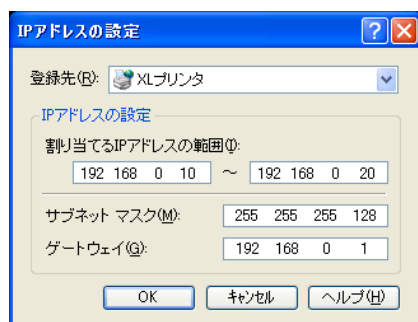
1 **グループバーの「IP アドレス未登録」グループを選択します。**

ローカルネットワークに接続された IP アドレス未設定のプリンタの検索結果が、監視リストに表示されます。

2 IP アドレスを設定するプリンタを選択し、「詳細画面の表示」モードにします。

次のいずれかの方法で「詳細画面の表示」モードにします。プリンタを複数選択すると、IP アドレスの範囲を指定して一括で設定することもできます。

・プリンタが選択された状態で右クリックし、表示されるメニューから「詳細画面の表示」をクリックする
・プリンタを選択し、ツールバーの をクリックする
・プリンタを選択し、「プリンタ」メニュー→「詳細画面の表示」の順にクリックする

3 「IP アドレスの設定」ウィンドウで登録先のグループを選択し、設定する IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力して「OK」をクリックします。

■ プリンタを 1 台だけ選択したとき

ゲートウェイは省略できます。入力には次の制限があります。

表：入力時の制限事項

設定項目	制限
IP アドレス	「0.0.0.0」、「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。
サブネットマスク	「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。
ゲートウェイ	空白を含むアドレスは指定できません。

■ プリンタを複数台選択したとき

割り当てる IP アドレスの範囲を指定します。ゲートウェイは省略できます。
なお、入力には次の制限があります。

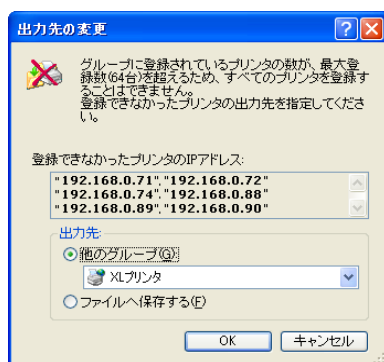
表：入力時の制限事項

設定項目	制限
割り当てるIPアドレスの範囲	・「0.0.0.0」、「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。 ・終了アドレスは、開始アドレスより大きな値を指定してください。 ・終了アドレスが開始アドレスのセグメント外となるときは、指定できません。 ・IPアドレスの範囲よりプリンタ数が多いときは、設定できません。
サブネットマスク	「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。
ゲートウェイ	空白を含むアドレスは指定できません。

4 設定内容を確認し「OK」をクリックします。

プリンタを複数台選択したときは、確認画面で設定を変更したいプリンタを選択して「設定情報の変更」をクリックすることで、各プリンタの登録先グループとIPアドレスの設定を個々に変更できます。

POINT

・登録先のグループに同じIPアドレスのプリンタがすでに登録されている場合は、上書きで登録されます。
・登録先のグループに登録するプリンタが合計64台以上になる場合は、超えた分のプリンタを別グループへ登録するか、CSVファイルに保存するかを確認する、次のウィンドウが表示されます。

すでに作成された別グループへ登録する場合は「他のグループ」を選択し、登録先を指定して「OK」をクリックしてください。
ただし、このウィンドウでは新しいグループを作成できませんので、後で登録先のグループを作成する場合は、いったん「ファイルへ保存する」を選択し、「OK」をクリックしてください。登録先のグループを作成した後、ここで保存したCSVファイルからプリンタ情報を読み込んで登録できます。なお、プリンタの登録を中止する場合は、「キャンセル」をクリックしてください。
CSVファイルへの保存、およびCSVファイルからの読み込み方法については、「CSVファイルへの保存と読み込み」（→P.242）をご覧ください。グループの作成方法については、「複数台のプリンタを管理するためのグループを作成する」（→P.223）をご覧ください。
・指定した登録先のプリンタがさらに64台を超えるとき、他のグループに登録していた場合は再度登録先を指定するウィンドウが表示されます。ファイルに保存していた場合は、ファイル名の後ろに番号を付けた別のファイルに分割して登録します。

CSV ファイルへの保存と読み込み

プリンタグループで選択したグループに対し､監視リストや検索範囲の設定情報をCSVファイルとして保存できます。また、保存した CSV ファイルを読み込み、監視リストや検索範囲へ追加することもできます。
CSV ファイルの保存と読み込みは、「インポート / エクスポート」メニューから行います。
「インポート / エクスポート」メニューは次のいずれかの方法で表示します。

- プリンタグループで情報を保存／読み込むグループを右クリックし、表示されるメニューから「インポート / エクスポート」をクリックする
- プリンタグループで情報を保存／読み込むグループを選択し、「ツール」メニュー→「インポート / エクスポート」の順にクリックする

監視プリンタの保存

監視リストに登録されたプリンタの情報を CSV ファイルに保存します。
保存される CSV ファイル形式は次のとおりです。

1 行目	:	グループ名（親グループ ¥ 子グループ）
2 行目以降	:	定期監視する／しない（する : 1、しない : 0）、IP アドレス、MAC アドレス、プリンタモデル名、コミュニティ名、ステータス、プリンタ装置名、設置場所、検索ポート、装置号機

1 **「インポート / エクスポート」メニュー→「監視プリンタの保存」の順にクリックします。**

保存先と保存ファイル名（初期値 :「監視プリンタ」－グループ名 .csv）を指定するウィンドウが表示されます。

2 **保存先と保存ファイル名を指定し、「保存」をクリックします。**

CSV ファイルが保存されます。

POINT

- グループ名に「 / : , ; ＊ ? " < > | 」が含まれている場合､保存ファイル名には全角に変更されて反映されます。

監視プリンタの追加

CSV ファイルに保存されたプリンタの情報を読み込み、監視リストへ追加します。

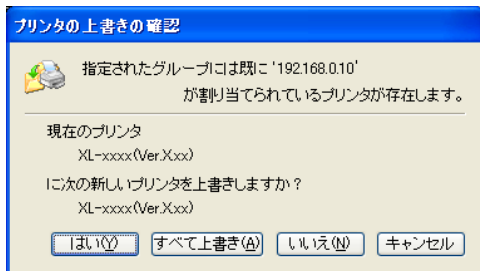
1 **「インポート / エクスポート」メニュー→「監視プリンタの追加」の順にクリックします。**

読み込むファイルを指定するウィンドウが表示されます。

2 **ファイルを指定し、「開く」をクリックします。**

CSV ファイルに登録されている監視プリンタが追加登録されます。

POINT

- 同じ IP アドレスのプリンタがすでに登録済みの場合、CSV ファイルから読み込んだプリンタの情報に上書きするか確認するメッセージが表示されますので、いずれかの処理を選択してください。

表：プリンタ上書きの確認項目

選択項目	処理内容
はい	メッセージが表示されたプリンタの情報のみ上書きします。
すべて上書き	他の IP アドレスが登録済みのプリンタも含めて、すべて上書きします。
いいえ	メッセージが表示されたプリンタの情報を上書きせずに、次の処理を行います。
キャンセル	監視プリンタの追加処理を中止します。

- 合計が 64 台を超えた分のプリンタは追加登録されません。
- CSV ファイルの読み込み時に、CSV ファイルの内容にエラーが見つかった場合は、エラーメッセージが表示され、プリンタの追加処理が中止されます。

検索範囲の保存

検索範囲の設定情報を CSV ファイルに保存します。
保存される CSV ファイル形式は次のとおりです。

1 行目　　：　グループ名（親グループ ¥ 子グループ）
2 行目以降　：　ネットワークアドレス、サブネットマスク、コミュニティ名、タイムアウト値

1 **「インポート / エクスポート」メニュー→「検索範囲の保存」の順にクリックします。**

保存先と保存ファイル名（初期値：「検索範囲」－グループ名 .csv）を指定するウィンドウが表示されます。

2 **保存先と保存ファイル名を指定し、「保存」をクリックします。**

CSV ファイルが保存されます。

検索範囲の追加

CSV ファイルに保存された検索範囲の設定情報を読み込み、検索範囲へ追加します。

1 **「インポート / エクスポート」メニュー→「検索範囲の追加」の順にクリックします。**

読み込むファイルを指定するウィンドウが表示されます。

2 **ファイルを指定し、「開く」をクリックします。**

CSV ファイルに登録されている監視プリンタが追加登録されます。

POINT

- 検索時間のみ異なる内容を追加したときは、検索時間を上書きします。
- 合計が 64 個を超えた分の検索範囲は追加されません。
- CSV ファイルの読み込み時に、CSV ファイルの内容にエラーが見つかった場合は、エラーメッセージが表示され、検索範囲の追加処理が中止されます。

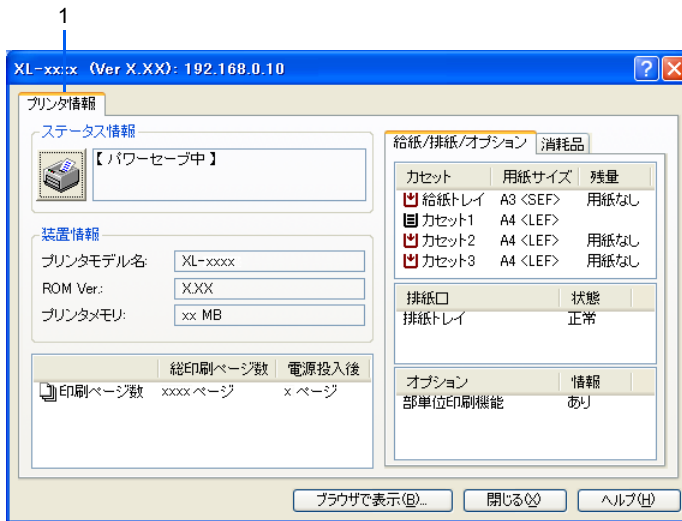
3 詳細画面の見かたと設定

監視リストで選択したプリンタについて、詳しい情報を確認する場合は、詳細画面を開きます。

詳細画面の表示方法と画面構成

「詳細画面」を表示するには、次の 4 種類の方法があります。

- 監視リストでプリンタを選択し、「プリンタ」メニュー→「詳細画面の表示」の順にクリックする
- 監視リストでプリンタを選択し、ダブルクリックする
- 監視リストでプリンタを選択し、右クリックして表示されるメニューから「詳細画面の表示」をクリックする
- 監視リストでプリンタを選択し、「詳細画面の表示」（ ）をクリックする

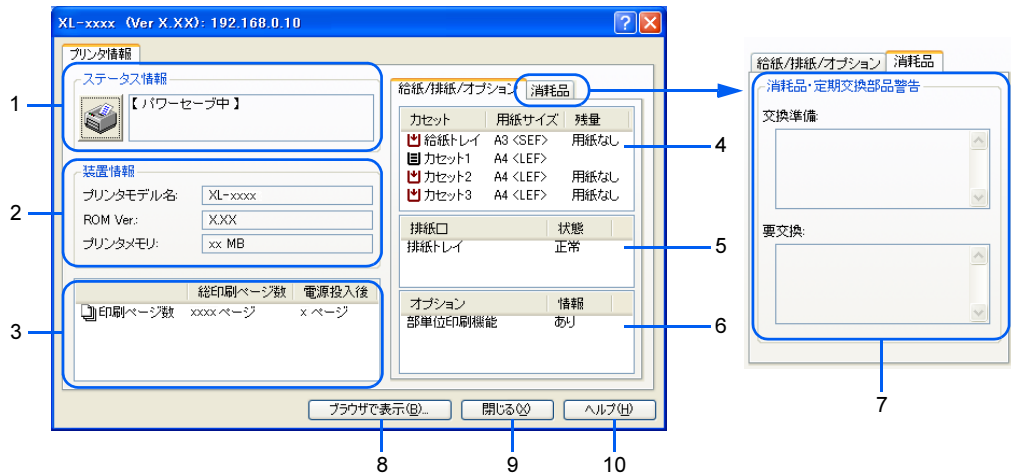
詳細画面は、次のタブから構成されています。

1 プリンタ情報

プリンタのステータス情報が表示されます。
詳しくは、「「プリンタ情報」タブ」（→ P.246）をご覧ください。

POINT

- プリンタの設定を変更したい場合は、「Printia LASER Internet Service」を利用します。設定を行う場合は、ツールバーの 、あるいは詳細画面の「ブラウザで表示」をクリックして「Printia LASER Internet Service」を起動し、設定を行ってください。
詳しくは、「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」（→ P.249）をご覧ください。

「プリンタ情報」タブ

「プリンタ情報」タブでは、選択中のプリンタに関するステータスや、装置情報が表示されます。

1 ステータス情報

・**ステータスアイコン**

プリンタのステータス情報がアイコンで表示されます。アイコンをクリックすると、プリンタ情報が最新の内容に更新されます。
ただし、「節電モード設定」対応機種で「節電 2」状態に移行しているときは、用紙をセットするなどしてプリンタの状態が変更されていても、ステータス表示には反映されません。

・**ステータス情報**

プリンタの詳細な状態が表示されます。

2 装置情報

・**プリンタモデル名**

プリンタのモデル名が表示されます。

・ROM Ver:

プリンタのファームウェアバージョンが表示されます。

・**プリンタメモリ**

搭載されているプリンタメモリのサイズが表示されます。

3 印刷ページ数情報

プリンタの印刷ページ数（機種により印刷枚数）が表示されます。両面印刷時は、表面および裏面を各 1 ページ（機種により 1 枚）と数えます。

4 給紙口情報

給紙口にセットされている用紙に関する各種情報が表示されます。

5 排紙口情報

プリンタの排紙口の状態が表示されます。

6 オプション情報

プリンタがサポートしているオプション機能とその取り付け状態が表示されます。

7 消耗品・定期交換部品警告（対応プリンタのみ）

トナーカートリッジや定着器などの消耗品・定期交換部品について、交換時期が近づいた場合は「交換準備」欄に、交換が必要となった場合は「要交換」欄に情報が表示されます。

8 ブラウザで表示

詳細画面を表示しているプリンタが備える「Printia LASER Internet Service 」を起動します。詳しくは、「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」（→ P.249）をご覧ください。

9 閉じる

詳細画面を閉じます。設定した値は無効となります。

10 ヘルプ

ヘルプが表示されます。

7

第 8 章

Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）

この章では、プリンタに搭載されている Web サーバ機能（「Printia LASER Internet Service」）の使い方について説明します。「Printia LASER Internet Service」を使用すると、ネットワークに接続された XL シリーズプリンタの状態監視や環境設定などを、Web ブラウザから行うことができます。

1 Web サーバ機能の概要

プリンタに搭載されている Web サーバ機能を「Printia LASER Internet Service」と呼びます。ここでは、「Printia LASER Internet Service」を利用するための動作環境などについて説明します。

Printia LASER Internet Service とは

「Printia LASER Internet Service」は、インターネットや LAN（TCP/IP）に接続された XL シリーズプリンタの状態を参照、印刷したり、プリンタのネットワークに関する設定を変更したりするためのコンテンツです。
「Printia LASER Internet Service」は、プリンタに Web サーバ機能として搭載されているため、Web ブラウザがインストールされたパソコンであれば、専用のソフトウェアをインストールすることなく使用できます。

動作環境

「Printia LASER Internet Service」は、「Internet Explorer 4.0」以上で動作します。

なお、Web ブラウザの次の機能を使用可能にしておいてください（詳しくは、Web ブラウザのヘルプなどをご覧ください）。

- JavaScript（必須）
  ステータス表示の自動更新や設定時の処理に JavaScript を使用しているため、JavaScript を無効にしていると正しく動作しません。
- スタイルシート（推奨）
  スタイルシートが使用できない場合でも、「Printia LASER Internet Service」の機能には差し支えありませんが、表示が見にくくなる場合があります。
- Cookie の使用（任意）
  Cookie が使用可能な場合は、ユーザー（Web ブラウザ）ごとにステータス表示の自動更新に関する設定を行うことができます。Cookie を使用したくない場合は、プリンタ側に設定された初期設定で動作するようにも設定できます。

2 Web サーバ機能の操作方法

「Printia LASER Internet Service」の表示方法や基本的な操作方法について説明します。

使用前の準備

「Printia LASER Internet Service」を使用する前に、次の点をご確認ください。

・**プリンタの IP アドレスの設定は済んでいますか**

「Printia LASER Internet Service」を使用するには、プリンタの IP アドレスを設定しておく必要があります。IP アドレスが未設定の場合は、「IPv4 アドレスを設定する」(→ P.24)、または「IPv6 アドレスを設定する」(→ P.34)をご覧になり、プリンタの IP アドレスを設定してください。

・**プリンタ本体の電源が入っており、LAN に接続されていますか**

プリンタ本体の電源が入っていること、LAN に接続されていることを確認してください。
プリンタ本体の電源の入れ方、LAN との接続方法については、『ハードウェアガイド』の「第 2 章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。

Printia LASER Internet Service 画面を開く

「Printia LASER Internet Service」画面(→ P.253)を開くには、Web ブラウザを起動して「Printia LASER Internet Service」の URL を指定する方法と、「Printianavi ネットワークマネージャ」から起動する方法があります。

Web ブラウザから直接開く

Web ブラウザを起動し、アドレス欄に次のいずれかの URL を入力して【Enter】を押します。

・DNS サーバで登録した名前を指定する

「http://」の後に、DNS サーバで設定したホスト名＋ドメイン名を指定します。
例：http://xlprn.xxx.fujitsu.com(ホスト名：xlprn、ドメイン名：xxx.fujitsu.com の場合)

・IP アドレスで指定する

- IPv4 アドレスの例(プリンタの IPv4 アドレスが 192.168.100.100 の場合)
  http://192.168.100.100
- IPv6 アドレスの例(IPv6 対応プリンタ(XL-4360/XL-9320)のみ)
  (プリンタの IPv6 アドレスが fe80:0000:0000:0000:0280:87ff:fe9b:1234 の場合)
  http://[fe80::0280:87ff:fe9b:1234]

・OS が、7/2008/Vista の場合のみ、IPv6 アドレスをお使いいただけます。

Printianavi ネットワークマネージャから開く

「Printianavi ネットワークマネージャ」からは、次の方法で「Printia LASER Internet Service」画面を開きます。詳しくは、「プリンタの管理（Printianavi ネットワークマネージャ）」（→ P.217）をご覧ください。

POINT

・「Printianavi ネットワークマネージャ」は、IPv6 アドレス環境には対応していません。
IPv6 アドレス環境の場合は、「Web ブラウザから直接開く」（→ P.251）操作を行ってください。

1 「Printianavi ネットワークマネージャ」を起動します。

「スタート」ボタンまたは（スタート）→「プログラム」（または「すべてのプログラム」）→「Printia XL Utility」→「ネットワークソフトウェア 3」→「Printianavi ネットワークマネージャ」の順にクリックします。

2 「Printia LASER Internet Service」を起動するプリンタのグループとプリンタを選択します。

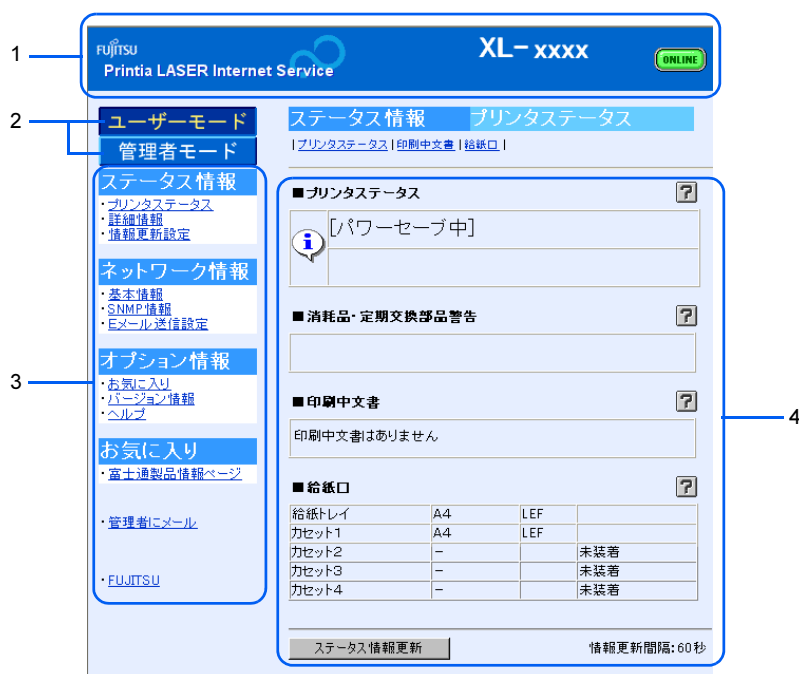
3 をクリックするか、「プリンタ」メニュー→「ブラウザで状態を表示」の順にクリックします。

Web ブラウザが起動し、「Printia LASER Internet Service」画面が表示されます。

POINT

・ネットワークサービス設定対応プリンタで、オペレータパネルからネットワークサービス設定の「インターネットサービス」を「無効」に設定している場合、「Printia LASER Internet Service」が表示されません。インターネットサービスを「有効」に設定してください。
オペレータパネルについての詳しい説明は、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

Printia LASER Internet Service 画面の構成

プリンタに正しく接続されると、次のような画面が表示されます。

［注］機種により表示内容は異なります。

1 タイトル

タイトルロゴ、プリンタモデル名、簡易ステータスアイコンが表示されます。

2 モード切り替え

ユーザーモードと管理者モードを切り替えます。現在のモードは、ボタンの文字が黄色で表示されています。

3 メニュー

「Printia LASER Internet Service」で利用できる機能が並んでいます。ユーザーモードと管理者モード、およびプリンタの種類により、表示される項目が一部変わります。

4 情報表示エリア

メニューから機能を選択すると、情報や設定項目が表示されます。

基本的な操作

「Printia LASER Internet Service」の操作は、次の流れで行います。

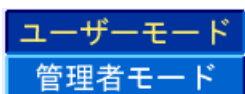
1 管理者モードとユーザーモードを切り替える（→ P.254）

2 左側のメニューから、表示や設定したい項目を選択する（→ P.254）

3 左側の画面で、情報を参照したり、設定を変更したりする（→ P.257）

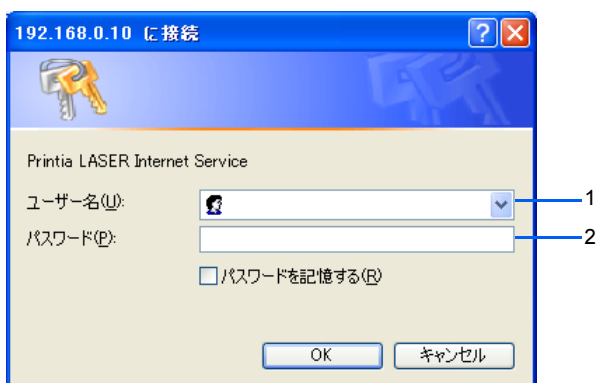
8

管理者モードとユーザーモードの切り替え

「モード切り替え」ボタンの文字色が黄色いほうが現在のモードです。

ユーザーモード
管理者モード

・ユーザーモードでは、プリンタの状態や設定の表示のみ行えます。
・管理者モードでは、プリンタの状態表示と設定の変更を行えます。

■管理者モードに切り替える

「管理者モード」をクリックすると、管理者モードに切り替わり、ユーザー名とパスワードの入力ウィンドウが表示されます。
「ユーザー名」に「xladmin」を、「パスワード」にパスワード（ご購入時の状態では未設定）を入力して「OK」をクリックすると、管理者モードの画面に切り替わります。

1 ユーザー名

「xladmin」固定です。

2 パスワード

「Printianavi ネットワークマネージャ」と共通のパスワードです。ご購入時（初期設定）には、設定されていません。
パスワードの設定については、「パスワード（管理者モードのみ）」（→ P.286）をご覧ください。

■ユーザーモードに切り替える

「ユーザーモード」をクリックすると、ユーザーモードに切り替わります。

メニュー項目の選択

画面左側のメニュー項目から、表示または設定したい項目をクリックすると、画面右側に表示される内容が切り替わります。メニュー項目の内容は次のとおりです。

POINT

・機種によっては、表示されない項目があります。表示されない項目の機能は、その機種では使用できません。

■ ユーザーモードの場合

ステータス情報
・プリンタステータス
・詳細情報
・情報更新設定

ネットワーク情報
・基本情報
・SNMP 情報
・Eメール送信設定

オプション情報
・お気に入り
・バージョン情報
・ヘルプ

お気に入り
・富士通製品情報ページ

・管理者にメール

・FUJITSU

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

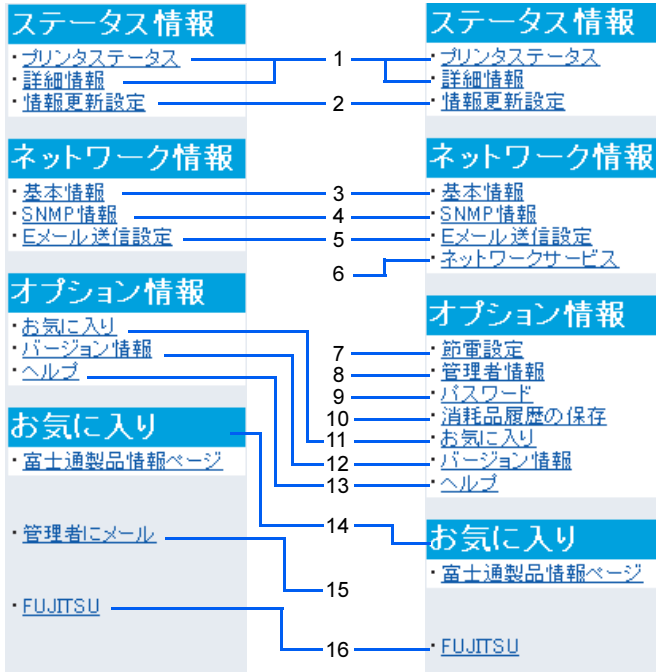
■ 管理者モードの場合

ステータス情報
・プリンタステータス
・詳細情報
・情報更新設定

ネットワーク情報
・基本情報
・SNMP 情報
・Eメール送信設定
・ネットワークサービス

オプション情報
・節電設定
・管理者情報
・パスワード
・消耗品履歴の保存
・お気に入り
・バージョン情報
・ヘルプ

お気に入り
・富士通製品情報ページ

・FUJITSU

1 プリンタステータス／詳細情報

プリンタの状態や給紙口、オプションの取り付けなどを参照します。

詳しくは、「プリンタステータス／詳細情報」（→ P.258）をご覧ください。

2 情報更新設定

プリンタの状態表示の更新間隔を、Web ブラウザごとに設定します。

詳しくは、「情報更新設定」（→ P.260）をご覧ください。

3 基本情報

プリンタのネットワークに関する基本情報を表示、設定します。

詳しくは、「基本情報、TCP/IP 情報、DNS サーバ情報」（→ P.261）をご覧ください。

4 SNMP 情報

プリンタの SNMP に関する情報を表示、設定します。

詳しくは、「SNMP 情報」（→ P.264）をご覧ください。

5 E メール送信設定（一部機種では管理者モードのみ）

消耗品および保守交換の警告を E メールで通知するための情報を表示、設定します。

詳しくは、「E メール送信設定（XL-9440/9380/9320/9311/9281/9310/9280/4360、管理者モードのみ）」（→ P.266）または「E メール送信設定（XL-9440/9380/9320/9311/9281/9310/9280/4360 以外の対応プリンタ、管理者モードのみ）」（→ P.268）をご覧ください。

6 ネットワークサービス（管理者モードのみ）

プリンタのネットワークに関する設定や、アクセス制限に関する設定を行います。

詳しくは、「ネットワークサービス（対応プリンタ、管理者モードのみ）」（→ P.272）をご覧ください。

7 節電設定（管理者モードのみ）

プリンタの節電について設定します。

詳しくは、「節電設定（対応プリンタ、管理者モードのみ）」（→ P.282）をご覧ください。

8 管理者情報（管理者モードのみ）

管理者情報の変更や情報更新を設定します。
詳しくは、「管理者情報（管理者モードのみ）」（→ P.283）をご覧ください。

9 パスワード（管理者モードのみ）

管理者モードへアクセスするためのパスワードを設定、または変更します。
詳しくは、「パスワード（管理者モードのみ）」（→ P.286）をご覧ください。

10 消耗品履歴の保存（管理者モードのみ）

プリンタで保存している消耗品の警告発生履歴情報を CSV ファイルとして保存します。
詳しくは、「消耗品履歴の保存（対応プリンタ、管理者モードのみ）」（→ P.286）をご覧ください。

11 お気に入り

メニューの「お気に入り」に登録する URL を表示、設定します。
詳しくは、「お気に入り」（→ P.288）をご覧ください。

12 バージョン情報

「Printia LASER Internet Service」のバージョン情報が表示されます。
詳しくは、「バージョン情報」（→ P.289）をご覧ください。

13 ヘルプ

「Printia LASER Internet Service」に関するヘルプが表示されます。
詳しくは、「ヘルプ」（→ P.289）をご覧ください。

POINT

- 画面上の ? をクリックしても、同様にヘルプが表示されます。

14 お気に入り

「オプション情報」の「お気に入り」で登録された URL のページが表示されます。

15 管理者にメール（ユーザーモードのみ）

管理者モードの管理者情報で登録した管理者の E メールアドレスに対し、メール送信ウィンドウを開きます。

16 FUJITSU

富士通のホームページ（http://jp.fujitsu.com/）が表示されます。

情報の参照や設定の変更

左側のメニュー項目を選択すると、情報や設定項目が表示されます。管理者モードの場合は、必要に応じて設定を変更できます。

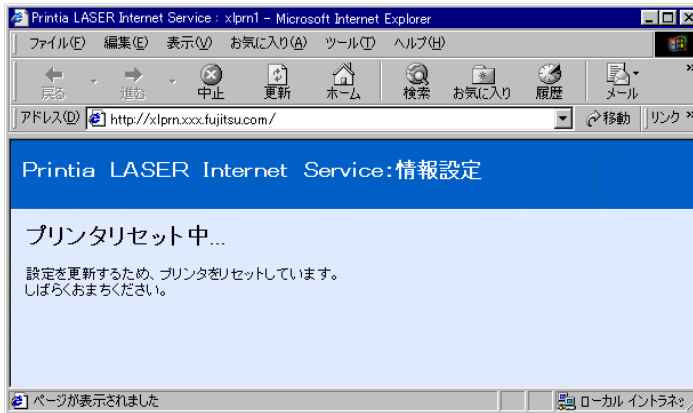
■設定の変更（管理者モードのみ）

1 **設定を変更したら、「設定」をクリックします。**

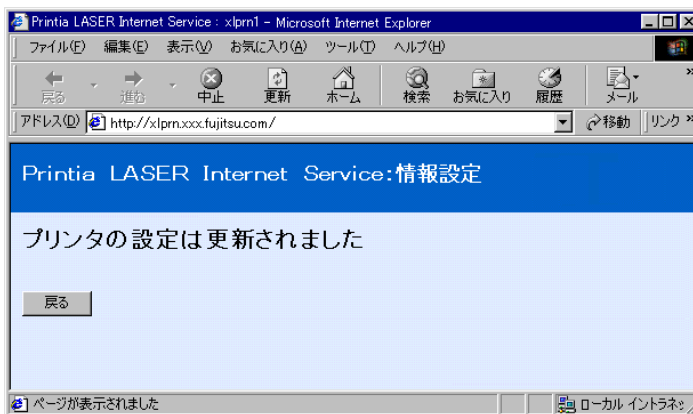
「設定」をクリックする前に「元に戻す」をクリックすると、変更前の状態に戻ります。

重要

・「設定」をクリックせずに他の項目を表示すると、入力した値は設定されることなく削除されます。他の項目に移る前に、必ず「設定」をクリックして設定を更新してください。

設定を更新するためにプリンタがリセットされ、次のメッセージが表示されます。
プリンタが復帰するまで、しばらく待ちます。

POINT

・「情報更新設定」、「E メール送信設定」または「節電機能」の設定を変更した場合は、プリンタの設定は更新されますが、リセットは行われません。

リセットが完了すると、「プリンタの設定は更新されました」と表示されます。

2 **「戻る」をクリックします。**

3 各画面の詳細

「Printia LASER Internet Service」の各メニューの詳細について説明します。

POINT

・機種によっては、表示されない項目や一部の表示内容が異なる場合があります。表示されない項目の機能はその機種では使用できません。

ステータス情報

プリンタステータス／詳細情報

プリンタの状態や給紙口、オプションの取り付け状態などを参照します。
ここでは、「ステータス情報」の「詳細情報」（管理者モード）の場合を例に説明します。

1 プリンタステータス

プリンタの現在の状態（正常、またはエラー発生）が表示されます。
ただし、「節電モード設定」対応機種で「節電 2」、「スリープ」状態に移行しているときは、用紙をセットするなどしてプリンタの状態が変更されていても、ステータス表示には反映されません。

2 消耗品・定期交換部品警告（対応プリンタのみ[注]）

現在、交換の準備や交換が必要な消耗品・定期交換部品の情報が表示されます。

3 印刷中文書（対応プリンタのみ）

印刷中文書のユーザー名と文書名が表示されます。印刷中文書がない場合は、「印刷中文書はありません」と表示されます。

4 給紙口

プリンタの給紙口の取り付け状態、およびセットされている用紙のサイズと残量が表示されます（残量表示の表現は、機種や取り付けられている給紙口によって異なります）。

5 排紙口（対応プリンタのみ）

プリンタの排紙口の取り付け状況が表示されます。

6 オプション機能

プリンタのオプション機能のサポート情報、および状態が表示されます（「詳細情報」のみ）。

7 メモリ情報

プリンタに装着されているメモリ容量が表示されます（「詳細情報」のみ）。

8 保守情報

印刷枚数またはページ数（両面印刷時は、表／裏を各 1 枚または 1 ページとしてカウントします）やファームウェアバージョン、装置号機（対応プリンタのみ）など、プリンタの保守に関連する情報が表示されます（「詳細情報」のみ）。

9 警告情報[注]

トナーカートリッジおよび定着器の交換時期が近づいてきたときに、警告メッセージが表示されます（「詳細情報」、管理者モード時のみ）。

10 ステータス情報更新

プリンタの状態表示を最新の情報に更新します。
ただし、「節電モード設定」対応機種で「節電 2」、「スリープ」状態に移行しているときは、用紙をセットするなどしてプリンタの状態が変更されていても、ステータス情報は更新されません。

11 情報更新間隔

プリンタの状態表示が、表示されている秒数間隔で自動更新されます。「自動更新しない」と表示されているときは、自動更新されません。

［注］：「2 消耗品・定期交換部品警告」の表示に対応したプリンタでは、「9 警告情報」は表示されません。
「2 消耗品・定期交換部品警告」と「9 警告情報」のいずれか 1 つが表示されます。

POINT

- プリンタの状態（正常／エラー／パネル設定中）は、タイトルの右側に表示されている簡易ステータスアイコンでも参照できます。
  ONLINE：プリンタは正常な状態です。
  OFFLINE：プリンタがオフライン状態になっています。
- カセットをセットしてから給紙可能な状態となるまでは、給紙口情報に「カセットなし」と表示されます。

8

情報更新設定

プリンタの状態表示の、自動更新の有無や、自動更新時の更新間隔の設定を Web ブラウザごとに行うことができます。ユーザーモードと管理者モードのどちらでも設定できます。

1 自動更新する

自動更新を行う設定にする場合はクリックし、☑にします。

2 更新間隔

自動更新するときの更新間隔を、5 〜 3600 秒の範囲で設定します。

POINT

・本機能は、管理者がユーザー固有の情報更新設定を許可しているときに設定できます。また、本機能を使用するには、あらかじめ Web ブラウザで Cookie の使用を許可しておく必要があります。
設定を行わない場合や、Cookie の使用を禁止している場合は、管理者が設定した初期設定で動作します。
管理者が設定できる情報については、「管理者情報（管理者モードのみ）」（→ P.283）をご覧ください。

ネットワーク情報

基本情報、TCP/IP 情報、DNS サーバ情報

プリンタのネットワークに関する基本情報を表示、設定します。

■ ユーザーモードの場合

または

■ 管理者モードの場合

または

■基本情報

プリンタのネットワーク関連の基本的な情報を表示、設定します。

1 MAC アドレス

MAC アドレスが表示されます。変更はできません。

2 Ethernet タイプ

Ethernet タイプを表示、設定します。設定する場合は、「自動認識」、「1000Mbps Full」（対応プリンタのみ）、「100Mbps Full」、「100Mbps Half」、「10Mbps」のいずれかを選択します。ご購入時は「自動認識」に設定されています。

3 TCP/IP プロトコル、または TCP/IPv4 プロトコルと TCP/IPv6 プロトコル

TCP/IP プロトコルの状態を表示、設定します。設定する場合は、「有効」または「無効」のどちらかを選択します。お使いの機種により、ご購入時の設定値が異なります。

・XL-4360/XL-9320

IPv4 が「有効」、IPv6 が「無効」に設定されています。

・XL-4360/XL-9320 以外の機種

「有効」に設定されています。

重要

・「無効」に設定した場合は、「Printia LASER Internet Service」は使用できません。

4 IPP サポート情報

サポートする IPP のバージョンが表示されます。変更はできません。

5 プリンタの URL、またはプリンタの URL 設定

IPP モードで印刷する場合に、「Printianavi ネットワークポートモニタ」に指定する URL を「プリンタの IP アドレス、またはホスト名＋ドメイン名」＋「/」＋「IPP プリンタ名」の形式（半角 63 文字または全角 31 文字以内）で表示、設定します。ただし、設定時に環境依存文字（Unicode）は使用しないでください。詳しくは、「プリンタの URL の設定例」（→ P.265）をご覧ください。
また、IPP プリンタ名は、Web ブラウザのタイトルバーにも表示されます。

■TCP/IP 情報、または TCP/IP 情報（IPv4）と TCP/IP 情報（IPv6）

プリンタの TCP/IP 関連の情報を表示、設定します（管理者モードのみ）。

6 DHCP 自動取得

DHCP による IP アドレス自動取得の状態を表示、設定します。

・設定：IPv4 アドレスを DHCP により取得します。
・解除：IPv4 アドレスを直接設定します。

ご購入時は「設定」に設定されています。

7 IP アドレス

IPv4 アドレスを表示、設定します。

8 サブネットマスク

サブネットマスクを表示、設定します。

9 ゲートウェイ

ゲートウェイアドレスを表示、設定します。

10 印刷ポート番号、またはポート番号 1

印刷を受け付けるときに使用するポート番号を表示、設定（1 ～ 65535）します。

ただし、ポート番号を 9100 に設定すると、RAW 印刷が使用できなくなります（RAW 印刷対応プリンタのみ）。

11 検索ポート番号、またはポート番号 2

ネットワーク内の XL シリーズプリンタの検索に使用するポート番号を表示、設定（1 ～ 65535）します。

12 IP アドレス（設定）（XL-9320 のみ）

固定の IPv6 アドレスを表示、設定します。

重 要

次の IPv6 アドレスは、他の装置などですでに用途が定められている予約アドレスのため、使用できません。
プリンタに設定しないでください。
・FE80 ～ FEFF で始まるアドレス（リンクローカルアドレス）
・FF00 ～ FFFF で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）
間違って IPv6 アドレスを設定した場合は、正しい IPv6 アドレスに 設定し直してください。

POINT

設定するアドレスは、ルータに設定されている、RA と同じアドレスを設定してください。
合わせていない場合は、プリンタと通信できません。
例)

ルータの RA で設定しているアドレス	:	2001:0DB8:1111:1000::
ルータアドレス	:	2001:0DB8:1111:1000:B494:35D0:8F88:2A3A
設定アドレス	:	2001:0DB8:1111:1000:0217:42FF:FE78:A974

設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。

13 IP アドレス（リンクローカル）

IPv6 のリンクローカルアドレスを表示します。

14 IP アドレス（グローバル）

IPv6 のグローバルアドレスを表示します。

POINT

・通常、ポート番号を変更する必要はありません。変更した場合は、「Printianavi ネットワークポートモニタ」の設定も同じ値に変更してください。
なお、「Printianavi ネットワークマネージャ」で管理を行うプリンタの検索ポート番号（またはポート番号 2）は 1024 以上の番号を設定してください。

■ DNS サーバ情報

IPv4 アドレス環境において、プリンタの DNS サーバ関連の情報を表示、設定します（対応プリンタ、管理者モードのみ）。

15 DNS 情報の自動取得

DNS サーバの情報を DHCP により自動取得するかを表示、設定します。

16 プライマリサーバアドレス／セカンダリサーバアドレス

プライマリとセカンダリの DNS サーバの IP アドレスを表示、設定します。

17 DNS ドメイン名

DNS のドメイン名を表示、設定します。

DNS ドメイン名を設定する場合は、半角 63 文字、または全角 31 文字以内で入力します。ただし、環境依存文字（Unicode）は使用しないでください。

SNMP 情報

プリンタの SNMP 関連の情報を表示、設定します。

POINT

・SNMP 情報の表示、設定は、IPv6 アドレス環境には対応していません。

■ ユーザーモードの場合　　■ 管理者モードの場合

■コミュニティ名

1 トラップ発行

トラップ発行時のコミュニティ名を表示、設定します。

コミュニティ名を設定する場合は、半角英数 15 文字以内で入力します。

2 MIB 参照

MIB 参照時のコミュニティ名を表示、設定します。

コミュニティ名を設定する場合は、半角英数 15 文字以内で入力します。

POINT

- XL シリーズプリンタから発行されたトラップを SNMP マネージャが受信するためには、両方が同じコミュニティ（管理グループ）に存在することが必要です。コミュニティ名が空白または不一致の場合は、SNMP マネージャはトラップを受信できませんのでご注意ください。
- セキュリティ対策のため、コミュニティ名は初期値（public）から変更することをお勧めします。

■情報

SNMP マネージャに通知する情報（システム管理者、プリンタ装置名、設置場所、プリンタ管理者、故障時の連絡先）を表示、設定します。各情報は、半角 63 文字以内で入力します。

POINT

- 情報の設定は、全角 31 文字以内での入力も可能ですが、記号（「㈱」や「℡」など）、半角カナ、環境依存文字（Unicode）には対応していません。また、お使いの環境によっては正しく表示されない場合がありますので、半角英数字での入力をお勧めします。

■トラップ通知先

4ヶ所までのトラップ通知先と発行条件を表示、設定します。

3 IP アドレス

トラップの通知先 IP アドレスを表示、設定します。

4 トラップ発行条件

トラップの発行条件を表示、設定します。

設定を行う場合は、トラップを発行する条件を☑にします。

5 プリンタエラーはハードエラーに限定する

プリンタエラー発生時のトラップ発行を、ハードエラーが発生した場合のみに限定します。
「プリンタエラーはハードエラーに限定する」は、通知先 1 ～ 4 で共通となります。

プリンタの URL の設定例

「基本情報」（→ P.262）で設定する、プリンタの URL の設定例について説明します。

■DNS サーバにプリンタのホスト名を登録している場合

書式　：「プリンタのホスト名＋ドメイン名」＋「/」＋「IPP プリンタ名」

例　　：xlprn.xxx.fujitsu.com/xlprn1（プリンタのホスト名＋ドメイン名が xlprn.xxx.fujitsu.com、IPP プリンタ名が xlprn1 のとき）

■DNS サーバにプリンタのホスト名を登録していない場合

書式　：「プリンタ IP アドレス」＋「/」＋「IPP プリンタ名」

例　　：192.168.0.11/xlprn1（プリンタのIPアドレスが192.168.0.11、IPPプリンタ名がxlprn1のとき）

なお、IPP プリンタ名には、任意の名前を指定してください（初期設定は「ipp」です）。

POINT

- プリンタの URL の IPP プリンタ名を指定・変更した場合、IPP 印刷時は「Printianavi ネットワークポートモニタ」のプリンタ URL も同じ値に設定する必要があります。
- IPP プリンタ名には、半角空白文字、環境依存文字（Unicode）、および次の文字は使用できません。
  ; / ? : @ & = + $, { } | ¥ ^ [ ] ` < > # % "

・「アドレス取込み」をクリックすると、Web ブラウザで表示されているアドレスを「プリンタの URL」に反映できます（管理者モードのみ）。このとき IPP プリンタ名が「/」＋「IPP プリンタ名」の形式で指定されていない場合は、初期設定の「ipp」を IPP プリンタ名として付加します。
ただし、取り込みによって文字列の合計が半角 63 文字または全角 31 文字を超えた場合は、入力エラーとなりますので値を調整してください。

E メール送信設定（XL-9440/9380/9320/9311/9281/9310/9280/4360、管理者モードのみ）

消耗品や定期交換部品の交換要求、ハードエラーが発生したときに、E メールで通知するための情報を表示、設定します。送信先は 3 つまで設定できます。

POINT

・XL-9440/9380/9320/9311/9281/9310/9280/4360 以外のプリンタをお使いの場合は、「E メール送信設定（XL-9440/9380/9320/9311/9281/9310/9280/4360 以外の対応プリンタ、管理者モードのみ）」（→ P.268）をご覧ください。
・E メール送信の設定は、IPv6 アドレス環境には対応していません。

■ 管理者モードの場合

■ ユーザーモードの場合

1 送信元名

プリンタの名称を表示、設定します。
設定する場合は、プリンタの名称を半角 31 文字または全角 15 文字以内で入力します。

2 送信元アドレス

プリンタから送信する E メールの送信元のメールアドレスを表示、設定します。

設定する場合は、送信元のメールアドレスを半角 63 文字以内で入力します。

3 SMTP サーバ名

SMTP サーバのホスト名または IP アドレスを表示、設定します。

設定する場合は、ホスト名を半角 63 文字以内または全角 31 文字以内で入力するか、IP アドレスを入力します。

4 SMTP ポート番号

SMTP サーバのポート番号を表示、設定します。

設定する場合は、SMTP ポート番号を 1 ～ 65535 の範囲内で入力します。

5 送信先名

プリンタから送信する E メールの送信先を表示、設定します。

6 送信先アドレス

プリンタから送信する E メールの送信先のメールアドレスを表示、設定します。

設定する場合は、送信先のメールアドレスを半角 127 文字以内で入力します。複数のメールアドレスを設定する場合は、カンマ（,）で区切って入力します。

7 通知のタイミング

E メールを送信するタイミングを表示、設定します。

8 メール送信情報設定

E メールで通知する内容を設定します。

9 設定

設定した内容をプリンタに送信、書き込みます。このとき、プリンタは再起動されませんが、設定内容はプリンタに反映されます。

10 送信テスト

設定ウィンドウで設定した内容をプリンタに送信、書き込むと共に「送信先アドレス」に対し、テストメールを送信します。
詳しくは、「送信テストの場合」（→ P.269）をご覧ください。

11 メール本文 詳細情報通知

「メール送信情報設定」で☑にした項目が表示されます。

POINT

- 「送信元名」、「送信元アドレス」、「SMTP サーバ名」の入力文字設定は、全角（半角の半分以内の文字数）での入力も可能ですが、記号（「㈱」や「℡」など）、半角カナ、環境依存文字（Unicode）には対応していません。また、お使いの環境によっては正しく表示されない場合がありますので、半角英数字での入力をお勧めします。
- ポート番号は、通常お使いになる場合は変更の必要はありません。変更する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- 「送信元名」、「送信元アドレス」、「送信先アドレス」が間違っていてもエラーとして検出しません。設定時に確認してください。

E メール送信設定（XL-9440/9380/9320/9311/9281/9310/9280/4360 以外の対応プリンタ、管理者モードのみ）

トナーが残り少なくなったことや定着器交換要求が発生したことを、E メールで通知するための設定を行います。

POINT

- お使いのプリンタが XL-9440/9380/9320/9311/9281/9310/9280/4360 の場合は、「E メール送信設定（XL-9440/9380/9320/9311/9281/9310/9280/4360、管理者モードのみ）」（→ P.266）をご覧ください。
- E メール送信の設定は、IPv6 アドレス環境には対応していません。

［注］プリンタにより、消耗品／定期交換部品の種類は異なります。

1 送信元名

プリンタの名称を、半角 31 文字または全角 15 文字以内で設定します。

2 送信元アドレス

プリンタから送信する E メールの送信元のメールアドレスを、半角 63 文字または全角 31 文字以内で設定します。

3 送信先アドレス

プリンタから送信する E メールの送信先のメールアドレスを、半角 127 文字または全角 63 文字以内で設定します。

4 SMTP サーバ名

SMTP サーバのホスト名を半角 63 文字または全角 31 文字以内で設定するか、IP アドレスを入力します。

5 SMTP ポート番号

SMTP サーバのポート番号を、1 ～ 65535 の範囲内で設定します。

6 通知のタイミング

E メールで通知する内容を表示、設定します（機種によって設定項目が異なります）。

7 設定

設定した内容をプリンタに送信、書き込みます。このとき、プリンタは再起動されませんが、設定内容はプリンタに反映されます。

8 送信テスト

設定ウィンドウで設定した内容をプリンタに送信、書き込むと共に「送信先アドレス」に対し、テストメールを送信します。

詳しくは、「送信テストの場合」（→ P.269）をご覧ください。

POINT

- 「送信元名」、「送信元アドレス」、「SMTP サーバ名」の入力文字設定は、全角（半角の半分以内の文字数）での入力も可能ですが、記号（「㈱」や「℡」など）、半角カナ、環境依存文字（Unicode）には対応していません。また、お使いの環境によっては正しく表示されない場合がありますので、半角英数字での入力をお勧めします。
- ポート番号は、通常お使いになる場合は変更の必要はありません。変更する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- 「送信元名」、「送信元アドレス」、「送信先アドレス」が間違っていてもエラーとして検出しません。設定時に確認してください。

E メールで通知される内容

送信テスト、およびカートリッジ／定着器の交換要求が発生したときに通知される内容について説明します。

■送信テストの場合

「送信テスト」をクリックすると、E メール送信設定の送信先アドレスで指定した送信先に対し、送信テストを行います。

送信先アドレスについては、次をご覧ください。

- XL-9440/9380/9320/9311/9281/9310/9280/4360をお使いの場合:「送信先アドレス」(→P.267)
- その他のプリンタをお使いの場合 :「送信先アドレス」（→ P.268）

8

送信テストを行うと、次の内容が表示されます。

タイトル：メンテナンス情報のお知らせ（送信テスト）

```
送信テストです。

送信元名:XL-XXXX
プリンタ管理情報：XL-XXXX-YYYYYYYYYYYY
総印刷ページ数：XXXXXXXXXXページ
カウンタ（A4LEF換算）：XXXXXXXXXXページ
装置号機：LFXXXXXXX
```

X： 数字、プリンタ名が通知されます。
Y： MACアドレスが通知されます。
［注］：機種により、表記内容は異なります。

■メンテナンス交換要求の通知

消耗品や定期交換部品の交換要求が発生した場合、次の内容のメールが通知されます。
以下は、消耗品の交換時期が近づいたときと、定期交換部品の定着器が交換時期になったときの通知例です。

［プロセスカートリッジ寿命］

タイトル：メンテナンス情報のお知らせ（カートリッジ交換）

```
メンテナンス情報が発生しました。

●メンテナンス情報

カートリッジが寿命になりました
プロセスカートリッジを交換してください。

【プロセスカートリッジ商品名（商品番号）】
    プロセスカートリッジ ZZZZZZ(ZZZZZZZ)
    プロセスカートリッジ ZZZZZZ(ZZZZZZZ)

●プリンタ情報

送信元名：XL-XXXX
プリンタ管理情報：XL-XXXX-YYYYYYYYYYYY
総印刷ページ数：XXXXXXXXXXページ
カウンタ（A4LEF換算）：XXXXXXXXXXページ
装置号機：LFXXXXXXX
プロセスカートリッジ管理情報：XXXXXXXX
```

X：数字、プリンタ名が通知されます。
Y：MACアドレスが通知されます。
Z：商品名、商品番号が通知されます。
［注］：機種により、表記内容は異なります。
プロセスカートリッジ管理情報に表示される管理情報は
XL-9440/9380/9320/9311/9281/9310/9280/4360の場合は、装置号機
XL-9440/9380/9320/9311/9281/9310/9280/4360以外の機種は、MACアドレス
になります。

［定着器交換］

タイトル：メンテナンス情報のお知らせ（定着器交換）

```
メンテナンス情報が発生しました。

●メンテナンス情報

定期交換キットの交換時期になりました。

●プリンタ情報

送信元名：XL-XXXX
プリンタ管理情報：XL-XXXX-YYYYYYYYYYYY
総印刷ページ数：XXXXXXXXXX ページ
A4LEF換算ページ数：XXXXXXXXXX ページ
装置号機　：LFXXXXXXX
プロセスカートリッジ管理情報：XXXXXXXX
装置寿命カウンタ：消耗率　残りXX%（消耗率　XXX%）
定期交換キットカウンタ：消耗率　残りXX%（消耗率　XXX%）
```

X：数字、プリンタ名が通知されます。
Y：MACアドレスが通知されます。

［注］：機種により、表記内容は異なります。

POINT

- 総印刷ページ数（機種により枚数）が装置寿命に達しているときは、これらのメールの内容に「※ プリンタが寿命に達しています。」と追加されます（対応プリンタのみ）。

ネットワークサービス（対応プリンタ、管理者モードのみ）

プリンタのセキュリティ機能を強化するために、ネットワーク機能やアクセス制限に関する設定や表示を行います。

POINT

・「ネットワークサービス設定」（→ P.272）で、設定した内容は TCP/IPv4 プロトコル、TCP/IPv6 プロトコルの両方に有効となります。

または

■ネットワークサービス設定

ネットワークサービスと印刷ポートの有効／無効を個別に設定します。

1 プリンタ検索

プリンタ検索サービスの有効／無効を設定します（初期設定：有効）。

設定変更時の動作

「無効」に設定した場合は、各ソフトウェアがプリンタに対して次のように動作します。

- ネットワーク関連のソフトウェア（「Printianavi ネットワークポートモニタ」、「Printianavi ネットワークポート管理」、「Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2」）から検索されなくなります。
- 「Printianavi ネットワークマネージャ」の監視リストのステータス欄に「ポート番号不明」と表示され、詳細画面を表示しようとすると「プリンタのポート番号が不明です」というエラーになります。
- 「Printianavi ネットワークポートモニタ」の「DHCP 設定プリンタの IP アドレスを自動認識する」機能は動作しなくなります。

2 インターネットサービス

インターネットサービスの有効／無効を設定します（初期設定：有効）。

設定変更時の動作

「無効」に設定した場合は、Web ブラウザでプリンタの URL を指定したときに「404 Not Found」と表示され、「Printia LASER Internet Service」が利用できなくなります。このため、設定を元に戻す場合は、プリンタのオペレータパネルから操作する必要があります。

また、「Printianavi ネットワークマネージャ」の「バージョン情報」の「サポートプリンタ」にまだ登録されていない機種で本サービスが無効に設定された場合、そのプリンタは「Printianavi ネットワークマネージャ」から検索されなくなります。

3 SNMP

「SNMP 情報」で設定した内容の有効／無効を設定します（初期設定：有効）。

設定変更時の動作

「無効」に設定したプリンタは、次のように動作します。

・SNMP マネージャに Trap を送信しなくなります。

・SNMP マネージャからの MIB 情報が参照できなくなります。また、無効に設定されたプリンタに対し、「Printianavi ネットワークマネージャ」から検索されなくなります。

4 プリンタ起動通知

ARP パケットによるプリンタ起動通知をネットワークに通知するかしないかを設定します（初期設定：有効、または定期通知）。

設定変更時の動作

DHCP 自動取得 = 無効で、SNMP のトラップ通知先に「電源投入時に通知する」が指定されていない場合、本機能が「無効」に設定されたプリンタは、プリンタの起動時に ARP パケットを送信しなくなります。

5 印刷

それぞれの印刷方式について、有効／無効を設定します（初期設定：有効）。

設定変更時の動作は、次の表のとおりです。

表：設定変更時の動作

印刷方式	設定変更時の動作
BPP	「無効」に設定したプリンタに対して「Printianavi ネットワークポートモニタ」での LAN ポート印刷を行っても、エラー（双方向印刷時は応答なしエラー）となり、印刷できなくなります。
IPP	「無効」に設定したプリンタに対して「Printianavi ネットワークポートモニタ」による IPP 接続モードで印刷を行っても、エラー（双方向印刷時は応答なしエラー）となり、印刷できなくなります。
LPR	「無効」に設定したプリンタに対して LPR 印刷を行っても、エラーとなり印刷できなくなります。
RAW	「無効」に設定されたプリンタに対して RAW 印刷を行っても、エラーとなり印刷できなくなります。

8

POINT

・各機能は、オペレータパネルからも設定できます。オペレータパネルの操作方法については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

■IP アドレスによるアクセス制御

プリンタにアクセスできるパソコン（IPv4 アドレス）を制限します。IP v4 アドレスを指定した「アクセス許可リスト」、または「アクセス制御リスト」を設定することで、IP v4 アドレスによるプリンタへのアクセスを管理することができます。
「「アクセス許可リスト」による、アクセス制御の設定例」（→ P.276）、または「「アクセス制御リスト」による、アクセス制御の設定例（XL-4360/XL-9320 のみ）」（→ P.278）で設定例を記載していますので、アクセス制御を行う場合はそちらもあわせてご覧ください。

POINT

・IP アドレスによるアクセス制御は、IPv6 アドレス環境には対応していません。

6 全てのアドレスからアクセスを許可（アクセス制御しない）

アクセス制御を行わない場合に選択します。アクセス許可リスト、またはアクセス制御リストの設定にかかわらず、どのホストからもアクセス可能です。

7 アクセス許可リストの設定に従う（アクセス制御する）

アクセス制御を行う場合に選択します。アクセス管理が有効となり、アクセス許可リストで「有効」とされた IPv4 アドレスからのアクセスが許可されます。アクセス許可リストで「有効」に設定されていない IPv4 アドレスからのアクセスはすべて拒否されます。

8 アクセス許可リスト

アクセス制御時に、アクセスを許可する IPv4 アドレスを最大 5 つまで設定します。

・開始アドレス
許可リストの開始 IPv4 アドレスを入力します。

・終了アドレス
許可リストの終了 IPv4 アドレスを入力します。

・許可設定（初期設定：無効）
開始／終了アドレスで入力した IPv4 アドレスリストを許可するかどうかを設定します。
「有効」に設定すると、「アクセス許可リストの設定に従う（アクセス制御する）」が選択されたときに、アクセス許可の対象となります。「無効」に設定した場合は、「アクセス許可リストの設定に従う（アクセス制御する）」を選択してもアクセス許可／拒否いずれの対象ともなりません。リストの入力内容は保持されるため、一時的にアクセス許可範囲の有効／無効を切り替える場合などに使用します。

9 アクセス制御リスト

IP アドレスとマスク長で、アクセスを許可、または拒否するネットワークアドレスを最大 5 つまで設定します。

・制御設定
アドレスとマスク長で設定したネットワークアドレスの機器に対して、アクセスを許可するか、拒否するかを設定します（初期設定：許可）。

・アドレス
アクセス制御を行う IPv4 アドレスを設定します。

・マスク長
アクセス制御を行う IPv4 アドレスに対して、マスク長を設定します。

・「マスク長」欄に、次の数値を指定することで、アクセスを許可、または拒否する IPv4 アドレスの個数が決まります。なお、下記以外のマスク長については、ネットワーク管理者にご確認ください。

表：マスク長とアドレス個数の対応

マスク長	アドレス数
24	256 個
25	128 個
26	64 個
27	32 個
28	16 個
29	8 個
30	4 個
31	2 個
32	1 個

8

「アクセス許可リスト」による、アクセス制御の設定例

お使いの機種により、アクセス制御を「アクセス許可リスト」で行うか、「アクセス制御リスト」（XL-4360/XL-9320 のみ）で行うかが異なります。ここでは、「アクセス許可リスト」を使った、アクセス制御の設定例について説明します。

■ 192.168.0.0 ～ 192.168.2.128 の IPv4 アドレスからのアクセスを許可したいとき

1 「アクセス許可リスト」の No.1 の欄で、 開始アドレスに「192.168.0.0」、終了アドレスに「192.168.2.128」と入力し、「許可設定」を「有効」に設定します。

アクセス許可リスト

No	開始アドレス	終了アドレス	許可設定
1	192.168.0.0	192.168.2.128	◉有効 ○無効
2	. . .	. . .	○有効 ◉無効
3	. . .	. . .	○有効 ◉無効
4	. . .	. . .	○有効 ◉無効
5	. . .	. . .	○有効 ◉無効

2 「アクセス許可リストの設定に従う（アクセス制御する）」を選択します。

次にようにアクセス制御されます。

■ 192.168.0.0 ～ 192.168.2.128 の IPv4 アドレスからのアクセスを拒否したいとき

1 「アクセス許可リスト」の No.1 の欄で、 開始アドレスに「0.0.0.0」、終了アドレスに「192.167.255.255」と入力し、「許可設定」を「有効」に設定します。

アクセス許可リスト

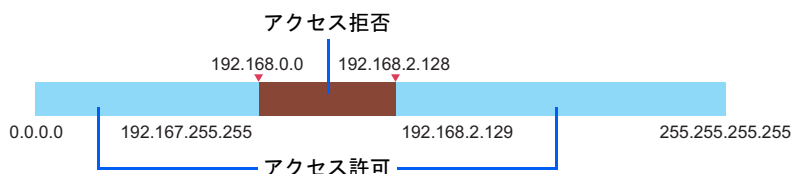
No	開始アドレス	終了アドレス	許可設定
1	0.0.0.0	192.167.255.255	◉有効 ○無効
2	. . .	. . .	○有効 ◉無効
3	. . .	. . .	○有効 ◉無効
4	. . .	. . .	○有効 ◉無効
5	. . .	. . .	○有効 ◉無効

2 「アクセス許可リスト」の No.2 の欄で、 開始アドレスに「192.168.2.129」、終了アドレスに「255.255.255.255」と入力し、「許可設定」を「有効」に設定します。

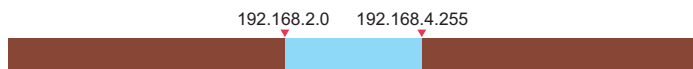
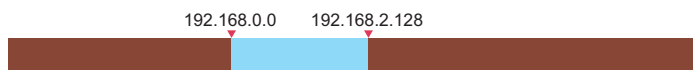
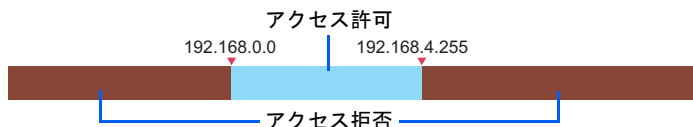
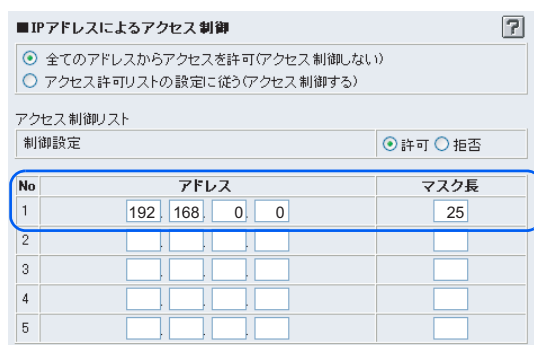
アクセス許可リスト

No	開始アドレス				終了アドレス				許可設定
1	0	0	0	0	192	167	255	255	◉有効 ○無効
2	192	168	2	129	255	255	255	255	◉有効 ○無効
3									○有効 ◉無効
4									○有効 ◉無効
5									○有効 ◉無効

3 「アクセス許可リストの設定に従う（アクセス制御する)」を選択します。

次にようにアクセス制御されます。

■アクセス許可リストで重複したアドレス範囲を設定した場合の例

設定範囲が重複している場合も、アクセス許可リストで指定した IPv4 アドレスの範囲を総計し、最小値から最大値の範囲で設定されます。

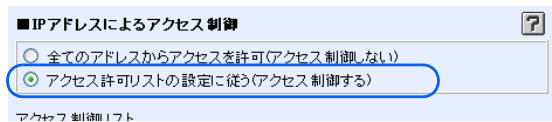
■ アクセス許可リスト No.1 の設定

POINT

・アクセス許可リストを設定していない状態で、IP アドレスによるアクセス制御を「アクセス許可リストの設定に従う」に設定しようとすると、「有効なアクセス許可リストがありません。」というエラーが表示されます。「OK」をクリックして元の画面に戻り、有効なアクセス許可リストを設定してください。

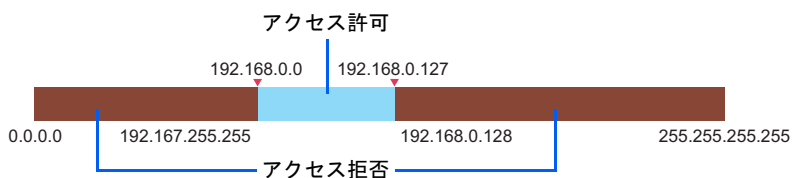
「アクセス制御リスト」による、アクセス制御の設定例（XL-4360/XL-9320 のみ）

お使いの機種により、アクセス制御を「アクセス許可リスト」で行うか、「アクセス制御リスト」で行うかが異なります。ここでは、「アクセス制御リスト」を使った、アクセス制御の設定例について説明します。

■ 192.168.0.0 〜 192.168.0.127 の IPv4 アドレスからのアクセスを許可したいとき

1 「制御設定」で「許可」をクリックして◉にします。

2 「アクセス制御リスト」の No.1 の欄で、「アドレス」に「192.168.0.0」、「マスク長」に「25」と入力します。

3 「アクセス制御リストの設定に従う（アクセス制御する)」をクリックして◉にし、「設定」をクリックします。

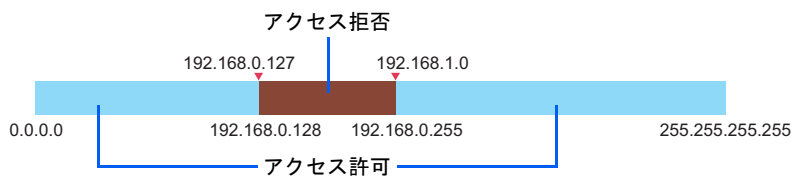
次のようにアクセス制御されます。

■ 192.168.0.128 ～ 192.168.0.255 の IPv4 アドレスからのアクセスを拒否したいとき

1 「制御設定」で「拒否」をクリックして◉にします。

2 「アクセス制御リスト」の No.1 の欄で、「アドレス」に「192.168.0.128」、「マスク長」に「25」と入力します。

3 「アクセス制御リストの設定に従う（アクセス制御する)」をクリックして◉にし、「設定」をクリックします。

次のようにアクセス制御されます。

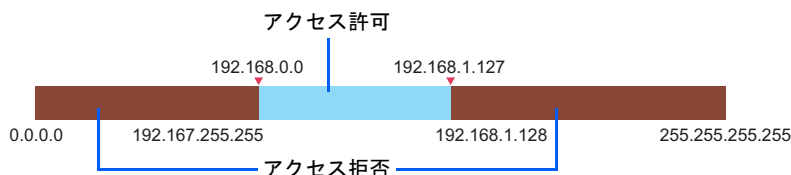
8

■ 192.168.0.0 ～ 192.168.1.127 の IPv4 アドレスからのアクセスを許可したいとき

1 「制御設定」で「許可」をクリックして◉にします。

2 「アクセス制御リスト」の No.1 の欄で、「アドレス」に「192.168.0.0」、「マスク長」に「24」と入力します。

3 「アクセス制御リスト」の No.2 の欄で、「アドレス」に「192.168.1.0」、「マスク長」に「25」と入力します。

4 「アクセス制御リストの設定に従う（アクセス制御する)」をクリックして◉にし、「設定」をクリックします。

次のようにアクセス制御されます。

■アクセス制御リストで重複したアドレス範囲を設定した場合の例

設定範囲が重複している場合も、アクセス制御リストで指定した IPv4 アドレスの範囲を総計し、最小値から最大値の範囲で設定されます。

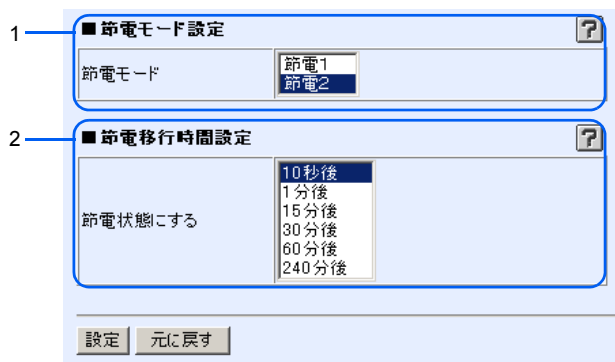
POINT

・アクセス制御リストを設定していない状態で、「アクセス制御」の「アクセス制御リストの設定に従う（アクセス制御する）」を選択しようとすると、「有効なアクセス制御リストがありません。」というエラーが表示されます。「OK」をクリックして元の画面に戻り、有効なアクセス制御リストを設定してください。

8

オプション情報

節電設定（対応プリンタ、管理者モードのみ）

印刷終了後に定着器の電源を切って消費電力を節約する、節電モードへの移行時間を設定します。

1 節電モード設定（対応プリンタのみ）

「節電移行時間設定」で指定した時間内に印刷が行われなかったときに、プリンタが移行する節電モードを選択します（初期設定：機種により異なります）。

- 節電 1
  定着器に供給する電力を節約します。
- 節電 2
  定着器およびオペレータパネルの液晶ディスプレイに供給する電力を節約します。
- スリープ
  節電２に加え、コントローラの受信部以外に供給する電力を節約します。

- 機種によっては、設定が表示されません。このような機種の場合、節電モードの変更はできません。

2 節電移行時間設定

節電モードへ移行するまでの時間を選択します。設定項目、初期設定は機種により異なります。

管理者情報（管理者モードのみ）

管理者のメールアドレスや、オペレータパネルの操作制限の有無などを設定します。

■管理者情報

1 連絡先メールアドレス

ユーザーモードのメニューにある「管理者にメール」の送信先メールアドレスを、半角 63 文字または全角 31 文字以内で設定します。ただし、環境依存文字（Unicode）は使用しないでください。

POINT

・ここで設定するメールアドレスと、「E メール送信設定（XL-9440/9380/9320/9311/9281/9310/9280/4360、管理者モードのみ）」（→ P.266）または「E メール送信設定（XL-9440/9380/9320/9311/9281/9310/9280/4360 以外の対応プリンタ、管理者モードのみ）」（→ P.268）で設定する送信先メールアドレスはリンクしていません。

■オペレータパネル操作制限の設定（対応プリンタのみ）

2 パスワードで制限する

☑にすると、プリンタのオペレータパネルの設定がロックされ、パスワードで制限されます。本設定を☑にした後、パスワードを入力して設定します（初期設定：☐）。

なお、本設定の完了後に「パスワード」の入力エリアは表示されなくなります。パスワードを変更する場合は、「オペレータパネル操作制限のパスワードの変更（対応プリンタのみ）」（→ P.284）で「新しいパスワード」を設定します。

オペレータパネル操作制限の設定方法については、「オペレータパネルの操作制限の設定詳細」（→ P.284）で詳しく説明しています。そちらもあわせてご覧ください。

3 パスワード（4 桁以内の数字）

「パスワードで制限する」を選択した場合、現在のパスワードを入力します。

8

■オペレータパネル操作制限のパスワードの変更（対応プリンタのみ）

4　新しいパスワード（4 桁以内の数字）

変更するパスワードを 4 桁以内の数字で入力します。

5　新しいパスワードの確認入力

「新しいパスワード」の確認入力を行います。

■情報更新設定

6　自動更新する

一定時間間隔でプリンタの情報を自動更新する場合は、☑にします（初期設定：□）。

7　更新間隔

自動更新する間隔を、5 ～ 3600 秒の間で設定します（初期設定：60 秒）。

8　ユーザー固有の更新設定を可能にする

本設定が☑の場合、「ステータス情報」の「情報更新設定」（→ P.260）の設定変更が、ユーザー（Web ブラウザ）ごとに可能になります（初期設定：☑）。Cookie の使用を禁止したい場合は、□にします。□にすると、更新間隔は初期値で固定となり、「ステータス情報」の「プリンタステータス」／「詳細情報」の情報更新間隔表示（→ P.259）の下に「（管理者設定）」と表示されます。

■印刷中文書表示設定（対応プリンタのみ）

9　印刷中の文書情報を表示する

「プリンタステータス」（→ P.259）に、印刷中文書の文書情報を表示するかどうかを設定します（初期設定：☑）。

オペレータパネルの操作制限の設定詳細

「オペレータパネルの操作制限の設定」の「パスワードで制限する」（→ P.283）を☑にすると、プリンタ本体のオペレータパネルに操作制限（ロック）をかけることができます。
操作制限をかけると、オペレータパネルでメニューモードに移るときにパスワードの入力が要求されるため、正しいパスワードを入力しないと設定を変更することができなくなります。
これにより、管理者以外による不正な設定変更や操作を防ぐことができます。

POINT

・ここで設定するパスワードは管理者用パスワードと異なり、オペレータパネルの操作制限のみに適用されます。ここで設定するパスワードは暗号化され、プリンタ内部で管理されます。

1 (1)「オペレータパネル操作制限の設定」の「パスワードで制限する」を☑にし、(2)「パスワード（4 桁以内の数字)」に現在のパスワードを入力します。

パスワードの初期値は、「9999」です。

2 「設定」をクリックします。

以降、オペレータパネルからメニューモードへ移るときに、パスワードの入力を要求されるようになります。

POINT

・設定が有効になると、以降「オペレータパネル操作制限の設定」のパスワード入力エリアは表示されなくなります（図中の囲み線内）。

■オペレータパネル操作制限の設定
パスワードで制限する
パスワード(4桁以内の数字)
■オペレータパネル操作制限のパスワードの変更
新しいパスワード(4桁以内の数字)
新しいパスワードの確認入力

操作制限中にパスワードを変更する場合は、「オペレータパネル操作制限のパスワードの変更（対応プリンタのみ)」（→ P.284）で行います。なお、「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認入力」の値が一致しない場合、パスワードは変更できません。

・入力されたパスワードが間違っている場合は、「パスワードは認証されませんでした」というメッセージが表示されます。「戻る」をクリックすることで、管理者モードの初期画面まで戻ります。

・パスワードを忘れた場合は、「オペレータパネル操作制限のパスワードの変更（対応プリンタのみ）」（→ P.284）で新しいパスワードを設定してください。

・「Printia LASER Internet Service」が使用できない環境の場合は、オペレータパネルの操作制限を一時的に無効にして起動することで、設定を変更できます。詳しくは、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

8

パスワード（管理者モードのみ）

プリンタのパスワードを変更します。パスワードは次の場合に使用されます（オペレータパネル操作制限のパスワードとは異なります）。

・「Printia LASER Internet Service 」で管理者モードに入るとき
・「Printianavi ネットワークマネージャ」で管理者機能関連の設定を行うとき

1 古いパスワード

現在設定されているパスワードを入力します。

2 新しいパスワード

変更するパスワードを半角英数 15 文字以内で入力します。

3 新しいパスワードの確認入力

「新しいパスワード」の確認入力を行います。

POINT

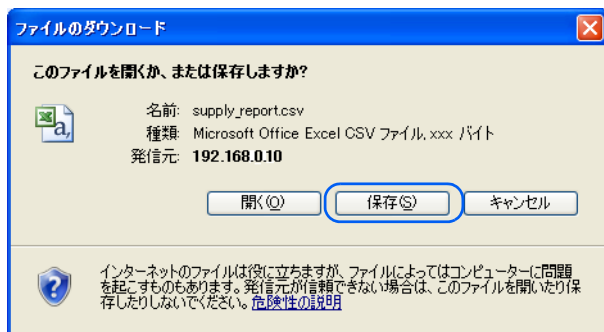
・パスワードは「Printianavi ネットワークマネージャ」と共通です。ご購入時は設定されていません。

消耗品履歴の保存（対応プリンタ、管理者モードのみ）

プリンタで保存している消耗品の警告発生履歴情報を、CSV ファイルとして保存します。

1 メニューから「消耗品履歴の保存」をクリックし、表示された画面の「保存」をクリックします。

「ファイルのダウンロード」ウィンドウが表示されます。

2 「保存」をクリックします。

消耗品履歴の保存先を指定するウィンドウが表示されます。

3 ファイルの保存先を指定し、「保存」をクリックします。

指定した保存先に消耗品履歴が保存されます。
このとき、ダウンロード完了を通知するウィンドウが表示された場合は、「閉じる」をクリックしてください。

■消耗品履歴の CSV ファイルの例（メモ帳などのテキストエディタで開いた場合）

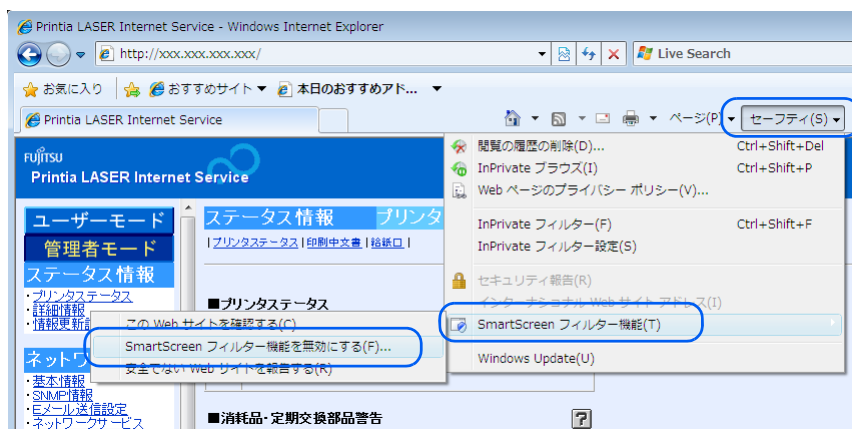
機種により表示される警告内容が異なる場合があります。

```
XL-XXXX 消耗品履歴レポート,
装置情報,
MACアドレス：XXXXXXXXXXXX,
ROM版数：Ver XX.XX,
[ID],[総印刷ページ数],[A4LEF換算ページ数],[電源投入時間],[ログ情報],[要因]
0XX,XXXXXXXX,XXXXXXXX,定期交換部品,交換キット警告発生,
0XX,XXXXXXXX,XXXXXXXX,定期交換部品,交換キット警告解除,
  :
0XX,XXXXXXXX,XXXXXXXX,カートリッジ,準備警告発生,
0XX,XXXXXXXX,XXXXXXXX,装置寿命,寿命残りXX%,
```

または

```
XL-XXXX 消耗品履歴レポート,
装置情報,
MACアドレス：XXXXXXXXXXXX,        装置号機：LFXXXXXXX
ROM版数：Ver XX.XX,
[ID],[履歴採取日時],[総印刷ページ数],[カウンタ(A4換算)],[電源投入時間],[ログ情報],[要因],[詳細情報]
0XX,YY/MM/DD hh:mm:ss,XXXXXXXX,XXXXXXXX,カートリッジ,交換警告解除,
0XX,YY/MM/DD hh:mm:ss,XXXXXXXX,XXXXXXXX,カートリッジ,カートリッジ変更認識,
0XX,YY/MM/DD hh:mm:ss,XXXXXXXX,XXXXXXXX,カートリッジ,交換エラー解除,
0XX,YY/MM/DD hh:mm:ss,XXXXXXXX,XXXXXXXX,カートリッジ,交換エラー発生,
0XX,YY/MM/DD hh:mm:ss,XXXXXXXX,XXXXXXXX,カートリッジ,準備警告解除,
0XX,YY/MM/DD hh:mm:ss,XXXXXXXX,XXXXXXXX,カートリッジ,交換警告発生,ドラム,情報=X 容量=6K,
0XX,YY/MM/DD hh:mm:ss,XXXXXXXX,XXXXXXXX,カートリッジ,準備警告発生,ドラム,情報=X,容量=6K,累積印字面数=X,
```

POINT

- 消耗品履歴の保存は、プリンタが印刷中や設定中、オフライン、エラー状態でないときに行ってください。これらの状態のときに消耗品履歴の保存を行おうとすると、処理の中止を求める警告が表示されます。この場合は、「OK」をクリックして保存をキャンセルしてください。
- 「Internet Explorer 8」使用時に「SmartScreen フィルター機能」を「有効」にしている場合
  「SmartScreen フィルター機能」により、「消耗品履歴」のファイルの保存が途中で停止することがあります。「消耗品履歴の保存」を行う場合は、次の手順で「SmartScreen フィルター機能」を「無効」にしてください。
  1. 「Internet Explorer 8」で「コマンドバー」の「セーフティ」→「SmartScreen フィルター機能」→「SmartScreen フィルター機能を無効にする」の順に選択します。

「Microsoft SmartScreen フィルター機能」ウィンドウが表示されます。

2. 「SmartScreen フィルター機能を無効にする」を選択し、「OK」をクリックします。

お気に入り

メニューの「お気に入り」に登録する URL を最大 2ヶ所まで設定します。

■ ユーザーモードの場合　　■ 管理者モードの場合

1 名前

メニューの「お気に入り」に表示される名前を表示、設定します。

名前を設定する場合は、半角 31 文字、または全角 15 文字以内で入力します。ただし、環境依存文字（Unicode）は使用しないでください。

2 URL

リンク先の URL を表示、設定します。
リンク先 URL を設定する場合は、半角 63 文字、または全角 31 文字以内で入力します。ただし、環境依存文字（Unicode）は使用しないでください。

3 説明

リンク先の説明を表示、設定します。
説明文を設定する場合は、半角 31 文字、または全角 15 文字以内で入力します。ただし、環境依存文字（Unicode）は使用しないでください。

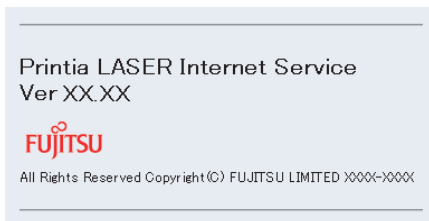
POINT

- 初期設定として、「お気に入り 1」には富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/printer/）が登録されています。
- URL の先頭に「http://」が指定されていない場合は、設定時に自動的に「http://」が付加されます。

バージョン情報

「Printia LASER Internet Service」のバージョン情報が表示されます。

Printia LASER Internet Service
Ver XX.XX
FUJITSU
All Rights Reserved Copyright(C) FUJITSU LIMITED XXXX-XXXX

ヘルプ

「Printia LASER Internet Service」に関するヘルプが表示されます。

POINT

- 画面上の [?] をクリックしても、同様にヘルプが表示されます。

第 9 章

こんなときには

この章では、プリンタドライバ、添付ソフトウェアに関するトラブルシューティングや留意事項について説明します。

1　ソフトウェアに関するトラブルシューティング

プリンタを使用しているときに発生する問題のうち、ソフトウェアに関するものについて現象と対処方法を説明します。
ハードウェアに関する、次のような問題についての対処方法は、『ハードウェアガイド』の「第７章 こんなときには」をご覧ください。

- 紙詰まり
- オペレータパネルからの印刷設定ができない
- 印刷結果が汚い
- 異常音、起動しないなどの故障

セットアップ時のトラブルシューティング

プリンタをセットアップするときに発生する問題と、その対処方法について説明します。

プリンタドライバのインストール中に警告ウィンドウが表示された

プリンタドライバのインストール中に、警告ウィンドウが表示されることがあります。ここでは、注意が必要な次の現象（メッセージ）について説明します。

■「Windows の CD-ROM を挿入してください」というメッセージが表示された。

対処：

製造元とモデルの選択ウィンドウで、「ディスク使用」をクリックせずに一覧からプリンタを選択してインストールしようとすると表示されるメッセージです。
インストールをキャンセルして、再度、「Printia LASER プリンタユーティリティ」からプリンタドライバをインストールし直すことをお勧めします。
「ネットワークを利用したプリンタの接続」（→ P.21）
「ネットワークを利用しないプリンタの接続」（→ P.73）

■「バージョンの競合」または「ファイルの上書き確認」や、「このコンピュータには、より新しいバージョンのドライバが既にインストールされています。」というメッセージが表示された。

対処：

現在インストールされているものより古いバージョンのプリンタドライバ、あるいはプリンタドライバが使用する共通のモジュールをインストールしようとしたときに表示されるメッセージです。「はい」をクリックして、現在のファイルをそのまま使ってください。

■「プリンタが接続されているサーバには適切なプリンタドライバがインストールされていません」というメッセージが表示された。

対処：

クライアント OS（Windows）用のプリンタドライバが、プリントサーバ側に追加（または代替）インストールされていない状態で、クライアントからサーバ共有プリンタのドライバをネットワークインストールしようとしたときに表示されるメッセージです。

いったんインストールを中断し、サーバに追加（または代替）ドライバをインストールしてからクライアントでネットワークインストールを行うか、クライアント側で「Printia LASER プリンタユーティリティ」からプリンタドライバをインストールしてください。

サーバ側に追加（または代替）ドライバをインストールする方法、およびクライアント側でのプリンタドライバのインストール方法については、「プリンタ共有の設定」（→ P.97）をご覧ください。

■「Norton Internet Security」で「低危険度」の警告メッセージが表示された。

対処：

ウィンドウを閉じてインストールを継続してください。プリンタドライバのインストールに問題はありません。

なお、「Norton Internet Security」の警告メッセージについて詳しくは、「ファイアウォール機能使用時の留意事項」（→ P.329）をご覧ください。

■「Windows ファイアウォールがインストールされています。」というウィンドウが表示された。

対処：

「はい」をクリックして、インストールを継続してください。

なお、ファイアウォール機能について詳しくは、「ファイアウォール機能使用時の留意事項」（→ P.329）をご覧ください。

■プラグアンドプレイによるインストール中に「(ファイル名）が見つかりません」というメッセージが表示された（2000 の場合）。

対処：

以前に古いバージョンのプリンタドライバをインストールし、その後削除した環境でプラグアンドプレイによるインストールを行うと、古いバージョンのプリンタドライバにしかないファイルを要求される場合があります。

このような場合は、次の操作を行ってから、プラグアンドプレイによるプリンタドライバのインストールを行ってください。

1. 「スタート」ボタン→「検索」→「ファイルやフォルダ」の順にクリックします。
2. 「ファイルまたはフォルダの名前」に「OEM*.inf」と入力します。
3. 「含まれる文字列」にインストールするプリンタ名（例：FUJITSU XL-9310）を入力します。
4. 「検索開始」をクリックします。

   検索が開始されます。

9

5 検索されたファイルを削除します。

なお、プリンタドライバを更新するときは、削除せずにドライバセットアップを使用して更新してください。

IP アドレスを設定したら通信ができなくなった

■「IP アドレス設定ユーティリティ 2」を使用して、プリンタに IP アドレスを設定したら、通信ができなくなった。

対処：

「印刷できない」（→ P.307）の＜対処 2 ＞以降をご覧になり、IP アドレスが他の装置と重複していないか、IP アドレス以外の LAN の設定が正しいか確認してください。

「IP アドレス設定ユーティリティ 2」や「Printianavi ネットワークポートモニタ」、「Printianavi ネットワークマネージャ」でプリンタを検索できない

■「IP アドレス設定ユーティリティ 2」や「Printianavi ネットワークポートモニタ」、「Printianavi ネットワークマネージャ」を使用してプリンタの設定を行うときに、ネットワーク上のプリンタの検索を行ってもプリンタが検出されない。

対処 1：

「Norton Internet Security」などのファイアウォールソフトがインストールされている場合や、2003/XP のインターネット接続ファイアウォール、または 7/2008/Vista/2003 （Service Pack 1 以降）/XP （Service Pack 2 以降）の Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合は、プリンタが検索されません。
詳しくは、「ファイアウォール機能使用時の留意事項」（→ P.329）をご覧ください。

対処 2：

「Printia LASER Internet Service」の「ネットワークサービス設定」→「プリンタ検索」の設定（→ P.272）が「有効」になっているか確認してください。「Printianavi ネットワークマネージャ」の場合は、「SNMP」（→ P.273）も「有効」になっているか、また「バージョン情報」（→ P.289）の「サポートプリンタ」にまだ登録されていない機種の場合は、インターネットサービスも「有効」になっているか確認してください。

対処 3：

IP アドレスによるアクセス制限を設定していないか確認してください。
IP アドレスによるアクセス制限については、「ネットワークサービス（対応プリンタ、管理者モードのみ）」（→ P.272）を参照してください。

対処 4：

検索ポート番号がプリンタと一致しているか確認してください。
プリンタの検索ポート番号（機種によっては「ポート番号 2」）は、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」のオペレータパネルの設定項目一覧に記載されています。

対処 5：

次の点を確認してください。

・プリンタが接続されているネットワーク環境で IPv4 が利用可能ですか
　プリンタが接続されているネットワーク環境については、ネットワーク管理者にご確認ください。

・「Printia LASER Internet Service」の「ネットワーク情報」の基本情報で、「TCP/IPv4 プロトコル」が「有効」になっていますか

お使いのネットワーク環境が IPv6 のみ、または、プリンタの「TCP/IPv4 プロトコル」が「無効」の場合、「IP アドレス設定ユーティリティ 2」や「Printianavi ネットワークマネージャ」での検索はできません。

USB インターフェース接続のときにプリンタが検出されない

■プリンタドライバのセットアップでインストール中に「プリンタをインストールする準備ができました」と表示されたにも関わらず、プリンタとパソコンを接続しても、正しくインストールされない（7/2008 R2)。

対処：

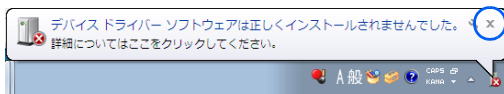
7/2008 R2 の場合、プリンタドライバをインストールする前にプリンタとパソコンを接続していると、「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした」というメッセージが表示されます。その場合は、次の手順でプリンタドライバをインストールし直してください。

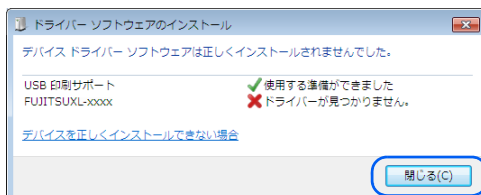
1 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 プリンタの電源を入れてから、パソコンとプリンタを USB ケーブルで接続します。

プリンタに USB ケーブルを接続する方法については、『ハードウェアガイド』の「第 2 章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。

■接続後、画面右下の通知領域に「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした」と表示されている場合

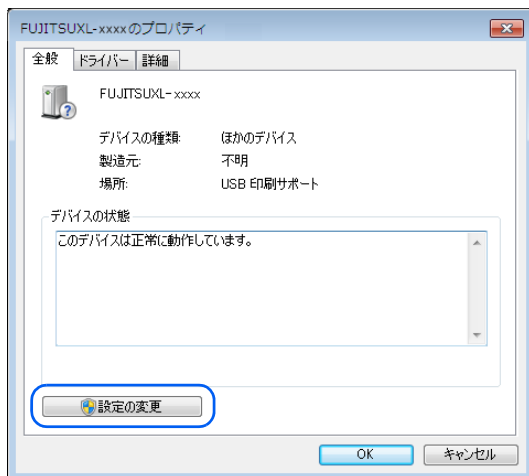
吹き出しの ☒ をクリックして閉じてください。

POINT

・吹き出しをクリックすると、次の画面が表示されます。内容を確認したら、「閉じる」をクリックします。

■上記吹き出しが表示されていない場合
次の手順に進んでください。

3 （スタート）→「デバイスとプリンター」の順にクリックします。

4 「USB Printer」をダブルクリックします。

表示が「詳細表示」になっていない場合は、「詳細表示」にしてから「USB Printer」をダブルクリックしてください。

5 「ハードウェア」タブの「プロパティ」をクリックします。

6 「全般」タブの「設定の変更」をクリックします。

7 「ドライバー」タブの「ドライバーの更新」をクリックします。

8 「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリックします。

9

9 ◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

10 メニューから「終了」をクリックします。

11 (1)プリンタドライバが格納されているフォルダ「D:¥FJXLINST¥FJXLDRV¥DRVINST¥2K-VISTA」(CD-ROM ドライブが D: の場合)を選択し、(2)「次へ」をクリックします。

12 「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックします。

ドライバーソフトウェアの更新が開始されます。
更新が完了すると、「ドライバーソフトウェアが正常に更新されました。」と表示されます。

13 「閉じる」をクリックします。

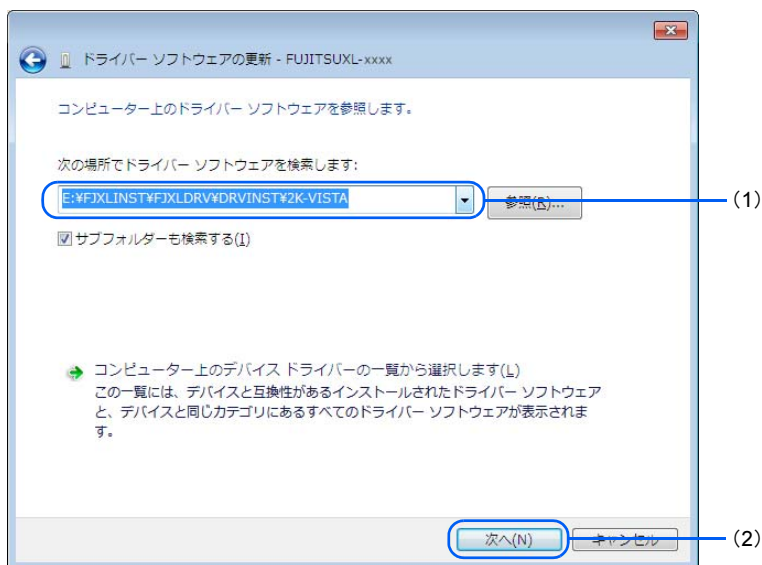
「ドライバー」タブ画面に戻ります。

14 「閉じる」をクリックします。

「FujitsuXL-xxxx（機種名）のプロパティ」ウィンドウに戻ります。

15 「OK」をクリックします。

「デバイスとプリンター」フォルダにプリンタアイコンが追加されれば、プリンタドライバのインストールは完了です。

16 Windows を再起動します。

（スタート）→ シャットダウン の → 「再起動」の順にクリックします。

■USB インターフェースでプリンタドライバをインストールする場合に、新しいハードウェアが検出されない（2008（R2 以外）/Vista/2003/XP/2000）。

対処 1：

次の点を確認してください。

・プリンタの電源は入っていますか

プリンタの電源が入っていない場合は、『設置ガイド』をご覧になり、プリンタの電源を入れてください。

・USB ケーブルの規格は合っていますか

USB 1.1 または 2.0 に準拠したケーブルを使用してください。USB ケーブルの規格については、『ハードウェアガイド』の「第 8 章 付録」をご覧ください。

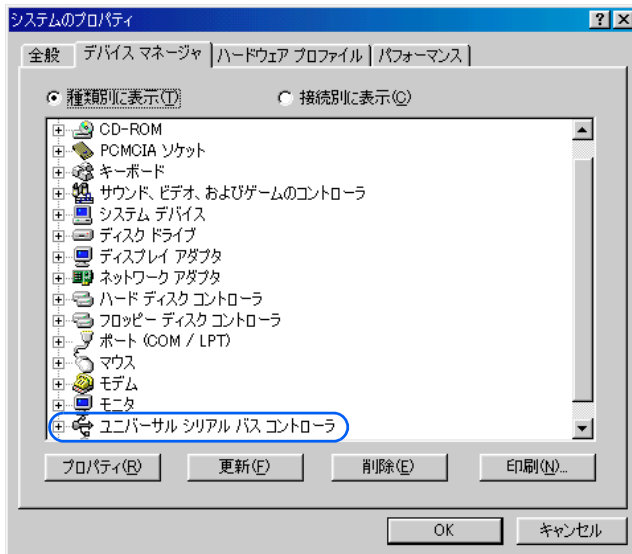
・USB ケーブルは正しく接続されていますか

USB ケーブルが正しく接続されているか、確認してください。USB ケーブルの接続方法については、『ハードウェアガイド』の「第 2 章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。

9

・パソコンは USB に対応していますか

デバイスマネージャで USB コントローラが表示されるか確認してください。

お使いのパソコンが USB に対応している場合は、「デバイスマネージャー」または「デバイスマネージャ」または「システムのプロパティ」ウィンドウに USB のホストコントローラと「USB ルートハブ」が表示されます。

「デバイスマネージャー」または「デバイスマネージャ」または「システムのプロパティ」ウィンドウは、次の操作で表示します。

- 7/2008 R2

  「スタート」ボタンまたは (スタート) →「コントロール パネル」→「ハードウェアとサウンド」の順にクリックします。「デバイスとプリンター」の「デバイス マネージャー」をクリックし、表示されたウィンドウで「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の下を確認します。

- 2008（R2 以外）/Vista

  「スタート」ボタンまたは (スタート) →「コントロールパネル」の順にクリックします。「クラシック表示」になっていない場合は「クラシック表示」をクリックしてから、「デバイスマネージャ」をダブルクリックします。「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示された場合は「続行」をクリックし、表示されたウィンドウで「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の下を確認します。

- 2003/XP

  「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」の順にクリックし、「関連項目」の中から「システム」→「ハードウェア」の順にクリックして「デバイスマネージャ」タブを開き、「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の下を確認します。

- 2000

  「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」の順にクリックし、「ハードウェア」タブを開いて「デバイスマネージャ」をクリックします。

  「デバイスマネージャ」ウィンドウが開くので、「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の下を確認します。

対処 2：
パソコン上のポート（USB、パラレルポートなど）を無効に設定するアプリケーション（「Portshutter」など）を使用して、印刷するポートを無効にする（遮断する）設定にしていませんか。印刷するポートが無効（遮断）設定の場合は印刷ができませんので、設定を解除してください。

パラレルインターフェース接続のときにプリンタが検出されない

■プリンタドライバのセットアップでインストール中に「プリンタをインストールする準備ができました」と表示されたにも関わらず、プリンタとパソコンを接続しても、正しくインストールされない（7/2008 R2）。

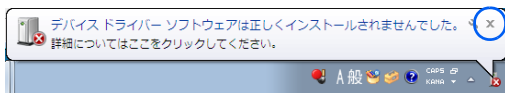
対処：
7/2008 R2 の場合、プリンタドライバをインストールする前にプリンタとパソコンを接続していると、「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした」というメッセージが表示されます。その場合は、次の手順でプリンタドライバをインストールし直してください。

1 パソコンとプリンタをパラレルケーブルで接続します。

プリンタにパラレルケーブルを接続する方法については、『ハードウェアガイド』の「第 2 章 プリンタを設置・接続する」をご覧ください。

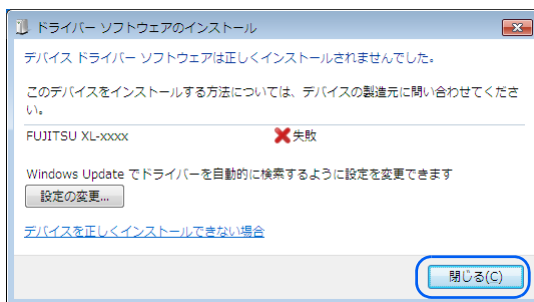
2 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

■ログオン後、画面右下の通知領域に 「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした」と表示されている場合

吹き出しの X をクリックして閉じてください。

POINT

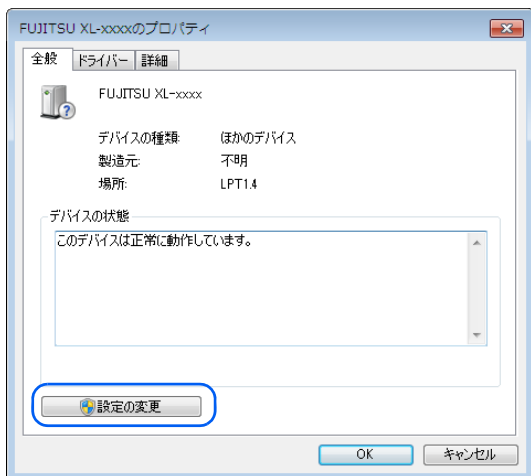
・吹き出しをクリックすると、次の画面が表示されます。内容を確認したら、「閉じる」をクリックします。

■上記吹き出しが表示されていない場合
次の手順に進んでください。

9

3 （スタート）→「デバイスとプリンター」の順にクリックします。

4 「未指定」に表示されているプリンタ（例：XL-xxxx）をダブルクリックします。

表示が「詳細表示」になっていない場合は、「詳細表示」にしてから「未指定」に表示されているプリンタをダブルクリックしてください。

5 「ハードウェア」タブの「プロパティ」をクリックします。

6 「全般」タブの「設定の変更」をクリックします。

7 「ドライバー」タブの「ドライバーの更新」をクリックします。

8 「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリックします。

9

9 「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

10 メニューから「終了」をクリックします。

11 (1) プリンタドライバが格納されているフォルダ「D:¥FJXLINST¥FJXLDRV¥DRVINST¥2K-VISTA」(CD-ROM ドライブが D: の場合)を選択し、(2)「次へ」をクリックします。

12 「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックします。

ドライバーソフトウェアの更新が開始されます。
更新が完了すると、「ドライバーソフトウェアが正常に更新されました。」と表示されます。

13 「閉じる」をクリックします。

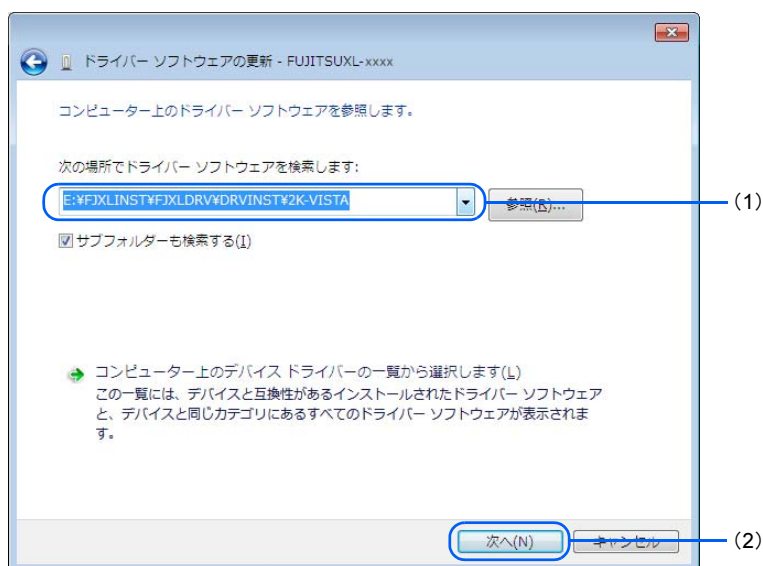
「ドライバー」タブ画面に戻ります。

14 「閉じる」をクリックします。

「FujitsuXL-xxxx（機種名）のプロパティ」ウィンドウに戻ります。

15 「OK」をクリックします。

「デバイスとプリンター」フォルダにプリンタアイコンが追加されれば、プリンタドライバのインストールは完了です。

16 Windows を再起動します。

（スタート）→ シャットダウン の → 「再起動」の順にクリックします。

■パラレルインターフェースでプリンタドライバをインストールする場合に、新しいハードウェアが検出されない（2008（R2 以外）/Vista/2003/XP/2000/Me/98）。

対処：

パソコン上のポート（USB、パラレルポートなど）を無効に設定するアプリケーション（「Portshutter」など）を使用して、印刷するポートを無効にする（遮断する）設定にしていませんか。印刷するポートが無効（遮断）設定の場合は印刷ができませんので、設定を解除してください。

プリンタを新たに追加した、またはプリンタドライバを更新した後に OS を再起動すると、すでに追加済みのプリンタについてハードウェアの検出ウィザードが表示される

■2008（R2 以外）/Vista/2003/XP において、パラレルケーブルまたは USB ケーブルで接続されたプリンタに対して、ドライバセットアップを使用してプリンタの追加を行うか、またはプリンタドライバの更新を行うと、OS を再起動した後にすでに追加済みのプリンタについてハードウェアの検出ウィザードが表示される。ウィンドウをキャンセルしても、OS を再起動するたびに同じウィンドウが表示される。

対処：

2008（R2 以外）/Vista/2003/XP では、パソコンと直接接続されたプリンタについては、必ずハードウェアの検出ウィザードが表示されます。ウィザードが表示された場合には、ウィンドウの指示に従ってもう一度プリンタの追加を行い、ウィザードを完了させてください。

- 2008/Vista の場合：「2008（R2 以外）/Vista の場合」（→ P.78）の手順 3 以降
- 2003/XP の場合：「2003/XP の場合」（→ P.82）の手順 3 以降

プリンタドライバを更新した後、プリンタの「印刷設定」が保存できなくなった

■2000 において、すでにインストール済みのプリンタドライバを新しいバージョンのプリンタドライバに更新すると、それ以降プリンタの「印刷設定」を変更しても、変更内容が保存されずに、初期値に戻ってしまう。

この現象は、プリンタドライバの更新を次の方法で行った場合に発生することがあります。

- プリンタドライバの「詳細設定」ウィンドウの「ドライバ」を別のドライバに変更した。

9

・プリンタドライバの「詳細設定」ウィンドウの「新しいドライバ」でドライバの更新を行った。

対処 1：

ドライバセットアップの「ソフトウェアの更新」機能を使用して、プリンタドライバを更新してください。プリンタドライバの更新方法については、「更新する場合」（→ P.186）をご覧ください。

対処 2：

「印刷設定」が保存されなくなったプリンタアイコンを一度削除してから、新たにプリンタアイコンを作成し直してください。

対処 3：

1 プリンタのプロパティを開き、「詳細設定」タブにある「標準の設定」をクリックします。

プロパティの開き方については、「プリンタの「印刷設定」、または「プロパティ」を表示するには」（→ P.115）をご覧ください。

「標準の設定」ウィンドウが表示されます。

2 「OK」をクリックして「標準の設定」ウィンドウを閉じ、もう一度「OK」をクリックしてプリンタのプロパティを閉じます。

3 ドライバセットアップの「ソフトウェアの更新」機能を使用して、プリンタドライバを更新します。

プリンタドライバの更新方法については、「更新する場合」（→ P.186）をご覧ください。

ネットワークソフトウェアのインストール中に警告ウィンドウが表示された

■「Printianavi ネットワークポートモニタのインストール情報に矛盾があり、Printianavi ネットワークソフトウェア 3 へのアップデートが行なえませんでした。」というメッセージが表示された。

対処：

「Printianavi ネットワークポートモニタ」（V22.00 以降）インストール後に、古い「Printianavi ネットワークソフトウェア 2」から「Printianavi ネットワークポートモニタ」（V10.0L10 ～ L12）をインストールした環境で、「Printianavi ネットワークソフトウェア 3」へアップデートしようとしたときに表示されるメッセージです。

「OK」をクリックしてインストールを中断してください。

インストールを中断した状態のままでも、印刷や「Printianavi ネットワークポートモニタ」の動作には問題ありませんが、「Printianavi ネットワークソフトウェア 3」へのアップデートを行う場合は、再度、最新のドライバセットアップの「ソフトウェアの更新」を行ってから、「Printianavi ネットワークソフトウェア 3」のインストールを行ってください。

運用時のトラブルシューティング

プリンタを運用中に発生する問題と、その対処方法について説明します。

印刷できない

■テスト印刷ができない、あるいはどのアプリケーションからも印刷できない。

対処 1：

プリンタの状態およびケーブル接続を確認します。次の点について確認してください。

・プリンタの電源が入っていますか。

・パラレルケーブル、USB ケーブル、または LAN ケーブルが正しく接続されていますか。

・プリンタがエラー状態になっていませんか。

プリンタがエラー状態になっているときは、エラーの原因を取り除き、印刷可能状態に戻してください。

・プリンタ切替器を使用していませんか。

プリンタとの通信が異常となったり、プリンタ故障の原因となったりするおそれがありますので、プリンタ切替器は使用しないでください。

対処 2：

プリンタを LAN ケーブルで接続している場合は、LAN の設定を確認します。設定の一覧を印刷し、次の点を確認してください。

なお、設定の一覧の印刷方法については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

・LAN ステータスは正常ですか。

LAN ステータスでは、LAN の接続状態が「a.bbb.ccc.dd」または「a.bbbb.cccc.dd」の形式で表示されます。各部の意味は、次のとおりです。

9

表：LAN ステータス一覧（「a.bbb.ccc.dd」形式のとき）

各部	意味
a	ネットワークに接続されているかどうかを表します。 ・1：ネットワークに接続されています。 ・0：ネットワークに接続されていません。LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
bbb	プリンタのデータ転送能力を表します。 それぞれ左から、 ・1 桁目…1000Base-T（0：Half/Full 無効／ 2：Full 有効） ・2 桁目…100Base-TX（0:Half/Full 無効／ 1:Half 有効／ 2:Full 有効／ 3:Half/Full 有効） ・3 桁目…10Base-T（0：Half/Full 無効／ 1：Half 有効／ 3：Half/Full 有効） 注：メニューモードの「LAN セッテイ」→「Ethernet タイプ」で設定を変更できます。
ccc	ハブなど、プリンタの接続先のデータ転送能力を表します。 それぞれ左から、 ・1 桁目…1000Base-T（0:Half/Full 無効／ 1:Half 有効／ 2:Full 有効／ 3:Half/Full 有効） ・2 桁目…100Base-TX（0:Half/Full 無効／ 1:Half 有効／ 2:Full 有効／ 3:Half/Full 有効） ・3 桁目…10Base-T（0：Half/Full 無効／ 1：Half 有効／ 2：Full 有効／ 3：Half/Full 有効） 注：ハブによっては「000」と表示される場合があります。このときは、ハブのマニュアルで転送能力を確認してください。
dd	現在プリンタがどの転送速度で接続しているかを表します。 それぞれ左から、 ・1 桁目…0：Half ／ 1：Full ・2 桁目…0：10Mbps ／ 1：100Mbps ／ 2：1000Mbps 注：a が 0 のときは、「－－」と表示されます。

表：LAN ステータス一覧（「a.bbbb.cccc.dd」形式のとき）

各部	意味
a	ネットワークに接続されているかどうかを表します。 ・1：ネットワークに接続されています。 ・0：ネットワークに接続されていません。LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
bbbb	プリンタのデータ転送能力を表します。 それぞれ左から、 ・1 桁目…10Base-T Half（1：有効／ 0：無効） ・2 桁目…10Base-T Full（1：有効／ 0：無効） ・3 桁目…100Base-TX Half（1：有効／ 0：無効） ・4 桁目…100Base-TX Full（1：有効／ 0：無効）
cccc	ハブなどの、プリンタの接続先のデータ転送能力を表します。 それぞれ左から、 ・1 桁目…10Base-T Half（1：有効／ 0：無効） ・2 桁目…10Base-T Full（1：有効／ 0：無効） ・3 桁目…100Base-TX Half（1：有効／ 0：無効） ・4 桁目…100Base-TX Full（1：有効／ 0：無効） 注：ハブによっては「0000」と表示される場合があります。このときは、ハブのマニュアルで転送能力を確認してください。
dd	現在プリンタがどの転送速度で接続しているかを表します。 それぞれ左から、 ・1 桁目…1：Full ／ 0：Half ・2 桁目…1：100Mbps ／ 0：10Mbps 注：a が 0 のときは、「－－」と表示されます。

プリンタと接続先の転送能力が合うものが 1 つ以上あるか確認してください。また、自動認識での接続に失敗する場合は、転送能力を固定に変更すると正しく動作する場合があります。

・TCP/IP 設定は「有効」になっていますか。
「無効」の場合は、プリンタのオペレータパネルの操作で「有効」に変更してください。

・TCP/IP 状態コードは「0」（正常）になっていますか。

「0」以外のときは、それぞれ次の操作を行ってください。

- TCP/IPv4 の場合

表：TCP/IPv4 の状態コード別対処方法

TCP/IP 状態コード	対処
1	IPv4 アドレスやサブネットマスクの設定に誤りがあります。 設定内容を確認してください。
2	DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。 しばらくしてから、設定の一覧を印刷してください。
3	DHCP による TCP/IP 構成情報の取得で異常が発生しています。 DHCP サーバの設定を見直すか、プリンタのオペレータパネルや、「IP アドレス設定ユーティリティ 2」の操作で DHCP 自動取得を「解除」し、正しい IPv4 アドレスやサブネットマスクを設定し直してください。
4	DHCP で IPv4 アドレスの継続使用が拒否されました。 DHCP サーバの設定を見直すか、プリンタのオペレータパネルや、「IP アドレス設定ユーティリティ 2」の操作で DHCP 自動取得を「解除」し、正しい IPv4 アドレスやサブネットマスクを設定し直してください。
5	DHCP で継続使用の要求がタイムアウトとなりました。 プリンタのオペレータパネルの操作で DHCP 自動取得を「解除」し、正しい IPv4 アドレスやサブネットマスクを設定し直してください。
6	IPv4 アドレスが他のホストで使用されています。 他のホストの設定を確認し、重複していない IPv4 アドレスを設定してください。DHCP で IPv4 アドレスを自動取得している場合は、電源を再度入れてください。
9	その他不明の状態です。 考えられる主な原因に、ゲートウェイの設定に誤りがある可能性があります。

- TCP/IPv6 の場合

表：TCP/IPv6 の状態コード別対処方法

TCP/IP 状態コード	対処
1	IPv6 グローバルアドレス取得中です。しばらくしてから、設定の一覧を印刷してください。

・IP アドレスは正しく設定されていますか。

CIDR（Classless Inter-Domain Routing）に対応していないプリンタをご使用の場合は、IP アドレスのクラスに合ったサブネットマスクが設定されているか確認してください。

IP アドレスおよび TCP/IP 設定の方法については、「IPv4 アドレスを設定する」（→ P.24）、または「IPv6 アドレスを設定する」（→ P.34）をご覧ください。

・ゲートウェイアドレスは設定されていますか。

プリンタを接続しているサブネットと、印刷を行うパソコンを接続しているサブネットが別々の場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。

ゲートウェイアドレスが正しく設定されているか確認してください。

・プリンタの Ethernet タイプは正しいですか。

プリンタの Ethernet タイプの設定がハブユニットの規格と一致しない場合、ネットワーク障害の原因となります。ハブユニットの規格を調べたうえで正しく設定してください。

「自動」による設定で正常に接続されない場合、オペレータパネルのメニューモードで Ethernet タイプの設定を変更し、変更後にプリンタの電源を切り、再度入れてください。

オペレータパネルの操作方法については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

・STP（スパニングツリープロトコル）の設定があるハブユニットを使用している場合は、本製品を接続するポートの STP を「無効」に設定してください。

「有効」に設定していると、プリンタの IP アドレスが他の装置で使用されているときに検出できないことがあります。

対処 3：

プリンタドライバの設定を確認します。サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、サーバ側の設定も同様に確認します。

プリンタドライバの設定ウィンドウを開き、次の点を確認してください。

・印刷先ポートに接続されていないポートが指定されていないか

・別の場所に設置されたプリンタが指定されていないか

印刷先ポートは、「プリンタのプロパティ」の「ポート」タブで確認できます。

プリンタを LAN ケーブルで接続している場合は、次の点も確認してください。

・Printianavi ネットワークポートで接続しているとき

印刷した設定の一覧と、IP アドレス、IPP の設定およびポート番号の設定が一致しているか、確認してください。それぞれ次のウィンドウで確認できます。

表：各設定値のウィンドウ参照先

設定項目	ウィンドウ参照先
IP アドレス	「ポートの設定」 ホスト名を指定している場合は、そのホスト名が使用する IP アドレスを確認してください。
ポート番号	「オプション」 ポート番号がプリンタの印刷ポート番号と同じか確認してください。設定が異なっている場合は、一致させてください。
プリンタの URL (IPP 印刷時)	「ポートの設定」 設定の一覧と同じか確認してください。値が空白になっている場合は、「プリンタの IP アドレス /ipp」と設定してください。
プロキシ設定 (IPP 印刷時)	「プロキシ設定」 プロキシサーバの設定についてはネットワーク管理者に問い合わせてください。

・LPR Port で接続しているとき
次の点を確認してください。
-「ポート」タブの「ポートの一覧」で IP アドレスが同じか確認してください。設定が異なっている場合は、ポートを削除し、再度ポートを追加してください。
ポートの追加方法については、「ポート設定の変更」（→ P.59）をご覧ください。
-「ポート」タブの「双方向サポートを有効にする」の設定を☐にし、双方向通信を無効にしてください。
・Standard TCP/IP Port で接続しているとき
次の点を確認してください。
-「ポート」タブの「ポートの構成」をクリックし、IP アドレスが同じか確認してください。設定が異なっている場合は、一致させてください。また、「プロトコル」が「Raw」の場合は、「Raw 設定」の「ポート番号」が「9100」になっているか確認してください。「9100」以外の値では、正しく動作しません。
「プロトコル」が「LPR」の場合は、「LPR 設定」の「キュー名」が「LP」になっているかを確認してください。
-「ポート」タブの「双方向サポートを有効にする」の設定を☐にし、双方向通信を無効にしてください。

対処 4：
スプーラ上でプリンタまたはドキュメントが停止状態になっていないか、次の手順で確認します。

1 次の手順でプリンタフォルダを開きます。
・7/2008 R2 の場合
（スタート）→「デバイスとプリンター」の順にクリックします。
・2008（R2 以外）/Vista の場合
「スタート」ボタンまたは（スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックし、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
・2003/XP の場合
「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。
・2000 の場合
「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。

2 該当するプリンタをダブルクリックします。

3 表示されるウィンドウのタイトルバーや状態に「停止中」または「一時停止」と表示されていないか、確認します。
停止状態のときは、「プリンタ」メニュー、および「ドキュメント」メニューの「一時停止」を解除します。

対処 5：
双方向通信をサポートした他のプリンタドライバ（XL-2000W、XJ シリーズなど）がインストールされていないか、確認してください。
双方向通信をサポートするプリンタの印刷先を同じプリンタポート（LPT1：）に指定したまま使用すると、印刷が行えない場合があります。実際に接続していないプリンタの印刷先ポートは、「FILE：」に変更してください。

対処 6：

双方向通信機能をサポートしないプリンタポートを使用していないか確認してください。

1「プリンタのプロパティ」で「詳細」タブをクリックします。

2「スプールの設定」をクリックして、「このプリンタで双方向印刷をサポートする」と「このプリンタの双方向印刷をサポートしない」のそれぞれの設定でテスト印刷を行います。

この結果、「このプリンタの双方向印刷をサポートしない」でのみ印刷できる場合は、ご使用のパソコンのプリンタポートが双方向通信機能をサポートしていないか、ポートドライバに問題があることが考えられます。

対処 7：

IPP 印刷時に双方向通信のサポートが有効になっているか確認してください。

プロキシサーバを経由した IPP 印刷では、プロキシサーバの種類によっては、片方向通信での印刷が正常に行えない場合があります。双方向通信機能を有効にして印刷を行ってください。双方向通信機能を有効にしても印刷できない場合は、プロキシサーバの設定が正しいか確認してください。

対処 8：

「ネットワークサービス（対応プリンタ、管理者モードのみ）」（→ P.272）の印刷ポートの設定が「有効」になっているか確認してください。印刷を行うプリンタの、ポートの設定が「無効」になっていると次のエラーが表示され、印刷できません。

・BPP 印刷 /IPP 印刷（双方向印刷時）

「[1500 － 0000　応答なし]

プリンタからの応答がありません。

プリンタの電源、およびケーブルを確認してください。」

・BPP 印刷 /IPP 印刷（片方向印刷時）、LPR 印刷 /RAW 印刷

「X　ドキュメント "xxxx" を xxxx に出力するときにエラーが見つかりました。再実行しますか、それともジョブを取り消しますか？」

また、BPP 印刷が「有効」の場合は、BPP 印刷の印刷ポート番号を「9100 以外」に設定してください。BPP 印刷の印刷ポート番号を 9100 に設定した場合、RAW 印刷が行えなくなります。

RAW 印刷を行う場合は、オペレータパネルの「LAN 設定」「ポート番号」の「印刷ポート番号」を 9100 以外に設定してください。

対処 9：

プリンタ起動通知が有効になっているか確認してください。

ルーター、有線 LAN から無線 LAN コンバータなどを経由して印刷を行っている場合は、プリンタ起動通知を「有効」に設定してください。プリンタ起動通知を「無効」に設定すると、ルーターおよびコンバータがプリンタを認識しないため、印刷できないことがあります。

対処 10：

IP アドレスによるアクセス制限を設定していないか、確認してください。

IP アドレスによるアクセス制限を解除する方法については、「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」（→ P.249）をご覧ください。

対処 11：

プリントサーバ上に「Norton Internet Security」などのファイアウォールソフトがインストールされている、または 2003/XP のインターネット接続ファイアウォールまたは 7/2008/Vista/2003 （Service Pack 1 以降）/XP（Service Pack 2 以降）の Windows ファイアウォール機能が有効になっていませんか。
ファイアウォール機能が有効になっている場合、クライアントからの印刷ができません。
詳しくは、「ファイアウォール機能使用時の留意事項」（→ P.329）をご覧ください。

対処 12：

パソコン上のポート（USB、パラレルポートなど）を無効に設定するアプリケーション（「Portshutter」など）を使用して、印刷するポートを無効にする（遮断する）設定にしていませんか。印刷するポートが無効（遮断）設定の場合は印刷ができませんので、設定を解除してください。

印刷できない、または別のプリンタに出力される

■ Printianavi ネットワークポートで LAN に接続したプリンタに印刷を行ったが、応答なしエラーとなり印刷できない、または別のプリンタに出力される。

対処：

次の手順でポートの設定を確認してください。

1 Windows を起動します。

7/2008/Vista/2003/XP/2000/NT の場合は、管理者権限でログオンします。

2 「Printianavi ネットワークポート管理」を起動します。

・7/2008/Vista の場合

「スタート」ボタンまたは (スタート) →「すべてのプログラム」→「Printia XL Utility」→「プリンタドライバ」→「Printianavi ネットワークポート管理」を右クリックし、表示されるメニューから「管理者として実行」をクリックします。
「認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています」と表示されたら、「許可」をクリックします。

・2003/XP/2000 の場合

「スタート」ボタン→「プログラム」（または「すべてのプログラム」）→「Printia XL Utility」→「プリンタドライバ」→「Printianavi ネットワークポート管理」の順にクリックします。

3 変更するポートを選択し、「ポートの構成」をクリックします。

4 「ポートの設定」ウィンドウで「参照」をクリックします。

5 プリンタの一覧で、選択されているプリンタが正しいか確認します。

選択されているプリンタのモデル名や MAC アドレスが別のプリンタのものでないか確認してください。別のプリンタに接続されている場合や選択されているプリンタがなく、「設定した IP アドレスまたはホスト名に対応したプリンタ装置が見つかりませんでした。プリンタ装置の電源を確認するか、または設定した IP アドレスまたはホスト名の確認をしてください。」というメッセージが左下に表示されている場合は、正しい接続先のプリンタを選択し「OK」をクリックしてください。
一覧に正しい接続先のプリンタが見つからない場合は、次の内容を確認してください。
・プリンタの電源やネットワークケーブルが正しく接続されているか
・プリンタに IP アドレスが正しく設定されているか

・ルーターを経由した先にプリンタが接続されている場合は、プリンタの検索範囲の設定にルーターの先のネットワークアドレスが追加されているか

6 ポートの設定画面で、「DHCP 設定プリンタの IP アドレスを自動認識する」の設定を確認します。

プリンタの IP アドレスを DHCP で動的に割り当てている場合は、プリンタが取得する IP アドレスがいつも同じとは限らないため、本機能は必ず☑にしてください。☐にすると常に IP アドレスが一致したプリンタに接続するため、印刷先がそのつど変わったり、見つからなかったりした場合は応答なしになります。

本機能を☐にするときは、IP アドレスを固定で割り当てている場合のみにしてください。通常は、☑にしたままでも通信先のプリンタの設定によって自動判別するため、☐にする必要はありません。

オペレータパネル操作制限時のパスワードを忘却し、操作制限を解除できない

■オペレータパネルの操作を制限するためパスワードを設定したが、パスワードを忘れてしまい操作制限を解除できない。

対処：

パスワードによりオペレータパネルの操作が制限されている場合、現在設定されているパスワードを入力しないと、オペレータパネルのメニュー操作が行えません。パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

なお、オペレータパネルの操作については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

・「Printia LASER Internet Service」で新しいパスワードを設定する

「管理者モード」→「オプション情報」→「管理者情報」の順に選択し、「オペレータパネル操作制限のパスワードの変更」で新しいパスワードを設定してください。

・オペレータパネル操作制限を無効にして起動する

オペレータパネルからオペレータパネル操作制限を一時的に無効にして起動し、設定を変更できます。

Printianavi のメッセージが表示されない

■印刷は行えるが、印刷を行ったパソコンに Printianavi のメッセージが表示されない。

対処 1：

「プリンタのプロパティ」を開き、次の点を確認してください。

なお、「プリンタのプロパティ」で確認できる内容については、「プリンタドライバで設定できる内容」（→ P.115）をご覧ください。

・「Printianavi2」タブは表示されていますか。

「Printianavi2」タブが表示されていない場合、「Printianavi2」とプリンタが関連付けされていない可能性があります。プリンタと「Printianavi2」を関連付けする方法については、「Printianavi2 とプリンタドライバの関連付け」（→ P.96）をご覧ください。

- 「Printianavi2」に対応していないプリンタドライバを使用していませんか。

  OS 添付のプリンタドライバやエミュレーションモード（ESC/P）で印刷している場合は、Printianavi 機能は使用できません。

  また、古い機種用の Printia XL ドライバでは、新しいプリンタや Printianavi 機能に対応していないことがあります。「Printia LASER プリンタユーティリティ」に格納されているプリンタドライバを使用してください。

- LPR 印刷または RAW 印刷ではありませんか。

  「ポート」タブで印刷先のポートが LPR Port または Standard TCP/IP Port の場合は、Printianavi 機能は使用できません。

- 「Printianavi2」のメッセージを表示する設定になっていますか。

  「Printianavi2」タブの「印刷中のステータス表示」「ステータスを最前面に表示する」「印刷の終了を通知する」の設定を確認してください。

- ステータスとメッセージの通知先の設定を別のパソコンに指定していませんか。

  「Printianavi2」タブの「ステータスの表示先」で、「コンピュータを指定」を選択して別のパソコンを指定している場合は、「印刷を実行したコンピュータ」に変更してください。

- 双方向通信機能をサポートする設定になっていますか。

  双方向通信機能をサポートするには、「ポート」タブの「双方向サポートを有効にする」を☑にしてください。

- ネットワークインストールしたプリンタの印刷先をローカルポートに変更していませんか。

  サーバ共有プリンタに印刷するためにネットワークインストールしたプリンタドライバの印刷先ポートを「LPT1:」などのローカルポートに変更すると、双方向通信機能が動作しないため、Printianavi 機能が使用できなくなります。印刷先をローカルポートに変更するときは、新たにローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールし直してください。

- 区切りページを指定していませんか。

  本製品では、区切りページファイル（*.sep）の印刷をサポートしていません。また、Printianavi 機能が正常に動作しなくなりますので、お使いにならないでください。

対処 2：

サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、次の点を確認してください。

- プリントサーバとクライアント OS の組み合わせが、サポート対象外ではありませんか。

  プリントサーバとクライアント間の Printianavi メッセージ連携は、7/2008/Vista/2003/XP/2000 間の組み合わせ、または NT/Me/98 間の組み合わせで使用できます。

- 「Printianavi2 クラサバ連携サービス」または「メッセージ連携サービス」は、サーバとクライアントの両方で開始されていますか。

  「ポート」タブで印刷先のポートが LPR Port または Standard TCP/IP Port の場合は、Printianavi 機能は使用できません。

- クライアント上に「Norton Internet Security」などのファイアウォールソフトがインストールされていませんか。

  ファイアウォール機能が有効になっている場合、「Printianavi」のメッセージがプリントサーバ上に表示されます。詳しくは、「ファイアウォール機能使用時の留意事項」（→ P.329）をご覧ください。

印刷結果がプリンタドライバの設定と異なる

■アプリケーションから印刷を行ったが、印刷結果がプリンタドライバで設定した内容と異なっている。

対処：

アプリケーションによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーション側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。

このような場合は、「印刷設定」で設定を変更しても反映されません。印刷する文書を開いたアプリケーション側でプリンタ設定のプロパティを開いて、設定を変更してください。

なお、プリンタドライバの設定内容については、「プリンタドライバで設定できる内容」（→P.115）をご覧ください。

Printia LASER Internet Service が正しく動作しない、またはエラー表示される

■Printia LASER Internet Service のウィンドウが表示されない、またはウィンドウの一部が表示されない。

対処：

次の点を確認してください。

- プリンタに電源が入っていますか。
- LAN ケーブルは正しく接続されていますか。
- Web ブラウザに入力した URL は正しいですか。
  「Printia LASER Internet Service」を表示するときの URL は「http://」＋「プリンタの IP アドレス」または「http://」＋「ホスト名＋ドメイン名」を指定します。
  プリンタの URL に指定した IPP プリンタ名（「/」以降）は指定しないでください。

また、設定の一覧を印刷し、次の点も確認してください。

- プリンタに IP アドレスが正しく設定されていますか。
  URL に「ホスト名＋ドメイン名」を指定した場合は、DNS サーバの設定も正しいか確認してください。
- TCP/IP 設定は「有効」になっていますか。
  「無効」の場合は、プリンタのオペレータパネルの操作で「有効」に変更してください。
- ネットワークサービス設定の「インターネットサービス」が「無効」に設定されていませんか。
  「無効」の場合は、プリンタのオペレータパネルの操作で「有効」に変更してください。オペレータパネルの操作方法については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。

■設定が反映されない、または「設定」ボタンが表示されない。

対処：

次の点を確認してください。

- サポート外の Web ブラウザを使用していませんか
  「Internet Explorer 4.0」以上の製品版ブラウザをお使いください。

9

・Web ブラウザが JavaScript の使用を禁止する設定になっていませんか
・「設定」をクリックする前に他の情報（ページ）を表示していませんか
設定は情報（ページ）ごとに行ってください。また、設定中に他の情報（ページ）に切り替えると切り替え前の設定値は反映されませんのでご注意ください。

■設定中にエラーが表示された、または設定後の表示が「プリンタリセット中 ...」のままになる。

対処：

エラーメッセージが表示されている場合は、メッセージの内容に従って対処してください。
設定後の切られるなどで通信が行えなくなったことが考えられます。
プリンタの電源やネットワーク接続を確認後、一度 Web ブラウザを終了し、キャッシュをクリアしてから、表示し直してください。

消耗品の交換を通知する E メールが送信されない

■消耗品の交換時期になっても、E メールが送信されない。

対処 1：

DHCP 環境で運用している場合、電源を入れた直後はプリンタが IP アドレスを取得できないことがあります。この場合、電源を入れた直後に検出した交換情報は通知できません。再送待ち時間（30 分）後に発信されます。

対処 2：

E メールの設定が正しいか確認してください。送信元アドレス、送信先アドレスは、@ 以下を含むアドレスすべてを指定する必要があります。

太い文字や図形を印刷すると、影が出る

■太い文字や濃淡比の高い文字およびグラフを印刷した後に、網かけ（グレイスケール）などの印刷を行った場合、影（残像）が発生する。

対処：

プリンタドライバの「グラフィックス」タブで、解像度、ディザおよび明るさを調整してください。装置の故障やプロセスカートリッジの劣化ではありません。

1 次の手順でプリンタを選択します。

・7/2008 R2 の場合
（スタート）→「デバイスとプリンター」の順にクリックし、印刷を行うプリンタを選択します。

・2008（R2 以外）/Vista の場合
「スタート」ボタンまたは（スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックし、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。続いて、印刷を行うプリンタを選択します。

・2003/XP の場合
「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックし、印刷を行うプリンタを選択します。

・2000
「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックし、印刷を行うプリンタを選択します。

2 「ファイル」メニュー（または「整理」メニュー）→「プロパティ」の順にクリックし、プリンタのプロパティを表示します。

3 「グラフィックス」タブを表示し、「解像度」をより低くなるように設定します。

4 解像度の「写真をきれいに印刷する」を☑にします。
ただし、解像度を「300dpi」に選択したときは設定できません。

5 ディザを「粗」に設定します。

6 明るさを「暗」に設定します。

印刷するたびに用紙サイズのエラーが表示される

■印刷を行うたびに、用紙サイズ不一致や用紙サイズ確認のエラーメッセージが表示される。

対処 1：
給紙口にセットした用紙サイズとプリンタドライバ（またはアプリケーション）で指定した用紙サイズが一致しているか確認してください。
用紙排出前に用紙サイズ不一致のエラーが表示される場合は、給紙口のサイズ設定が合っているか確認してください。

対処 2：
ユーザ定義サイズを設定できないアプリケーションから定形サイズ以外の用紙に印刷を行う場合は、最も近い定形の用紙サイズ、給紙トレイ（または手差し、マルチユニット）およびユーザ定義サイズをサポートする排紙方法、片面印刷を指定し、「定形横置き用紙を縦置きにする」と「定形用紙のサイズをチェックする」を□にしてください。用紙サイズチェックによる印刷後のエラー（機種によってエラーとなるサイズは異なります）が表示されなくなります。ただし、印刷速度は遅くなります。

⚠注意

・印刷時は、プリンタドライバ（またはアプリケーション）で指定する用紙サイズにあった用紙をセットしてください。特に指定した用紙サイズより幅の狭い用紙を給紙口にセットして印刷を行うと、定着器が加熱し、プリンタが損傷する可能性があります。

印刷が開始されるまでに時間がかかる

■最初の 1 ページ目が印刷されるまでに数 10 秒から 1 分以上かかる。

対処 1：
プリンタが節電状態になっていた場合は、定着器の温度が上がるまで準備中となります。節電状態に入るまでの時間を必要に応じて変更してください。
なお、プリンタドライバの「基本設定」タブに「プリンタのパワーセーブを解除する」がある機種では、印刷前にクリックすると節電状態を解除できます。

対処 2：

「Norton Internet Security」などのファイアウォールソフトがインストールされている、または 2003/XP のインターネット接続ファイアウォールまたは 7/2008/Vista/2003（Service Pack 1 以降）/XP（Service Pack 2 以降）の Windows ファイアウォール機能が有効になっていると、印刷が開始されるまでに時間がかかることがあります。詳しくは、「ファイアウォール機能使用時の留意事項」（→ P.329）をご覧ください。

■プリンタは節電状態に移行していないが、印刷が開始されるまでに準備中と表示され、印刷に時間がかかる。

対処：

連続印刷を行っている場合や用紙サイズが切り替わる場合は、一時的にオペレータパネルや「Printianavi」の表示が準備中となります。これは、定着器の過熱による装置の故障を防止するための動作であり、異常ではありません。

ステープルを指定して部単位印刷を行うと、1 部ずつでなく 1 つにまとまってステープルされる

■特定のアプリケーションからステープルをする設定で部単位を指定して複数部数を印刷すると、1 部ずつステープルして排紙されず、指定した複数部数が 1 つにまとまってステープルされてしまう。

対処：

アプリケーションによっては、プリンタの部単位印刷機能を使用せずに独自で部単位印刷処理を行うものがあります。この場合、プリンタにはアプリケーションが処理したデータ全体が 1 つのジョブとして送信されるため、1 つにまとまってステープルされます。このようなときは、1 部ずつ印刷してください。

「デバイスの準備ができていません」、「このドキュメントの印刷に失敗しました」または「このネットワーク接続は存在しません」という内容のエラーメッセージが表示され、印刷キューの状態がエラーになる

■印刷を行うと、プリンタは正しく接続・動作しているのに、次の No.1 または No.2 のエラーが表示される。このとき、印刷キューの状態もオフラインやエラーとなっている。

・7/2008/Vista/2003/XP の場合

表：印刷キューのエラーメッセージ：7/2008/Vista/2003/XP

No.	エラーメッセージ（バルーン表示）	印刷キューの状態
1	このドキュメントの印刷に失敗しました。	オフライン— 印刷中
2	このドキュメントの印刷に失敗しました。	エラー — 印刷中

・2000 の場合

表：印刷キューのエラーメッセージ：2000

No.	エラーメッセージ	印刷キューの状態
1	ドキュメント "xxx" を xxx に出力するときにエラーが見つかりました。デバイスの準備ができていません。	オフライン— 印刷中
2	ドキュメント "xxx" を xxx に出力するときにエラーが見つかりました。	エラー — 印刷中

POINT

・印刷キューの状態は、上記「印刷中」の後に「— 再起動中」や「— 再印刷中」が続けて表示される場合があります。

対処：

印刷先のポートが Printianavi ネットワークポート（接続モード：LAN）で、双方向通信を無効にしている場合、プリンタ側の処理に負荷がかかる印刷中（大量ページの高解像度での部単位印刷など）に、パソコンから送信されたデータをプリンタが受けきれずに上記のエラーメッセージが表示される場合があります。
このようなときは、プリンタ側が再びデータ受信可能な状態になると自動的にエラーが解除されますので、そのまましばらくお待ちください。エラーの発生したデータも正常に印刷されます。
また、No.1 のエラーが頻繁に表示される場合は、プリンタタイムアウト監視時間を長くすると改善される場合があります。「Printianavi ネットワークポートモニタ」も、最新バージョンに更新してください。詳しくは、「「オプション」ウィンドウ」（→ P.50）をご覧ください。
なお、双方向通信を無効にする必要がない場合は、「ポート」タブの「双方向サポートを有効にする」を☑にしてください（Me/98 の場合は、「詳細」タブの「スプールの設定」をクリックして表示される「プリンタ スプールの設定」で、「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」を選択してください）。「Printianavi」がプリンタのデータ処理状況を監視してデータを送信するため、エラーメッセージは表示されなくなります。

9

プリンタを交換、または設置場所を変更したら正しく印刷できない

■移動したプリンタから印刷されたり、交換したプリンタが「応答なし」エラーになったりする。

対処：

ネットワークに直接接続されたプリンタを交換、または他部署や他のグループに移動した後も同じポート（Printianavi ネットワークポート）を使用する場合は、ポートの接続先を再設定してください。再設定しない場合、「DHCP 設定プリンタの IP アドレスを自動認識する」機能により、次のような現象が発生することがあります。

- 移動前に印刷を行っていたパソコンから、移動したプリンタに引き続き接続してしまう
- 交換したプリンタに接続せず応答なしエラーとなる

プリンタを移動し、ポートの接続先を再設定する場合は、次の手順に従ってください。

プリンタの移動手順

- プリンタの IP アドレスを固定値で割り当てていた場合

  プリンタ側の設定

  1. 移動するプリンタのネットワークケーブルを外します。
  2. プリンタのオペレータパネルのメニューから、LAN の初期化を行います。
     オペレータパネルの操作方法については、『ハードウェアガイド』の「第 5 章 オペレータパネルの操作」をご覧ください。
  3. 移動先の環境に合わせて、IP アドレスを再設定します。

  パソコン側（サーバ経由の場合は共有サーバ側）の設定

  同じ IP アドレスが設定された新しいプリンタにそのまま運用を切り替える場合は、特に作業は必要ありません。IP アドレスの異なるプリンタに接続し直す場合は、ポートの接続先を再設定してください。設定方法は、「ポートの接続先の再設定手順」（→ P.322）をご覧ください。

- プリンタの IP アドレスを DHCP サーバから自動取得していた場合

  プリンタ側の設定

  特に作業は必要ありません。

  パソコン側（サーバ経由の場合は共有サーバ側）の設定

  移動前の環境で移動プリンタに接続していたポートを削除、または新しいプリンタに接続し直す場合は、ポートの接続先を再設定してください。設定方法は、「ポートの接続先の再設定手順」（→ P.322）をご覧ください。

ポートの接続先の再設定手順

<u>Printianavi ネットワークポートの場合</u>

1 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2「Printianavi ネットワークポート管理」を起動します。

- 7/2008/Vista の場合

  「スタート」ボタンまたは（スタート）→「すべてのプログラム」→「Printia XL Utility」→「プリンタドライバ」→「Printianavi ネットワークポート管理」を右クリックし、表示されるメニューから「管理者として実行」をクリックします。
  「認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています」と表示されたら、「許可」をクリックします。

・2003/XP/2000 の場合
「スタート」ボタン→「プログラム」(または「すべてのプログラム」)→「Printia XL Utility」→「プリンタドライバ」→「Printianavi ネットワークポート管理」の順にクリックします。

「Printianavi ネットワークポート管理」ウィンドウが表示されます。

3 変更するポートを選択し、「ポートの構成」をクリックします。

4「ポートの設定」ウィンドウで「参照」をクリックします。

5 プリンタの一覧から接続したいプリンタを選択し、「OK」をクリックします。

Printianavi ネットワークポート以外の場合

お使いの印刷ポートが「Printianavi ネットワークポート」以外の場合は、それぞれ次をご覧いただき、再設定を行ってください。

・LPR 印刷の場合 :「LPR 印刷の場合」(→ P.55)、または「RAW 印刷の場合」(→ P.65)
・RAW 印刷の場合 :「RAW 印刷の場合」(→ P.65)

共有プリンタの双方向通信設定が無効に変更される

■プリントサーバの共有プリンタのプロパティをクライアントから参照し、「OK」や「適用」をクリックすると、共有プリンタの双方向通信の設定が無効に変更されてしまう。

対処 :

プリントサーバの管理者権限を持ったユーザーでネットワーククライアントにログオンして、プリントサーバのプリンタのプロパティを更新すると、プリントサーバ側の「双方向サポートを有効にする」の設定が☐になる場合があります。

このようなときは、プリントサーバのプリンタのプロパティで「双方向サポートを有効にする」を再度☑にしてください。

7/2008 の 64-bit、Vista の 64 ビット版で「Printianavi ネットワークポート管理」から「ポートの設定」ウィンドウを表示できない

■7/2008 の 64-bit、Vista の 64 ビット版で、「Printianavi ネットワークポート管理」ウィンドウの「ポートの構成」をクリックすると、「0109 表示情報の獲得処理中に異常が発生しました。詳細コード :504-2」というエラーメッセージが表示され、「ポートの設定」ウィンドウが表示されない。

対処 :

入力言語の「既定の言語」として、「日本語(日本)- Microsoft Office IME 2007」が設定されていると、「Printianavi ネットワークポート管理」から「ポートの設定」ウィンドウの表示に失敗することがあります。この場合は、「Printianavi ネットワークポート管理」をいったん終了し、次のいずれかの方法で対処してください。

・「Printianavi ネットワークポート」の「ポートの設定」ウィンドウを、プリントサーバのプロパティから起動する

1. 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。
2. 「スタート」ボタンまたは (スタート) →「コントロールパネル」の順にクリックし、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

3. プリンタを選択しない状態で「プリンタ」フォルダ内を右クリックし、表示されるメニューから「管理者として実行」→「サーバーのプロパティ」をクリックします。
4. 「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら「続行」をクリックします。
5. 「ポート」タブの「このサーバー上のポート」から「ポートの設定」ウィンドウを表示したいポートを選択し、「ポートの構成」をクリックします。

- 「Printianavi ネットワークポート管理」起動時に、既定の言語の設定を一時的に「Microsoft IME」に変更する
  1. 「スタート」ボタンまたは（スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。
  2. 「時計、言語、および地域」の「キーボードまたは入力方法の変更」をクリックします。
     「地域と言語のオプション」ウィンドウが表示されます。
  3. 「キーボードと言語」タブをクリックし、「キーボードの変更」をクリックします。
     「テキストサービスと入力言語」ウィンドウが表示されます。
  4. 「全般」タブの「既定の言語」を、「日本語（日本）- Microsoft Office IME 2007」から「日本語（日本）- Microsoft IME」に変更します。
     「日本語（日本）- Microsoft IME」がリストに表示されていない場合は、「インストールされているサービス」の「追加」をクリックして「Microsoft IME」を追加してください。
  5. 「適用」をクリックします。
  6. 「テキストサービスと入力言語」ウィンドウを表示したまま、「Printianavi ネットワークポート管理」を起動し、「ポートの構成」をクリックします。
     ポートの設定、および「Printianavi ネットワークポート管理」終了後は、「テキストサービスと入力言語」ウィンドウの「全般」タブで、「既定の言語」を「日本語（日本）- Microsoft Office IME 2007」に戻し、「OK」をクリックします。

POINT

- タスクバー上やデスクトップ上に言語バーを表示している場合は、「Microsoft IME」への一時的な設定変更を言語バーから簡単に行えます。
  1. 「Printianavi ネットワークポート管理」を起動します。
  2. 言語バーの入力言語アイコン（）をクリックし、表示されるメニューから「Microsoft IME」をクリックします。

     なお、「Microsoft IME」が選択できない場合は、「「Printianavi ネットワークポート管理」起動時に、既定の言語の設定を一時的に「Microsoft IME」に変更する」（→ P.324）の手順 1 〜手順 4 で「Microsoft IME」を追加してください。
  3. 「Printianavi ネットワークポート管理」ウィンドウの「ポートの構成」をクリックし、ポートの構成を行います。

7/2008/Vista のプリントサーバ・クライアント環境で、印刷設定情報が印刷ログに正しく記録されない

■7/2008/Vista のクライアントから 7/2008/Vista のプリントサーバ経由で印刷して印刷ログを確認すると、実際に印刷した設定と違う内容で印刷設定情報が記録されている。

対処：

7/2008/Vista のプリントサーバ経由で 7/2008/Vista のクライアントから印刷したときに、印刷ログに記録される印刷設定情報（N-up、ヘッダー / フッター、ヘッダー / フッター出力種別、スタンプ、パンチ穴、ステープル、トナーセーブ、印刷面、出力用紙サイズ、用紙種類）が、プリントサーバ側の設定内容（プリンタのプロパティの「詳細設定」タブにある「標準の設定」）になります。
次の手順で、プリントサーバにおけるプリンタのプロパティの設定を変更してください。

■ 7/2008 R2 の場合

1 プリントサーバに管理者権限を持ったユーザーでログオンします。
2「スタート」ボタンまたは (スタート) →「デバイスとプリンター」の順にクリックします。
3 クライアントから印刷を行うプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「プリンターのプロパティ」をクリックします。
4「共有」タブの「クライアントコンピューターに印刷ジョブを表示する」をクリックして □ にし、「OK」をクリックします。

■ 2008（R2 以外）/Vista の場合

1 プリントサーバに管理者権限を持ったユーザーでログオンします。
2「スタート」ボタンまたは (スタート) →「コントロールパネル」の順にクリックし、「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
3 クライアントから印刷を行うプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「管理者として実行」→「共有」をクリックします。
4「クライアントコンピュータで印刷ジョブのレンダリングをする」をクリックして □ にし、「OK」をクリックします。

POINT

・設定がクライアントに反映されるまでに、少し時間がかかります。また、クライアントに設定が反映される前に印刷を行ったログには正しい情報が記録されません。設定後、3 分以上たってから印刷を行ってください。

2 ソフトウェアに関する留意事項

ここでは、本製品添付のソフトウェアを使用するときの留意事項について説明します。

Windows をアップグレードする場合

Windows をアップグレードする場合は、XL プリンタドライバおよび XL プリンタ関連ソフトウェア（「Printianavi ネットワークポートモニタ」など）をあらかじめ削除（アンインストール）してください。そして、アップグレード完了後、各ソフトウェアを再インストールしてください。
削除（アンインストール）を行わずに Windows をアップグレードした場合に発生する可能性がある問題、および対処方法は、次のとおりです。

■プリンタドライバ

プリンタドライバがインストールされた状態で Windows のアップグレードを行うと、Windows 添付のドライバに置き換わる、およびアップグレード前のドライバが登録されたままになることがあります。
この状態では、Printia XL ドライバが提供している機能が使用できない、または正しく印刷が行えないなどの現象が発生する場合があります。プリンタドライバを削除し、インストールし直してください。
プリンタドライバの削除については、「プリンタドライバを更新／削除するには」（→ P.186）をご覧ください。

■Printianavi ネットワークポートモニタ

「Printianavi ネットワークポートモニタ」がインストールされた状態で Windows のアップグレードを行うと、Printianavi ネットワークポートが新規に作成できなくなる場合があります。
この場合は、「Printianavi ネットワークポートモニタ」を削除（アンインストール）してから、最新版の「Printianavi ネットワークポートモニタ」をインストールしてください。

7/2008/Vista/2003/XP/2000 環境で使用時の留意事項

インストール、アンインストール時の注意事項

「Printia LASER プリンタユーティリティ」に格納されている各種ソフトウェアをインストールまたはアンインストールするときは、管理者権限でログオンしてください。
一般ユーザーでログオンした場合は、正しくインストールまたはアンインストールできないことがあります。一般ユーザーでインストールまたはアンインストールして正常に動作しなくなった場合は、管理者権限でログオンし、同一フォルダに上書きインストール後、再度操作してください。

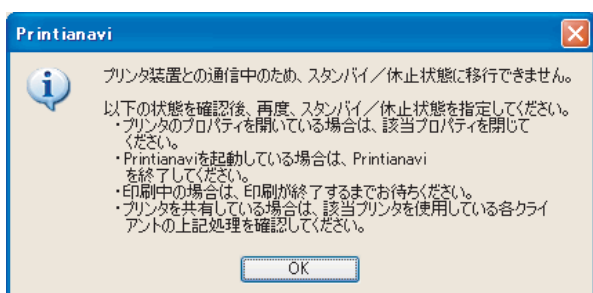
クラスタ環境について

クラスタ環境での動作は保証していません。

区切りページについて

本製品では、区切りページファイル（*.sep）の印刷をサポートしていません。
区切りページファイルの印刷を行うと、Printianavi 機能が正常に動作しなくなりますので、お使いにならないでください。

ACPI の動作について

本製品とパソコンが通信中の場合は、パソコンが ACPI によるスタンバイ／休止状態に移行できないため、次のメッセージが表示されます。

パソコンをスタンバイ／休止状態に移行させる場合は、次の内容を確認し、通信を行っていない状態になってから、再度スタンバイ／休止状態の設定を行ってください。
プリンタを他のパソコン（クライアント）と共有している場合は、使用しているパソコン（クライアント）側からも通信を行わないようにしてください。

- 印刷中のとき
  印刷が終了するまでお待ちください。
- プリンタドライバの設定ウィンドウ（プリンタのプロパティ）を開いているとき
  プリンタドライバの設定ウィンドウ（プリンタのプロパティ）を閉じてください。

なお、サーバがスタンバイ／休止状態のとき、クライアントからサーバの共有プリンタの状態を表示または取得しようとすると、エラー表示になったり、正しい状態が表示されなくなったりします。このときは、次の操作を行ってください。

- プリンタドライバの「基本設定」タブの「プリンタ状態表示」、または「装置オプション」タブの「プリンタ状態を設定値に反映する」でエラーになったとき
  エラー表示のウィンドウを閉じ、サーバが通常状態に復帰した後に再度操作してください。

3 Citrix 製品、および Windows ターミナルサービス環境での利用について

Printia XL ドライバ（バージョン 10.00 以降）は、「Citrix XenDesktop」、「Citrix XenApp」（旧称「Citrix Presentation Server」「MetaFrame」）、および Windows ターミナルサービス／リモートデスクトップサービス環境下で使用できます。
ここでは、「Printianavi2」を使用するうえで注意していただきたい事項について説明します。

なお、動作確認環境などは随時更新されます。最新の情報については、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/printer/support/metaframe/）の「Citrix 製品 , Windows ターミナルサービス対応状況」をご覧ください。
なお、上記 URL は、このマニュアル発行時点のものです。

プリンタ接続形態

プリンタマッピングにより自動作成されるプリンタへ印刷を行う環境での利用が可能です。この場合、あらかじめクライアント環境の端末にプリンタケーブルや、ネットワークで直接接続されたプリンタを定義しておく必要があります。

Printianavi 使用時の留意事項

- 「Citrix XenDesktop」、「Citrix XenApp」（旧称「Citrix Presentation Server」「MetaFrame」）、およびWindowsターミナルサービス／リモートデスクトップサービス環境で使用する場合、「Printianavi2」による印刷中のステータス表示は、クライアント端末側のウィンドウとして表示されます。
  ターミナルウィンドウや他のパソコン上への表示指定は行えません。
- マッピングプリンタへの印刷時に「Printianavi2」による印刷中のステータス表示を行いたくない場合は、マッピングされた XL シリーズプリンタの「Printianavi2」タブで「印刷中のステータス表示」を「表示しない」にするか、クライアント端末にインストールしている XL シリーズプリンタの「双方向機能」を無効にしてください。

その他の留意事項

マッピングプリンタへの印刷中止操作は、「Printianavi2」による印刷中のステータス表示から行ってください。双方向通信を無効、または印刷中のステータス表示を行わないようにしている場合は、ターミナルウィンドウではなくクライアント端末にインストールしているプリンタの印刷キューから印刷を中止してください。

4 ファイアウォール機能使用時の留意事項

「Norton Internet Security」などのファイアウォール機能をもつソフトウェアや、2003/XP のインターネット接続ファイアウォール、または 7/2008/Vista/2003（Service Pack 1 以降）/XP（Service Pack 2 以降）の Windows ファイアウォール機能使用時は、次の現象が発生する場合があります。

現象

- プリンタドライバのインストール時
  ファイアウォールソフトウェア／機能からの警告画面が表示される
- 印刷した場合
  - ファイアウォールソフトウェア／機能からの警告画面が表示される
  - 印刷が行えない、または印刷が開始されるまでに時間がかかる
- 「Printianavi ネットワークポートモニタ」、「Printianavi ネットワークマネージャ」、「Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2」からプリンタを検索した場合
  - ファイアウォールソフトウェア／機能からの警告画面が表示される
  - プリンタの検索に失敗する
- 「Printianavi ネットワークポートモニタ」の「DHCP 設定プリンタの IP アドレスを自動認識する」機能を☑にしている場合
  プリンタの IP アドレスが変更されても自動認識されない
- ドライバ機能使用時
  - クライアント側で「プリンタ状態表示」機能を使用できない
  - クライアント側で「プリンタから装置状態を取得する」機能を使用できない
- Printianavi2 機能使用時
  - 他のパソコンにステータスを表示できない
  - 他のパソコンに印刷ログを残せない

対処

■「Norton Internet Security」などのソフトウェアの場合

プリントサーバ、印刷を実行したパソコンで、印刷時に接続を行う機器の IP アドレス、印刷時や「Printianavi」のソフトウェア使用時に警告の対象となったポート番号、アプリケーションのファイル名を許可する設定を行ってください。

例）「Norton Internet Security」の場合

「Norton Internet Security」の「ファイアウォール」の設定を選択し、「ホームネットワーク」の信頼ゾーンに次の機器の IP アドレスをすべて登録してください。

- プリントサーバ
- 印刷を実行するパソコン
- プリンタ
- ステータス表示や印刷ログを残す他のパソコン

9

■2003/XPのインターネット接続ファイアウォールまたは7/2008/Vista/2003（Service Pack 1以降）/XP（Service Pack 2以降）のWindowsファイアウォール機能の場合

プリンタが検索できない、またはローカルネットワーク以外のプリンタが検索できない場合は、Windows ファイアウォールの「全般」タブの「例外を許可しない」を□にした状態でお使いください。

ファイアウォールの設定を変更しない場合は、ネットワーク関連のソフトウェアを使用するときに、次の回避策を行ってください。

- 「Printianavi2 クラサバ連携サービス」

  クライアント側で、プリンタドライバ、「Printianavi ネットワークマネージャ」、「Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2」、または「Printianavi ネットワークポートモニタ」が使用できない場合は、プリントサーバ、クライアント双方の Windows ファイアウォールの例外に、「Printianavi2 クラサバ連携サービス」を登録してください。

- 「Printianavi ネットワークマネージャ」

  プリンタ検索ができない場合は、「プリンタ」メニュー→「プリンタの登録」から、対象プリンタを監視リストに登録してください。監視リストに登録することで、プリンタの状態監視などが可能になります。

- 「Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2」

  プリンタ検索ができない場合は、「Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2」を使用せず、プリンタのオペレータパネルを使って IP アドレスを設定してください。

- 「Printianavi ネットワークポートモニタ」

  「DHCP 設定プリンタの IP アドレスを自動認識する」が機能しない場合は、プリンタの IP アドレスを直接入力します。

第 10 章

用語解説

ここでは、用語の解説をします。

1 用語解説

本製品に関連する用語、またはこのマニュアル内に登場する用語の意味について説明します。

■ ACPI（Advanced Configuration and Power Interface）

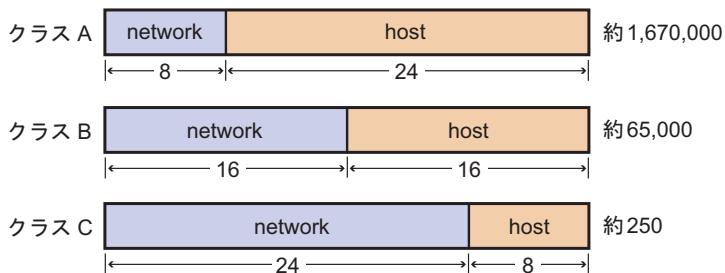
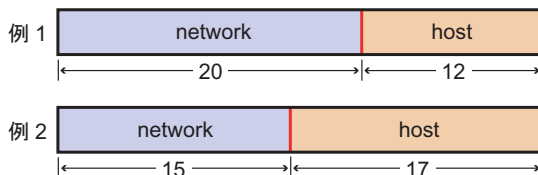
OS からパソコン本体やパソコンに接続した周辺機器の電力制御を可能にする、パワーマネジメント規格です。

■ BPP（Business Printer Protocol）

富士通独自の双方向ネットワークプリンタ通信プロトコル（TCP/IP を使用）です。IPv4 アドレス環境のみ、対応しています。
Printianavi ネットワークポートの接続モードが LAN の場合に使用しています。プリンタとの双方向通信により「Printianavi」のエラー通知やページリカバリ機能をサポートしているため、LPR 印刷に比べて信頼性の高いシステムを構築できます。

■ CIDR（Classless Inter-Domain Routing）

CIDR（サイダー）とは、クラスを使わずに IP アドレスを割り当て、経路を選択する技術です。クラスがある場合ネットワークアドレスを 8 ビットごとに区切りますが、クラスを使わない CIDR では任意のブロック単位で区切ることができるため、IP アドレス空間を効率的に利用できます。

■クラスフルの場合　　接続可能なホスト数

■クラスレス（CIDR）の場合　　任意の位置で区切ることができます。

■ DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

IP アドレスの自動割り付けシステムです。クライアントが TCP/IP 通信を行うときに、必要に応じてサーバから IP アドレスをもらい、通信終了後はサーバに IP アドレスを戻します。

■ **DNS（Domain Name System）**

ホスト名から IP アドレスを取得できるようにするサービスを提供するシステムです。

■ **EMF（Enhanced Meta File）**

プリンタに依存しない中間データ形式です。この形式は印刷データよりサイズが小さいため、印刷を実行してから処理がアプリケーションに戻るまでの時間を短縮できます。

■ **ESC/P（Epson Standard Code for Printer）**

セイコーエプソン社が自社のプリンタ用に開発した、プリンタ制御におけるコマンド体系を指します。現在では多くのプリンタメーカーで採用されており、世界標準のコマンド体系となっています。

■ **HTTP（HyperText Transfer Protocol）**

インターネット上の WWW サーバからデータを送受信するために使用される通信プロトコルです。

HTML（HyperText Markup Language）文書や、文書に関連付けされた画像や音声ファイルなどをやり取りすることができます。IETF（Internet Engineering Task Force）によって RFC として規格化されています。XLシリーズのIPP対応機種では、HTTP/1.1をサポートしています。

■ **IPP（Internet Printing Protocol）**

RFC として規格化されたインターネット経由での印刷をサポートした印刷制御プロトコルです。IPv4 アドレス環境のみ、対応しています。

Printianavi ネットワークポートの接続モードが IPP の場合に使用しています。ファイル転送のプロトコル HTTP（HyperText Transfer Protocol）を使用しており、LAN を超えた環境でもアクセスできることが特徴です。XL シリーズでサポートしている IPP は、標準の IPP を拡張することで「Printianavi」を使用した双方向通信が可能となっています。

■ **LPR（Line Printer Remote）**

TCP/IP 標準の印刷制御プロトコルです。7/2008/Vista/2003/XP/2000/NT では、UNIX 用印刷サービスまたは TCP/IP 印刷サービスとして標準添付されています。ただし、双方向通信はサポートしていないため、LPR 印刷では Printianavi 機能は使用できません。

■ **MIB（Management Information Base）**

SNMP では、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視、管理するための動作状況に関するデータを MIB（Management Information Base : 管理情報ベース）といいます。

本製品は MIB-II および PrinterMIB をサポートしています。◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」には PrinterMIB に対応した ASN.1 形式の「XLprtmib.my」が「MIB」ディレクトリに格納されています。これを SNMP マネージャにインストールして使用してください。

■RAW 印刷

7/2008/Vista/2003/XP/2000 に実装されている標準 TCP/IP ポートモニタにおける RAW プロトコル印刷をサポートします。
ただし、双方向通信はサポートしていないため、RAW 印刷では Printianavi 機能は使用できません。本製品では、ポート番号を 9100 に固定しています。

■RFC（Request For Comments）

インターネットの研究開発機関 IETF（Internet Engineering Task Force）がとりまとめている文書群を指します。一般的には TCP/IP の規格書として知られています。

■SNMP（Simple Network Management Protocol）

SNMP とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。
ネットワーク上の各種接続機器が SNMP をサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用の SNMP マネージャから、SNMP メッセージを使用することでその接続機器の設定情報である MIB（Management Information Base : 管理情報ベース）を読み込んだり、逆にそれを設定したりすることで接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。

・SNMP メッセージ
SNMP によるエージェントの管理は次の 5 種類のメッセージを使って行われます。
なお、本製品では SetRequest はサポートしていません。

表：SNMP メッセージの種類

メッセージ種別	説明	メッセージの送信方向
GetRequest	オブジェクトの値の読み出し要求	マネージャ→エージェント
GetNextRequest	オブジェクトの連続した値の読み出し要求	マネージャ→エージェント
SetRequest	オブジェクトの値の書き込み要求	マネージャ→エージェント
GetResponse	読み出し・書き込み要求に対する応答	エージェント→マネージャ
Trap	例外事象の通知	エージェント→マネージャ

■プロキシサーバ（Proxy Server）

インターネットとの接続時にセキュリティを確保するために設置されるサーバで、ネットワーク内のコンピュータを代理して外部へのアクセスを行う機能をもちます。
ファイアウォールによって外部から守られたネットワーク環境においては、ネットワーク内部から外部へのアクセスを行えないという問題があります。この問題を解決するために、プロキシサーバは、外部へのアクセス要求を受け付け、その作業を代理で行います。この処理によって、内部から外部へのアクセスが行えるようになると共に、ネットワーク内部のセキュリティを確保することが可能となっています。
また、セキュリティ機能以外にもプロキシサーバの中には、WWW アクセス時の HTML データをキャッシュする機能をサポートするものもあり、同じ WWW サーバへアクセスがあった場合はキャッシュしているデータを返すことで、WWW アクセスを高速に行うことができるようにすることもできます。

索引

R

S

U

W

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

や行

ら行

Printia LASER XL シリーズ
ソフトウェアガイド
Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/
Windows Server 2008/Windows Server 2003 編

B5WY-1531-01 Z0-00

発 行 日　2011 年 6 月
発行責任　富士通株式会社